年　　報

（第27巻）

2022年

TOWARD
VERY BEST
HOSPITAL
HOKUSETSU GENERAL HOSPITAL

社会医療法人 仙養会　北摂総合病院

巻頭のことば

2022 年度（令和 4 年度）は、“Very Best Hospital を目指して、熱意・誠意・創意 ” を行動指針として掲げ、職員全員で病院医療に取り組んでまいりました。人が仕事を成就するために欠かせないもの、それが熱意であり、誠意であり、創意です。コロナ感染対策をはじめとして、全ての病院業務は、診療部、看護部、診療技術部、事務局、さらには訪問看護ステーションやケアプランセンター、保育所等、法人の全ての部署に属する多職種の職員によるチームプレーの賜物です。様々な部署で働く個人個人の力が結集して北摂総合病院の医療が可能となります。どの部門が欠けても目的を達成することはできません。そのような思いで 1 年間、病院運営に取り組んでまいりました。

令和 3 年 12 月から令和 4 年 6 月まで続いた第六波、令和 4 年 6 月から令和 4 年 9 月の第七波、そして令和 4 年 9 月から令和 5 年 5 月 8 日までの第八波と令和 4 年度はコロナ感染対策に明け暮れた一年でした。そしてコロナ感染により病院運営が最も大きな影響をうけた年となりました。院外からのコロナ患者の受け入れにとどまらず、病院職員の感染、院内クラスターの発生など病院運営は一時危機的な状況になりました。令和 2 年 1 月から始まり 3 年以上続くコロナ・パンデミックで患者さんの受診行動が大きく影響を受けたことは間違いありませんが、同時に病院医療のあり方も大きく様変わりしました。今後は、コロナ前の状態に戻ることはないと思います。病院で勤務する我々は、医療を取り巻く環境の変化で様変わりする医療提供体制と患者ニーズの変化を敏感に感じ取り病院運営を諮っていく必要があると痛感しております。

そのような厳しい現実の中でも、皆様のご協力、ご支援のお陰を持ちまして令和 4 年度もつつが無く病院運営を行うことができました。ありがとうございました。ここに令和 4 年度の活動を年報としてまとめました。皆様方の忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いです。私たちの活動を様々な場面でご支援、ご協力いただいておりますことに心より感謝し、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2023 年 7 月

理事長　木野 昌也

目　　次

巻頭のことば

Ⅰ．現　況

1. 病院沿革 …… 1 ～ 5
2. 病院概要 …… 6 ～ 8
3. 病院組織 …… 9 ～ 12
4. 医療体制 …… 13 ～ 17
   登録医名簿 …… 18 ～ 30
5. 職員構成 …… 31
6. 医療環境と当院の医療実績 …… 32 ～ 33

Ⅱ．患者の状況

1. 外来
   （1）外来延べ患者数の推移 …… 35
   （2）科別 外来患者構成比の推移 …… 35
   （3）新来患者数・紹介患者数の推移 …… 36
   （4）月別 診療科別平均通院回数 …… 37 ～ 38
   （5）地域別 外来患者構成比 …… 39
   （6）年齢別・男女別 外来患者構成比 …… 40
   （7）コールセンター実績 …… 41
   （8）外来診療予約率 …… 42
   （9）外来診療待ち時間調査結果 …… 43
2. 入院
   （1）在院患者延べ数の推移 …… 44
   （2）科別 入院患者構成比の推移 …… 44
   （3）新入院患者数・紹介患者数の推移 …… 45
   （4）１日平均在院数・平均在院日数の推移 …… 45
   （5）地域別 入院患者構成比 …… 46
   （6）年齢別・男女別 入院患者構成比 …… 47
3. 時間外・救急
   （1）時間外・救急患者数 …… 48
   （2）月別・科別・入外別 救急車搬入数 …… 48 ～ 49
   （3）消防署別・入外別 救急車搬入数 …… 49
4. 病歴統計
   （1）死亡患者数【ICD-10 大分類 科別】 …… 50
   （2）退院患者 ICD-10 大分類統計【科別】 …… 51 ～ 52
   （3）退院患者 ICD-10 大分類統計【在院日数別】 …… 53 ～ 54
   （4）退院患者 ICD-10 大分類統計【年齢別】 …… 55 ～ 56
   （5）退院患者 ICD-10 大分類・中分類統計【科別】 …… 57 ～ 66
   （6）DPC 診断群分類別 退院患者入院期間構成比 …… 67 ～ 74
   （7）退院患者クリニカルパス（電子パス）使用件数 …… 75
   （8）臨床評価指標 …… 76
5. アンケート調査結果
   （1）外来患者満足度 …… 77
   （2）入院患者満足度 …… 78

Ⅲ．診療活動等の状況

1-1. 2022 年度　理事長活動報告 …… 79 ～ 80
1-2. 2022 年度　病院長 院外活動報告 …… 81 ～ 83
2-1. 循環器科 …… 84 ～ 87
2-2. 消化器内科・血液内科 …… 88 ～ 98
2-3. 呼吸器内科 …… 99 ～ 100
2-4. 糖尿病・内分泌内科 …… 101 ～ 102
2-5. 総合内科 …… 103 ～ 104
2-6. 内科症例検討会 …… 105
3. 小児科 …… 106 ～ 108
4. 一般・消化器外科 …… 109 ～ 110
5. 呼吸器外科 …… 111
6. 心臓血管外科 …… 111
7. 整形外科 …… 112 ～ 115
8. 婦人科 …… 116 ～ 117
9. 眼科 …… 118 ～ 120
10. 皮膚科 …… 121 ～ 122
11. 泌尿器科 …… 123
12. 救急診療科 …… 124 ～ 125
13. 放射線科 …… 126 ～ 127
14. 麻酔科 …… 128
15. 病理診断科 …… 129 ～ 130
16. 血液浄化療法科 …… 131
17. 健診科 …… 131
18. 診療部医薬品勉強会 …… 132
19. 地域研修実績 …… 133 ～ 134
20. 卒後臨床研修実績 …… 135 ～ 136
21. 看護部
（1）北摂ラダー・教育の実績 …… 137
（2）認定看護師取得状況と活動実績 …… 138 ～ 159
（3）院内研修一覧 …… 160 ～ 162
（4）院外研修出張一覧 …… 163 ～ 165
（5）活動実績と看護学生臨床実習受け入れ実績 …… 166
22. 中央手術センター
（1）科別・術式別（手術室）手術件数 …… 167 ～ 193
（2）科別 麻酔手技別件数 …… 193
23. 内視鏡センター 内視鏡的検査及び処置・手術件数（月別・手技別） …… 194
24. カテーテル治療センター 月別検査・治療件数 …… 195
25. 薬剤科
（1）処方箋枚数・剤数及び薬剤管理指導件数 …… 196
（2）採用・削除医薬品集計 …… 197
（3）持参薬件数 …… 197
（4）学会発表・学術研修会参加実績 …… 198
（5）実務実習受入れ実績 …… 198

26. 放射線科　（1）年間活動報告 …… 199
（2）月別 検査件数…… 199 ～ 201
27. 臨床検査科　（1）年間活動報告 …… 202 ～ 205
（2）月別 検体検査件数…… 206
（3）月別 その他検査件数…… 206
（4）月別 生理機能検査件数…… 207 ～ 208
（5）眼科機器別検査件数 …… 208
（6）臨床検査科設置主要機器一覧 …… 209 ～ 212
（7）治験対象者検査件数 …… 212 ～ 214
28. 臨床工学科　（1）業務 …… 215
（2）医療機器 安全管理体制…… 215 ～ 216
（3）血液浄化室業務 …… 216 ～ 217
（4）人工呼吸器業務 …… 217
（5）カテーテル治療センター業務 …… 218
（6）ペースメーカ業務 …… 218
（7）研修・学会活動 等…… 218 ～ 219
29. リハビリテーション科（1）施設基準 等…… 220
（2）認定資格 …… 220
（3）学術集会・研究会・勉強会等 参加実績…… 221 ～ 222
（4）実習生受け入れ実績 …… 223
（5）月別・理学療法実績 …… 224
30. 地域医療連携室　（1）市町村別 登録医届出数…… 225
（2）登録医新規届出数 …… 225
（3）紹介患者総数 …… 225
（4）登録医紹介患者数 …… 225
（5）登録医回診数 …… 226
（6）介護・福祉施設・その他医療機関からの紹介患者数 …… 226
（7）逆紹介数 …… 226
（8）MSW 業務実績 …… 226 ～ 227
（9）登録医向け情報誌「Link」発刊実績 …… 228
（10）登録医会議（COVID19 の感染状況鑑み懇親会は中止）…… 229
31. 健康事業室　（1）ドック種別・月別 受検者数…… 230
（2）人間ドック結果要精密検査数 …… 230
（3）ドック種別 個人負担別受検者数…… 231
32. 栄養科 …… 232
33. 医療秘書係 …… 233
34. 訪問看護ステーション（1）利用状況 …… 234
（2）実習受け入れ状況 …… 234
（3）地域活動 …… 234

35. ケアプランセンター　（1）居宅介護支援・委託業務実績 …… 235
（2）地域活動（出前健康教室開催） …… 235
（3）他実績 …… 236
36. 各種委員会活動　（1）医療安全対策室／医療安全管理委員会 …… 237 ～ 240
（2）クリニカルパス委員会 …… 241 ～ 244
（3）院内学会運営委員会 …… 245 ～ 246
（4）感染防止対策室・院内感染対策委員会 …… 247 ～ 253
（5）薬事審議会 …… 254 ～ 256
（6）救急委員会 …… 257
（7）褥瘡対策委員会 …… 258 ～ 259
（8）労働安全衛生委員会 …… 260 ～ 261
（9）臨床検査管理運営委員会 …… 262 ～ 263
（10）輸血管理委員会 …… 264 ～ 267
（11）治験審査委員会 …… 268
（12）職員教育研修委員会 …… 269 ～ 270
（13）病床・ICU 運営管理委員会 …… 271 ～ 274
（14）地域医療支援病院運営委員会 …… 275
（15）がん治療・化学療法委員会・緩和ケア委員会及びレジメン管理委員会 …… 276 ～ 279
（16）診療録管理（監査）委員会 …… 280 ～ 281
（17）診療報酬適正化委員会 …… 282 ～ 284
（18）栄養委員会 …… 285 ～ 289
（19）診療材料委員会 …… 290 ～ 292
（20）病院情報管理運営委員会 …… 293
（21）勤務医及び看護職員負担軽減・処遇改善委員会 …… 294
37. 学会実績報告　各種学会・論文・講演会等実績 …… 295
38. 病院見学等受入実績 …… 296
39. 国際医学医療研修受入実績 …… 296
40. 信条学習会 …… 297
41. 病院機関誌「ほくせつ」 …… 298
42. 奉仕活動　（1）献血奉仕活動 …… 299
（2）「小さな親切」運動 …… 299
43. 院内コンサート …… 300
44. ホームページ閲覧件数 …… 302 ～ 303

Ⅰ. 現　　況

1. 病院沿革

1965年 4月	医療法人仙養会 北摂病院開設　認可病床数 80 床
	初代病院長・理事長 芳川 仙作
	標榜診療科目 内科・小児科・耳鼻咽喉科・眼科・皮膚科・泌尿器科
1967年 6月	理事長に木野 猛　就任
1967年10月	認可病床 22 床増床、102 床
	標榜診療科目に整形外科・産婦人科を追加
1968年 5月	総合病院の承認
1969年 4月	院内保育所を開設（大阪府下で第 1 号）
1970年 3月	看護学生寮完成　看護学生 36 名が入寮
1971年 4月	高槻市医師会准看護学院、実習受入れ開始
1971年 7月	認可病床 55 床増床、157 床
1971年 9月	職員の誕生祝い開始
1971年10月	病院情報誌「ほくせつ」新聞創刊
1973年 8月	認可病床 26 床増床、183 床
1975年 4月	創立 10 周年記念行事
1977年 1月	「親切係」制度開始
1978年 4月	認可病床 18 床増床、201 床
1981年 4月	医事コンピュータ導入
1981年10月	認可病床 16 床増床、217 床
1983年 9月	初代院長 芳川 仙作　死去
	2 代目病院長に芳川 浩男　就任
1985年 4月	20 周年記念行事
1985年11月	（財）大阪府三島救命救急センターが開設され、初代院長 芳川 仙作 祈念成就
1986年 3月	3 代目病院長に木野 昌也　就任　（現理事長）
1988年 3月	院長回診へコメディカルの同行開始
1988年 7月	ＣＩマーク制定
1988年 8月	院内ビデオ放送開始
1989年 4月	心臓血管造影・腹部血管造影検査開始
1989年 6月	院内ＦＡＸ網の整備
	日本病院学会への演題発表開始
1990年10月	再来自動受付システムのオンライン稼動開始
1990年12月	ＱＣサークル活動開始
1991年 2月	京都銀行ＡＴＭが病院玄関に設置
1991年 3月	人工透析開始
1993年 3月	医薬分業（完全型）実施
1994年 4月	病院の基本姿勢（患者の権利憲章）制定
1994年 5月	患者満足度アンケート調査開始
1994年 7月	病院機能評価（医療の質に関する研究会）受審
1995年 8月	リハビリテーション（理学療法施設基準Ⅱ）の開始
1995年11月	30 周年記念事業（たかつき京都ホテル）
1997年 4月	年間行動計画（事業計画）による病院運営開始
1997年 6月	地域医療連絡室の設置
1997年 8月	開放型病院の承認
1997年 9月	第 1 回北摂病院 登録医会議 / 懇親会 開催

1997年 9月	北摂病院「年報」の発刊開始（第1巻1996年度版）
1997年10月	開放型病院登録医数100名を超える
1997年11月	訪問看護サービスの開始
1998年 4月	医療法改正で総合病院の名称独占廃止
	病歴室を設置
1998年 6月	開放型病院登録医数150名を超える
	クリニカルパス委員会の設置
1998年 9月	登録医用「病診連携プレート」の制定
1999年 1月	ご意見箱の設置
	医療事故防止対策委員会の設置
1999年 3月	治験審査委員会の設置
	開放型病院登録医数250名を超える
1999年 4月	登録医向け月刊情報誌「Link」創刊
1999年 5月	登録医紹介患者搬送サービス開始
1999年 7月	第1回院内クリニカルパス大会開催
1999年 9月	訪問看護ステーション開設
1999年10月	Home Page 公開
1999年12月	救急告示指定を受ける
2000年 2月	病院名称変更　北摂病院から「北摂総合病院」へ
2000年 3月	ケアプランセンター開設
2000年 4月	200床以上の病院の初診の特定療養費徴収開始
	地域医療連絡室から「地域医療連携室」へ名称変更
2000年 5月	外来 Information の刷新
2000年 6月	国際内科を開設
2000年 8月	Hokusetsu Doctor's Site 稼動
2000年11月	リスクマネージャーの設置
2001年 1月	第1回米国病院視察研修の実施
2001年 4月	脳神経外科・呼吸器外科・放射線科の標榜
	高階国際クリニック（淀川区）開設
	委員会・会議の再編
2001年 6月	病院機能評価（一般病院Ｂ）の受審
2001年 7月	MRI（GE社製1.5テスラ）の稼動開始
2001年 8月	「地域に開かれた病院」（日経ビジネス主催）全国ランキング31位となる
2001年 9月	第5回北摂総合病院登録医会議／懇親会開催
	Hokusetsu Doctor's Site の画像レポート機能付加とインターネット公開
2001年11月	一群一般病棟入院診療基本料Ⅰ及び急性期病院加算の承認を受ける
2002年 4月	200床以上の病院の再診の特定療養費徴収開始
2002年 7月	麻酔科の標榜
2002年 8月	財団法人 日本医療機能評価機構による病院機能評価（一般病院Ｂ）認定を受ける
2002年 9月	第6回北摂総合病院登録医会議／懇親会開催
2003年 9月	第7回北摂総合病院登録医会議／懇親会開催
2003年10月	「安全重視の病院」全国ランキング54位となる。日本経済新聞社主催
	厚生労働省より「管理型　臨床研修病院」の指定を受ける
2003年12月	第15回QC大会開催（茨木市民会館内ドリームホール）

2003年12月	病院新築計画発表
2004年 4月	卒後臨床研修医の研修開始
2004年 7月	「良い病院ランキング」で全国 70 位となる。日経ビジネス
2004年 9月	第 8 回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会開催
2004年12月	第 16 回 QC 大会開催（茨木市福祉文化会館文化ホール）
2005年 9月	第 9 回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会開催
2005年12月	第 17 回 QC 大会開催（茨木市福祉文化会館文化ホール）
2006年 4月	Vision、Mission、Strategy 刷新
	DPC 準備病院となる
2006年 5月	病院新築移転
	PET-CT（GE 社）の稼動開始
	CT（GE 社 16 列）の稼動開始
	病院情報システム（亀田医療情報研究所社、ドリームアクセス社）の稼動開始（フィルムレス・完全ペーパーレス化）
	グループウェア（コメディクス社）の稼動開始
2006年 9月	第 10 回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会開催
2006年12月	透視装置（TOSHIBA 社）の機器更新
2007年 1月	血管造影装置（PHILIPS 社）の機器更新
2007年 3月	第 18 回 QC 大会開催（北摂総合病院 3 階多目的ホール）
	標榜診療科に循環器科を追加
2007年 7月	病院機能評価更新（Ver.5）（財団法人日本医療機能評価機構）
2007年 9月	第 11 回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会
	VHJ 研究会・機構加入
2007年10月	第 92 回近畿病歴管理セミナー（主催病院）
2007年11月	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価 Ver.5 認定
2008年 2月	第 19 回 QC 大会開催（北摂総合病院 3 階多目的ホール）
2008年 3月	DPC 対象病院となる
2008年 6月	病院格付け「安心度ランキング」（週刊ダイヤモンド）大阪府で 16 位
2008年 7月	CT（GE 社 64 列）の稼動開始
2008年 9月	第 12 回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会
2008年11月	地域医療支援病院の承認（大阪府）
2009年 1月	QC 大会を発展的に解消し第 1 回院内学会開催（高槻現代劇場）
2009年 3月	大阪ガス「もっと Save」エネルギー監視システム導入
2009年 4月	大阪府がん診療拠点病院の指定（大阪府）
2009年 9月	第 13 回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会
	医療秘書科の設置
2010年 1月	第 2 回院内学会開催（高槻現代劇場）
	近畿厚生局臨床研修病院実地調査
	近畿厚生局適宜調査
2010年 9月	第 14 回北摂総合病院登録医会議 / 懇親会
2011年 1月	第 3 回院内学会開催（高槻現代劇場）
	The3rd CTO Hands-on Work Shop in Kansai（開催病院）
2011年 3月	3 階屋上緑化（癒しの庭）完成（大阪府みどりの基金）
2011年 4月	東北地方太平洋沖地震で被害のあった岩手県大槌町で医療支援活動実施

2011年 9月	第 15 回登録医会議 / 懇親会
2012年 1月	The5th CTO Hands-on Work Shop in Kansai（開催病院）
	第 4 回院内学会開催（高槻現代劇場）
2012年 2月	第 1 回　緩和ケア研修会開催（高槻市生涯学習センター）
2012年 7月	病院機能評価更新（Ver.6）（財団法人日本医療機能評価機構）
2012年 8月	The6th CTO Hands-on Work Shop in Kansai（開催病院）
2012年 9月	第 16 回登録医会議 / 懇親会
2012年11月	財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価 Ver.6 認定
2013年 1月	第 5 回院内学会開催（高槻現代劇場）
2013年 2月	The7th CTO Hands-on Work Shop in Kansai（開催病院）
2013年 7月	The8th CTO Hands-on Work Shop in Kansai（開催病院）
2013年 9月	第 17 回登録医会議 / 懇親会
2014年 1月	初代理事長 木野 猛　死去
	２代目理事長に木野 昌也　就任
	第 6 回院内学会開催（高槻現代劇場）
2014年 2月	病院情報システム（亀田医療情報株式会社・富士フィルム IT ソリューションズ）
	ハードリプレイス
2014年 5月	The9th CTO Hands-on Work Shop in Kansai（開催病院）
2014年 7月	7 対 1 看護配置基準　取得
2014年 9月	第 18 回登録医会議 / 懇親会
2014年12月	骨塩定量装置（GE 社）の稼動開始
2015年 1月	第 7 回院内学会開催（茨木福祉文化ホール）
2015年 3月	大阪府がん診療拠点病院の指定更新（大阪府）
2015年 4月	ＭＲＩ（SIEMENS 社　３テスラ）の稼動開始
2015年 8月	第 1 回　多職種連携の会　開催
2015年 9月	50 周年記念講演　並びに記念式典（ヒルトン大阪）
	透視装置（HITACHI 社）の機器更新
2015年10月	第 2 回 多職種連携の会　開催
2016年 1月	第 8 回院内学会開催（茨木福祉文化ホール）、50 周年記念祝賀会（グランヴィア大阪）
	院内売店リニューアル
2016年 2月	おおさかストップ温暖化賞　優秀賞受賞　（資材・施設課）
2016年 6月	第 3 回 多職種連携の会　開催
2016年 7月	社会医療法人に認定
2016年 8月	フルデジタル乳房 X 線撮影装置、泌尿器検査・処置用 X 線透視テーブルシステム、
	一般撮影装置 FPD（フラットパネルディテクタ）導入
2016年 9月	第 19 回登録医会議 / 懇親会
2016年10月	第 4 回 多職種連携の会　開催
2017年 1月	第 9 回 院内学会開催（高槻現代劇場大ホール）
2017年 2月	病院機能評価更新（3rdG:Ver.1.1）（財団法人日本医療機能評価機構）
2017年 3月	第 5 回 多職種連携の会　開催
2017年 4月	標榜診療科に心臓血管外科を追加
2017年 6月	日本医療機能評価機構による病院機能評価 3rdG:Ver1.1 認定
	第 6 回 多職種連携の会　開催
2017年 9月	第 20 回 登録医会議 / 懇親会

2017年10月	VHJ 研究会　第 28 回 職員交流研修会（当院主幹）
2017年11月	第 7 回 多職種連携の会　開催
2018年 1月	第 10 回 院内学会開催（毎日新聞オーバルホール）
2018年 3月	第 8 回 多職種連携の会　開催
	緩和ケア研修会開催（高槻市生涯学習センター）
2018年 4月	近隣コミュニティセンターでの出前健康教室開始
2018年 5月	呼吸器センター開設
2018年 6月	第 9 回 多職種連携の会　開催
2018年 9月	第 21 回 登録医会議 / 懇親会
2018年10月	第 10 回 多職種連携の会　開催
2019年 1月	第 11 回 院内学会開催（毎日新聞オーバルホール）
2019年 2月	病院ホームページリニューアル
2019年 3月	第 11 回 多職種連携の会　開催
2019年 4月	高槻市営バス 北柳川町（北摂総合病院前）停留所新設
2019年 7月	第 12 回 多職種連携の会　開催
2019年 9月	第 22 回 登録医会議 / 懇親会　開催
2020年 1月	第 12 回 院内学会開催（毎日新聞オーバルホール）
2020年 2月	第 14 回 多職種連携の会　開催（第 13 回は中止）
2020年 3月	仙養会 高階国際クリニック　閉院
	新型コロナウイルス感染対策本部設置（2 月より帰国者・接触者外来開始）
2020年 4月	小林病院長代理が病院長就任
	発熱外来開設・稼働開始
2020年 6月	高槻市地域外来検査センターの稼働開始
2020年 8月	標榜診療科に病理診断科を追加
2020年10月	標榜診療科を産婦人科から婦人科へ変更
2021年 1月	病院情報システム（亀田医療情報株式会社・富士フィルムメディカル IT ソリューションズ 他）ハード・ソフトリプレイス
	CT 装置更新（SIEMENS 社 2 管球ＣＴ）
	新型コロナ協力医療機関（最大 2 床）申請
2021年 2月	新型コロナ重点医療機関（最大 5 床）申請
2021年 5月	新型コロナ重点医療機関（最大 9 床）申請
2021年 7月	新型コロナ中等症重症一体化病院②（重症 2 床、軽中等症 7 床）申請
2021年 9月	第 23 回 登録医会議　開催（WEB 開催）
2021年11月	新型コロナ中等症重症一体化病院②（重症 2 床、軽中等症 9 床）申請
2021年12月	血管造影装置（PHILIPS 社）の機器更新
2022年 1月	第 13 回 院内学会開催（病院内 WEB ＋集合）
2022年 6月	新型コロナ中等症・重症病院（重症 2 床、軽中等症 9 床）移行
2022年 7月	新型コロナ中等症・重症病院（重症 2 床、軽中等症 10 床）申請
2022年 9月	第 24 回 登録医会議　開催（グランヴィア大阪）
2023年 1月	第 14 回 院内学会開催（病院内 WEB ＋集合）
2023年 2月	学校法人藍野大学と包括連携協定締結
	緩和ケア研修会　開催（多目的ホール）
	第 15 回 多職種連携の会　開催

2. 病院概要

（令和5年7月1日現在）

1. 病　院　名	社会医療法人仙養会　北摂総合病院
2. 開　設　者	社会医療法人仙養会　理事長　木野 昌也
3. 管　理　者	病院長　小林 一朗
4. 所　在　地	大阪府高槻市北柳川町 6-24　（〒 569-8585）
5. 標榜科目	内科、循環器科、心臓血管外科、小児科、外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、病理診断科、麻酔科
6. 診療科目	循環器科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、総合内科、血液内科、神経内科、心臓血管外科、小児科、一般消化器外科、乳腺外科、脳神経外科、呼吸器外科、整形外科、婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、放射線科、病理診断科
7. 病院開設	1965 年
8. 病院種別	地域医療支援病院、大阪府がん診療拠点病院、基幹型臨床研修指定病院
9. 認可病床	217 床（HCU14 + 一般 203）
10. 診療指定	医療保険、国民健康保険、結核予防法、公害健康被害補償法、生活保護法、身体障害者福祉法、児童福祉法、戦傷病者特別援護法、原爆被爆者医療、母子保険法、大阪府特定疾患、大阪府小児特定疾患、高槻市一般健康審査、高槻市乳癌・子宮癌・肺癌検診、他
11. 救急医療	救急告示病院（内科、循環器科、外科、整形外科、小児科（火））
12. 教育施設	大阪医科薬科大学、高槻市医師会看護専門学校、宝塚大学看護学科、藍野大学看護学科、藍野大学短期大学部第一看護学科、大阪医療看護専門学校、大阪保健福祉専門学校看護科、大阪府病院協会看護専門学校、梅花女子大学看護保健学部看護学科、藍野大学理学療法学科、大阪河崎リハビリテーション大学理学療法学科、東洋医療専門学校　他
13. 学会認定等	財団法人日本医療機能評価機構　病院機能評価 3rdG:Ver.1.1 認定病院 大阪府肝炎専門医療機関 日本内科学会認定医制度教育関連病院（日本内科学会） 日本消化器病学会認定医制度認定施設（日本消化器病学会） 日本消化器内視鏡学会認定指導施設（日本消化器内視鏡学会） 日本循環器専門医研修施設（日本循環器病学会） 日本小児科学会認定医制度研修施設（日本小児科学会） 日本小児科専門医研修施設（日本小児科学会） 日本外科学会認定医制度修練施設（日本外科学会） 日本大腸肛門病学会専門医修練施設（日本大腸肛門学会） 日本脳神経外科学会専門医認定指定訓練場所（日本脳神経外科学会） 呼吸器外科専門研修連携施設（呼吸器外科専門医合同委員会） 日本呼吸器学会認定施設（日本呼吸器学会） 日本整形外科学会認定医制度研修施設（日本整形外科学会） 日本整形外科学会専門医制度研修施設（日本整形外科学会） 日本眼科学会専門医制度研修施設（日本眼科学会） 日本皮膚科学会認定専門医研修施設（日本皮膚科学会） 日本泌尿器科専門医教育施設（日本泌尿器科学会）

日本放射線科専門医修練協力機関（日本医学放射線学会）
マンモグラフィ検診施設画像認定（マンモグラフィ検診制度管理中央委員会）
被ばく線量低減推進施設認定証（全国循環器撮影研究会）
日本医療薬学会認定薬剤師制度研修施設（日本医療薬学会）
日本がん治療認定医機構認定研修施設（日本がん治療認定医機構）
薬学生実務実習受入施設（薬学教育協議会）
日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設（日本超音波医学会）
ゼンセン同盟指定日帰り人間ドック実施病院（全日本病院協会）
健康保険組合連合会指定日帰り人間ドック実施病院（全日本病院協会）
日本優良人間ドック施設（日本病院会）
日本手外科学会研修施設（日本手外科学会）
CVIT 研修関連施設（日本心血管インターベンション治療学会）
病院総合医　育成プログラム認定施設（日本病院会）

14.施 設 基 準　【基本診療料】

一般病棟入院基本料／救急医療管理加算／臨床研修病院入院診療加算（1 基幹型)／診療録管理体制加算 1 ／医師事務作業補助体制加算 1　25 対 1 ／急性期看護補助体制加算 25 対 1 ／夜間 50 対 1　急性期看護補助体制加算／看護補助体制充実加算／看護職員夜間配置加算　16 対 1 ／療養環境加算／重症者等療養環境特別加算／無菌治療室管理加算 2 ／栄養サポートチーム加算／地域加算 3 ／医療安全対策加算 1 ／医療安全対策地域連携加算 1 ／感染対策向上加算 1 ／感染対策向上加算 1　指導強化加算／患者サポート体制充実加算／報告書管理体制加算／褥瘡ハイリスク患者ケア加算／ハイリスク妊娠管理加算／後発医薬品使用体制加算 1 ／病棟薬剤業務実施加算 1 ／病棟薬剤業務実施加算 1（小児入院医療管理料含む)病棟薬剤業務実施加算 2 ／データ提出加算 2　イ／入退院支援加算 1 ／入院時支援加算／総合機能評価加算／地域連携診療計画加算／認知症ケア加算 3 ／せん妄ハイリスク患者ケア加算／精神疾患診療体制加算／地域医療体制確保加算／ハイケアユニット入院医療管理料 1 ／早期離床・リハビリテーション加算／早期栄養介入管理加算／小児入院医療管理料 5 ／短期滞在手術等基本料 1 ／看護職員処遇改善評価料 61

【特掲診療料】

遠隔モニタリング加算（ペースメーカー指導管理料）／糖尿病合併症管理料／がん性疼痛緩和指導管理料／がん患者指導管理料イ／がん患者指導管理料ロ／がん患者指導管理料ハ／小児運動器疾患指導管理料／婦人科特定疾患治療管理料／二次性骨折予防継続管理料１／二次性骨折予防継続管理料３／下肢創傷処置管理料／院内トリアージ実施料／夜間休日救急搬送医学管理料／外来腫瘍化学療法診療料１／連携充実加算（外来腫瘍化学療法診療料）／ニコチン依存症管理料／開放型病院共同指導料／がん治療連携計画策定料／薬剤管理指導料／地域連携診療計画加算／医療機器安全管理料１／在宅療養後方支援病院／遺伝学的検査／ BRCA1 ／２遺伝子検査（卵巣癌　血液・腫瘍細胞）／HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）／検体検査管理加算（Ⅰ）／検体検査管理加算（Ⅳ）／時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト／ヘッドアップティルト試験／小児食物アレルギー負荷検査／画像診断管理加算２／ CT 撮影及びＭＲＩ撮影／冠動脈 CT 撮影加算／心臓 MRI 撮影加算／抗悪性腫瘍剤処方管理加算／外来化学療法加算１／無菌製剤処理料／心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）／脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）／運動器リハビリテーション料（Ⅰ）／呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）／がん患者リハビリテーション料／静脈圧迫処置（慢性静脈不全に対するもの）／人工腎臓１／導入期加算１／透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算／下肢末梢動脈疾患指導管理加算／椎間板内酵素注入療法／緑内障手術（流出路再建術（眼内法）及び（水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）／緑内障手術（濾過胞再建術（needle 法））／乳腺悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算１又は乳がんセンチネルリンパ節加算２を算定する場合に限る。）／食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）及び腟腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）／経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）／ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術／大動脈バルーンパンピング法（IABP 法）／腹腔鏡下リンパ節群郭清術（側方）／腹腔鏡下膵腫瘍摘出術及び腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術／早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術／膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術（経尿道）／胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）／人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算／胃瘻造設時嚥下機能評価加算／病理診断管理加算１／悪性腫瘍病理組織標本加算／入院時食事療養・入院時生活療養（Ⅰ）

3. 病院組織

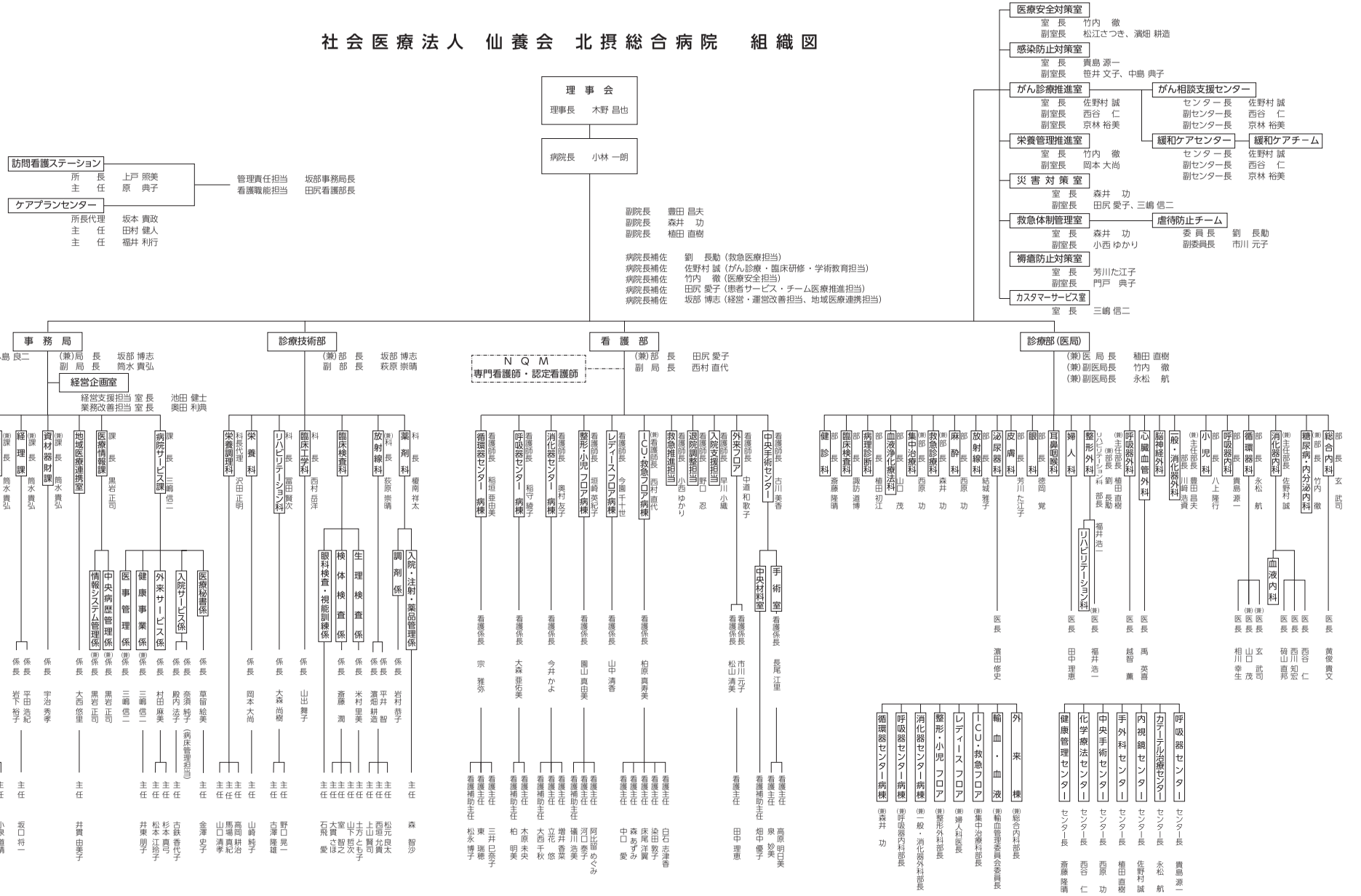
2022年4月1日 現在

理事・監事	理事長	木野昌也
	理事	芳川た江子
	理事	松尾浩
	理事	小林一朗
	理事	木野圭一朗
	理事	斎藤隆晴
	理事	辻節子
	監事	勝山武彦
	監事	小糸仁史

病院管理責任者	理事長	木野昌也
	病院長	小林一朗
	副院長	豊田昌夫
	副院長	森井功
	副院長	植田直樹
	病院長補佐　救急医療担当	劉長勘
	病院長補佐　がん診療・臨床研修・学術教育担当	佐野村誠
	病院長補佐　医療安全担当	竹内徹
	病院長補佐　患者サービス・チーム医療推進担当	田尻愛子
	病院長補佐　経営・運営改善担当、地域医療連携担当	坂部博志

令和4年4月1日 現在

社会医療法人　仙養会　北摂総合病院　組織図



社会医療法人 仙養会　北摂総合病院　会議・委員会　一覧

2022年4月1日現在

	会議・委員会名	目　　的	定期開催日時	構　　成　　◎は議長　○司会
0	社員総会・理事会	毎事業年度の計画、収支予算・決算、他重要事項の決定及び変更	年2回（3・6月）及び、臨時開催	理事、社員
1	病院運営企画会議	医業運営全般に関する企画提案会議	随時	理事長、病院長、副院長、看護部長、事務局長、副事務局長　事務局：誉田課長
2	経営幹部会	医業運営全般に関する最高意思決定会議	毎週木曜　8:00～8:25	理事長、◎ 病院長、芳川理事、副院長、病院長補佐、看護副部長、診療技術副部長、副事務局長、経営企画室長　人事課長、または病院長が指名した者
3	診療部医長会	診療施策に関する運営・連絡・検討、意思決定・実行運営会議	毎週火曜　8:00～8:25	理事長、◎病院長、副院長、各診療科部長又は医長、看護部長、事務局長、副事務局長、経営企画室長
4	朝会	病院運営上の諸問題（患者の権利・臨床および職業倫理などを含む）の連絡・共有・検討と日常的意思決定会議	毎週月･金曜　8:00～8:25	理事長、◎病院長、医局長、副医局長、看護部長、看護師長・科長・課長、もしくは各部署代表者
5	プラス会	病院運営上に関する問題などの連絡・共有会議	毎月第3土曜　15:00～16:00	理事長、病院長、医局長、看護部・診療技術部・事務局の役職者全員　○事務局：濵田係長
6	地域医療支援病院運営委員会	地域医療支援病院としての適切な運営の確保・評価	4･7･10･1月第2木曜　14:00～15:00	委員長：高槻市医師会 中島立博　事務局：池田室長
7	臨床研修管理委員会	医師卒後臨床研修の統括管理	7･11･3月第4木曜　14:00～15:00	委員長：佐野村病院長補佐
8	医療安全管理委員会	医療安全管理対策の実行	毎月第2金曜　8:00～8:25	委員長：竹内病院長補佐
9	院内感染対策委員会	院内感染対策の実行	毎月第3火曜　8:00～8:25	委員長：貴島呼吸器内科部長、副委員長：笹井看護師長
10	病院情報管理運営委員会	病院情報システムを含む全ての情報の保管・運営・管理と活用促進	毎月第2火曜　16:00～17:00	委員長：山口血液浄化療法科部長、副委員長：黒岩課長　事務局：黒岩課長
11	診療録管理（監査）委員会	診療記録内容の適切性の監査	毎月第3月曜　16:00～17:00	委員長：諏訪臨床検査科部長、副委員長：奥村看護師長　事務局：黒岩課長
12	個人情報検討委員会	個人情報に関する計画・立案・指示・監査	随時	委員長：小林病院長
13	クリニカル・パス運営委員会	クリニカル・パス法の研究開発と導入・普及	毎月1回	委員長：福井リハビリテーション科部長、副委員長：山中看護係長
14	院内学会運営委員会	院内学会の運営・実行を、計画・支援・実施	2ヶ月に1回	委員長：植田副院長　事務局：大森係長
15	治験審査委員会	治験の可否審査	毎月第2火曜　16:00～17:00	委員長：芳川皮膚科部長、外部有識者２名
16	薬事審議会	院内採用薬の採否判定	毎月第3月曜　17:00～18:00	委員長：佐野村病院長補佐、副委員長：榎南科長
17	臨床検査管理運営委員会	臨床検査の適切な施行管理	月1回	委員長：諏訪臨床検査科部長
18	病床・ICU 運営管理委員会	病床の効率的利用推進及び ICU 運営上の諸問題の検討・評価	毎月第1火曜　8:00～8:25	委員長：小林病院長　事務局：奈須係長
19	救急委員会	救急診療の適切性評価及び運営上の諸問題の検討	毎月1回以上	委員長：森井副院長、副委員長：劉病院長補佐・小西看護師長　事務局：松井病院サービス課係員
20	中央手術センター運営会議	手術室の安全で効率的な運営推進	毎月1回	委員長：西原中央手術センター長、副委員長：古川看護師長
21	輸血管理委員会	輸血治療の安全性確保と輸血副作用報告の検討	年2回以上	委員長：西原麻酔科部長、副委員長：川﨑一般・消化器外科部長
22	栄養委員会	患者給食における栄養管理の円滑化、NST 活動の検討・推進・評価	年2回以上	委員長：竹内病院長補佐、副委員長：岡本係長
23	褥瘡対策委員会（チーム）	褥瘡の管理及び予防対策	月1回以上	委員長：芳川皮膚科部長、副委員長：門戸看護主任
24	倫理委員会	臨床研究・臨床倫理・職業倫理及び人権に係わる事案の検討及び承認	年1回以上	委員長：森井副院長
25	労働安全衛生委員会	職員の健康保持及び労働災害等の防止	毎月1回	委員長：豊田副院長、副委員長：富田科長　事務局：井澤主任・桝田総務課係員
26	医療ガス安全管理委員会	医療ガス設備の安全管理	年2回以上	委員長：西原麻酔科部長　事務局：濵田係長・藤中主任
27	放射線防護安全管理対策委員会	放射線障害防止及び公共の安全の確保	毎月1回	委員長：結城放射線科部長、副委員長：萩原副部長
28	診療材料委員会	診療材料の標準化及び効率的な利用	毎月1回	委員長：森井副院長、副委員長：劉病院長補佐　事務局：吉本資材係員
29	職員教育研修委員会	全職員を対象とした教育研修計画の立案・実施・評価	毎月1回	委員長：植田副院長、副委員長：田尻・坂部病院長補佐　事務局：中島主任・上松人事課係員
30	接遇委員会	全職員を対象とした接遇の QOL	年2回以上	委員長：田尻病院長補佐　事務局：村田係長
31	広報検討会	広報活動の評価	年2回以上	委員長：坂部病院長補佐
32	診療報酬適正化委員会	診療報酬請求の適切性の確保と維持	毎月第4火曜　8:00～8:25	委員長：森井副院長、副委員長：豊田副院長　事務局：黒岩課長
33	地域医療従事者等研修委員会	地域の医療従事者等に対する研修会等の企画及び年間プログラムの作成・評価	年3回以上	委員長：植田副院長、副委員長：田尻・坂部病院長補佐　事務局：池田室長
34	がん治療・化学療法委員会	がん化学療法と集学的がん治療の促進・質向上	毎月第4金曜　16:30～17:30	委員長：佐野村病院長補佐、副委員長：京林係長・増井主任　事務局：草留係長
35	緩和ケア委員会（チーム）	緩和ケアの専門的評価と提供	週1回程度	委員長：佐野村病院長補佐、副委員長：京林係長・増井主任　事務局：草留係長
36	勤務医負担軽減・処遇改善委員会	勤務医の負担軽減及び処遇改善に関わる計画を検討・策定・評価	年2回以上	委員長：小林病院長　事務局：草留係長
37	カテーテル治療センター運営委員会	カテーテルセンター運営上の諸問題の検討・評価	毎月1回	委員長：永松循環器科部長　事務局：西村科長
38	レジメン管理委員会	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会	毎月1回	委員長：佐野村病院長補佐、副委員長：京林看護係長　事務局：草留係長
39	透析機器安全管理委員会	血液浄化室の運営及び関連装置に関する安全管理	毎月1回　水曜	委員長：山口血液浄化療法科部長　事務局：西村科長
40	院内メディカルコントロール委員会	救急救命士の業務や救急処置の検討と評価を行い質の保証	毎月1回	委員長：森井副院長、副委員長：小西看護師長　事務局：松井病院サービス課係員
41	患者サポート委員会	多職種の連携による患者サービスと支援の向上	毎月第３火曜	委員長：竹内病院長補佐、副委員長：田尻・坂部病院長補佐

社会医療法人 仙養会　北摂総合病院　委員会メンバー　一覧

2022年4月1日現在

部署	委員長及び副委員長	看護部	中央手術センター	外来フロア	ICU・救急フロア	レディースフロア	整形・小児フロア	消化器センター	呼吸器センター	循環器センター	看護補助	診療技術部	薬剤科	放射線科	臨床検査科	臨床工学科	リハビリ	栄養科栄養調理	事務局	病院サービス課	経営企画医療情報	地域医療連携室	資材・経理総務課	人事課保育所	訪問看護ケアプラン	診療部
地域医療支援病院運営委員会	長：高槻市医師会 中島 立博	田尻																	坂部	★池田		坂口			小林病院長、森井副院長
		外部委員：高槻市保健所　森定 一稔、高槻警察署　福井 克典、高槻市消防署　向井 隆之、高槻市歯科医師会　美濃 律、高槻市薬剤師会　松尾 浩、茨木市保健所　谷掛 千里、茨木市医師会　中島 周三、茨木市消防本部　中村 仁、摂津市医師会　馬場 義親																						
臨床研修管理委員会	長：佐野村病院長補佐	田尻										坂部・萩原							坂部							小林病院長、副院長
		外部委員：新阿武山病院　院長　岡村 武彦、郷クリニック　院長　郷 栄植、高槻市医師会看護専門学校　副校長　辻 節子、高野 正子、大阪医科薬科大 小児科学教室　教授　芦田 明、大阪医科薬科大 産婦人科学教室　講師（准）佐々木 浩																						玄部長
医療安全管理委員会	長：竹内病院長補佐 副：松江看護師長	田尻 松江	古川	中道	西村	今園	垣崎	奥村	稲守	稲垣		坂部 萩原	榎南	濱畑	齊藤	西村	冨田		坂部 筒水	三鳩	池田 奥田			天野		小林病院長、植田副院長 （顧問）斎藤部長
院内感染対策委員会	長：貴島部長 副：笹井看護師長	田尻	古川	中道	西村	今園	垣崎	奥村	稲守	稲垣		坂部 萩原	榎南		齊藤				坂部							小林病院長、診療部長、越智医長
病院情報管理運営委員会	長：結城部長 副：黒岩課長	小西 松江											榎南	濱畑	米村 齊藤	西村	大森	山﨑 狩野		久保田	★黒岩					永松部長
診療録管理（監査）委員会	長：諏訪部長 副：奥村看護師長				柏原			奥村	稲守				榎南							尾川	★黒岩 中尾					永松部長
個人情報検討委員会	長：小林病院長	田尻																	坂部		黒岩					森井副院長、植田副院長 劉病院長補佐、佐野村病院長補佐
クリニカルパス運営委員会	長：福井部長 副：山中看護係長		碓井	山下	濵畑	藪田	安藤	松村	宗澤	清川			柚友 上江洲	西川	石井	山出	遠近 山倉	狩野 山本		清水	黒岩	井貫				川崎部長
院内学会運営委員会	長：植田副院長	早川														河野	★大森				黒岩			上松		永松部長
治験審査委員会	長：芳川部長	田尻											榎南		齊藤				坂部	三鳩,村田			平田			碕山医長
		外部委員：高野 正子																								
薬事審議会	長：佐野村病院長補佐 副：榎南科長	田尻										坂部 萩原	榎南						坂部				宇治			小林病院長、植田副院長 竹内病院長補佐、山口部長、貴島部長
臨床検査管理運営委員会	長：諏訪部長	笹井		中道		今園									米村 齊藤					橋本						
病床・ICU 運営管理委員会	長：小林病院長	田尻		中道	西村	今園	垣崎	奥村	稲守	稲垣										殿内 ★奈須						副院長、診療部部長
救急委員会	長：森井副院長 副：劉病院長補佐、小西看護師長		松永 田中	森本	迫	千原	坂井	大磯 横野	有田	篠原真			榎南 松谷	谷尾	林	山出	古澤 小栗山			★松井		岩渕	小泉			
中央手術センター運営会議	長：西原部長 副：古川看護師長		長尾								畑中					三浦										外科・整形・泌尿器・婦人 呼吸器外科・眼科　各部医長
輸血管理委員会	長：西原部長 副：川崎部長		古川	西村	大倉	奥成	垣崎	下園	稲守	宗			洪 大坂		米村 大嶌,池田					岸野						山口部長
栄養委員会	長：竹内病院長補佐 副：岡本係長			東	下垣内	佐藤	高井	芦田	藤原	篠田			森,廣中 大坂		坂本良		冨田 小栗山	馬場 高岡		上山		井町				川崎部長
褥瘡対策委員会(チーム)	長：芳川部長 副：門戸看護主任		今井 福島	守谷	大塚	佐藤	高井	袖長	西岡	藤原	大西		森・洪 大坂				良田 遠近	岡本 村上			中尾	高谷				
倫理委員会	長：森井副院長	田尻										坂部 萩原							坂部 筒水							副院長、病院長補佐、芳川部長
労働安全衛生委員会	長：豊田副院長 副：冨田科長	笹井		田中				奥村				坂部 萩原	榎南	西垣			冨田	沢田 岡本	坂部	杉本			宇治、平田 ★桝田	誉田 ★井澤		産業医：黄俊医長
医療ガス安全管理委員会	長：西原部長		古川										森			西村							★濵田、 藤中			越智医長
放射線防護安全管理 対策委員会	長：結城部長 副：萩原副部長	小西		中道																						
診療材料委員会	長：森井副院長 副：劉病院長補佐	西村	古川	中道										上山	在間	西村		岡本		古鉄			★吉本			小林病院長 永松部長
職員教育研修委員会	長：植田副院長 副：田尻病院長補佐・坂部病院長補佐	野口															古澤			三鳩	奥田			誉田 ★中島,上松		永松部長
接遇委員会	長：田尻病院長補佐		長尾	大西	青山	山瀬	成瀬	松村	松島	藤本			室本	渡辺	坂本律	伊丹	千原	村上・山本 馬場		三鳩 ★村田		上田	桝田	小川		植田副院長 竹内病院長補佐、永松部長
広報検討会	長：坂部病院長補佐	田尻										坂部 萩原							坂部 筒水		池田,奥田 黒岩	大西	宇治	天野	坂本	病院長、副院長、病院長補佐
診療報酬適正化委員会	長：森井副院長 副：豊田副院長	小西										坂部 萩原	榎南							殿内 村田	★黒岩 中尾					副院長、診療部部医長
地域医療従事者等研修委員会	長：植田副院長 副：田尻病院長補佐・坂部病院長補佐	野口											榎南	濵畑	土方		古澤	狩野		井東	★池田 奥田	井貫				永松部長
がん治療・化学療法委員会	長：佐野村病院長補佐 副：京林看護係長、増井看護主任			山下	臼山	池田	北平	菅 後藤	三好	宗			榎南 松谷				野口 毛利	岡本 山崎		★草留		大西				西谷医長
緩和ケア委員会（チーム）	長：佐野村病院長補佐 副：京林看護係長、増井看護主任			山下	臼山	池田	北平	菅 後藤	三好	宗			榎南 松谷				野口 毛利	岡本 山崎		★草留		大西				西谷医長
勤務医等負担軽減・処遇改善 委員会	長：小林病院長	田尻										坂部・萩原	榎南		齊藤		冨田		坂部	三鳩 ★草留	奥田			誉田		植田副院長、竹内病院長補佐、永松部長
カテーテル治療センター 運営委員会	長：永松部長				西村					篠原真				西垣	室	★西村 山出										森井副院長
レジメン管理委員会	長：佐野村病院長補佐 副：京林看護係長			山下	臼山	池田	北平	菅 後藤	三好	宗			榎南 松谷				野口 毛利	岡本 山崎		★草留		大西				貴島部長、西谷医長 田中医長、濵田医長
透析機器安全管理委員会	長：山口部長			中道												★西村 久保										
院内メディカルコントロール委員会	長：森井副院長 副：小西看護師長	松江 藤井			西村 床尾															★松井						竹内病院長補佐
患者サポート委員会	長：竹内病院長補佐 副：田尻病院長補佐・坂部病院長補佐	早川・野口 小西			西村								岩村			西村	冨田	岡本		村田		大西			上戸 坂本	

医療安全対策室・感染防止対策室・がん診療推進室・災害対策室・児童虐待防止チーム　メンバー 一覧

部署	室長又は副	看護部	中央手術センター	外来フロア	ICU・救急フロア	レディースフロア	整形・小児フロア	消化器センター	呼吸器センター	循環器センター	看護補助	診療技術部	薬剤科	放射線科	臨床検査科	臨床工学室	リハビリ	栄養科栄養調理	事務局	病院サービス課	経営企画医療情報	地域医療連携室	資材・経理総務課	人事課保育所	訪問看護ケアプラン	診療部
医療安全対策室 リスクマネージャー	長：竹内医療安全対策室長 副：松江看護師長・濵畑係長		泉	松山	柏原 白石	山中	園山	今井	木戸	宗	礒川		榎南		室	西村 釜我	良田 千原	山崎 山口		青野			吉本			禹医長
報告書確認対策チーム	西村報告書確認管理者	松江												濵畑	室					岡本	黒岩					竹内室長・結城部長・植田部長（病理）
感染防止対策室 （ICT／AST）	長：貴島感染防止対策室長 副：笹井看護師長・中島看護師長										（松永）		高田 （笹友,大坂）		大貫 （小野原）											越智医長
ICM委員会	長：笹井看護師長	笹井	山田	市川	新井 河村	武本	阿比留	北園 藤原	三宅	藤原	松永		室木 上江洲	阪元	在間 小野原	首藤	山倉	山本 高岡・得居		松本			吉本			
がん診療推進室	長：佐野村がん推進室長 副：西谷医長、京林係長			小川									榎南							草留		大西				
災害対策室	長：森井副院長 副：田尻病院長補佐・三鳩課長	小西													松元		西村				黒岩		★濵田 藤中	天野		
虐待防止チーム	長：劉病院長補佐 副：市川係長	小西 野口	松永 田中	森本	迫	千原	坂井	大磯 横野	有田	篠原真			廣中 松谷	阪元	室	山出	古澤 小栗山			★井東		岩渕				

※各委員の役職は、省略しています。　★…事務局

4. 医療体制

2022年4月1日 現在

理事長	木野昌也	
病院長	小林一朗	
副院長	植田直樹	（診療部管理担当、職員教育・研修担当）
副院長	森井　功	（救急・災害医療体制管理担当、内科系診療管理担当）
副院長	豊田昌夫	（労働安全衛生管理担当、外科系診療管理担当）
病院長補佐	劉　長勘	（救急医療担当）
病院長補佐	佐野村　誠	（がん診療・臨床研修担当、医師会担当）
病院長補佐	竹内　徹	（医療安全管理担当）
病院長補佐	田尻愛子	（患者サービス・チーム医療推進担当）
病院長補佐	坂部博志	（経営・運営改善担当、地域医療連携担当）
総合内科	部長　玄　武司	（循環器科医長）
	医長　黄俊貴文	
	非常勤　西村　綾	（循環器科）
糖尿病・内分泌内科		
	部長　竹内　徹	（病院長補佐、医療安全管理担当）
消化器内科	主任部長　佐野村　誠	（病院長補佐、がん診療・臨床研修担当、医師会担当、内視鏡センター長）
	医長　西谷　仁	（化学療法センター長）
	医長　碕山直邦	
	医長　西川知宏	
	医員　坂口奈々子	
	医員　冨永真央	
	医員　内海麻衣	
	医員　辻　沙也佳	
	非常勤　多田秀樹	
	非常勤　佐々木有一	
	非常勤　後藤昌弘	
	非常勤　福西新弥	
	非常勤　朝井　章	
	非常勤　西岡　伸	
	非常勤　松井將太	
血液内科	非常勤　岡崎俊朗	
	非常勤　長谷川　稔	
	非常勤　越智陽太郎	

腎臓内科	非常勤	中　嶋　章　貴
循環器科		木　野　昌　也（理事長）
	部　長	永　松　　航（カテーテル治療センター長）
		森　井　　功（副院長・救急診療科部長）
	医　長	玄　　武　司（総合内科部長）
	医　長	山　口　　茂（血液浄化療法科部長）
	医　長	相　川　幸　生
	医　員	諏　訪　道　博（臨床検査科部長）
	医　員	斎　藤　隆　晴（健診科部長）
	医　員	野　原　悠　貴
	医　員	津　田　浩　佑
	医　員	藤　田　正　紘
	非常勤	西　村　　綾（総合内科）
呼吸器内科	部　長	貴　島　源　一（呼吸器センター長）
	非常勤	田　村　洋　輔
	非常勤	鶴　岡　健二郎
	非常勤	辻　　博　行
	非常勤	船　本　智　哉
	非常勤	亀　井　郁　恵
精神科	非常勤	豊　田　勝　孝
	非常勤	今　津　伸　一
	非常勤	辻　　明　里
神経内科	非常勤	石　田　志　門
	非常勤	澤　井　大　樹
小児科	部　長	八　上　隆　行
	医　員	水　谷　　翠
	非常勤	清　水　達　雄
	非常勤	黒　柳　裕　一
一般・消化器外科	主任部長	豊　田　昌　夫（副院長）
	部　長	川　﨑　浩　資
	医　員	鈴　木　重　徳
	医　員	西　内　善　彦
	医　員	島　津　和　晃
	非常勤	河　合　俊　哉

乳腺外科	非常勤	碇　　絢　菜	
	非常勤	高　井　早　紀	
脳神経外科	非常勤	梶　本　宜　永	
	非常勤	梶　本　佐知子	
	非常勤	野々口　直　助	
	非常勤	古　瀬　元　雅	
心臓血管外科	医　長	禹　　英　喜	
	顧　問	勝間田　敬　弘	
	非常勤	森　本　大　成	
	非常勤	鈴　木　昌　代	
	非常勤	前　田　和　人	
呼吸器外科	医　長	越　智　　薫	
	非常勤	佐　藤　　澄	
整形外科	主任部長	植　田　直　樹	（副院長・手外科センター長）
	部　長	劉　　長　勘	（病院長補佐・救急医療担当）
	医　長	福　井　浩　一	（リハビリテーション科部長）
	医　員	池　田　邦　明	
	医　員	杉　島　慎太郎	
	医　員	神　谷　一　成	
	非常勤	中　野　敦　之	
	非常勤	廣　藤　真　司	
	非常勤	藤　野　圭太郎	
	非常勤	木　野　圭一朗	
	非常勤	平　井　宏　典	
	非常勤	安　田　果　歩	
リハビリテーション科			
	部　長	福　井　浩　一	（整形外科医長）
婦人科	医　長	田　中　理　恵	
	非常勤	田　中　良　道	
	非常勤	橋　田　宗　祐	
耳鼻咽喉科	非常勤	乾　　崇　樹	
	非常勤	稲　中　優　子	
	非常勤	武　本　憲　彦	

	非常勤	綾　仁　悠　介	
	非常勤	須　藤　智　之	
	非常勤	西　村　尋　眸	
眼科	部　長	徳　岡　　覚	
	医　員	丸　山　会　里	
	医　員	延　藤　綾　香	
皮膚科	部　長	芳　川　た江子	
	非常勤	多　田　真知花	
泌尿器科	医　長	濵　田　修　史	
	医　員	長　井　大　輔	
	非常勤	東　　治　人	
放射線科	部　長	結　城　雅　子	
	医　員	杉　本　亜沙美	
	非常勤	田　中　康　敬	
	非常勤	土　井　健　司	
	非常勤	新　保　大　樹	
	非常勤	堀　　章　裕	
麻酔科	部　長	西　原　　功	（集中治療科部長、中央手術センター長）
	医　員	高　山　愛　陽	
	非常勤	辰　巳　真　一	
	非常勤	駒　澤　伸　泰	
	非常勤	中　野　祥　子	
	非常勤	藤　澤　貴　信	
	非常勤	進　藤　真美子	
救急診療科	部　長	森　井　　功	（副院長）
集中治療科	部　長	西　原　　功	（麻酔科部長、中央手術センター長）
血液浄化療法科	部　長	山　口　　茂	（循環器科医長）
病理診断科	部　長	植　田　初　江	
	非常勤	松　本　　学	
	非常勤	服　部　公　亮	
	非常勤	雨　宮　　妃	

臨床検査科	部　長	諏　訪　道　博（循環器科）
健診科	部　長	斎　藤　隆　晴（健康管理センター長、循環器科）
臨床研修	研修医	水　野　律　子
	研修医	森　田　琢　郎
	研修医	疋　田　千　晶
	研修医	星　山　大　成

令和5年7月 現在

登録医名簿

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
高槻市	西　原　賢太郎	（医）共生会　アールクリニック	高槻市辻子
高槻市	藤　原　俊　介	（医）俊優会 ふじわら診療所	高槻市栄町
高槻市	中　村　信　之	（医）整形外科なかむらクリニック	高槻市郡家本町
高槻市	田　中　基　晴	（医）晴聖会　天神田中内科クリニック	高槻市芥川町
高槻市	稲　田　泰　之	（医）悠仁会　稲田クリニック	高槻市城北町
高槻市	稲　田　礼　子	（医）悠仁会　稲田クリニック	高槻市城北町
高槻市	徳　嶋　良　輔	T内科クリニック 高槻院	高槻市宮野町
高槻市	天　野　忠　温	あまの小児科	高槻市日吉台
高槻市	池　田　昌　人	いけだ内科・呼吸器内科	高槻市古曽部町
高槻市	稲　田　　陽	いなだ訪問クリニック	高槻市中川町
高槻市	稲　本　　潤	いなもとこどもクリニック	高槻市富田町
高槻市	今　中　政　支	いまなか耳鼻咽喉科	高槻市春日町
高槻市	扇　谷　大　輔	おおぎたに内科・胃腸内科	高槻市宮田町
高槻市	大　隈　正　純	おおくま医院	高槻市天神町
高槻市	岡　﨑　英　明	おかざき内科クリニック	高槻市芝生町
高槻市	田　辺　敏　明	おかだクリニック	高槻市東和町
高槻市	岡　田　　聡	おかだ歯科クリニック	高槻市東和町
高槻市	陵　本　清　剛	おかもと整形外科	高槻市奈佐原
高槻市	荻　原　博　美	おぎはらこども医院	高槻市川添
高槻市	糟　谷　彰　宏	かすや整形外科・骨粗しょう症クリニック	高槻市西冠
高槻市	鈴　木　俊　明	かねはらクリニック	高槻市城北町
高槻市	川　崎　佳　巳	かわさき眼科クリニック	高槻市宮田町
高槻市	河　本　浩　二	かわもとこどもクリニック	高槻市登町
高槻市	紀　　貴　之	きい内科クリニック	高槻市城北町
高槻市	北　浦　俊　哉	きたうら整形外科	高槻市庄所町
高槻市	鋭　　啓　司	くろがね内科循環器科	高槻市城北町
高槻市	齋　藤　総一郎	さいとう眼科	高槻市富田町
高槻市	齊　藤　　純	さいとう内科クリニック	高槻市西冠
高槻市	佐久間　　勲	さくま歯科クリニック	高槻市富田町
高槻市	佐々木　智　康	ささき医院	高槻市岡本町
高槻市	清　水　義　臣	しみず内科クリニック	高槻市桜ヶ丘北町
高槻市	下　江　文　子	しもえ皮フ科クリニック	高槻市奈佐原
高槻市	下　村　裕　章	しもむら内科クリニック	高槻市藤の里町
高槻市	白　神　哲　也	しらかみ歯科医院	高槻市西町
高槻市	井　元　恵津子	しらかわ・いもとクリニック	高槻市西冠
高槻市	杉　本　啓　司	すぎもと整形外科・麻酔科	高槻市城南町
高槻市	杉　　和　憲	すぎ胃腸内科クリニック	高槻市北園町
高槻市	大　東　淳　子	だいとう皮フ科クリニック	高槻市西冠
高槻市	髙　田　　潤	たかだクリニック	高槻市富田丘町

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
高槻市	田　村　雅　一	たむらクリニック	高槻市桜ヶ丘南町
高槻市	千　葉　恭　士	ちばクリニック	高槻市宮野町
高槻市	辻　　宏　明	つじ・クリニック	高槻市辻子
高槻市	野　原　裕　貴	つむぎの森ホームクリニック	高槻市庄所町
高槻市	富　田　誠　司	とみた整形外科クリニック	高槻市白梅町
高槻市	鳥　居　芳太郎	とりい内科クリニック	高槻市大蔵司
高槻市	中　嶋　　洋	なかじま整形外科	高槻市富田町
高槻市	中　嶋　哲　史	なかじま整形外科	高槻市富田町
高槻市	中　西　一　吉	なかにし産婦人科クリニック	高槻市芝生町
高槻市	成　清　道　博	なりきよ医院	高槻市富田町
高槻市	西　垣　昌　人	にしがき眼科	高槻市芥川町
高槻市	布　谷　健太郎	ぬのたに眼科	高槻市氷室町
高槻市	服　部　登志夫	はっとり内科・皮フ科	高槻市庄所町
高槻市	西　川　佳　枝	パナソニックライティングデバイス株式会社　高槻健康管理室	高槻市幸町
高槻市	林　　麻衣子	はやし眼科クリニック	高槻市栄町
高槻市	人　見　克　司	ひとみクリニック	高槻市柱本
高槻市	人　見　宣　江	ひとみクリニック	高槻市柱本
高槻市	人　羅　俊　貴	ひとら内科クリニック	高槻市西冠
高槻市	福　永　崇　樹	ふくなが眼科	高槻市大畑町
高槻市	藤　田　日出雄	フジタ医院	高槻市昭和台町
高槻市	堀　内　裕　子	ほくせつデンタルクリニック	高槻市富田町
高槻市	堀　内　信　子	ほくせつデンタルクリニック	高槻市富田町
高槻市	緒　方　敏　子	マーガレット出張助産院	高槻市大畑町
高槻市	松　井　広　登	まつい血管内科・静脈瘤クリニック	高槻市芥川
高槻市	松　下　弘　二	まつしたクリニック	高槻市城西町
高槻市	真　野　利　之	まの・すぎのここどもクリニック	高槻市氷室町
高槻市	大　尾　充　剛	みつたけこころのクリニック	高槻市古曽部町
高槻市	宗　光　俊　博	むねみつホームメディカルクリニック	高槻市野見町
高槻市	森　　毅	もりクリニック	高槻市大手町
高槻市	森　田　　勇	もりた内科・胃腸内科	高槻市川添
高槻市	森　　京　子	もり耳鼻咽喉科クリニック	高槻市城北町
高槻市	保　田　　浩	やすだクリニック	高槻市神内
高槻市	山　口　研一郎	やまぐちクリニック	高槻市富田丘町
高槻市	山　野　　剛	やまの内科・胃腸内科クリニック	高槻市庄所町
高槻市	吉　川　剛　司	よしかわ皮フ科	高槻市川添
高槻市	梁　　壽　男	りょうクリニック	高槻市川添
高槻市	岡　本　良　三	阿武山こどもクリニック	高槻市奈佐原
高槻市	小　西　和　孝	阿武山こどもクリニック	高槻市奈佐原
高槻市	阿　部　邦　美	阿部整形外科内科	高槻市郡家新町

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
高槻市	阿　部　奈々美	阿部整形外科内科	高槻市郡家新町
高槻市	伊　藤　　祐	伊藤診療所	高槻市寿町
高槻市	合　田　公　志	医療法人合仁堂 ごうだ内科	高槻市大畑町
高槻市	藤　林　稔　和	医療法人至誠会 藤林クリニック	高槻市芥川町
高槻市	井　上　裕　之	井上クリニック	高槻市富田町
高槻市	永　田　明　義	永田医院	高槻市高垣町
高槻市	田　中　　覚	駅前さとるブレストクリニック	高槻市北園町
高槻市	奥　田　　稔	奥田歯科医院	高槻市牧田町
高槻市	奥　田　高　大	奥田歯科医院	高槻市牧田町
高槻市	横　井　英　之	横井整形外科	高槻市上牧南駅前
高槻市	横　山　　永	横山医院	高槻市城北町
高槻市	下　谷　麻里子	下谷内科	高槻市川添
高槻市	花　田　尚　志	花田内科	高槻市天王町
高槻市	芥　川　知　明	芥川きどクリニック	高槻市真上町
高槻市	城　戸　晴　規	芥川きどクリニック	高槻市真上町
高槻市	角　辻　　格	角辻医院	高槻市宮田町
高槻市	丸　山　俊　郎	丸山眼科医院	高槻市登美の里町
高槻市	岸　本　吉　史	岸本歯科医院	高槻市藤の里町
高槻市	岩　瀬　方　人	岩瀬クリニック	高槻市津之江町
高槻市	信　田　みすみ	岩﨑医院	高槻市上田辺町
高槻市	喜　田　　衛	喜田医院	高槻市柱本新町
高槻市	吉　田　卓　也	吉田耳鼻咽喉科	高槻市白梅町
高槻市	吉　田　政　雄	吉田耳鼻咽喉科医院	高槻市天神町
高槻市	島　津　保　生	宮田診療所	高槻市宮田町
高槻市	宮　内　章　光	宮内内科クリニック	高槻市芥川町
高槻市	近　藤　基　之	近藤診療所	高槻市南平台
高槻市	古　賀　　旭	古賀眼科	高槻市天神町
高槻市	後　藤　　栄	後藤レディースクリニック	高槻市白梅町
高槻市	高　橋　　徳	高橋医院	高槻市藤の里町
高槻市	高　松　順　太	高松内科クリニック	高槻市紺屋町
高槻市	山　根　一　眞	高槻ファミリー歯科	高槻市大塚町
高槻市	杉　浦　　希	高槻南仁寿会診療所	高槻市栄町
高槻市	福　井　　潤	高槻福井整形外科・内科クリニック	高槻市大畑町
高槻市	黒　川　浩　史	黒川医院	高槻市日吉台一番町
高槻市	今　津　好　秀	今津診療所	高槻市高槻町
高槻市	坂　谷　則　彰	坂谷クリニック	高槻市津之江町
高槻市	坂　中　　勝	坂中内科クリニック	高槻市奈佐原
高槻市	坂　本　好　治	坂本医院	高槻市紺屋町
高槻市	堺　　正	堺医院	高槻市高槻町

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
高槻市	平　井　　景	三康診療所	高槻市郡家新町
高槻市	三田村　有　二	三田村整形外科	高槻市川添
高槻市	山　賀　　保	山賀歯科クリニック	高槻市赤大路町
高槻市	市　岡　五　道	市岡医院	高槻市古曽部町
高槻市	大　津　彌　平	耳鼻咽喉科　大津医院	高槻市西町
高槻市	宗　光　博　文	宗光診療所	高槻市寺谷町
高槻市	小　西　研　史	小西けんじ皮フ科クリニック	高槻市富田町
高槻市	小　林　春　三	小林診療所	高槻市昭和台町
高槻市	松　井　昭　彦	松井診療所	高槻市氷室町
高槻市	松　尾　源一郎	松尾医院	高槻市大畑町
高槻市	松　尾　俊　介	松尾医院	高槻市大畑町
高槻市	松　本　浩　明	松本ほがらかクリニック	高槻市日吉台七番町
高槻市	上　島　嘉　美	上島内科医院	高槻市上土室
高槻市	安　東　里　真	上島内科医院	高槻市上土室
高槻市	金　原　裕　則	上牧かねはらクリニック	高槻市神内
高槻市	瀬　川　直　樹	上牧かねはらクリニック	高槻市神内
高槻市	平　野　建　二	新阿武山クリニック	高槻市天神町
高槻市	林　　宏　一	新阿武山クリニック	高槻市天神町
高槻市	森　口　暁　仁	森口胃腸科内科クリニック	高槻市深沢町
高槻市	森　田　英次郎	森田内科・胃腸内科	高槻市城南町
高槻市	森　　敏　純	森内科	高槻市城南町
高槻市	清　水　　篤	清水クリニック	高槻市北園町
高槻市	伊　藤　　奏	清水クリニック	高槻市北園町
高槻市	西　　律	西医院	高槻市高槻町
高槻市	櫟　原　新　平	西冠いちはら耳鼻咽喉科皮膚科	高槻市西冠
高槻市	櫟　原　維　華	西冠いちはら耳鼻咽喉科皮膚科	高槻市西冠
高槻市	西　野　弘　志	西野医院	高槻市柳川町
高槻市	西　﨑　一　志	西﨑クリニック	高槻市如是町
高槻市	石　河　清　彦	石河診療所	高槻市上土室
高槻市	竹　内　　望	摂津診療所	高槻市富田町
高槻市	川　口　清　敏	川口医院	高槻市津之江町
高槻市	川　口　哲　史	川口医院	高槻市津之江町
高槻市	川　口　憲　明	川口内科	高槻市寿町
高槻市	川　村　　俊	川村産婦人科医院	高槻市松が丘
高槻市	川　村　　真	川村産婦人科医院	高槻市松が丘
高槻市	丸　山　優　子	川添丸山眼科	高槻市川添
高槻市	丸　山　耕　一	川添丸山眼科	高槻市川添
高槻市	川　部　伸一郎	川部医院	高槻市弥生が丘町
高槻市	荘　野　忠　泰	荘野医院	高槻市郡家新町

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
高槻市	荘　野　美詠子	荘野医院	高槻市郡家新町
高槻市	村　上　詩　郎	村上医院	高槻市野見町
高槻市	村　上　晴　郎	村上医院	高槻市野見町
高槻市	井　上　隆　夫	大関医院	高槻市紺屋町
高槻市	大　関　道　薫	大関医院	高槻市紺屋町
高槻市	大　橋　　一	大橋内科	高槻市宮之川原
高槻市	大　桑　　隆	大桑皮膚科	高槻市北園町
高槻市	大　杉　友　顕	大杉内科	高槻市永楽町
高槻市	大　西　邦　夫	大西歯科医院	高槻市上土室
高槻市	中　山　明　子	中山クリニック	高槻市真上町
高槻市	渡　邊　尚　代	中村耳鼻咽喉科	高槻市富田町
高槻市	中　村　昭　文	中村整形外科	高槻市大蔵司
高槻市	中　谷　祐　子	中谷医院	高槻市登町
高槻市	中　田　知　伸	中田眼科	高槻市栄町
高槻市	中　島　立　博	中島荘野クリニック	高槻市永楽町
高槻市	荘　野　明　希	中島荘野クリニック	高槻市永楽町
高槻市	津久田　康　成	津久田医院	高槻市栄町
高槻市	鄭　　栄　植	鄭クリニック	高槻市北柳川町
高槻市	田　崎　龍之介	田崎医院	高槻市川西町
高槻市	田　中　芳　人	田中歯科クリニック	高槻市紺屋町
高槻市	渡　辺　昭　典	渡辺内科クリニック	高槻市氷室町
高槻市	石　河　二　郎	渡辺婦人科	高槻市南松原町
高槻市	土　居　宗　算	土居整形外科	高槻市高槻町
高槻市	東　山　信　彦	東山産婦人科	高槻市辻子
高槻市	湯　浅　文　雄	湯浅医院	高槻市紺屋町
高槻市	宮　城　健　一	筒井・宮城医院	高槻市本町
高槻市	藤　井　利　武	藤井内科医院	高槻市東上牧
高槻市	藤　村　圭　祐	藤村医院	高槻市春日町
高槻市	藤　村　宣　夫	藤村診療所	高槻市春日町
高槻市	藤　村　　紫	藤村診療所	高槻市春日町
高槻市	藤　本　良　介	藤本クリニック	高槻市高槻町
高槻市	津久田　康　成	西島診療所	高槻市宮田町
高槻市	谷　川　　淳	内科・循環器内科たにがわクリニック	高槻市上土室
高槻市	鍋　島　敏　也	鍋島クリニック	高槻市大冠町
高槻市	楢　原　敬二郎	楢原産婦人科	高槻市春日町
高槻市	角　田　　力	南平台かどたクリニック	高槻市南平台
高槻市	難　波　繁　伸	難波クリニック	高槻市富田町
高槻市	入　野　　健	入野内科	高槻市玉川
高槻市	白　石　将　史	白石クリニック	高槻市芥川町

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
高槻市	白　石　奈々子	白石クリニック	高槻市芥川町
高槻市	白　石　龍　哉	白石整形外科	高槻市藤の里町
高槻市	尾　原　幹　啓	尾原内科医院	高槻市芥川町
高槻市	彦　坂　　寛	彦坂医院	高槻市安岡寺町
高槻市	彦　坂　　誠	彦坂医院	高槻市安岡寺町
高槻市	彦　坂　祐　子	彦坂医院	高槻市安岡寺町
高槻市	辻　　雄一郎	富田つじ耳鼻咽喉科	高槻市大畑町
高槻市	冨　永　正　夫	冨永クリニック	高槻市南平台
高槻市	武　田　維　明	武田消化器内科	高槻市春日町
高槻市	服　部　　智	服部整形外科	高槻市安岡寺町
高槻市	中　川　義　明	福井医院	高槻市大畑町
高槻市	福　森　達　郎	福森医院	高槻市竹の内町
高槻市	福　田　治　彦	福田クリニック	高槻市出丸町
高槻市	福　田　美弥子	福田クリニック	高槻市出丸町
高槻市	福　田　拓　也	福田歯科クリニック	高槻市京口町
高槻市	平　野　敏　行	平野眼科	高槻市北園町
高槻市	米　田　雅　子	北摂皮膚科クリニック	高槻市大畑町
高槻市	松　木　勇　人	北摂皮膚科クリニック	高槻市大畑町
高槻市	北　川　　眞	北川クリニック	高槻市別所新町
高槻市	末　吉　公　三	末吉クリニック	高槻市東五百住町
高槻市	稲　毛　昭　彦	末光・稲毛クリニック	高槻市柳川町
高槻市	稲　毛　　和	末光・稲毛クリニック	高槻市柳川町
高槻市	津　本　　学	木村診療所	高槻市南芥川町
高槻市	門　田　俊　一	門田内科・心療内科クリニック	高槻市富田丘町
高槻市	野　田　友　一	野田皮フ科クリニック	高槻市白梅町
高槻市	矢　野　善　之	矢野歯科医院	高槻市大畑町
高槻市	櫟　原　茂　之	櫟原医院	高槻市川添
高槻市	櫟　原　崇　宏	櫟原医院	高槻市川添
高槻市	澤　田　賢　市	澤田医院	高槻市城北町
三島郡	中小路　隆　裕	なかこうじ内科・循環器内科	三島郡島本町水無瀬
三島郡	難　波　　健	ナンバ眼科医院	三島郡島本町江川
三島郡	藤　吉　健　司	ふじよし医院	三島郡島本町広瀬
三島郡	森　　拓　美	もり整形外科リウマチ科クリニック	三島郡島本町水無瀬
三島郡	加　藤　和　光	加藤産婦人科クリニック	三島郡島本町水無瀬
三島郡	加　藤　壮　介	加藤産婦人科クリニック	三島郡島本町水無瀬
三島郡	高　島　哲　哉	高島クリニック	三島郡島本町山崎
三島郡	山　口　三　男	山口診療所	三島郡島本町水無瀬
三島郡	西　本　　孝	西本医院	三島郡島本町広瀬
三島郡	大　村　正　樹	大村耳鼻咽喉科	三島郡島本町広瀬

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
三島郡	栗　山　隆　信	楠薫堂医院	三島郡島本町青葉
茨木市	伊　藤　嘉　啓	アイルすまいるクリニック	茨木市園田町
茨木市	中　嶋　真一郎	アイルすまいるクリニック	茨木市園田町
茨木市	城　谷　敬　子	いしが城谷クリニック	茨木市大手町
茨木市	城　谷　知　彦	いしが城谷クリニック	茨木市大手町
茨木市	井　上　　隆	いのうえ整形外科	茨木市見付山
茨木市	井　上　俊　宏	いのうえ内科	茨木市竹橋町
茨木市	今　井　政　治	いまい内科ハートクリニック	茨木市双葉町
茨木市	今　井　道　生	いまい内科ハートクリニック	茨木市双葉町
茨木市	梅　田　達　也	うめだクリニック	茨木市舟木町
茨木市	梅　田　直　也	うめだ整形外科	茨木市双葉町
茨木市	大　谷　晃　司	おおたに内科医院	茨木市西中条町
茨木市	大　宮　由　香	おおみや形成外科クリニック	茨木市大手町
茨木市	小　笠　智　嗣	おがさ整形外科	茨木市白川
茨木市	奥　田　和　人	おくだ内科クリニック	茨木市双葉町
茨木市	生　越　まち子	おごし皮フ科	茨木市玉櫛
茨木市	加　藤　明　子	かとう眼科	茨木市別院町
茨木市	金　本　裕　吉	かねもとクリニック	茨木市見付山
茨木市	亀　井　宏　治	かめい内科消化器クリニック	茨木市西駅前町
茨木市	河　﨑　千恵子	かわさき眼科クリニック	茨木市舟木町
茨木市	韓　　鴻　濱	かん整形外科	茨木市並木町
茨木市	中　林　博　道	きずな友愛クリニック	茨木市永代町
茨木市	木　戸　良　子	きどレディースクリニック	茨木市舟木町
茨木市	高　島　美智子	きどレディースクリニック	茨木市舟木町
茨木市	木　原　幸　一	きはら内科クリニック	茨木市中総持寺町
茨木市	金　原　　太	きんばらホームクリニック	茨木市南春日丘
茨木市	久保田　泰　隆	くぼた眼科	茨木市白川
茨木市	中　河　秀　生	くれはクリニック	茨木市沢良宜浜
茨木市	渡　辺　克　哉	くれはクリニック	茨木市沢良宜浜
茨木市	東　野　亮　太	くれはクリニック	茨木市沢良宜浜
茨木市	好　田　　康	こうだクリニック	茨木市上穂東町
茨木市	河　本　陽　介	こうもと内科・小児科クリニック	茨木市水尾
茨木市	坂　口　正　展	さかぐち皮フ科クリニック	茨木市新中条町
茨木市	佐々木　有　一	ささき内科・内視鏡クリニック	茨木市総持寺
茨木市	川　床　　聡	さと在宅クリニック	茨木市玉櫛
茨木市	塩　見　俊　行	しおみ整形外科・痛み・関節クリニック	茨木市新中条町
茨木市	柴　崎　浩　一	しばさき小児科	茨木市下穂積
茨木市	森　岡　貴　勢	しらべの森ホームクリニック	茨木市星見町
茨木市	水　野　裕　太	じんないクリニック	茨木市茨木市中津町

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
茨木市	杉　田　光　司	すぎたクリニック	茨木市三島丘
茨木市	杉　田　久美子	すぎた子どもクリニック	茨木市見付山
茨木市	杉　本　　清	すぎもとクリニック	茨木市総持寺駅前町
茨木市	瀬　下　　巖	せしも胃腸肛門クリニック	茨木市元町
茨木市	立　花　宏　一	たちばなクリニック	茨木市双葉町
茨木市	巽　　昭　雄	たつみ内科クリニック	茨木市新中条町
茨木市	田　中　　聡	たなかクリニック	茨木市白川
茨木市	溪　　浩　司	たに医院	茨木市天王
茨木市	月　山　芙　蓉	つきやまクリニック	茨木市双葉町
茨木市	得　居　将　文	とくいクリニック	茨木市大池
茨木市	富　田　智　史	とみたクリニック	茨木市星見町
茨木市	中　　禎　二	なかクリニック	茨木市中穂積
茨木市	中　島　周　三	なかじま内科	茨木市鮎川
茨木市	中　迎　憲　章	なかむかいクリニック	茨木市下中条町
茨木市	河　原　みどり	なかむかいクリニック	茨木市下中条町
茨木市	中　谷　宏　幸	なごみ整形外科リウマチクリニック	茨木市総持寺
茨木市	根　来　伸　行	ねごろ内科循環器科	茨木市大池
茨木市	野　瀬　　優	のせ整形外科クリニック	茨木市東中条町
茨木市	野　瀬　隆　夫	のせ皮ふ科	茨木市双葉町
茨木市	砂　野　彰　宏	ノダ・砂野歯科	茨木市鮎川
茨木市	橋　爪　喜代子	はしづめ内科	茨木市天王
茨木市	原　　啓　太	はら小児科クリニック	茨木市学園南町
茨木市	半　田　忠　利	はんだクリニック	茨木市玉櫛
茨木市	平　岩　哲　也	ひらいわクリニック	茨木市大手町
茨木市	木野田　　茂	ファミリークリニック　ゆい	茨木市玉櫛
茨木市	福　永　泰　広	ふくながこどもクリニック	茨木市若園町
茨木市	別　役　聡　士	ベッチャククリニック	茨木市中総持寺町
茨木市	田　中　マ　キ	マキレディースクリニック	茨木市春日
茨木市	光　田　輝　彦	みつだクリニック	茨木市駅前町
茨木市	水戸守　寿　洋	みともり子どもクリニック	茨木市舟木町
茨木市	宮　崎　敬　士	みやざきちびっこ診療所	茨木市総持寺
茨木市	村　井　基　修	むらい内科循環器内科	茨木市中穂積
茨木市	村　西　美智子	むらにし皮フ科	茨木市見付山
茨木市	元　廣　高　之	もとひろクリニック	茨木市並木町
茨木市	高　原　　寛	ももたろう　痛みのクリニック	茨木市宮元町
茨木市	山　口　和　男	やまぐち整形外科・リウマチクリニック	茨木市天王
茨木市	山　本　紀　彦	やまもとクリニック	茨木市永代町
茨木市	山　本　誠　士	やまもとホームケアクリニック	茨木市本町
茨木市	吉　田　　剛	よしだ内科	茨木市新中条町

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
茨木市	米　田　直　人	よねだレディースクリニック	茨木市上郡
茨木市	高　原　順　矢	医療法人　高原クリニック	茨木市沢良宜
茨木市	高　原　　健	医療法人　高原クリニック	茨木市沢良宜
茨木市	國　里　洋　子	医療法人　国里整形外科	茨木市永代町
茨木市	井　上　秀　治	井上クリニック	茨木市大手町
茨木市	上　田　真由美	茨木市駅うえた眼科	茨木市双葉町
茨木市	永　井　隆　子	永井眼科医院	茨木市水尾
茨木市	奥　村　泰　啓	奥村クリニック	茨木市元町
茨木市	奥　田　弘　賢	奥田産婦人科	茨木市竹橋町
茨木市	奥　野　真知子	奥野眼科	茨木市総持寺駅前町
茨木市	渡　辺　洋一郎	横山・渡辺クリニック	茨木市春日
茨木市	横　山　如　人	横山・渡辺クリニック	茨木市春日
茨木市	岡　本　文　雄	岡本クリニック	茨木市西中条町
茨木市	岡　本　光　豊	岡本医院	茨木市末広町
茨木市	河　村　英　輔	河村メディカルクリニック	茨木市別院町
茨木市	角　本　永　彦	角本医院	茨木市南安威
茨木市	岸　本　康　朗	岸本クリニック	茨木市沢良宜西
茨木市	岩　井　博　司	岩井医院	茨木市総持寺駅前町
茨木市	岩　松　克　彦	岩松クリニック	茨木市東太田
茨木市	岩　﨑　正　洋	岩﨑正洋クリニック	茨木市鮎川
茨木市	平　　通　也	希ファミリークリニック	茨木市永代町
茨木市	吉　岡　宣史朗	吉岡歯科クリニック	茨木市舟木町
茨木市	安　成　隆　治	吉原眼科医院	茨木市舟木町
茨木市	宮　﨑　美智代	宮﨑皮フ科	茨木市双葉町
茨木市	居　相　浩　之	居相整形外科	茨木市三島丘
茨木市	橋　本　裕　美	橋本こどもクリニック	茨木市太田
茨木市	橋　本　善　造	橋本診療所	茨木市島
茨木市	隅　　清　臣	隅クリニック	茨木市中穂積
茨木市	栗　原　裕　彦	栗原医院	茨木市宮元町
茨木市	金　子　元　春	健彰会クリニック整形外科リウマチ科	茨木市総持寺台
茨木市	江　川　泰　人	江川クリニック	茨木市総持寺駅前町
茨木市	江　川　真　人	江川産婦人科医院	茨木市総持寺
茨木市	高　島　孝　之	高島整形外科	茨木市沢良宜西
茨木市	佐久川　政　尚	佐久川クリニック	茨木市中津町
茨木市	高　坂　祐加子	佐久川クリニック	茨木市中津町
茨木市	佐々木　良　高	佐々木外科内科医院	茨木市西駅前町
茨木市	細　見　洋　一	細見医院	茨木市下中条町
茨木市	安　達　克　郎	財団法人 淀川勤労者厚生協会茨木診療所	茨木市中津町
茨木市	阪　上　博　史	阪上耳鼻咽喉科医院	茨木市駅前

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
茨木市	上　野　信　之	三康クリニック	茨木市総持寺
茨木市	寺　尾　祐　一	寺尾皮フ科	茨木市西駅前町
茨木市	寺　尾　淳　子	寺尾皮フ科	茨木市西駅前町
茨木市	宇　野　耕太郎	耳鼻咽喉科　宇野医院	茨木市中穂積
茨木市	岡　部　宇　彦	耳鼻咽喉科　岡部医院	茨木市橋の内
茨木市	篠　永　安　秀	篠永医院	茨木市真砂
茨木市	勝　田　　隆	勝田クリニック	茨木市玉島
茨木市	林　　与志子	勝田クリニック	茨木市玉島
茨木市	小　林　　誠	小林整形外科	茨木市春日
茨木市	上　野　　豊	上野医院	茨木市大手町
茨木市	上　野　眞　徳	上野歯科医院	茨木市白川
茨木市	森　脇　　昭	森脇内科	茨木市双葉町
茨木市	須　永　恭　司	須永医院	茨木市玉水町
茨木市	須　永　匡　彦	須永内科小児科医院	茨木市耳原
茨木市	須　藤　正　治	須藤耳鼻咽喉科	茨木市大池
茨木市	山　田　しのぶ	成田クリニック	茨木市中総持寺町
茨木市	成　田　基　良	成田クリニック	茨木市中総持寺町
茨木市	西　尾　　聖	聖クリニック	茨木市郡
茨木市	西　里　枝久子	西里医院	茨木市総持寺駅前町
茨木市	石　田　丈　雄	石田診療所	茨木市寺田町
茨木市	川　尻　勝　久	川尻クリニック	茨木市舟木町
茨木市	泉　　善　雄	泉内科医院	茨木市西中条町
茨木市	前　羽　宏　史	前羽クリニック	茨木市春日
茨木市	増　田　一　裕	増田内科医院	茨木市下中条町
茨木市	大河内　寿　一	大河内医院	茨木市駅前
茨木市	大　崎　　尚	大崎医院	茨木市別院町
茨木市	大　森　研　史	大森医院	茨木市玉櫛
茨木市	大　谷　峯　久	大谷クリニック	茨木市別院町
茨木市	大　島　正　義	大島整形外科	茨木市庄
茨木市	大　嶋　一　徳	大嶋クリニック	茨木市双葉町
茨木市	大　嶋　太　郎	大嶋クリニック	茨木市双葉町
茨木市	近　藤　浩　之	第二近藤診療所	茨木市玉櫛
茨木市	近　藤　章　子	第二近藤診療所	茨木市玉櫛
茨木市	寺　村　智　子	第二近藤診療所	茨木市玉櫛
茨木市	石　川　一　彦	辰見クリニック	茨木市白川
茨木市	辰　見　宣　夫	辰見医院	茨木市大字大岩
茨木市	谷　口　寛　昌	谷口内科循環器クリニック	茨木市中河原町
茨木市	竹　村　博　一	竹村耳鼻咽喉科クリニック	茨木市真砂
茨木市	菅　野　　亘	中菅野医院	茨木市南春日丘

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
茨木市	中　村　育　子	中村医院	茨木市太田
茨木市	中　尾　　誠	中尾内科クリニック	茨木市春日
茨木市	朝　倉　　勉	朝倉歯科医院	茨木市南春日丘
茨木市	朝　田　浩　司	朝田歯科	茨木市玉櫛
茨木市	長谷川　　稔	長谷川内科	茨木市園田町
茨木市	釘　抜　正　明	釘抜医院	茨木市下穂積
茨木市	田　中　孝　二	田中胃腸科クリニック	茨木市稲葉町
茨木市	都　田　慶　一	都田泌尿器科医院	茨木市舟木町
茨木市	徳　永　五輪雄	徳永医院	茨木市総持寺駅前町
茨木市	徳　永　博　正	徳永医院	茨木市総持寺駅前町
茨木市	内　海　　隆	内海眼科医院	茨木市元町
茨木市	萩　野　眞奈美	萩野医院	茨木市新郡山
茨木市	八　木　英　晴	八木耳鼻咽喉科	茨木市鮎川
茨木市	濵　口　尚　重	浜口内科	茨木市舟木町
茨木市	平　山　公　三	平山皮フ科クリニック	茨木市沢良宜西
茨木市	平　田　美　幸	平田整形外科クリニック	茨木市寺田町
茨木市	平　田　哲　朗	平田整形外科クリニック	茨木市寺田町
茨木市	片　山　尚　典	片山メンタルクリニック	茨木市双葉町
茨木市	峯　　尚　志	峯クリニック	茨木市春日
茨木市	柚　木　孝　仁	北摂クリニック	茨木市大池
茨木市	北　川　慶　幸	北川クリニック	茨木市東中条町
茨木市	丸　山　栄　勲	北川クリニック	茨木市東中条町
茨木市	北　野　福　男	北野外科内科	茨木市星見町
茨木市	北　野　貴　弘	北野外科内科	茨木市星見町
茨木市	堀　井　孝　容	堀井医院	茨木市舟木町
茨木市	名　越　　充	名越歯科診療所	茨木市元町
茨木市	茂　松　茂　人	茂松整形外科	茨木市真砂
茨木市	担　当　医	立命館大学　茨木診療所	茨木市岩倉町
茨木市	鈴　木　良　紀	鈴木医院	茨木市駅前
茨木市	澤　　明　子	澤眼科医院	茨木市庄
茨木市	澤　　雄　大	澤眼科医院	茨木市庄
摂津市	稲　垣　一　道	いながきクリニック	摂津市南千里丘
摂津市	長　谷　一　郎	はせクリニック	摂津市香露園
摂津市	福　地　みさよ	みさよ内科クリニック	摂津市東一津屋
摂津市	村　田　卓　士	むらた小児科	摂津市南千里丘
摂津市	松　井　保　憲	温優会松井クリニック	摂津市三島
摂津市	岩　本　久　雄	岩本医院	摂津市千里丘
摂津市	近　藤　桂　一	近藤診療所	摂津市鳥飼野々
摂津市	近　藤　正　子	近藤診療所	摂津市鳥飼野々

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
摂津市	高　山　　実	高山クリニック	摂津市千里丘東
摂津市	黒　本　成　人	黒本診療所	摂津市香露園
摂津市	細　川　眞　哉	細川医院	摂津市鳥飼上
摂津市	山　内　榮　樹	山内医院	摂津市千里丘東
摂津市	今　村　育　男	千里丘協立診療所	摂津市千里丘東
摂津市	川　西　秀　夫	川西内科循環器科	摂津市正雀本町
摂津市	中　嶋　直　子	中嶋・清川とりかいクリニック	摂津市鳥飼八防
摂津市	清　川　裕　美	中嶋・清川とりかいクリニック	摂津市鳥飼八防
摂津市	馬　場　義　親	馬場内科・循環器内科クリニック	摂津市千里丘東
摂津市	白　川　貴　浩	白川整形外科	摂津市千里丘
池田市	井　海　江利子	おおたクリニック	池田市満寿美町
池田市	角　岡　　潔	つのおか循環器内科クリニック	池田市呉服町
池田市	山　田　祥　晴	やまだクリニック	池田市室町
池田市	天　野　利　男	天野内科循環器科	池田市上池田
吹田市	西　原　承　緒	あいぜん診療所	吹田市山田東
吹田市	木　村　眞　一	きむら訪問クリニック	吹田市五月が丘東
吹田市	野　﨑　元　子	のざきクリニック	吹田市千里丘下
吹田市	謝　　新	ひかりクリニック	吹田市春日
吹田市	山　村　憲　幸	やまむらクリニック	吹田市片山町
吹田市	中　村　嘉　宏	医療法人ウェルビー　なかむらレディースクリニック	吹田市豊津町
吹田市	徳　田　光　章	医療法人とくだクリニック	吹田市五月が丘東
吹田市	井　上　了　豪	井上クリニック	吹田市上山手町
吹田市	糠　谷　伝　一	糠谷医院	吹田市片山町
吹田市	占　部　　健	占部内科クリニック	吹田市山田西
吹田市	野　中　親　哉	野中内科クリニック	吹田市津雲台
豊中市	永　谷　憲　歳	ながや内科　循環器内科・呼吸器内科	豊中市新千里西町
豊中市	野　井　　理	野井耳鼻咽喉科	豊中市新千里南町
箕面市	大日向　由　光	おおひなた耳鼻咽喉科クリニック	箕面市箕面
箕面市	澄　川　　司	すみかわ整形外科	箕面市桜ヶ丘
箕面市	白　藤　達　雄	白藤診療所	箕面市箕面
守口市	東　　功	アイル在宅医療クリニック	守口市寺内町
枚方市	梅　本　真三夫	うめもとクリニック	枚方市杉
枚方市	奥　田　信　昭	奥田クリニック	枚方市新町
枚方市	亀　岡　慶　一	亀岡内科	枚方市西禁野
枚方市	上　田　　新	上田クリニック	枚方市宮之阪
枚方市	森　川　浩　志	森川クリニック	枚方市伊加賀東町
枚方市	岡　﨑　英　俊	田中泌尿器医院　人工透析センターひらかた	枚方市津田元町
大阪市	森　本　義　晴	HORAC グランフロント大阪クリニック	大阪市北区大深町
大阪市	山　下　能　毅	うめだファティリティークリニック	大阪市北区豊崎

所　属	登録医氏名	診療所名	診療所住所
大阪市	小　嶌　美恵子	こじま眼科クリニック	大阪市阿倍野区松崎町
大阪市	塘　　二　郎	ツツミ内科循環器科	大阪市天王寺区生玉町
大阪市	塘　　義　明	ツツミ内科循環器科	大阪市天王寺区生玉町
大阪市	廣　實　俊　郎	ひろざね内科・循環器科	大阪市東淀川区豊里
大阪市	山　田　勝　彦	ヤマダ医院	大阪市北区豊崎
大阪市	横　田　和　男	横田クリニック	大阪市東淀川区井高野
大阪市	岡　部　　眞	岡部内科	大阪市東住吉区東田辺
大阪市	光　井　英　昭	光井診療所	大阪市東淀川区豊里
大阪市	黒　川　彰　夫	黒川梅田診療所	大阪市北区梅田
大阪市	小　出　泰　道	小出内科神経科	大阪市天王寺区生玉寺町
大阪市	石　村　孝　夫	石村内科循環器科	大阪市北区天神橋
大阪市	中　尾　正　俊	中尾医院	大阪市東淀川区菅原
大阪市	古　林　光　一	梅田血管外科クリニック（旧古林内科医院）	大阪市北区曽根崎
大阪市	飯　田　紀　彦	飯田クリニック	大阪市淀川区十三東
大阪市	木　戸　友　幸	木戸医院	大阪市東淀川区井高野
八尾市	栗　岡　宏　彰	しろばとクリニック	八尾市光町
尼崎市	西　口　完　二	内科外科にしぐち医院	尼崎市南塚口町
尼崎市	浜　本　順　博	浜本クリニック	尼崎市尾浜町
京田辺市	新　田　昌　稔	新田クリニック	京田辺市山手東
京都市	野　原　丈　裕	のはらクリニック	京都市西京区桂南巽町
西宮市	徐　　東　舜	徐クリニック	西宮市松籟荘
奈良市	松　尾　隆　広	まつお内科	奈良市中登美ヶ丘

5. 職員構成

		2022年4月1日			備　考　（ ）内は再掲	
診療部		医師 臨床研修医	50.0 4.0	54.0	**常勤数** **非常勤常勤換算数** **非常勤実人数**	**54.0** **9.5** **83**
看護部 計				273.30		
	部長	看護師	1.00	1.00		
	退院調整担当	看護師	1.00	1.00		
	救急推進担当	看護師 救急救命士	1.00 3.00	4.00		
	入院支援担当	看護師	2.75	2.75		
	医療安全対策担当	看護師	1.00	1.00	看護師 常勤数 非常勤常勤換算数 非常勤実人数	219.45 194 25.45 34
	感染予防対策担当	看護師	3.00	3.00		
	がん診療推進担当	看護師	1.00	1.00		
	褥瘡予防対策担当	看護師	0.69	0.69		
	中央手術センター	看護師 准看護師 看護補助 看護学生	19.65 1.00 8.00 0.18	28.83	准看護師 常勤数 非常勤常勤換算数 非常勤実人数	13 13
	外来フロア	看護師 准看護師 看護補助	23.78 7.00 1.00	31.78	救急救命士 常勤数	3 3
	ＩＣＵ・救急フロア	看護師	32.38	32.38		
	レディースフロア	看護師	14.58	14.58		
	整形・小児フロア	看護師 准看護師 看護補助 看護学生	30.87 2.00 5.00 1.94	39.81	看護補助 常勤数 非常勤常勤換算数 非常勤実人数	31 30 1 1
	消化器センター	看護師 看護補助 看護学生	29.29 6.00 1.46	36.75	看護学生 非常勤常勤換算数 非常勤実人数	6.85 6.85 16
	呼吸器センター	看護師 准看護師 看護補助 看護学生	28.34 1.00 6.00 1.83	37.17		
	循環器センター	看護師 准看護師 看護補助 看護学生	29.12 2.00 5.00 1.44	37.56		
診療技術部 計				105.4	薬剤師 診療放射線技師 臨床検査技師 視能訓練士・眼科検査士 臨床工学技士 理学療法士 作業療法士 管理栄養士 調理師	18 14 21.8 4 11 9 4 6 10
	薬剤科			17.2		
	放射線科			14.0		
	臨床検査科			25.8		
	臨床工学科			11.0		
	リハビリテーション科			13.0		
	栄養科			6.0		
	栄養調理科			18.4		
事務局 計				108.6		
	事務局			3.1		
	経営企画室			2.0		
	病院サービス課			54.8		
	医療情報課			3.0	診療情報管理士 ケースワーカー 社会福祉士 保育士	10 10 (9) 7.9
	地域医療連携室			12.0		
	資材器材課			4.0		
	経理課			4.0		
	総務課			9.6		
	人事課			7.0		
	保育所			9.1		
訪問看護ステーション				7.8	看護師	6.8
ケアプランセンター				9.0	ケアマネジャー	9
合　　計				558.1		

6. 医療環境と当院の医療実績

2022（令和 4）年度も病院運営の中心は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）との闘いの 1 年でした。新型コロナウィルス感染症が拡大・小康を繰り返す中で、様々な感染防止対策を行いながら、全ての職員が通常業務とともにそれらをはるかに超えるパンデミックへの膨大な業務にも対応しました。第 7 波、第 8 波のオミクロン株については、デルタ株と比較して重症化しにくいとは言われていましたが、その感染力は極めて強く、社会生活の回復とともに感染者は爆発的に増加しました。この時期には、当院でも病棟内でのクラスターが発生し、職員の感染、濃厚接触者等での休職も相次いだことにより、稼働病床の制限が必要となり、一般稼働病床は年末年始には最悪の 53 床まで低下するという、病床運営上最大の危機に見舞われました。しかしながら、このような過酷な状況の中でも職員一人一人が、自身の役割を見失わず、全職員で適切に対応することにより、最悪の状況を乗り越えることができました。コロナ禍の中で全国的に救急医療提供体制が破綻する中、当院でも厳しい病床制限を行いながらも、手術室における総手術件数は、コロナ禍が始まった 2020 年度以降最多を示し、救急車搬送件数においても同様の結果を得ることができました。あわせて、診療検査医療機関および重点医療機関として発熱外来患者やコロナ患者の入院受け入れへの対応も精力的に行いました。これらの実績は、全職員の誠意と努力のあらわれであり、敬意を表したいと思います。

また、3 年振りの外部での登録医会議の復活や、病院拡充計画の進展、医師の時間外労働規制における最大課題であった宿日直許可については時間外の全時間帯で取得するなど、当院が進めるべき行動については順調に行うことができたと感じております。

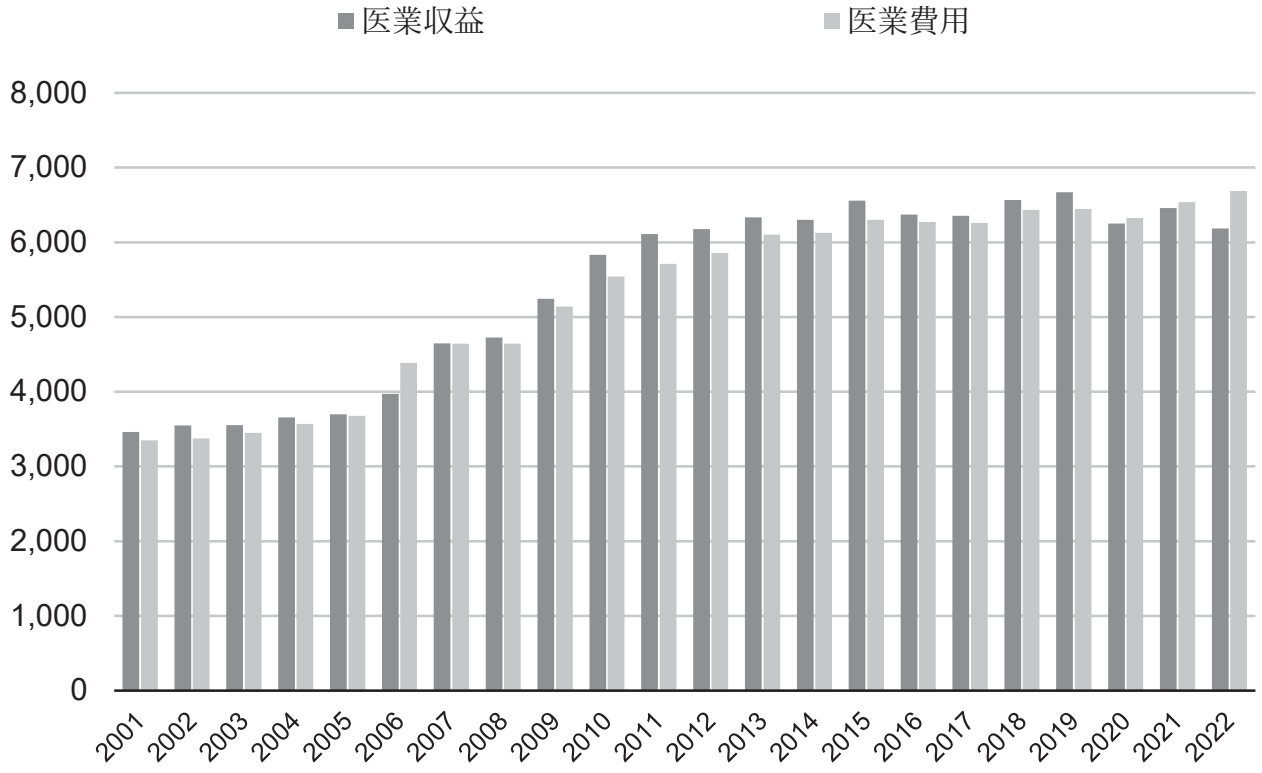
一方、経営への影響は避け難く、外来医業収益では外来患者数が伸び悩み、計画には達しませんでした。入院医業収益についても、年度始めからの新型コロナへの人員、療養環境等の体制整備のため、稼働病床の制限を行い、前述した第 7 波、8 波での稼働病床制限の影響で、計画より約 12％程度下回り、医業収益はマイナス 9％の赤字になりました。しかしながら、国、大阪府からの新型コロナの体制整備について補助金が支給されたことから、厳しい医療提供体制の状況の中でも最終的には大きく黒字になることができました。

2023 年度は、新型コロナウイルス感染症のパンデミック 4 年目に入り、程度の強弱はあるが依然として大きな影響を社会に与えており、これまでの価値観とは異なるような構造の変化がもたらされようとしています。医療も社会的共通資本の一部という観点から当然ながら大きな影響を受け続けており、様々な変革が求められるようになってきています。コロナ禍での経験を生かしながら、with コロナの社会情勢と連動するニューノーマルを意識し、全職員でコロナとの共存を模索しながら、次年度も地域住民の皆様に責任を果たしていくよう、努めてまいります。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2023 年 7 月

病院長　小林一朗

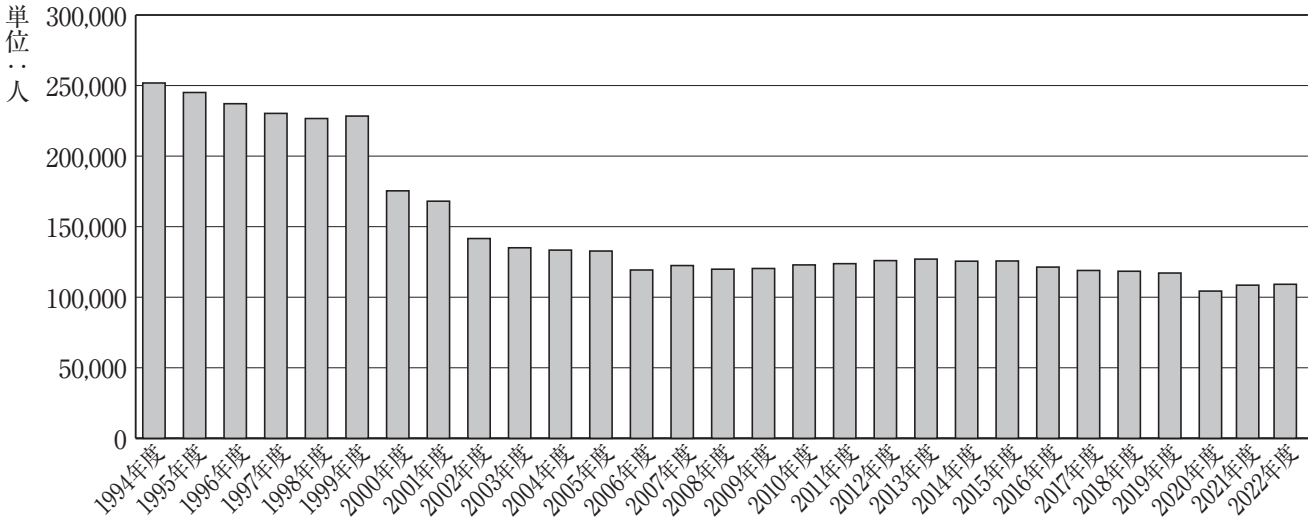
医業収益と医業費用の推移（百万円）



Ⅱ. 患者の状況

1．外来

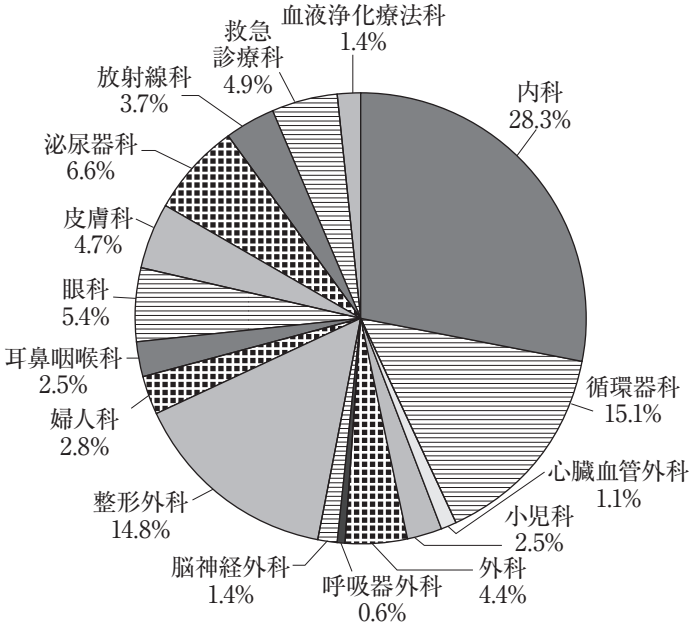
(1)外来延べ患者数の推移



外来延べ患者数

1994年度	251,820	2000年度	175,395	2006年度	119,293	2012年度	125,951	2018年度	118,410
1995年度	245,087	2001年度	168,053	2007年度	122,441	2013年度	127,002	2019年度	117,147
1996年度	237,138	2002年度	141,586	2008年度	119,865	2014年度	125,534	2020年度	104,355
1997年度	230,273	2003年度	135,045	2009年度	120,363	2015年度	125,685	2021年度	109,098
1998年度	226,636	2004年度	133,385	2010年度	122,899	2016年度	121,354	2022年度	109,312
1999年度	228,376	2005年度	132,729	2011年度	123,785	2017年度	118,964		

(2)科別 外来患者構成比の推移

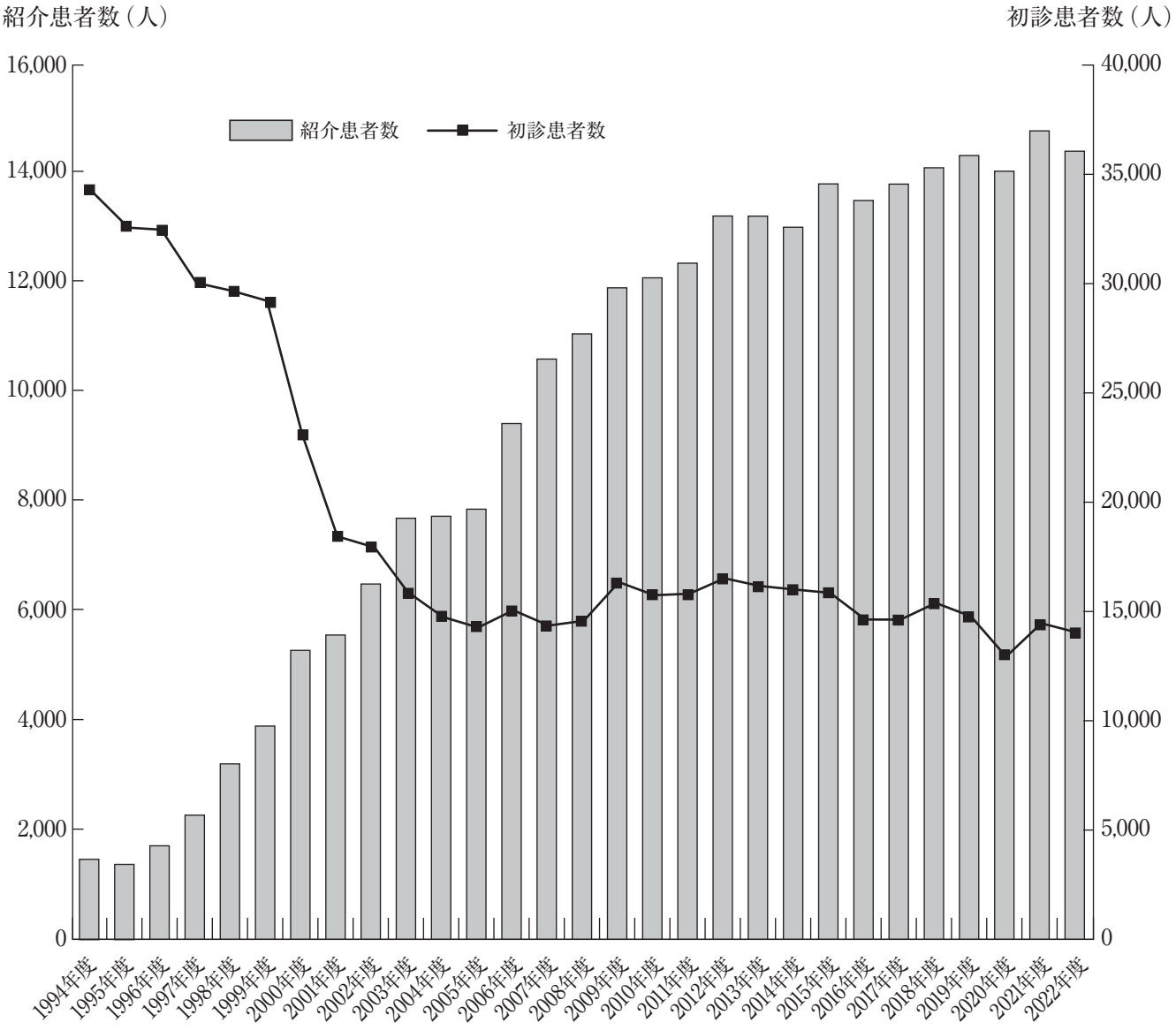


	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
内　　科	27.7%	28.8%	29.4%	28.3%
循環器科	14.2%	15.6%	15.7%	15.1%
心臓血管外科	1.2%	0.8%	0.8%	1.1%
小 児 科	2.3%	1.7%	1.5%	2.5%
外　　科	5.1%	5.0%	4.7%	4.4%
呼吸器外科	0.4%	0.5%	0.6%	0.6%
脳神経外科	1.4%	1.4%	1.3%	1.4%
整形外科	15.0%	14.8%	14.7%	14.8%
婦 人 科	2.9%	2.9%	2.8%	2.8%
耳鼻咽喉科	1.7%	1.9%	2.1%	2.5%
眼　　科	5.6%	5.8%	5.6%	5.4%
皮 膚 科	4.9%	4.8%	4.9%	4.7%
泌尿器科	6.3%	6.1%	6.0%	6.6%
放射線科	3.3%	3.4%	3.5%	3.7%
救急診療科	6.3%	5.1%	5.2%	4.9%
血液浄化療法科	1.6%	1.4%	1.2%	1.4%

(3)新来患者数・紹介患者数の推移

	紹介患者数	初診患者数	(再掲) 病院新来数
1994年度	1,470	34,475	7,602
1995年度	1,378	32,875	6,981
1996年度	1,718	32,776	6,822
1997年度	2,278	30,342	6,763
1998年度	3,217	29,982	6,674
1999年度	3,909	29,525	6,720
2000年度	5,294	23,420	6,818
2001年度	5,575	18,745	6,468
2002年度	6,509	18,268	6,332
2003年度	7,712	16,101	7,250
2004年度	7,749	14,963	7,232
2005年度	7,878	14,479	5,622
2006年度	9,445	15,270	8,279
2007年度	10,625	14,569	8,132
2008年度	11,086	14,786	7,918
2009年度	11,929	16,555	8,830
2010年度	12,112	15,958	8,175
2011年度	12,380	16,024	8,016
2012年度	13,243	16,732	8,020
2013年度	13,241	16,381	7,714
2014年度	13,038	16,217	7,736
2015年度	13,831	16,064	7,907
2016年度	13,527	14,846	7,642
2017年度	13,827	14,841	7,665
2018年度	14,126	15,603	7,815
2019年度	14,350	14,991	7,713
2020年度	14,063	13,148	7,516
2021年度	14,801	14,674	7,361
2022年度	14,429	14,258	8,318

単位(人)



月別 / 診療科別	2022.4			2022.5			2022.6			2022.7			2022.8			2022.9			2022.10		
	延べ患者数	実患者数	平均通院	延べ患者数	実患者数	平均通院	延べ患者数	実患者数	平均通院	延べ患者数	実患者数	平均通院	延べ患者数	実患者数	平均通院	延べ患者数	実患者数	平均通院	延べ患者数	実患者数	平均通院
全科	9,067	7,638	1.2	8,570	7,296	1.2	9,469	7,857	1.2	9,111	7,641	1.2	9,502	7,994	1.2	9,066	7,603	1.2	9,211	7,696	1.2
消化器内科	1,050	848	1.2	928	792	1.2	1,051	834	1.3	988	796	1.2	937	775	1.2	979	778	1.3	1,056	845	1.2
消化器内科	955	762	1.3	847	713	1.2	939	728	1.3	901	712	1.3	861	705	1.2	879	682	1.3	970	765	1.3
肝臓内科	95	86	1.1	81	79	1.0	112	106	1.1	87	84	1.0	76	70	1.1	100	96	1.0	86	80	1.1
循環器科	1,494	1,379	1.1	1,288	1,199	1.1	1,420	1,300	1.1	1,325	1,232	1.1	1,413	1,308	1.1	1,407	1,317	1.1	1,405	1,308	1.1
心臓血管外科	110	86	1.3	93	83	1.1	98	86	1.1	116	96	1.2	99	84	1.2	109	92	1.2	112	92	1.2
呼吸器内科	314	274	1.1	327	296	1.1	346	311	1.1	293	264	1.1	371	326	1.1	299	260	1.2	310	269	1.2
総合内科	635	573	1.1	615	552	1.1	658	566	1.2	723	645	1.1	1,204	1,047	1.1	776	684	1.1	654	587	1.1
糖尿病・内分泌内科	356	348	1.0	301	297	1.0	364	357	1.0	303	299	1.0	382	372	1.0	340	327	1.0	326	316	1.0
血液内科	107	87	1.2	111	89	1.2	93	70	1.3	112	93	1.2	100	84	1.2	98	81	1.2	84	70	1.2
神経内科	109	107	1.0	110	108	1.0	136	127	1.1	108	97	1.1	130	115	1.1	129	122	1.1	121	114	1.1
小児科	171	131	1.3	174	135	1.3	197	146	1.3	232	187	1.2	247	213	1.2	213	163	1.3	242	191	1.3
外科	367	262	1.4	340	268	1.3	427	283	1.5	413	283	1.5	356	257	1.4	406	298	1.4	361	252	1.4
一般消化器外科	315	212	1.5	291	219	1.3	362	219	1.7	367	239	1.5	314	217	1.4	342	237	1.4	305	199	1.5
乳腺外科	52	50	1.0	49	49	1.0	65	64	1.0	46	44	1.0	42	40	1.1	64	61	1.0	56	53	1.1
呼吸器外科	46	32	1.4	53	38	1.4	66	46	1.4	61	42	1.5	71	57	1.2	57	44	1.3	45	39	1.2
脳神経外科	124	116	1.1	134	130	1.0	134	126	1.1	108	104	1.0	120	109	1.1	117	106	1.1	137	129	1.1
整形外科	1,330	1,067	1.2	1,283	1,014	1.3	1,407	1,110	1.3	1,312	1,032	1.3	1,310	1,018	1.3	1,354	1,075	1.3	1,343	1,043	1.3
整形外科	1,330	1,067	1.2	1,283	1,014	1.3	1,407	1,110	1.3	1,312	1,032	1.3	1,310	1,018	1.3	1,354	1,075	1.3	1,343	1,043	1.3
形成外科	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
婦人科	260	226	1.2	257	209	1.2	267	226	1.2	252	217	1.2	252	207	1.2	235	200	1.2	272	225	1.2
耳鼻咽喉科	215	139	1.5	193	136	1.4	225	154	1.5	134	99	1.4	152	119	1.3	161	106	1.5	202	145	1.4
眼科	488	388	1.3	513	390	1.3	578	436	1.3	509	372	1.4	462	354	1.3	516	405	1.3	525	379	1.4
皮膚科	437	339	1.3	413	337	1.2	485	372	1.3	393	315	1.2	460	360	1.3	468	348	1.3	454	349	1.3
泌尿器科	594	520	1.1	552	493	1.1	605	537	1.1	632	560	1.1	574	484	1.2	581	520	1.1	653	569	1.1
放射線科	350	344	1.0	302	297	1.0	386	384	1.0	277	276	1.0	275	272	1.0	288	284	1.0	367	364	1.0
救急診療科	374	360	1.0	451	421	1.1	394	375	1.1	686	621	1.1	461	423	1.1	412	383	1.1	421	400	1.1
救急科内科	220	208	1.1	280	259	1.1	247	235	1.1	516	460	1.1	309	274	1.1	241	218	1.1	236	220	1.1
救急科小児科	6	6	1.0	14	13	1.1	10	10	1.0	21	21	1.0	11	11	1.0	12	12	1.0	10	10	1.0
救急科外科系	148	146	1.0	157	149	1.1	137	130	1.1	149	140	1.1	141	138	1.0	159	153	1.0	175	170	1.0
救急科婦人科	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
血液浄化療法科	136	12	11.3	132	12	11.0	132	11	12.0	134	11	12.2	126	10	12.6	121	10.0	12.1	121	10	12.1

月別 / 診療科別	2022.11			2022.12			2023.1			2023.2			2023.3			平均		
	延べ患者数	実患者数	平均通院	延べ患者数	実患者数	平均通院	延べ患者数	実患者数	平均通院	延べ患者数	実患者数	平均通院	延べ患者数	実患者数	平均通院	延べ患者数	実患者数	平均通院
全科	8,748	7,376	1.2	9,625	8,091	1.2	8,559	7,205	1.2	8,477	7,034	1.2	9,907	8,129	1.2	109,312	91,560	1.2
消化器内科	931	791	1.2	987	806	1.2	825	692	1.2	891	751	1.2	1,072	856	1.3	11,695	9,564	1.2
消化器内科	839	702	1.2	889	711	1.3	737	608	1.2	816	677	1.2	959	749	1.3	10,592	8,514	1.2
肝臓内科	92	89	1.0	98	95	1.0	88	84	1.0	75	74	1.0	113	107	1.1	1,103	1,050	1.1
循環器科	1,255	1,167	1.1	1,503	1,390	1.1	1,231	1,139	1.1	1,271	1,158	1.1	1,456	1,347	1.1	16,468	15,244	1.1
心臓血管外科	82	70	1.2	116	102	1.1	88	81	1.1	74	68	1.1	113	101	1.1	1,210	1,041	1.2
呼吸器内科	327	287	1.1	322	272	1.2	305	254	1.2	312	277	1.1	314	268	1.2	3,840	3,358	1.1
総合内科	665	599	1.1	808	726	1.1	755	684	1.1	563	500	1.1	569	512	1.1	8,625	7,675	1.1
糖尿病・内分泌内科	351	339	1.0	369	354	1.0	296	287	1.0	336	327	1.0	384	371	1.0	4,108	3,994	1.0
血液内科	93	77	1.2	98	77	1.3	103	84	1.2	93	73	1.3	110	87	1.3	1,202	972	1.2
神経内科	106	102	1.0	132	122	1.1	98	94	1.0	96	94	1.0	150	136	1.1	1,425	1,338	1.1
小児科	219	174	1.3	251	193	1.3	243	198	1.2	230	182	1.3	297	228	1.3	2,716	2,141	1.3
外科	425	270	1.6	430	299	1.4	382	236	1.6	403	267	1.5	478	297	1.6	4,788	3,272	1.5
一般消化器外科	362	211	1.7	371	243	1.5	343	200	1.7	364	229	1.6	428	247	1.7	4,164	2,672	1.6
乳腺外科	63	59	1.1	59	56	1.1	39	36	1.1	39	38	1.0	50	50	1.0	624	600	1.0
呼吸器外科	51	40	1.3	45	39	1.2	44	37	1.2	44	38	1.2	56	43	1.3	639	495	1.3
脳神経外科	126	116	1.1	140	130	1.1	113	107	1.1	117	111	1.1	118	114	1.0	1,488	1,398	1.1
整形外科	1,250	986	1.3	1,425	1,100	1.3	1,333	1,034	1.3	1,295	995	1.3	1,508	1,141	1.3	16,150	12,615	1.3
整形外科	1,250	986	1.3	1,425	1,100	1.3	1,333	1,034	1.3	1,295	995	1.3	1,508	1,141	1.3	16,150	12,615	1.3
形成外科	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
婦人科	265	217	1.2	234	202	1.2	227	201	1.1	240	210	1.1	269	227	1.2	3,030	2,567	1.2
耳鼻咽喉科	181	133	1.4	255	167	1.5	248	155	1.6	329	164	2.0	391	242	1.6	2,686	1,759	1.5
眼科	480	365	1.3	463	383	1.2	415	354	1.2	451	326	1.4	545	438	1.2	5,945	4,590	1.3
皮膚科	419	326	1.3	448	352	1.3	370	283	1.3	347	278	1.2	472	349	1.4	5,166	4,008	1.3
泌尿器科	588	522	1.1	637	564	1.1	563	503	1.1	551	497	1.1	672	578	1.2	7,202	6,347	1.1
放射線科	356	353	1.0	338	333	1.0	336	334	1.0	355	353	1.0	399	395	1.0	4,029	3,989	1.0
救急診療科	457	432	1.1	500	470	1.1	470	438	1.1	375	355	1.1	408	389	1.0	5,409	5,067	1.1
救急科内科	248	234	1.1	293	272	1.1	261	239	1.1	221	206	1.1	225	212	1.1	3,297	3,037	1.1
救急科小児科	12	12	1.0	9	9	1.0	13	13	1.0	15	14	1.1	16	16	1.0	149	147	1.0
救急科外科系	196	185	1.1	198	189	1.0	196	186	1.1	139	135	1.0	167	161	1.0	1,962	1,882	1.0
救急科婦人科	1	1	1.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	1	1	1.0
血液浄化療法科	121	10	12.1	124	10	12.4	114	10	11.4	104	10	10.4	126	10	12.6	1,491	126	11.8

(5)地域別 外来患者構成比

距離	市名	町名	患者数		構成比	
			2022年度	2021年度	2022年度	2021年度
1km圏内	高槻市	北柳川町	1,961	2,063	19.3%	19.6%
		栄町	5,375	5,355		
		昭和台町	1,396	1,536		
		富田町	5,933	5,976		
		西町	2,959	3,036		
		南総持寺町	2,566	2,651		
		柳川町	2,073	2,146		
		北昭和台町	981	915		
	茨木市	鮎川	3,374	3,122	13.1%	13.2%
		庄	2,442	2,549		
		総持寺	1,397	1,325		
		総持寺駅前	602	616		
		総持寺台	745	841		
		中総持寺町	1,002	1,182		
		橋の内	4,658	4,558		
		中村町	448	538		
		学園町	1,157	1,190		
小　計			39,069	39,599		

距離	市名	町名	患者数		構成比	
			2022年度	2021年度	2022年度	2021年度
1km〜2km圏内	高槻市	唐崎	7	0	30.0%	31.2%
		唐崎北	84	69		
		唐崎中	574	533		
		唐崎西	407	369		
		唐崎南	86	59		
		川添	2,483	2,402		
		寿町	4,754	4,452		
		桜ヶ丘北町	508	446		
		桜ヶ丘南町	548	434		
		玉川	1,144	1,199		
		津之江町	3,676	4,139		
		津之江北町	390	300		
		西五百住町	373	450		
		東五百住町	2,230	2,321		
		如是町	1,284	1,355		
		牧田町	5,552	6,247		
		登町	494	622		
		芝生町	6,116	6,319		
		登美の里町	388	446		
		柱本	555	648		
		柱本新町	1,072	1,209		
		富田丘町	1,134	1,089		
		大畑町	851	834		
		幸町	19	26		
		赤大路町	903	974		
		宮田町	631	679		
小　計			36,263	37,621		

距離	市名	町名	患者数		構成比	
			2022年度	2021年度	2022年度	2021年度
1km〜2km圏内	茨木市	白川	1,544	1,760	12.9%	12.5%
		西河原	1,081	998		
		東太田	1,866	1,553		
		三島丘	1,881	1,677		
		三島町	504	534		
		学園南町	361	342		
		新堂	1,067	939		
		五十鈴町	736	719		
		桑田町	196	205		
		寺田町	459	551		
		中津町	465	518		
		園田町	748	468		
		別院町	120	120		
		末広町	220	276		
		太田	389	370		
		上野町	256	169		
		奈良町	96	96		
		双葉町	113	85		
		舟木町	292	264		
		戸伏町	188	202		
		大住町	121	182		
		竹橋町	164	212		
		星見町	512	512		
		大同町	126	171		
		大池	786	893		
		稲葉町	211	154		
		大手町	84	62		
		元町	66	94		
		本町	56	102		
		片桐町	123	115		
		宮元町	116	79		
		東宮町	36	27		
		上泉町	202	114		
		田中町	166	270		
		西田中	123	61		
		上中条	106	155		
		永代町	20	9		
小　計			15,600	15,058		

距離	患者数		構成比	
	2022年度	2021年度	2022年度	2021年度
2km圏内	91,240	92,572	79.7%	80.7%
2km圏外　高槻市	10,802	10,143	9.4%	8.8%
2km圏外　茨木市	10,404	10,160	9.1%	8.9%
摂津市	2,017	1,794	1.8%	1.6%
①合計(2次保健診療圏)	114,463	114,669	100.0%	100.0%
吹田市	451	453	7.2%	7.6%
その他　大阪府内	3,174	2,987	50.8%	49.9%
京都府	502	454	8.0%	7.6%
兵庫県	399	485	6.4%	8.1%
奈良県	41	50	0.7%	0.8%
その他　都道府県	1,683	1,559	26.9%	26.0%
②合計(2次保健診療圏)	6,250	5,988	100.0%	100.0%
総合計(①+②)	120,713	120,657		

(6)年齢別・男女別 外来患者構成比

診療科		内科	循環器内科	小児科	一般消化外	乳腺外科	呼吸器外科	心臓血管外	脳神経外科	整形外科	婦人科	耳鼻咽喉科	眼科	皮膚科	泌尿器科	放射線科	血液浄化療	合計
年齢	性別	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比
0～3歳	男	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
	女	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
4～6歳	男	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
	女	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
7～15歳	男	0.0%	0.0%	0.6%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%
	女	0.0%	0.0%	0.5%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
16～19歳	男	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%
	女	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
20歳代	男	0.5%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	1.3%
	女	0.7%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.2%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	1.5%
30歳代	男	0.6%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	1.6%
	女	0.7%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.3%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	2.0%
40歳代	男	1.1%	0.4%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	1.3%	0.0%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%	3.7%
	女	1.3%	0.2%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.8%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.3%	0.1%	4.1%
50歳代	男	2.0%	0.9%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	1.6%	0.0%	0.1%	0.3%	0.3%	0.2%	0.2%	0.0%	6.0%
	女	1.8%	0.5%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	2.0%	0.4%	0.1%	0.3%	0.2%	0.1%	0.4%	0.1%	6.3%
60歳代	男	2.5%	1.5%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	1.4%	0.0%	0.2%	0.5%	0.4%	0.5%	0.2%	0.2%	8.0%
	女	2.1%	0.7%	0.0%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	2.3%	0.2%	0.2%	0.3%	0.2%	0.1%	0.3%	0.3%	7.2%
70歳以上	男	7.9%	5.4%	0.0%	1.5%	0.0%	0.2%	0.3%	0.4%	3.5%	0.0%	0.6%	1.7%	1.5%	3.8%	0.6%	0.4%	27.7%
	女	7.0%	4.4%	0.0%	1.2%	0.2%	0.1%	0.5%	0.4%	6.3%	0.6%	0.5%	1.6%	1.0%	1.0%	0.9%	0.1%	25.8%
科内男女比	男	51.6%	58.6%	51.2%	57.6%	2.6%	57.0%	43.0%	50.2%	43.7%	0.0%	49.0%	52.4%	58.4%	77.6%	39.8%	52.2%	50.9%
	女	48.4%	41.4%	48.8%	42.4%	97.4%	43.0%	57.0%	49.8%	56.3%	100.0%	51.0%	47.6%	41.6%	22.4%	60.2%	47.8%	49.1%
総数男女比	男	14.7%	8.3%	1.2%	2.9%	0.0%	0.3%	0.4%	0.6%	9.7%	0.0%	1.1%	2.6%	2.5%	4.6%	1.3%	0.6%	50.9%
	女	13.8%	5.8%	1.2%	2.2%	0.5%	0.2%	0.6%	0.6%	12.5%	2.5%	1.1%	2.4%	1.8%	1.3%	2.0%	0.6%	49.1%
総数比		28.5%	14.1%	2.4%	5.1%	0.5%	0.5%	1.0%	1.2%	22.2%	2.5%	2.2%	4.9%	4.3%	6.0%	3.3%	1.2%	100.0%
総合計(人)		34,347	16,998	2,859	6,137	624	639	1,216	1,494	26,749	3,042	2,701	5,966	5,184	7,231	4,031	1,495	120,713

(7)コールセンター実績

■月別･時間帯別　交換電話件数

交換	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1ヵ月平均	1日平均	時間帯別構成率
9：00	579	616	633	782	756	645	電話交換機の故障により集計不可						4,011	669	26.9	18.6%
10：00	469	452	431	634	557	473							3,016	503	20.2	14.0%
11：00	393	451	444	456	528	413							2,685	448	18.0	12.4%
12：00	364	310	343	398	413	350							2,178	363	14.6	10.1%
13：00	415	390	382	447	478	404							2,516	419	16.9	11.7%
14：00	414	414	384	439	462	417							2,530	422	17.0	11.7%
15：00	409	388	451	472	489	375							2,584	431	17.3	12.0%
16：00	337	309	321	374	401	327							2,069	345	13.9	9.6%
合計	3,380	3,330	3,389	4,002	4,084	3,404	0	0	0	0	0	0	21,589	3,598	144.9	100.0%

■月別･時間帯別　コールセンター件数

コールセンター	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1ヵ月平均	1日平均	時間帯別構成率
9：00	566	553	604	612	566	554	電話交換機の故障により集計不可						3,455	576	23.2	28.4%
10：00	336	342	354	393	403	397							2,225	371	14.9	18.3%
11：00	260	235	280	275	337	300							1,687	281	11.3	13.9%
12：00	183	187	168	215	261	181							1,195	199	8.0	9.8%
13：00	194	199	175	202	260	197							1,227	205	8.2	10.1%
14：00	168	185	200	172	254	217							1,196	199	8.0	9.8%
15：00	182	191	177	180	247	216							1,193	199	8.0	9.8%
合計	1,889	1,892	1,958	2,049	2,328	2,062	0	0	0	0	0	0	12,178	2,030	81.7	100.0%

■曜日別･時間帯別　交換電話件数

交換	計							曜日別平均					
	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合計	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
9：00	772	603	675	679	652	630	4,011	32.2	24.1	27.0	28.3	26.1	24.2
10：00	567	501	511	504	537	396	3,016	23.6	20.0	20.4	21.0	21.5	15.2
11：00	502	489	417	477	451	349	2,685	20.9	19.6	16.7	19.9	18.0	13.4
12：00	380	382	373	381	388	274	2,178	15.8	15.3	14.9	15.9	15.5	10.5
13：00	477	446	413	453	444	283	2,516	19.9	17.8	16.5	18.9	17.8	10.9
14：00	445	497	448	445	439	256	2,530	18.5	19.9	17.9	18.5	17.6	9.8
15：00	485	451	488	450	467	243	2,584	20.2	18.0	19.5	18.8	18.7	9.3
16：00	453	353	381	348	354	180	2,069	18.9	14.1	15.2	14.5	14.2	6.9
合計	4,081	3,722	3,706	3,737	3,732	2,611	21,589	170.0	148.9	148.2	155.7	149.3	100.4

■曜日別･時間帯別　コールセンター件数

コールセンター	計							曜日別平均					
	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合計	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
9：00	676	574	564	512	541	588	3,455	28.2	23.0	22.6	21.3	21.6	22.6
10：00	462	379	383	352	365	284	2,225	19.3	15.2	15.3	14.7	14.6	10.9
11：00	358	344	283	246	257	199	1,687	14.9	13.8	11.3	10.3	10.3	7.7
12：00	269	229	225	165	206	101	1,195	11.2	9.2	9.0	6.9	8.2	3.9
13：00	269	227	228	199	200	104	1,227	11.2	9.1	9.1	8.3	8.0	4.0
14：00	253	233	239	232	239	0	1,196	10.5	9.3	9.6	9.7	9.6	-
15：00	276	253	230	212	222	0	1,193	11.5	10.1	9.2	8.8	8.9	-
合計	2,563	2,239	2,152	1,918	2,030	1,276	12,178	106.8	89.6	86.1	79.9	81.2	49.1

(8)外来診療予約率

月別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年度	
	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	予約率
循環器科	95.2%	97.0%	96.9%	98.1%	98.5%	98.4%	98.4%	97.8%	97.8%	98.8%	98.1%	98.1%	98.9%	96.6%	98.9%	98.5%	98.3%	97.2%	99.2%	98.3%	98.2%	96.7%	97.7%	98.5%	98.0%	97.8%	97.9%
消化器内科	98.0%	98.8%	97.6%	96.0%	95.9%	97.8%	95.3%	96.3%	97.6%	96.6%	97.0%	98.1%	97.5%	97.7%	97.3%	97.5%	97.1%	97.2%	98.1%	97.4%	98.6%	96.4%	97.5%	94.8%	97.2%	97.1%	97.2%
呼吸器内科	97.9%	–	96.3%	–	98.2%	–	97.3%	–	96.4%	–	97.5%	–	94.6%	–	96.8%	–	96.9%	–	97.5%	–	99.0%	–	98.0%	–	97.2%	–	97.2%
糖尿病内科	100.0%	97.0%	99.6%	96.3%	98.9%	99.0%	99.6%	97.5%	99.0%	98.9%	99.6%	100.0%	99.6%	97.8%	99.1%	100.0%	99.6%	94.6%	98.7%	95.3%	99.1%	90.6%	100.0%	97.0%	99.4%	97.0%	98.8%
総合内科	79.1%	–	73.6%	–	75.5%	–	75.8%	–	72.6%	–	77.2%	–	75.7%	–	77.1%	–	79.5%	–	74.4%	–	69.6%	–	77.8%	–	75.7%	–	75.7%
神経内科	–	97.4%	–	97.5%	–	97.3%	–	100.0%	–	97.6%	–	95.5%	–	96.9%	–	95.5%	–	97.0%	–	98.0%	–	99.0%	–	96.7%	–	97.3%	97.3%
血液内科	97.9%	100.0%	94.1%	93.9%	100.0%	100.0%	97.9%	98.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	96.3%	98.1%	94.4%	100.0%	82.4%	100.0%	97.1%	98.2%	96.7%	100.0%	97.3%	98.7%	95.8%	98.9%	97.7%
肝臓内科	98.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.1%	100.0%	100.0%	97.4%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	97.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.3%	100.0%	99.3%	99.8%	99.6%
小児科	41.7%	100.0%	52.7%	100.0%	45.3%	96.6%	36.2%	98.5%	37.2%	100.0%	53.9%	97.9%	41.9%	100.0%	47.2%	98.5%	52.7%	97.1%	57.5%	98.2%	56.8%	100.0%	65.4%	100.0%	49.8%	98.8%	62.3%
一般消化器外科	90.1%	100.0%	85.8%	91.7%	89.1%	100.0%	87.3%	100.0%	87.5%	88.9%	84.4%	100.0%	91.0%	100.0%	88.5%	100.0%	89.9%	100.0%	90.1%	100.0%	87.8%	90.9%	85.3%	90.0%	88.0%	97.1%	88.4%
乳腺外科	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	96.9%	95.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	96.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	96.9%	90.5%	100.0%	96.2%	97.5%	95.5%	99.3%	98.1%	98.8%
心臓血管外科	100.0%	86.1%	100.0%	95.9%	–	98.9%	100.0%	96.6%	100.0%	88.3%	100.0%	97.6%	100.0%	94.9%	75.0%	92.4%	100.0%	95.8%	100.0%	93.8%	100.0%	98.4%	100.0%	97.8%	98.0%	94.8%	95.1%
呼吸器外科	97.2%	–	100.0%	–	98.4%	–	92.2%	–	94.5%	–	94.6%	–	95.9%	–	98.0%	–	100.0%	–	100.0%	–	85.7%	–	100.0%	–	96.5%	–	96.5%
脳神経外科	75.8%	77.3%	81.7%	41.7%	76.6%	57.9%	83.3%	94.4%	82.5%	85.0%	70.3%	74.2%	89.5%	76.9%	81.1%	51.7%	77.3%	77.4%	79.5%	75.9%	87.8%	78.3%	81.7%	61.9%	80.7%	71.9%	79.1%
整形外科	90.0%	100.0%	90.1%	100.0%	90.4%	100.0%	92.2%	100.0%	91.2%	100.0%	91.2%	97.1%	90.1%	100.0%	91.6%	95.8%	91.1%	100.0%	90.6%	85.9%	91.1%	90.4%	90.2%	94.1%	90.8%	96.0%	91.0%
形成外科	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
婦人科	99.3%	–	98.9%	–	98.0%	90.9%	99.6%	75.0%	96.7%	87.5%	98.1%	100.0%	97.7%	100.0%	98.1%	100.0%	98.8%	–	98.8%	–	98.9%	100.0%	97.3%	100.0%	98.3%	92.9%	98.2%
眼科	94.6%	89.3%	94.4%	92.1%	93.3%	87.3%	95.4%	90.0%	90.9%	86.5%	96.2%	81.4%	95.7%	90.7%	93.1%	93.3%	93.8%	91.4%	94.3%	95.7%	92.6%	100.0%	94.1%	89.5%	94.1%	90.5%	93.8%
耳鼻咽喉科	71.3%	100.0%	65.8%	100.0%	68.0%	87.5%	75.4%	100.0%	72.7%	100.0%	74.7%	100.0%	68.2%	100.0%	69.7%	96.2%	70.0%	100.0%	74.2%	100.0%	86.9%	76.0%	83.6%	100.0%	74.5%	96.4%	76.3%
皮膚科	82.6%	–	80.0%	–	80.1%	–	82.6%	–	81.7%	–	78.8%	–	84.5%	–	84.8%	–	82.6%	–	85.3%	–	88.0%	–	80.5%	–	82.5%	–	82.5%
泌尿器科	92.3%	94.1%	89.6%	88.7%	93.0%	93.5%	93.0%	92.2%	91.1%	97.7%	91.3%	93.5%	92.8%	94.8%	91.2%	88.1%	85.5%	91.2%	93.4%	87.7%	93.9%	84.3%	91.0%	93.4%	91.5%	92.0%	91.5%
公的検診・特定健診・予防接種	97.1%	96.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	94.1%	100.0%	93.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	77.8%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	70.8%	100.0%	95.8%	100.0%	94.1%	97.5%	97.2%	97.4%
精神科	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
予約率	90.1%	96.7%	89.4%	96.3%	89.8%	97.2%	90.7%	96.9%	89.2%	97.3%	90.0%	97.0%	90.3%	96.8%	90.1%	96.5%	89.9%	96.7%	90.6%	95.1%	91.0%	95.3%	90.4%	96.4%	90.1%	96.5%	91.3%

曜日別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年度	
	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	午前診予約率	午後診予約率	予約率
月曜日	89.9%	93.7%	87.9%	94.0%	88.7%	93.9%	89.2%	97.1%	87.3%	96.0%	89.9%	94.0%	88.7%	97.8%	89.5%	95.1%	89.4%	96.5%	91.3%	92.1%	90.8%	92.0%	90.1%	94.1%	89.3%	94.8%	90.3%
火曜日	91.3%	97.2%	90.3%	96.3%	92.3%	98.8%	91.1%	95.5%	90.0%	97.5%	89.6%	96.8%	89.9%	98.9%	91.0%	97.3%	89.7%	96.4%	90.7%	93.9%	92.5%	91.7%	92.7%	96.8%	90.9%	96.5%	91.9%
水曜日	93.5%	98.4%	91.8%	93.8%	90.4%	94.8%	89.6%	94.8%	90.5%	97.8%	88.8%	95.8%	90.4%	97.0%	90.1%	95.7%	89.9%	94.5%	87.2%	93.8%	92.9%	96.3%	88.9%	95.5%	90.3%	95.7%	91.1%
木曜日	89.3%	97.4%	89.5%	99.2%	89.2%	98.8%	91.9%	97.9%	93.1%	97.1%	91.4%	98.0%	90.6%	96.0%	87.3%	96.4%	89.5%	97.0%	90.7%	96.7%	87.7%	97.9%	91.4%	96.8%	90.2%	97.4%	92.2%
金曜日	89.5%	96.3%	85.7%	96.4%	88.7%	97.8%	90.4%	97.7%	86.9%	98.2%	92.0%	98.2%	91.8%	94.7%	91.2%	98.2%	91.9%	98.5%	91.2%	97.6%	90.9%	97.6%	88.6%	98.1%	89.9%	97.5%	91.9%
土曜日	86.9%	–	91.2%	–	89.5%	–	91.4%	–	87.2%	–	88.9%	–	91.2%	–	91.5%	–	89.9%	–	92.3%	–	90.6%	–	90.8%	–	90.2%	–	90.2%
合　計	90.1%	96.7%	89.4%	96.3%	89.8%	97.2%	90.7%	96.9%	89.2%	97.3%	90.0%	97.0%	90.3%	96.8%	90.1%	96.5%	89.9%	96.7%	90.6%	95.1%	91.0%	95.3%	90.4%	96.4%	90.1%	96.5%	91.3%

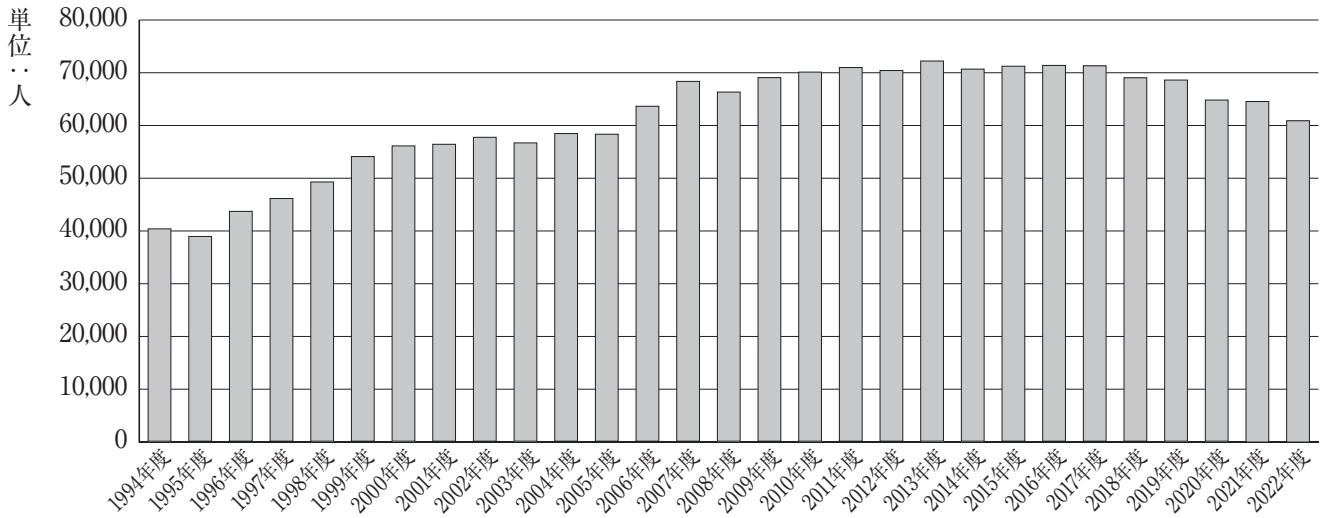
(9)外来診療待ち時間調査結果

科別/曜日別	月	火	水	木	金	土	平均
循環器科	0:21	0:25	0:39	0:33	0:21	0:49	0:30
消化器内科	0:20		0:20	0:36	0:17	0:25	0:26
呼吸器内科	0:32	0:20	0:39	0:25	0:48		0:35
糖尿病内科		1:06	0:56	0:27			0:53
総合内科	0:33	0:27	0:28	0:31	0:35	0:34	0:31
神経内科	0:20			0:52			0:47
血液内科		0:26			0:26		0:26
肝臓内科			0:13		0:12		0:13
小児科	0:26	0:19	0:12	0:30	0:25	0:20	0:22
一般消化器外科	0:53	0:51	0:19	0:48	0:22	0:07	0:38
乳腺外科							
呼吸器外科		0:35					0:35
心臓血管外科		0:34		0:15		1:23	0:24
脳神経外科	0:26		0:08			0:26	0:22
整形外科	0:26	0:41	0:27	0:34	0:51	0:34	0:35
形成外科							
婦人科	0:42	0:33	0:32		0:15		0:33
眼科	0:24	0:02	0:23	0:34	0:11	0:23	0:20
耳鼻咽喉科	0:16	0:40	0:30	0:33	0:15	0:23	0:27
皮膚科	0:25	0:15	0:15	0:15		0:33	0:21
泌尿器科	0:23	0:22	0:28	0:45	0:30	0:19	0:28
平均	0:27	0:35	0:31	0:35	0:28	0:32	0:32

■単位：分　　■待ち時間 = 診療呼び出し時間 − 予約時間（当日直来予約を含む）
※予約時間前呼出者は除く

2. 入院

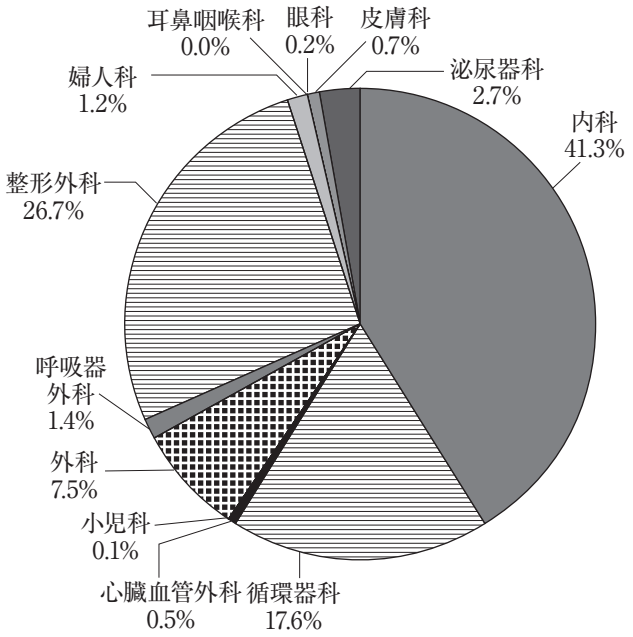
(1)在院患者延べ数の推移



在院延べ患者数

1994年度	40,260	2000年度	55,985	2006年度	63,499	2012年度	70,280	2018年度	68,900
1995年度	38,815	2001年度	56,291	2007年度	68,217	2013年度	72,078	2019年度	68,468
1996年度	43,570	2002年度	57,615	2008年度	66,189	2014年度	70,546	2020年度	64,679
1997年度	46,010	2003年度	56,554	2009年度	68,930	2015年度	71,095	2021年度	64,572
1998年度	49,146	2004年度	58,321	2010年度	69,978	2016年度	71,245	2022年度	60,926
1999年度	53,965	2005年度	58,197	2011年度	70,838	2017年度	71,172		

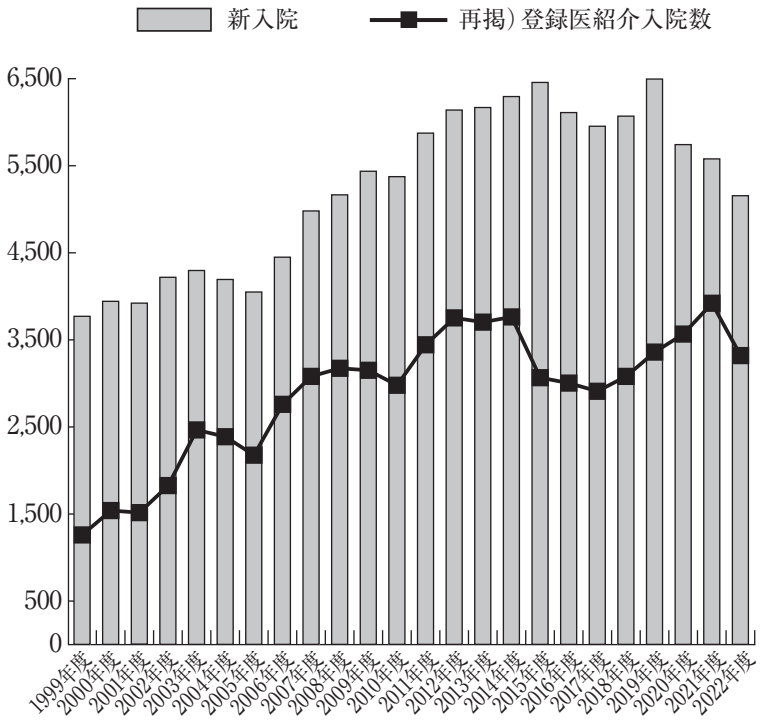
(2)科別 入院患者構成比の推移



	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
内　　科	48.9%	42.2%	42.2%	41.3%
循環器科	15.6%	19.6%	19.6%	17.6%
心臓血管外科	0.8%	0.3%	0.3%	0.5%
小　児　科	0.5%	0.1%	0.1%	0.1%
外　　科	6.7%	7.4%	7.4%	7.5%
呼吸器外科	1.3%	0.9%	0.9%	1.4%
整形外科	22.1%	25.6%	25.6%	26.7%
婦　人　科	0.7%	0.9%	0.9%	1.2%
耳鼻咽喉科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
眼　　科	0.3%	0.3%	0.3%	0.2%
皮　膚　科	0.4%	0.9%	0.9%	0.7%
泌尿器科	2.6%	1.9%	1.9%	2.7%

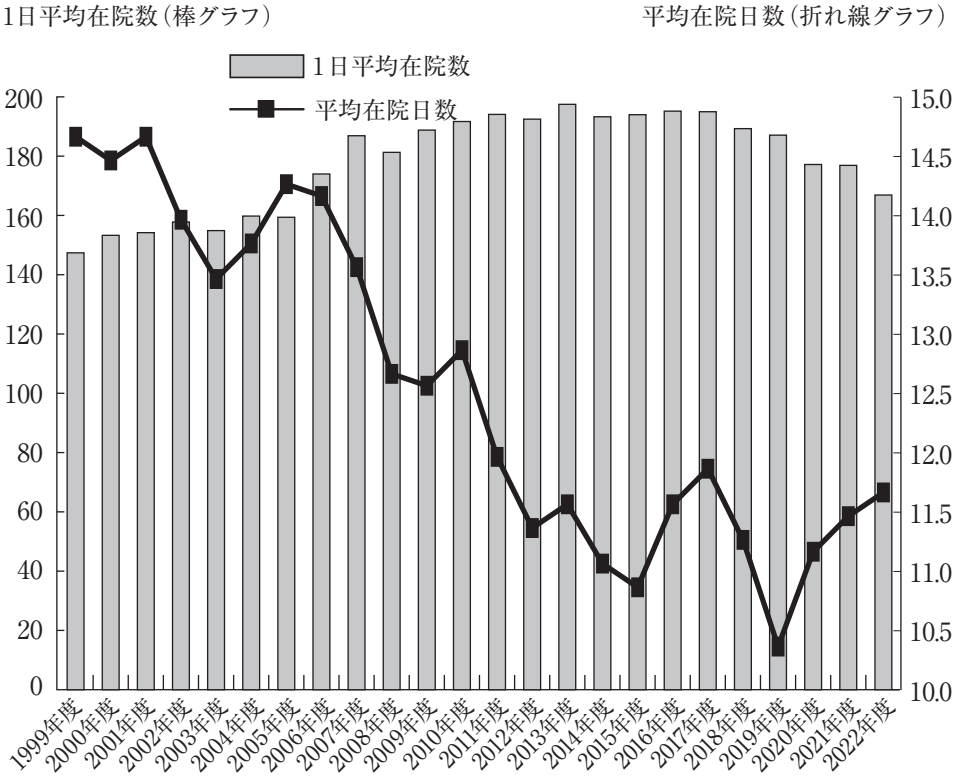
(3)新入院患者数・紹介患者数の推移

	新入院	(再掲)登録医紹介入院数	退院数	分娩数
1999年度	3,768	1,273	3,751	324
2000年度	3,940	1,553	3,928	275
2001年度	3,916	1,529	3,923	236
2002年度	4,216	1,840	4,210	186
2003年度	4,294	2,479	4,294	131
2004年度	4,191	2,401	4,188	87
2005年度	4,047	2,189	4,056	77
2006年度	4,447	2,773	4,421	82
2007年度	4,978	3,094	4,978	90
2008年度	5,163	3,187	5,153	83
2009年度	5,434	3,164	5,436	105
2010年度	5,372	2,992	5,378	85
2011年度	5,872	3,457	5,880	78
2012年度	6,137	3,766	6,130	87
2013年度	6,166	3,717	6,159	92
2014年度	6,292	3,777	6,299	71
2015年度	6,454	3,079	6,451	101
2016年度	6,108	3,017	6,113	32
2017年度	5,951	2,923	5,946	0
2018年度	6,067	3,094	6,070	0
2019年度	6,493	3,373	6,504	0
2020年度	5,740	3,580	5,758	0
2021年度	5,576	3,934	5,571	0
2022年度	5,153	3,333	5,168	0



(4)1日平均在院数・平均在院日数の推移

	1日平均在院数	平均在院日数
1999年度	147.4	14.8
2000年度	153.3	14.6
2001年度	154.2	14.8
2002年度	157.8	14.1
2003年度	154.9	13.6
2004年度	159.8	13.9
2005年度	159.4	14.4
2006年度	174.0	14.3
2007年度	186.9	13.7
2008年度	181.3	12.8
2009年度	188.8	12.7
2010年度	191.7	13.0
2011年度	194.1	12.1
2012年度	192.5	11.5
2013年度	197.5	11.7
2014年度	193.3	11.2
2015年度	194.0	11.0
2016年度	195.2	11.7
2017年度	195.0	12.0
2018年度	189.3	11.4
2019年度	187.1	10.5
2020年度	177.2	11.3
2021年度	176.9	11.6
2022年度	166.9	11.8



(5)地域別 入院患者構成比

距離	市名	町名	構成比
1km圏内	高槻市	北柳川町	15.1% (15.5%)
		栄町	
		昭和台町	
		富田町	
		西町	
		南総持寺町	
		柳川町	
		北昭和台町	
	茨木市	鮎川	12.7% (11.7%)
		庄	
		総持寺	
		総持寺駅前	
		総持寺台	
		中総持寺町	
		橋の内	
		中村町	
		学園町	
小計			27.8%(27.3%)

距離	市名	町名	構成比
1km〜2km圏内	高槻市	唐崎	26.7% (26.1%)
		唐崎北	
		唐崎中	
		唐崎西	
		唐崎南	
		川添	
		寿町	
		桜ヶ丘北町	
		桜ヶ丘南町	
		玉川	
		津之江町	
		津之江北町	
		西五百住町	
		東五百住町	
		如是町	
		牧田町	
		登町	
		芝生町	
		登美の里町	
		柱本	
		柱本新町	
		富田丘町	
		大畑町	
		幸町	
		赤大路町	
		宮田町	

※構成比:2022年度、( )は2021年度

距離	市名	町名	構成比
1km〜2km圏内	茨木市	白川	15.8% (16.5%)
		西河原	
		東太田	
		三島丘	
		三島町	
		学園南町	
		新堂	
		五十鈴町	
		桑田町	
		寺田町	
		中津町	
		園田町	
		別院町	
		末広町	
		太田	
		上野町	
		奈良町	
		双葉町	
		舟木町	
		戸伏町	
		大住町	
		竹橋町	
		星見町	
		大同町	
		大池	
		稲葉町	
		大手町	
		元町	
		本町	
		片桐町	
		宮元町	
		東宮町	
		上泉町	
		田中町	
		西田中	
		上中条	
		永代町	
小計			42.4%(42.6%)

距離	構成比
2km圏内	70.6%(70.4%)
2km圏外 高槻市	9.0%(8.9%)
2km圏外 茨木市	12.5%(12.6%)
摂津市	1.9%(2.2%)
合計(2次保健診療圏)	93.9%(94.1%)

距離	構成比
吹田市	0.7%(0.8%)
その他 大阪府内	2.9%(2.9%)
京都府	0.4%(0.3%)
兵庫県	0.5%(0.7%)
奈良県	0.0%(0.1%)
その他 都道府県	1.6%(1.3%)
合計(2次保健診療圏外)	6.1%(5.9%)

(6)年齢別・男女別 入院患者構成比

診療科		総合内科	循環器内科	消化器内科	呼吸器内科	血液内科	糖尿病内科	小児科	一般消化外	呼吸器外科	心臓血管外	整形外科	婦人科	眼科	皮膚科	泌尿器科	合計
年齢	性別	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比	人数比
0～3歳	男	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
	女	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
4～6歳	男	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
7～15歳	男	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%
	女	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
16～19歳	男	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%
	女	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
20歳代	男	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
	女	0.1%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%
30歳代	男	0.0%	0.1%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	1.3%
	女	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
40歳代	男	0.1%	0.3%	0.8%	0.2%	0.0%	0.1%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	3.0%
	女	0.1%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.6%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%
50歳代	男	0.1%	0.7%	1.4%	0.3%	0.0%	0.1%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	4.4%
	女	0.1%	0.2%	1.2%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	1.3%	0.2%	0.1%	0.0%	0.1%	3.6%
60歳代	男	0.1%	1.0%	2.3%	0.3%	0.0%	0.2%	0.0%	0.8%	0.1%	0.0%	1.0%	0.0%	0.3%	0.1%	0.3%	6.4%
	女	0.1%	0.3%	1.6%	0.2%	0.0%	0.1%	0.0%	0.5%	0.1%	0.1%	1.6%	0.2%	0.1%	0.0%	0.1%	5.1%
70歳以上	男	1.7%	6.7%	11.1%	3.6%	0.1%	0.3%	0.0%	2.5%	0.5%	0.5%	3.0%	0.0%	0.6%	0.2%	1.7%	32.6%
	女	2.5%	6.3%	9.8%	1.7%	0.0%	0.6%	0.0%	1.7%	0.3%	0.8%	8.5%	0.8%	1.1%	0.2%	0.9%	35.2%
科内男女比	男	40.5%	55.9%	54.5%	68.5%	75.0%	51.3%	38.5%	59.9%	70.3%	39.7%	39.7%	0.0%	40.7%	59.4%	64.8%	50.7%
	女	59.5%	44.1%	45.5%	31.5%	25.0%	48.8%	61.5%	40.1%	29.7%	60.3%	60.3%	100.0%	59.3%	40.6%	35.2%	49.3%
総数男女比	男	2.1%	8.7%	16.3%	4.3%	0.1%	0.8%	0.2%	4.4%	1.0%	0.6%	8.7%	0.0%	0.9%	0.4%	2.2%	50.7%
	女	3.0%	6.9%	13.6%	2.0%	0.0%	0.8%	0.3%	3.0%	0.4%	0.9%	13.2%	2.4%	1.4%	0.3%	1.2%	49.3%
総数比		5.1%	15.6%	29.9%	6.3%	0.1%	1.6%	0.5%	7.4%	1.4%	1.5%	21.8%	2.4%	2.3%	0.6%	3.4%	100.0%
総合計（人）		264	802	1,542	327	4	80	26	382	74	78	1,125	123	118	32	176	5,153

3. 時間外・救急

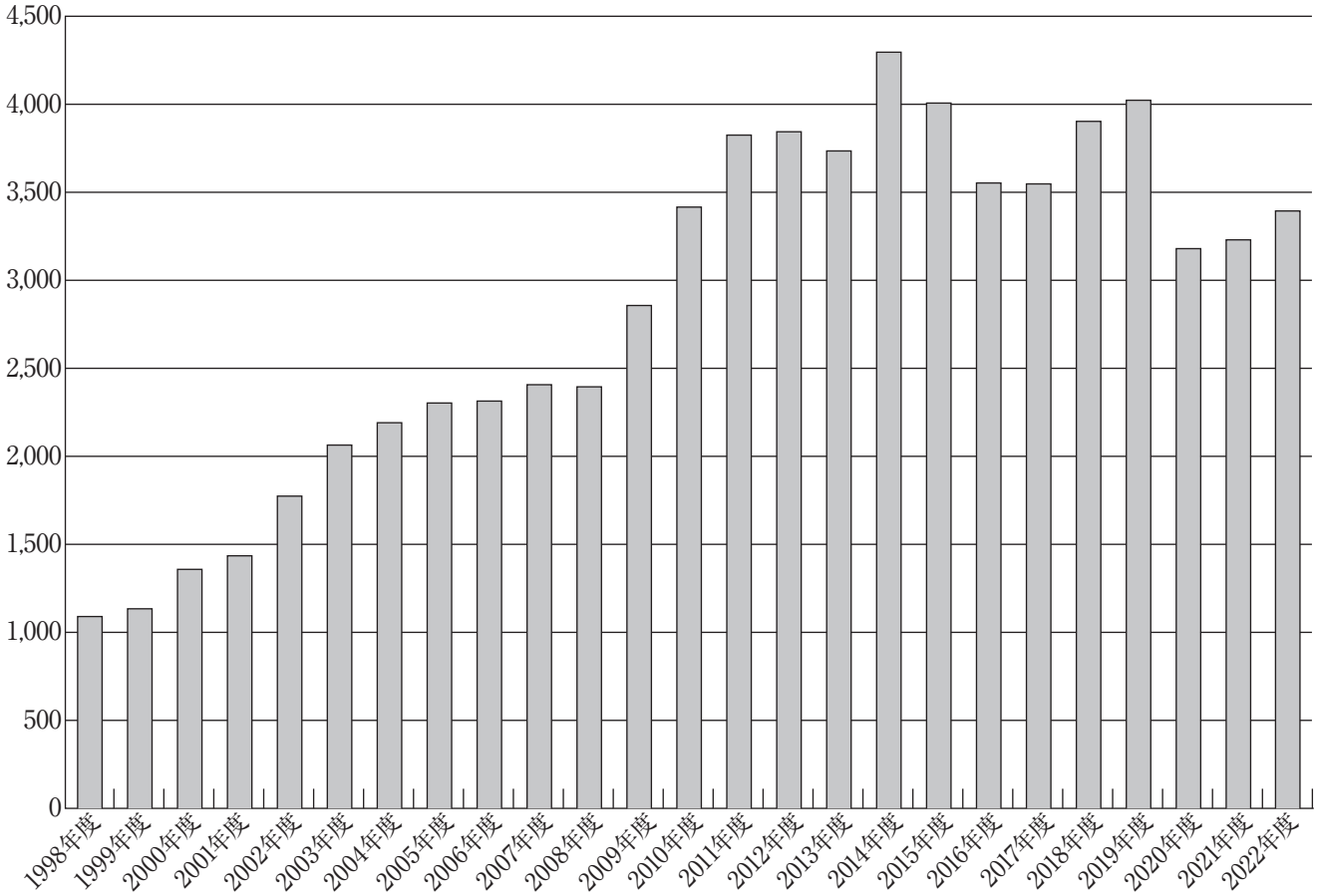
(1)時間外・救急患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内　科	208	258	209	279	197	191	210	215	187	227	191	193	2,565
外　科	119	133	103	92	91	116	119	146	142	141	102	125	1,429
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	5	6	4	10	5	3	6	3	2	5	4	9	62
計	332	397	316	381	293	310	335	364	331	373	297	327	4,056

(2)月別・科別・入外別 救急車搬入数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内　科	入院	84	83	86	77	78	96	64	77	77	83	66	63	934
	外来	78	87	106	105	105	87	97	95	88	89	99	91	1,127
循環器科	入院	8	19	9	9	5	14	21	16	16	10	26	12	165
	外来	7	11	1	3	3	1	4	6	9	4	4	6	59
小児科	入院	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	外来	1	1	1	4	5	2	2	2	4	1	2	6	31
外　科	入院	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	3
	外来	15	9	7	11	2	11	14	10	11	17	13	14	134
呼吸器外科	入院	1	2	1	0	0	1	0	0	0	1	2	0	8
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心臓血管外科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳外科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	外来	1	1	0	1	0	0	2	4	2	4	3	2	20
整形外科	入院	18	29	24	19	17	25	21	32	21	21	27	27	281
	外来	45	44	33	26	36	33	46	46	56	57	40	39	501
婦人科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来	0	2	0	0	0	0	0	1	4	2	1	1	11
眼　科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	入院	1	2	1	0	0	1	6	2	2	1	1	6	23
	外来	9	10	7	7	8	12	11	7	9	3	6	7	96
合　計	入院	112	135	121	105	100	138	112	128	116	117	122	110	1,416
	外来	156	165	155	157	159	146	176	171	183	177	168	166	1,979
総　計		268	300	276	262	259	284	288	299	299	294	290	276	3,395

年間救急車搬入数の推移



年間救急車搬入数	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	1,091	1,135	1,359	1,436	1,775	2,065	2,192	2,304	2,315	2,408	2,396	2,858	3,417	3,826	3,845	3,736	4,297	4,008	3,554	3,548	3,904	4,024	3,181	3,231	3,395

(3)消防署別・入外別 救急車搬入数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高槻消防	入院	62	67	59	59	60	76	59	59	64	61	51	48	725
	外来	79	85	77	83	86	72	95	84	99	104	82	82	1,028
茨木消防	入院	46	65	59	42	34	56	48	60	42	48	60	57	617
	外来	75	74	78	68	66	71	77	83	80	65	80	79	896
その他	入院	4	3	3	4	6	6	5	9	10	8	11	5	74
	外来	2	6	0	6	7	3	4	4	4	8	6	5	55
合　計	入院	112	135	121	105	100	138	112	128	116	117	122	110	1,416
	外来	156	165	155	157	159	146	176	171	183	177	168	166	1,979
総　計		268	300	276	262	259	284	288	299	299	294	290	276	3,395

4. 病歴統計 (1)死亡患者数【ICD-10大分類 科別】

大分類名	性別	消化器内科	循環器内科	心臓血管外科	血液内科	総合内科	糖尿病・内分泌内科	呼吸器内科	一般・消化器外科	呼吸器外科	整形外科	泌尿器科	総計
01. 感染症及び寄生虫症	女	5	2			3		1					11
	男	1	2			1			1				5
02. 新生物	女	16						10	1				27
	男	26	1					13	2			2	44
03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	女	3					1						4
	男	2			1								3
04. 内分泌、栄養及び代謝疾患	女		1				1						2
	男	1				1							2
09. 循環器の疾患	女	7	18										25
	男	9	22	1					1				33
10. 呼吸器の疾患	女	2	2			3		5					12
	男	9	4			2		14		4			33
11. 消化器の疾患	女	8				1			2				11
	男	12							3				15
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	女										1		1
	男	1											1
14. 尿路性器系の疾患	女	2				1						3	6
	男		3			2							5
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	女										2		2
	男	2				1					4		7
22. 原因不明の新たな疾患の暫定分類	女							1					1
	男	2	2			1	2	1					8
総　計		108	57	1	1	16	4	45	10	4	7	5	258

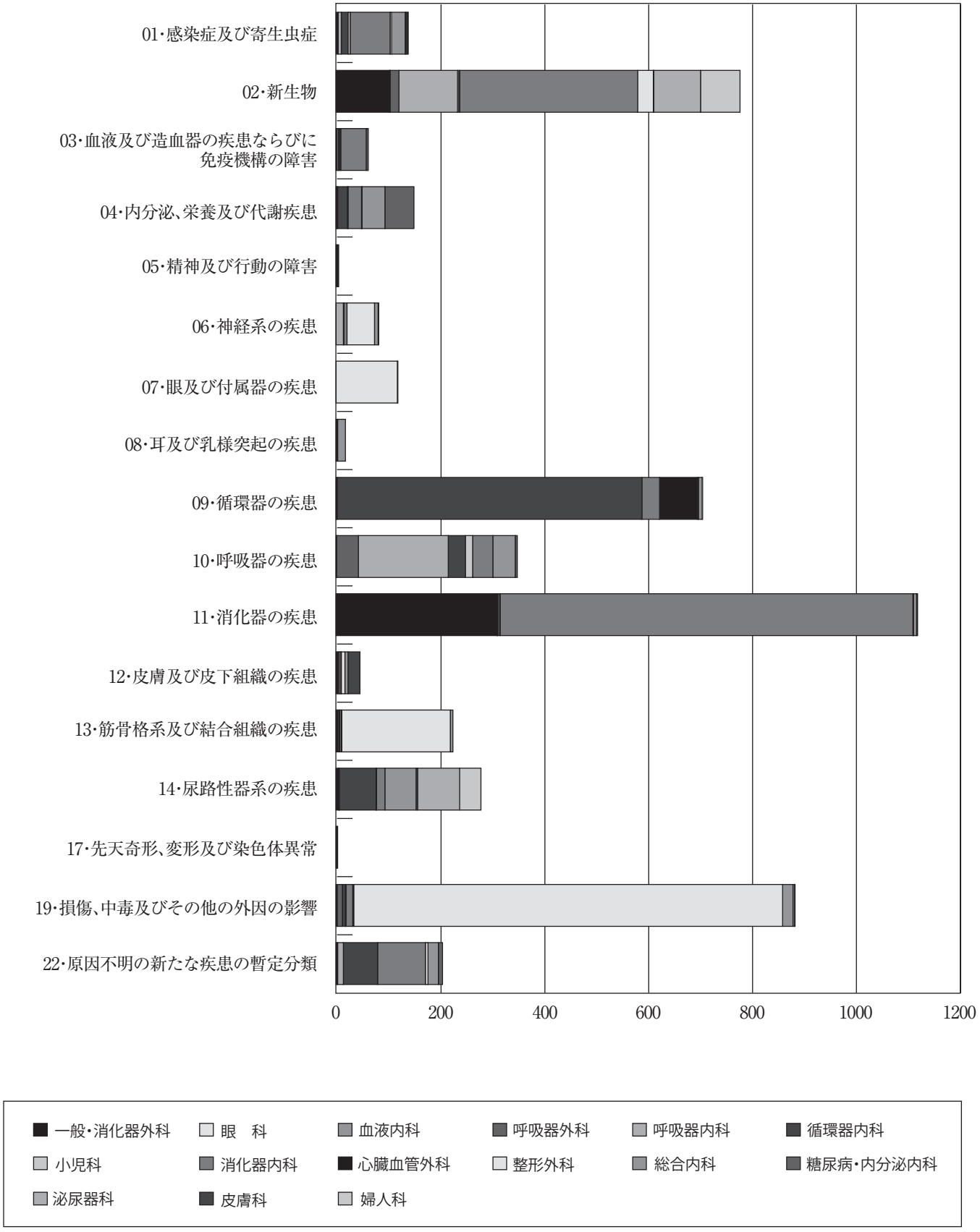
(人)

(2)退院患者ICD-10大分類統計【科別】

大分類名	一般・消化器外科	眼科	血液内科	呼吸器外科	呼吸器内科	循環器内科	小児科	消化器内科	心臓血管外科	整形外科	総合内科	糖尿病・内分泌内科	泌尿器科	皮膚科	婦人科	総計
01. 感染症及び寄生虫症	4				6	13	4	77		3	26		1	3	2	139
02. 新生物	103		1	17	113	4		343		30	1		90		76	778
03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	1		3		2	3		49			3	1				62
04. 内分泌、栄養及び代謝疾患				1	2	19	1	26		1	44	56				150
05. 精神及び行動の障害						1		2			2					5
06. 神経系の疾患					14	1		6		53	7	1				82
07. 眼及び付属器の疾患		118					1									119
08. 耳及び乳様突起の疾患						1		2			15					18
09. 循環器の疾患	2					587		34	73	2	7				1	706
10. 呼吸器の疾患	1			42	173	33	14	39			43	4				349
11. 消化器の疾患	310				1	5		795		1	6	2				1,120
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	3					3	3		1	7	6			23		46
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	1				2	3	1	3	1	209	5					225
14. 尿路性器系の疾患	5				1	71	1	16			60	3	81		41	279
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	1					2										3
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	2			10		6	1	13	2	826	20		3	1		884
22. 原因不明の新たな疾患の暫定分類	1			2	11	66		92		5	20	8				205
総　計	434	118	4	72	325	818	26	1,497	77	1,137	265	75	175	27	120	5,170

（人）

退院患者ICD-10大分類統計【科別】

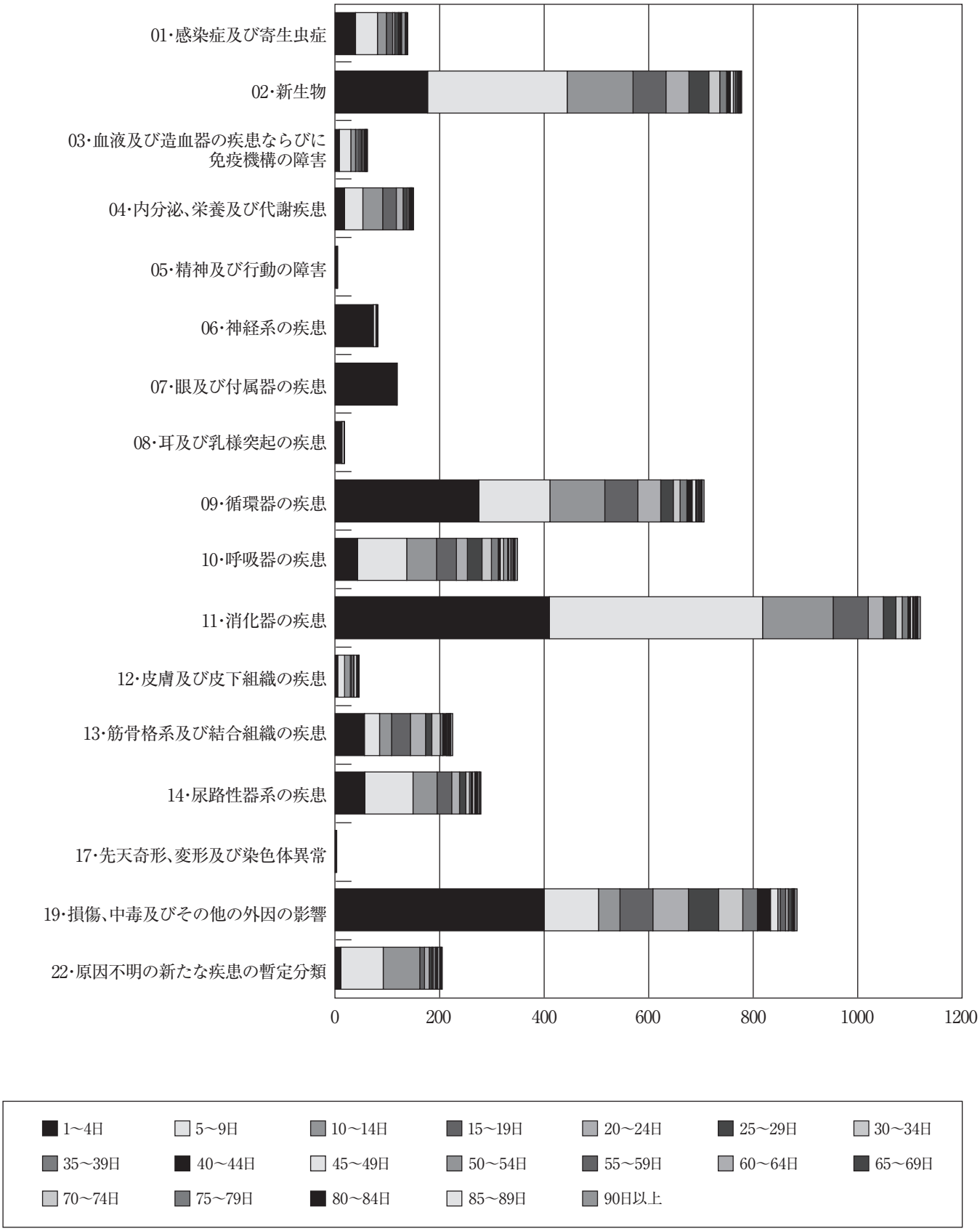


(3)退院患者ICD-10大分類統計【在院日数別】

ICD-10大分類	1～4日	5～9日	10～14日	15～19日	20～24日	25～29日	30～34日	35～39日	40～44日	45～49日	50～54日	55～59日	60～64日	65～69日	70～74日	75～79日	80～84日	85～89日	90日以上	総計
01. 感染症及び寄生虫症	39	42	17	12	4	7	2		3	1	7	1	1					1	2	139
02. 新生物	177	267	126	63	44	38	21	13	7	6	4	3		3	2		2		2	778
03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	8	22	9	7	3	3	3		2	1		1	1		1				1	62
04. 内分泌、栄養及び代謝疾患	18	35	38	26	13	8	3	2			1	1		1			1	1	2	150
05. 精神及び行動の障害	3	1					1													5
06. 神経系の疾患	73	5		2		2														82
07. 眼及び付属器の疾患	117	1	1																	119
08. 耳及び乳様突起の疾患	13	4	1																	18
09. 循環器の疾患	275	136	105	63	44	24	13	13	10	7	2	3	1	3		2	1		4	706
10. 呼吸器の疾患	43	94	57	38	21	28	18	13	4	6	8	2	4	1	3	2	1	1	5	349
11. 消化器の疾患	410	408	135	67	29	24	12	11	5	4	2	3	1	2	1	1			5	1,120
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	5	13	11	3	3	1	5		3	1					1					46
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	56	29	23	36	29	12	16	5	7	2	2	2		1		1			4	225
14. 尿路性器系の疾患	57	92	46	28	15	12	7	3	3	4	1	2	1	2	3			1	2	279
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	1	1	1																	3
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	400	104	41	63	68	58	46	28	25	14	5	10	5	7	2	1	2		5	884
22. 原因不明の新たな疾患の暫定分類	11	81	70	9	9	5	2	5	2	2	4		2		1	2				205
総　計	1,706	1,335	681	417	282	222	149	93	71	48	36	28	16	20	14	9	7	4	32	5,170

（人）

退院患者ICD-10大分類統計【在院日数別】

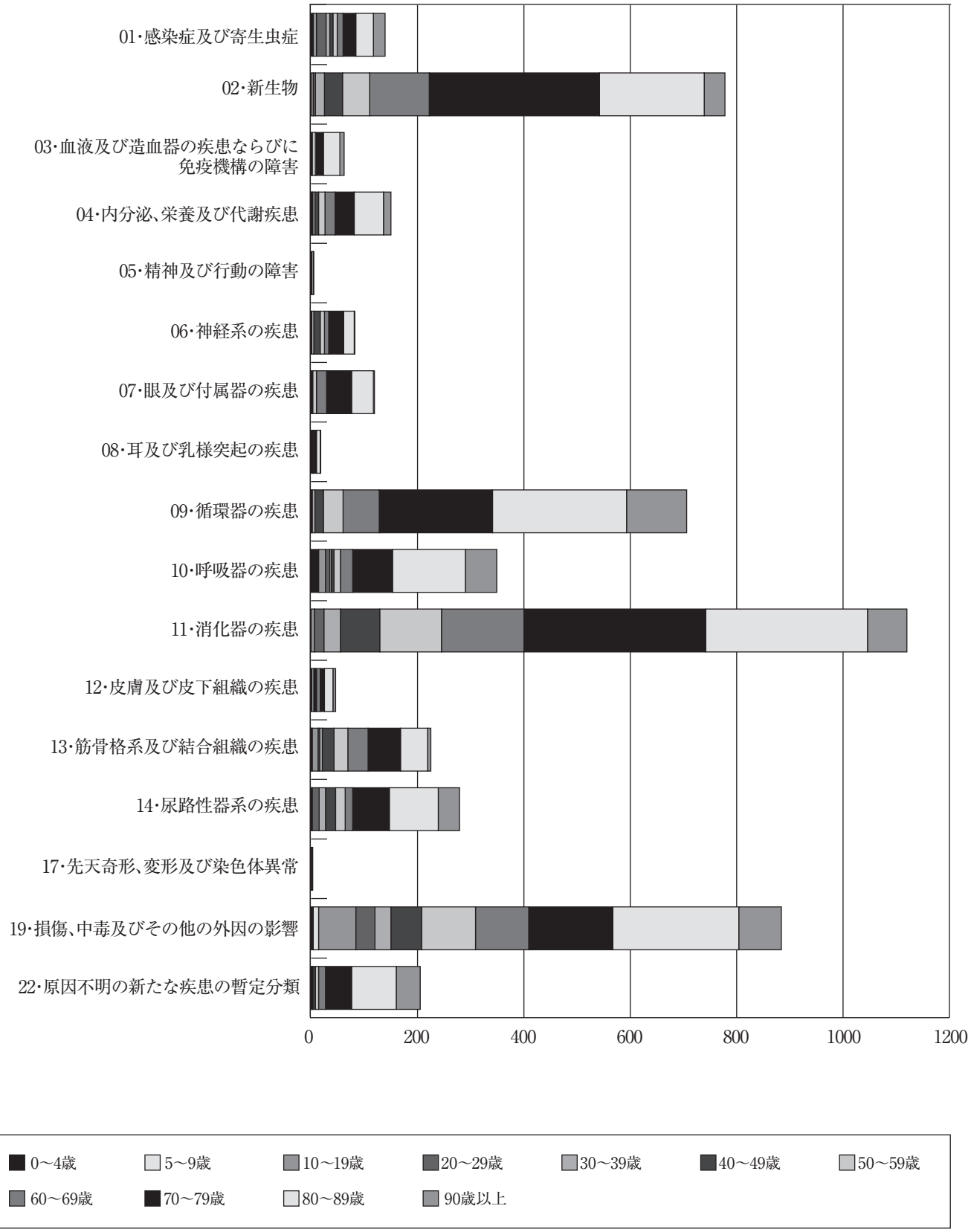


(4)退院患者ICD-10大分類統計【年齢別】

大分類名	0～4歳	5～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	総計
01. 感染症及び寄生虫症	4		6	18	7	6	8	11	24	33	22	139
02. 新生物			4	4	17	34	51	112	320	197	39	778
03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害				1		1	6	1	14	31	8	62
04. 内分泌、栄養及び代謝疾患		1		2	4	7	12	19	36	55	14	150
05. 精神及び行動の障害						1	3	1				5
06. 神経系の疾患			1		4	12	8	8	28	20	1	82
07. 眼及び付属器の疾患	1					2	7	19	47	41	2	119
08. 耳及び乳様突起の疾患						2	1	2	5	7	1	18
09. 循環器の疾患			1	1	5	16	37	68	213	252	113	706
10. 呼吸器の疾患	14		13	8	3	5	12	23	75	137	59	349
11. 消化器の疾患			6	18	31	74	116	155	342	304	74	1,120
12. 皮膚及び皮下組織の疾患		1	4	2		1	2	7	8	16	5	46
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	1	1	11	3	5	22	26	38	61	51	6	225
14. 尿路性器系の疾患	1		1	13	12	19	18	14	69	92	40	279
17. 先天奇形、変形及び染色体異常							2			1		3
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	4	10	70	36	30	58	101	100	158	237	80	884
22. 原因不明の新たな疾患の暫定分類			1	1	1	5	6	13	49	84	45	205
総 計	25	13	118	107	119	265	416	591	1,449	1,558	509	5,170

（人）

退院患者ICD-10大分類統計【年齢別】



(5)退院患者ICD-10大分類・中分類統計【科別】

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
消化器内科			**1,497**
	01. 感染症及び寄生虫症		77
		01. 腸管感染症	51
		04. その他の細菌性疾患	12
		09. 中枢神経系のウイルス感染症	1
		12. ウイルス肝炎	10
		14. その他のウイルス疾患	3
	02. 新生物		343
		01. 口唇、口腔および咽頭	1
		02. 消化器	264
		03. 呼吸器および胸腔内臓器	3
		07. 乳房	5
		08. 女性性器	3
		09. 男性性器	1
		10. 尿路	5
		11. 眼、脳および中枢神経系のその他の部位	1
		13. 部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物	11
		14. 原発と記載されたまたは推定されたリンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物	11
		17. 良性新生物	20
		18. 性状不詳または不明の新生物	18
	03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害		49
		01. 栄養性貧血	27
		03. 無形性貧血およびその他の貧血	15
		04. 凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態	6
		05. 血液および造血器のその他の疾患	1
	04. 内分泌、栄養及び代謝疾患		26
		02. 糖尿病	4
		03. その他のグルコース調節および膵内分泌障害	2
		05. 栄養失調(症)	1
		06. その他の栄養欠乏症	3
		08. 代謝障害	16
	05. 精神及び行動の障害		2
		01. 症状性を含む器質性精神障害	1
		02. 精神作用物質使用による精神および行動の障害	1
	06. 神経系の疾患		6
		01. 中枢神経系の炎症性疾患	1
		03. 錐体路障害および異常行動	3
		09. 神経筋接合部および筋の疾患	1
		11. 神経系その他の障害	1
	08. 耳及び乳様突起の疾患		2
		03. 内耳疾患	2
	09. 循環器の疾患		34
		06. その他の型の心疾患	16
		07. 脳血管疾患	6
		08. 動脈、細動脈および毛細血管の疾患	3

診療科名	大分類名	中分類名	人数（人）
		09. 静脈、リンパ管およびリンパ節の疾患、他に分類されないもの	6
		10. 循環器系のその他および詳細不明の障害	3
	10. 呼吸器の疾患		39
		02. インフルエンザおよび肺炎	11
		05. 慢性下気道疾患	1
		06. 外的因子による肺疾患	23
		07. 主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	3
		10. 呼吸器系のその他の疾患	1
	11. 消化器の疾患		795
		02. 食道、胃および十二指腸の疾患	64
		04. ヘルニア	5
		05. 非感染性腸炎および非感染性大腸炎	22
		06. 痔核	3
		06. 腸のその他の疾患	456
		07. 腹膜の疾患	1
		08. 肝疾患	71
		09. 胆嚢、胆管および膵の障害	142
		10. 消化器系のその他の疾患	31
	13. 筋骨格系及び結合組織の疾患		3
		07. 脊椎障害	2
		09. 筋障害	1
	14. 尿路性器系の疾患		16
		02. 腎尿細管間質性疾患	1
		03. 腎不全	5
		05. 腎および尿管のその他の障害	2
		06. 尿路系のその他の障害	7
		09. 女性骨盤臓器の炎症性疾患	1
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		13
		03. 胸部＜郭＞損傷	1
		13. 自然開口部からの異物侵入の作用	2
		20. 外因その他および詳細不明の作用	2
		21. 外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	8
	22. 原因不明の新たな疾患の暫定分類		92
		01. コロナウイルス感染症	92
循環器内科			**818**
	01. 感染症及び寄生虫症		13
		02. 結核	2
		04. その他の細菌性疾患	11
	02. 新生物		4
		02. 消化器	1
		10. 尿路	1
		18. 性状不詳または不明の新生物	2
	03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害		3
		01. 栄養性貧血	2
		03. 無形性貧血およびその他の貧血	1
	04. 内分泌、栄養及び代謝疾患		19

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
		02. 糖尿病	4
		08. 代謝障害	15
	05. 精神及び行動の障害		1
		02. 精神作用物質使用による精神および行動の障害	1
	06. 神経系の疾患		1
		11. 神経系その他の障害	1
	08. 耳及び乳様突起の疾患		1
		03. 内耳疾患	1
	09. 循環器の疾患		587
		03. 高血圧性心疾患	8
		04. 虚血性心疾患	172
		05. 肺性心疾患および肺循環疾患	6
		06. その他の型の心疾患	372
		07. 脳血管疾患	2
		08. 動脈、細動脈および毛細血管の疾患	22
		09. 静脈、リンパ管およびリンパ節の疾患、他に分類されないもの	3
		10. 循環器系のその他および詳細不明の障害	2
	10. 呼吸器の疾患		33
		01. 急性上気道感染症	1
		02. インフルエンザおよび肺炎	11
		05. 慢性下気道疾患	5
		06. 外的因子による肺疾患	13
		09. 胸膜のその他の疾患	3
	11. 消化器の疾患		5
		02. 食道、胃および十二指腸の疾患	2
		06. 腸のその他の疾患	1
		09. 胆嚢、胆管および膵の障害	1
		10. 消化器系のその他の疾患	1
	12. 皮膚及び皮下組織の疾患		3
		01. 皮膚および皮下組織の感染症	2
		02. 水疱症	1
	13. 筋骨格系及び結合組織の疾患		3
		02. 炎症性多発関節障害	1
		05. 全身性結合組織障害	2
	14. 尿路性器系の疾患		71
		01. 糸球体疾患	3
		02. 腎尿細管間質性疾患	1
		03. 腎不全	60
		05. 腎および尿管のその他の障害	4
		06. 尿路系のその他の障害	3
	17. 先天奇形、変形及び染色体異常		2
		08. 尿路系の先天奇形	2
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		6
		05. 肩および上腕の損傷	1
		08. 股関節部および大腿の損傷	2
		20. 外因その他および詳細不明の作用	1
		21. 外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	2
	22. 原因不明の新たな疾患の暫定分類		66

診療科名	大分類名	中分類名	人数（人）
		01. コロナウイルス感染症	66
心臓血管外科			**77**
	09. 循環器の疾患		73
		06. その他の型の心疾患	1
		08. 動脈、細動脈および毛細血管の疾患	4
		09. 静脈、リンパ管およびリンパ節の疾患、他に分類されないもの	68
	12. 皮膚及び皮下組織の疾患		1
		01. 皮膚および皮下組織の感染症	1
	13. 筋骨格系及び結合組織の疾患		1
		11. その他軟部組織障害	1
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		2
		03. 胸部＜郭＞損傷	1
		09. 膝および下腿の損傷	1
呼吸器内科			**325**
	01. 感染症及び寄生虫症		6
		02. 結核	1
		04. その他の細菌性疾患	4
		19. 感染症および寄生虫症の続発・後遺症	1
	02. 新生物		113
		03. 呼吸器および胸腔内臓器	105
		13. 部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物	6
		14. 原発と記載されたまたは推定されたリンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物	1
		18. 性状不詳または不明の新生物	1
	03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害		2
		04. 凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態	1
		06. 免疫機構の障害	1
	04. 内分泌、栄養及び代謝疾患		2
		02. 糖尿病	1
		08. 代謝障害	1
	06. 神経系の疾患		14
		06. 挿間性および発作性障害	14
	10. 呼吸器の疾患		173
		01. 急性上気道感染症	1
		02. インフルエンザおよび肺炎	54
		03. その他の急性下気道感染症	1
		05. 慢性下気道疾患	22
		06. 外的因子による肺疾患	46
		07. 主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	29
		08. 下気道の化膿性および壊死性病態	4
		09. 胸膜のその他の疾患	8
		10. 呼吸器系のその他の疾患	8
	11. 消化器の疾患		1
		06. 腸のその他の疾患	1
	13. 筋骨格系及び結合組織の疾患		2

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
		05. 全身性結合組織障害	2
	14. 尿路性器系の疾患		1
		01. 糸球体疾患	1
	22. 原因不明の新たな疾患の暫定分類		11
		01. コロナウイルス感染症	11
糖尿病・内分泌内科			**75**
	03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害		1
		04. 凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態	1
	04. 内分泌、栄養及び代謝疾患		56
		02. 糖尿病	53
		03. その他のグルコース調節および膵内分泌障害	1
		05. 栄養失調(症)	1
		08. 代謝障害	1
	06. 神経系の疾患		1
		09. 神経筋接合部および筋の疾患	1
	10. 呼吸器の疾患		4
		02. インフルエンザおよび肺炎	1
		05. 慢性下気道疾患	1
		06. 外的因子による肺疾患	2
	11. 消化器の疾患		2
		02. 食道、胃および十二指腸の疾患	1
		09. 胆嚢、胆管および膵の障害	1
	14. 尿路性器系の疾患		3
		03. 腎不全	1
		06. 尿路系のその他の障害	2
	22. 原因不明の新たな疾患の暫定分類		8
		01. コロナウイルス感染症	8
総合内科			**265**
	01. 感染症及び寄生虫症		26
		01. 腸管感染症	1
		04. その他の細菌性疾患	21
		11. 皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	1
		14. その他のウイルス疾患	3
	02. 新生物		1
		03. 呼吸器および胸腔内臓器	1
	03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害		3
		01. 栄養性貧血	1
		04. 凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態	2
	04. 内分泌、栄養及び代謝疾患		44
		01. 甲状腺障害	1
		04. その他の内分泌腺障害	1
		05. 栄養失調(症)	1
		08. 代謝障害	41
	05. 精神及び行動の障害		2

診療科名	大分類名	中分類名	人数（人）
		05. 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	1
		06. 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	1
	06. 神経系の疾患		7
		03. 錐体路障害および異常行動	3
		06. 挿間性および発作性障害	1
		11. 神経系その他の障害	3
	08. 耳及び乳様突起の疾患		15
		03. 内耳疾患	15
	09. 循環器の疾患		7
		05. 肺性心疾患および肺循環疾患	1
		06. その他の型の心疾患	1
		07. 脳血管疾患	4
		09. 静脈、リンパ管およびリンパ節の疾患、他に分類されないもの	1
	10. 呼吸器の疾患		43
		01. 急性上気道感染症	2
		02. インフルエンザおよび肺炎	7
		05. 慢性下気道疾患	1
		06. 外的因子による肺疾患	32
		07. 主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	1
	11. 消化器の疾患		6
		02. 食道、胃および十二指腸の疾患	2
		06. 腸のその他の疾患	1
		07. 腹膜の疾患	1
		08. 肝疾患	2
	12. 皮膚及び皮下組織の疾患		6
		01. 皮膚および皮下組織の感染症	6
	13. 筋骨格系及び結合組織の疾患		5
		05. 全身性結合組織障害	3
		09. 筋障害	2
	14. 尿路性器系の疾患		60
		02. 腎尿細管間質性疾患	10
		03. 腎不全	3
		05. 腎および尿管のその他の障害	1
		06. 尿路系のその他の障害	46
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		20
		18. 薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒	1
		20. 外因その他および詳細不明の作用	18
		21. 外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	1
	22. 原因不明の新たな疾患の暫定分類		20
		01. コロナウイルス感染症	20
血液内科			**4**
	02. 新生物		1
		14. 原発と記載されたまたは推定されたリンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物	1
	03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害		3
		03. 無形性貧血およびその他の貧血	2

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
		04. 凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態	1
小児科			**26**
	01. 感染症及び寄生虫症		4
		01. 腸管感染症	3
		11. 皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	1
	04. 内分泌、栄養及び代謝疾患		1
		08. 代謝障害	1
	07. 眼及び付属器の疾患		1
		02. 中耳および乳様突起の疾患	1
	10. 呼吸器の疾患		14
		01. 急性上気道感染症	1
		02. インフルエンザおよび肺炎	3
		03. その他の急性下気道感染症	7
		05. 慢性下気道疾患	3
	12. 皮膚及び皮下組織の疾患		3
		01. 皮膚および皮下組織の感染症	2
		03. 皮膚炎および湿疹	1
	13. 筋骨格系及び結合組織の疾患		1
		09. 筋障害	1
	14. 尿路性器系の疾患		1
		06. 尿路系のその他の障害	1
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		1
		20. 外因その他および詳細不明の作用	1
一般・消化器外科			**434**
	01. 感染症及び寄生虫症		4
		01. 腸管感染症	1
		04. その他の細菌性疾患	2
		15. 真菌症	1
	02. 新生物		103
		02. 消化器	94
		14. 原発と記載されたまたは推定されたリンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物	2
		17. 良性新生物	4
		18. 性状不詳または不明の新生物	3
	03. 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害		1
		03. 無形性貧血およびその他の貧血	1
	09. 循環器の疾患		2
		06. その他の型の心疾患	1
		07. 脳血管疾患	1
	10. 呼吸器の疾患		1
		06. 外的因子による肺疾患	1
	11. 消化器の疾患		310
		02. 食道、胃および十二指腸の疾患	2
		03. 虫垂の疾患	55

診療科名	大分類名	中分類名	人数（人）
		04. ヘルニア	92
		06. 痔核	5
		06. 腸のその他の疾患	62
		07. 腹膜の疾患	4
		09. 胆嚢、胆管および膵の障害	87
		10. 消化器系のその他の疾患	3
	12. 皮膚及び皮下組織の疾患		3
		01. 皮膚および皮下組織の感染症	3
	13. 筋骨格系及び結合組織の疾患		1
		11. その他軟部組織障害	1
	14. 尿路性器系の疾患		5
		03. 腎不全	2
		06. 尿路系のその他の障害	1
		10. 女性性器の非炎症性障害	2
	17. 先天奇形、変形及び染色体異常		1
		06. 消化器系その他の先天奇形	1
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		2
		21. 外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	2
	22. 原因不明の新たな疾患の暫定分類		1
		01. コロナウイルス感染症	1
呼吸器外科			**72**
	02. 新生物		17
		03. 呼吸器および胸腔内臓器	13
		08. 女性性器	1
		13. 部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物	3
	04. 内分泌、栄養及び代謝疾患		1
		04. その他の内分泌腺障害	1
	10. 呼吸器の疾患		42
		02. インフルエンザおよび肺炎	1
		06. 外的因子による肺疾患	1
		08. 下気道の化膿性および壊死性病態	1
		09. 胸膜のその他の疾患	38
		10. 呼吸器系のその他の疾患	1
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		10
		03. 胸部＜郭＞損傷	8
		21. 外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	2
	22. 原因不明の新たな疾患の暫定分類		2
		01. コロナウイルス感染症	2
整形外科			**1,137**
	01. 感染症及び寄生虫症		3
		04. その他の細菌性疾患	3
	02. 新生物		30
		17. 良性新生物	4
		18. 性状不詳または不明の新生物	26

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
	04. 内分泌、栄養及び代謝疾患		1
		02. 糖尿病	1
	06. 神経系の疾患		53
		07. 神経、神経根および神経そう<叢>の障害	52
		10. 脳性麻痺およびその他の麻痺性症候群	1
	09. 循環器の疾患		2
		07. 脳血管疾患	1
		08. 動脈、細動脈および毛細血管の疾患	1
	11. 消化器の疾患		1
		07. 腹膜の疾患	1
	12. 皮膚及び皮下組織の疾患		7
		01. 皮膚および皮下組織の感染症	2
		08. 皮膚および皮下組織のその他の障害	5
	13. 筋骨格系及び結合組織の疾患		209
		01. 感染性関節障害	6
		02. 炎症性多発関節障害	3
		03. 関節障害	61
		04. その他の関節障害	14
		06. 変形性脊柱障害	2
		07. 脊椎障害	61
		08. その他脊柱障害	18
		10. 滑膜および腱の障害	4
		11. その他軟部組織障害	10
		12. 骨の密度および構造の障害	14
		13. その他の骨の障害	7
		14. 軟骨障害	5
		15. 筋骨格系および結合組織のその他の障害	4
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		826
		01. 頭部損傷	1
		03. 胸部<郭>損傷	13
		04. 腹部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷	69
		05. 肩および上腕の損傷	92
		06. 肘および前腕の損傷	191
		07. 手首および手の損傷	84
		08. 股関節部および大腿の損傷	202
		09. 膝および下腿の損傷	139
		10. 足首および足の損傷	27
		11. 多部位の損傷	5
		12. 部位不明の大幹もしくは四肢の損傷または部位不明の損傷	1
		21. 外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	2
	22. 原因不明の新たな疾患の暫定分類		5
		01. コロナウイルス感染症	5
婦人科			**120**
	01. 感染症及び寄生虫症		2
		05. 主として性的伝播様式をとる感染症	2

診療科名	大分類名	中分類名	人数(人)
	02. 新生物		76
		08. 女性性器	38
		13. 部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物	2
		16. 上皮内新生物	1
		17. 良性新生物	24
		18. 性状不詳または不明の新生物	11
	09. 循環器の疾患		1
		05. 肺性心疾患および肺循環疾患	1
	14. 尿路性器系の疾患		41
		09. 女性骨盤臓器の炎症性疾患	1
		10. 女性性器の非炎症性障害	40
眼科			**118**
	07. 眼及び付属器の疾患		118
		04. 水晶体の障害	115
		06. 緑内障	3
皮膚科			**27**
	01. 感染症及び寄生虫症		3
		11. 皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	3
	12. 皮膚及び皮下組織の疾患		23
		01. 皮膚および皮下組織の感染症	16
		02. 水疱症	3
		03. 皮膚炎および湿疹	2
		05. 蕁麻疹および紅斑	1
		08. 皮膚および皮下組織のその他の障害	1
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		1
		14. 体表面の熱傷および腐食、明示された部位	1
泌尿器科			**175**
	01. 感染症及び寄生虫症		1
		04. その他の細菌性疾患	1
	02. 新生物		90
		09. 男性性器	7
		10. 尿路	81
		18. 性状不詳または不明の新生物	2
	14. 尿路性器系の疾患		81
		01. 糸球体疾患	5
		02. 腎尿細管間質性疾患	29
		03. 腎不全	4
		04. 尿路結石症	7
		06. 尿路系のその他の障害	20
		07. 男性性器の疾患	16
	19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響		3
		04. 腹部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷	1
		21. 外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	2
総計			**5,170**

(6)DPC診断群分類別 退院患者入院期間構成比

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
神経系疾患						
脳腫瘍	2	15.5	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
脳梗塞	12	31.8	25.0%	8.3%	33.3%	33.3%
脳卒中の続発症	6	6.7	33.3%	16.7%	50.0%	0.0%
脳血管障害	1	2.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
脳脊髄の感染を伴う炎症	3	25.7	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
脱髄性疾患(その他)	1	2.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
筋疾患(その他)	2	9.0	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
パーキンソン病	5	15.8	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%
基底核等の変性疾患	1	2.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
水頭症	3	6.3	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
認知症	1	30.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
てんかん	1	2.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自律神経系の障害	1	2.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
脳の障害(その他)	2	3.5	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
計	41	16.9	34.1%	19.5%	36.6%	9.8%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
眼科系疾患						
白内障、水晶体の疾患	115	2.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
緑内障	3	7.3	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%
計	118	2.1	0.8%	97.5%	0.8%	0.0%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
耳鼻咽喉科系疾患						
頭頸部悪性腫瘍	1	2.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎	2	3.5	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
伝染性単核球症	3	6.7	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
睡眠時無呼吸	14	2.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
上気道炎	1	8.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
急性副鼻腔炎	1	9.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
前庭機能障害	16	3.8	50.0%	18.8%	31.3%	0.0%
めまい(末梢前庭以外)	2	3.5	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
滲出性中耳炎、耳管炎、耳管閉塞	1	4.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
計	41	3.6	24.4%	53.7%	22.0%	0.0%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
呼吸器系疾患						
呼吸器系の良性腫瘍	1	21.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
肺の悪性腫瘍	116	11.3	7.8%	48.3%	23.3%	4.3%
胸壁腫瘍、胸膜腫瘍	7	15.3	14.3%	42.9%	28.6%	14.3%
インフルエンザ、ウイルス性肺炎	4	5.5	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%
肺炎等	82	17.5	23.2%	47.6%	22.0%	7.3%
誤嚥性肺炎	110	29.4	16.4%	28.2%	47.3%	8.2%
急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症（その他）	9	6.4	33.3%	44.4%	22.2%	0.0%
喘息	13	5.1	15.4%	61.5%	23.1%	0.0%
間質性肺炎	41	15.5	34.1%	26.8%	39.0%	0.0%
慢性閉塞性肺疾患	14	17.7	7.1%	42.9%	42.9%	7.1%
呼吸不全（その他）	5	16.6	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%
肺・縦隔の感染、膿瘍形成	8	23.8	12.5%	62.5%	25.0%	0.0%
呼吸器の結核	1	2.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
抗酸菌関連疾患（肺結核以外）	1	19.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
胸水、胸膜の疾患（その他）	15	18.5	26.7%	26.7%	40.0%	6.7%
気胸	36	9.3	25.0%	41.7%	30.6%	2.8%
気管支拡張症	3	12.0	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
横隔膜腫瘍・横隔膜疾患（新生児を含む。）	4	6.3	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%
急性呼吸窮＜促＞迫症候群	2	27.5	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
その他の呼吸器の障害	4	7.0	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%
計	476	17.2	18.9%	39.9%	31.9%	5.0%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
循環器系疾患						
急性心筋梗塞（続発性合併症を含む。）、再発性心筋梗塞	50	15.0	4.0%	48.0%	40.0%	8.0%
狭心症、慢性虚血性心疾患	120	4.2	1.7%	76.7%	21.7%	0.0%
心筋症（拡張型心筋症を含む。）	1	6.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
頻脈性不整脈	55	6.3	7.3%	54.5%	38.2%	0.0%
弁膜症（連合弁膜症を含む。）	6	18.0	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%
心内膜炎	6	39.8	16.7%	16.7%	50.0%	16.7%
心筋炎	1	7.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
心不全	229	20.4	18.3%	37.6%	39.7%	4.4%
高血圧性疾患	6	10.5	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%
大動脈解離	5	12.8	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%
破裂性大動脈瘤	1	5.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
閉塞性動脈疾患	22	8.6	18.2%	36.4%	45.5%	0.0%
静脈・リンパ管疾患	70	4.5	17.1%	45.7%	35.7%	1.4%
肺塞栓症	8	18.1	12.5%	25.0%	62.5%	0.0%
循環器疾患（その他）	4	7.0	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%
徐脈性不整脈	44	7.7	34.1%	40.9%	25.0%	0.0%
その他の循環器の障害	5	17.6	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%
計	633	12.4	14.4%	47.4%	35.4%	2.7%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患						
食道の悪性腫瘍（頸部を含む。）	20	12.4	20.0%	35.0%	40.0%	0.0%
胃の悪性腫瘍	83	16.6	12.0%	41.0%	37.3%	4.8%
小腸の悪性腫瘍、腹膜の悪性腫瘍	6	21.2	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%
結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍	100	14.2	5.0%	50.0%	41.0%	4.0%
直腸肛門（直腸S状部から肛門）の悪性腫瘍	49	15.3	14.3%	46.9%	30.6%	6.1%
肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。）	26	14.3	19.2%	23.1%	42.3%	11.5%
胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍	21	17.6	19.0%	47.6%	19.0%	14.3%
膵臓、脾臓の腫瘍	49	13.1	12.2%	38.8%	38.8%	10.2%
胃の良性腫瘍	13	7.3	7.7%	30.8%	61.5%	0.0%
小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）	245	2.6	0.4%	81.2%	18.4%	0.0%
穿孔又は膿瘍を伴わない憩室性疾患	89	8.0	11.2%	58.4%	30.3%	0.0%
食道、胃、十二指腸、他腸の炎症（その他良性疾患）	65	10.0	24.6%	30.8%	43.1%	1.5%
胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（穿孔を伴わないもの）	35	11.8	20.0%	45.7%	28.6%	5.7%
胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（穿孔を伴うもの）	2	23.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
虫垂炎	53	7.0	3.8%	49.1%	47.2%	0.0%
鼠径ヘルニア	85	5.7	0.0%	81.2%	17.6%	0.0%
閉塞、壊疽のない腹腔のヘルニア	10	7.8	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%
クローン病等	6	12.0	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%
潰瘍性大腸炎	11	10.3	18.2%	45.5%	36.4%	0.0%
虚血性腸炎	55	11.4	16.4%	54.5%	25.5%	3.6%
ヘルニアの記載のない腸閉塞	109	14.0	18.3%	50.5%	26.6%	4.6%
直腸脱、肛門脱	3	9.7	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
肛門周囲膿瘍	5	8.4	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%
痔瘻	2	3.5	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
痔核	8	5.9	0.0%	37.5%	62.5%	0.0%
尖圭コンジローム	2	3.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
裂肛、肛門狭窄	3	7.7	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
劇症肝炎、急性肝不全、急性肝炎	13	10.2	30.8%	30.8%	38.5%	0.0%
アルコール性肝障害	20	11.9	15.0%	40.0%	45.0%	0.0%
慢性C型肝炎	3	15.0	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
肝硬変（胆汁性肝硬変を含む。）	35	23.2	2.9%	31.4%	51.4%	14.3%
肝膿瘍（細菌性・寄生虫性疾患を含む。）	2	25.5	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
肝嚢胞	7	10.1	57.1%	0.0%	42.9%	0.0%
胆嚢疾患（胆嚢結石など）	34	6.2	0.0%	76.5%	23.5%	0.0%
胆嚢炎等	66	9.9	12.1%	33.3%	53.0%	1.5%
胆管（肝内外）結石、胆管炎	108	10.7	19.4%	35.2%	44.4%	0.9%
急性膵炎、被包化壊死	25	14.7	8.0%	56.0%	28.0%	8.0%
慢性膵炎（膵嚢胞を含む。）、自己免疫性膵炎、膵石症	2	11.0	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
腹膜炎、腹腔内膿瘍（女性器臓器を除く。）	11	18.8	18.2%	45.5%	27.3%	9.1%
ウイルス性腸炎	48	6.1	31.3%	27.1%	41.7%	0.0%
細菌性腸炎	6	7.0	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%

偽膜性腸炎	1	24.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
その他の消化管の障害	23	7.6	39.1%	21.7%	34.8%	4.3%
計	1,559	10.1	11.7%	50.7%	34.2%	2.8%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
筋骨格系疾患						
骨軟部の良性腫瘍(脊椎脊髄を除く。)	22	4.0	36.4%	40.9%	22.7%	0.0%
神経の良性腫瘍	3	2.7	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
骨の悪性腫瘍(脊椎を除く。)	4	25.3	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%
肩関節炎、肩の障害(その他)	2	31.5	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
手肘の関節炎	2	4.5	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
骨髄炎(上肢以外)	3	45.0	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%
滑膜炎、腱鞘炎、軟骨などの炎症(上肢)	1	4.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
滑膜炎、腱鞘炎、軟骨などの炎症(上肢以外)	3	9.0	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%
筋炎(感染性を含む。)	3	3.7	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
化膿性関節炎(下肢)	6	48.8	16.7%	16.7%	50.0%	16.7%
上肢末梢神経麻痺	52	2.1	96.2%	3.8%	0.0%	0.0%
脊椎変形	1	44.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
上肢・手の変形(偽関節を除く。)	2	5.0	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
手関節症(変形性を含む。)	11	5.5	27.3%	54.5%	18.2%	0.0%
下肢の変形	2	22.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
膝関節症(変形性を含む。)	33	21.7	3.0%	30.3%	57.6%	0.0%
動揺関節症	1	3.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
関節内障、関節内遊離体	2	3.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
膝蓋骨の障害	1	7.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
骨端症、骨軟骨障害・骨壊死、発育期の膝関節障害	3	9.0	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
上肢関節拘縮・強直	3	4.3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
脊椎感染(感染を含む。)	6	56.8	16.7%	16.7%	50.0%	16.7%
脊柱管狭窄(脊椎症を含む。)　頸部	21	20.6	4.8%	52.4%	38.1%	4.8%
脊柱管狭窄(脊椎症を含む。)　腰部骨盤、不安定椎	34	29.1	2.9%	44.1%	44.1%	8.8%
脊柱管狭窄(脊椎症を含む。)	4	14.3	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
椎間板変性、ヘルニア	9	12.3	11.1%	44.4%	44.4%	0.0%
ガングリオン	1	4.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
線維芽細胞性障害	4	3.8	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
壊死性筋膜炎	3	22.7	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%
股関節骨頭壊死、股関節症(変形性を含む。)	12	23.3	8.3%	33.3%	50.0%	8.3%
大腿骨頭すべり症	2	5.5	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
神経異栄養症、骨成長障害、骨障害(その他)	1	3.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
色素性絨毛結節性滑膜炎	1	11.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
痛風、関節の障害(その他)	1	8.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
リンパ節、リンパ管の疾患	6	16.0	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%
重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患	8	10.6	37.5%	50.0%	12.5%	0.0%
骨折変形癒合、癒合不全などによる変形(上肢以外)	1	13.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
骨折変形癒合、癒合不全などによる変形(上肢)	7	3.9	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%
その他の筋骨格系・結合組織の疾患	20	21.6	30.0%	20.0%	35.0%	15.0%
計	301	15.8	35.2%	30.9%	29.2%	3.7%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
皮膚・皮下組織の疾患						
皮膚の良性新生物	2	1.5	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
膿皮症	28	14.3	3.6%	53.6%	32.1%	10.7%
帯状疱疹	3	7.7	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
紅斑症	1	12.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
薬疹、中毒疹	3	4.7	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
水疱症	3	28.0	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
計	40	13.4	15.0%	47.5%	30.0%	7.5%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
乳房の疾患						
乳房の悪性腫瘍	5	11.2	60.0%	0.0%	20.0%	20.0%
計	5	11.2	60.0%	0.0%	20.0%	20.0%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
内分泌・栄養・代謝に関する疾患						
糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡	20	13.4	20.0%	25.0%	55.0%	0.0%
1型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）	3	14.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）	36	19.4	0.0%	25.0%	66.7%	8.3%
その他の糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）	2	12.5	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
糖尿病足病変	5	33.6	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%
甲状腺機能低下症	1	10.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
低血糖症	3	6.7	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
ADH分泌異常症	2	12.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
代謝性疾患（糖尿病を除く。）	1	4.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
内分泌性高血圧症（その他）	1	7.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
栄養障害（その他）	5	11.6	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%
代謝障害（その他）	5	28.0	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%
アミロイドーシス	1	10.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
体液量減少症	16	8.6	31.3%	31.3%	37.5%	0.0%
低カリウム血症	12	16.6	33.3%	33.3%	25.0%	8.3%
カルシウム代謝障害	3	6.3	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害	34	10.9	17.6%	38.2%	41.2%	2.9%
計	150	14.7	15.3%	32.7%	48.0%	3.3%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患						
腎腫瘍	4	10.8	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%
後腹膜疾患	5	15.4	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%
腎盂・尿管の悪性腫瘍	5	14.8	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%
膀胱腫瘍	79	7.2	5.1%	67.1%	27.8%	0.0%
前立腺の悪性腫瘍	8	16.8	12.5%	37.5%	37.5%	12.5%
精巣腫瘍	1	5.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
上部尿路疾患	14	9.1	14.3%	28.6%	57.1%	0.0%

下部尿路疾患	1	7.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺肥大症等	9	7.6	0.0%	88.9%	11.1%	0.0%
男性生殖器疾患	7	6.1	28.6%	28.6%	42.9%	0.0%
ネフローゼ症候群	3	16.0	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
急速進行性腎炎症候群	1	11.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
慢性腎炎症候群･慢性間質性腎炎･慢性腎不全	66	17.8	15.2%	47.0%	31.8%	6.1%
急性腎不全	18	26.7	22.2%	11.1%	50.0%	16.7%
腎臓又は尿路の感染症	105	15.0	23.8%	43.8%	25.7%	6.7%
腎、泌尿器の疾患（その他）	1	28.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
計	327	13.6	15.3%	47.1%	32.7%	4.6%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩						
卵巣･子宮付属器の悪性腫瘍	30	8.4	0.0%	60.0%	36.7%	3.3%
子宮頸･体部の悪性腫瘍	11	7.4	9.1%	72.7%	18.2%	0.0%
腟の悪性腫瘍	1	3.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
子宮の良性腫瘍	17	6.4	11.8%	82.4%	5.9%	0.0%
卵巣の良性腫瘍	17	5.9	0.0%	94.1%	5.9%	0.0%
子宮内膜症	6	6.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
子宮･子宮付属器の炎症性疾患	3	13.3	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
卵巣･卵管･広間膜の非炎症性疾患	2	6.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
女性性器のポリープ	22	3.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
子宮の非炎症性障害	4	4.5	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
生殖･月経周期に関連する病態	3	3.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
計	116	6.3	4.3%	79.3%	15.5%	0.9%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
血液・造血器・免疫臓器の疾患						
急性白血病	1	2.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
非ホジキンリンパ腫	11	16.6	9.1%	45.5%	45.5%	0.0%
多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物	4	10.3	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
骨髄増殖性腫瘍	1	28.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
骨髄異形成症候群	6	9.3	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
白血球疾患（その他）	2	25.0	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
再生不良性貧血	5	11.2	20.0%	60.0%	0.0%	20.0%
貧血（その他）	40	16.0	15.0%	37.5%	37.5%	10.0%
播種性血管内凝固症候群	22	24.0	22.7%	36.4%	36.4%	4.5%
出血性疾患（その他）	2	8.5	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
計	94	17.0	18.1%	38.3%	35.1%	7.4%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
新生児疾患、先天性奇形						
腸管の先天異常	1	14.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
計	1	14.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
外傷・熱傷・中毒						
胸郭･横隔膜損傷	5	12.6	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%
肺･胸部気管･気管支損傷	5	15.2	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%
食道･胃損傷	2	15.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
腸管損傷（胃以外）	1	4.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
腹壁損傷	1	10.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
四肢神経損傷	1	3.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
四肢筋腱損傷	32	7.4	65.6%	15.6%	15.6%	3.1%
肘、膝の外傷（スポーツ障害等を含む。）	26	12.1	34.6%	26.9%	26.9%	11.5%
コンパートメント症候群	1	7.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
皮下軟部損傷･挫滅損傷、開放創	5	11.2	40.0%	0.0%	60.0%	0.0%
胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸･腰髄損傷を含む。）	55	23.4	10.9%	25.5%	61.8%	1.8%
鎖骨･肩甲骨の骨折	38	3.2	26.3%	65.8%	7.9%	0.0%
肩関節周辺の骨折･脱臼	32	7.0	75.0%	12.5%	12.5%	0.0%
肘関節周辺の骨折･脱臼	33	5.0	36.4%	45.5%	18.2%	0.0%
前腕の骨折	122	3.4	30.3%	60.7%	9.0%	0.0%
前腕の開放骨折	5	3.6	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
手関節周辺の骨折･脱臼	69	3.2	37.7%	52.2%	10.1%	0.0%
手関節周辺の開放骨折	2	8.5	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
股関節･大腿近位の骨折	183	33.4	1.6%	24.6%	65.6%	8.2%
膝関節周辺の骨折･脱臼	50	20.7	36.0%	14.0%	48.0%	2.0%
下腿足関節周辺の骨折	17	22.2	23.5%	23.5%	52.9%	0.0%
足関節･足部の骨折･脱臼	49	9.1	51.0%	30.6%	18.4%	0.0%
足関節･足部の開放骨折･開放脱臼	1	26.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
腎･尿管損傷	1	24.0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
骨盤損傷	21	22.4	9.5%	38.1%	52.4%	0.0%
多部位外傷	4	22.3	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%
熱傷･化学熱傷･凍傷･電撃傷	1	31.0	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
体温異常	13	5.7	7.7%	53.8%	38.5%	0.0%
詳細不明の損傷等	7	3.4	0.0%	14.3%	85.7%	0.0%
薬物中毒（その他の中毒）	1	2.0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
計	783	15.3	26.4%	35.5%	35.1%	2.9%

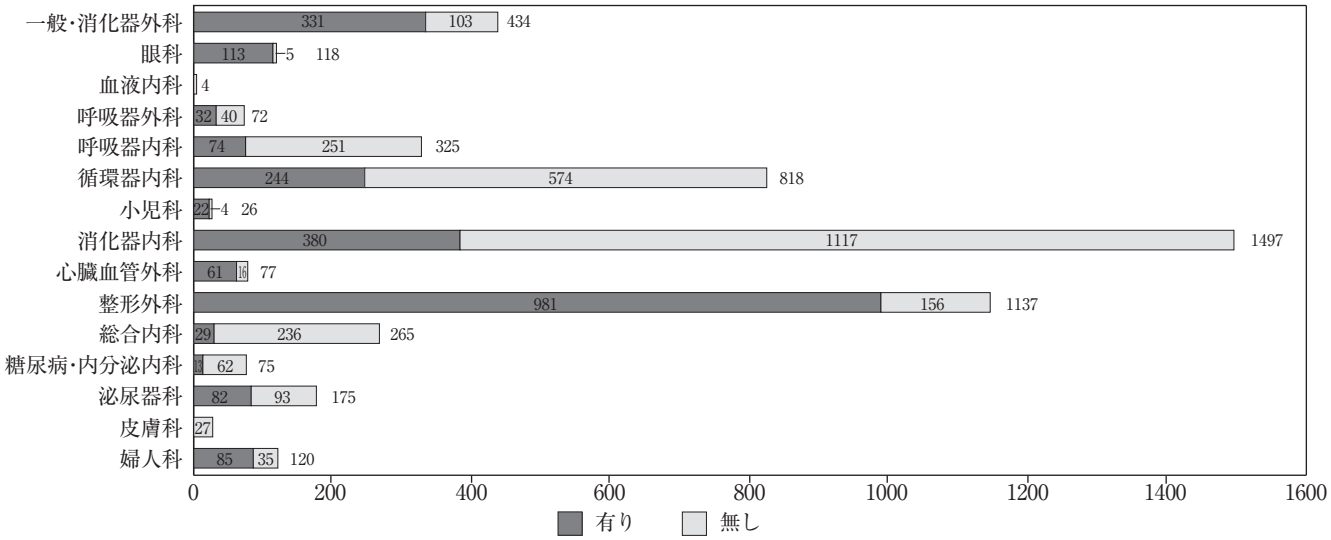
名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
精神疾患						
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	2	1.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	1	2.0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	3	1.3	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

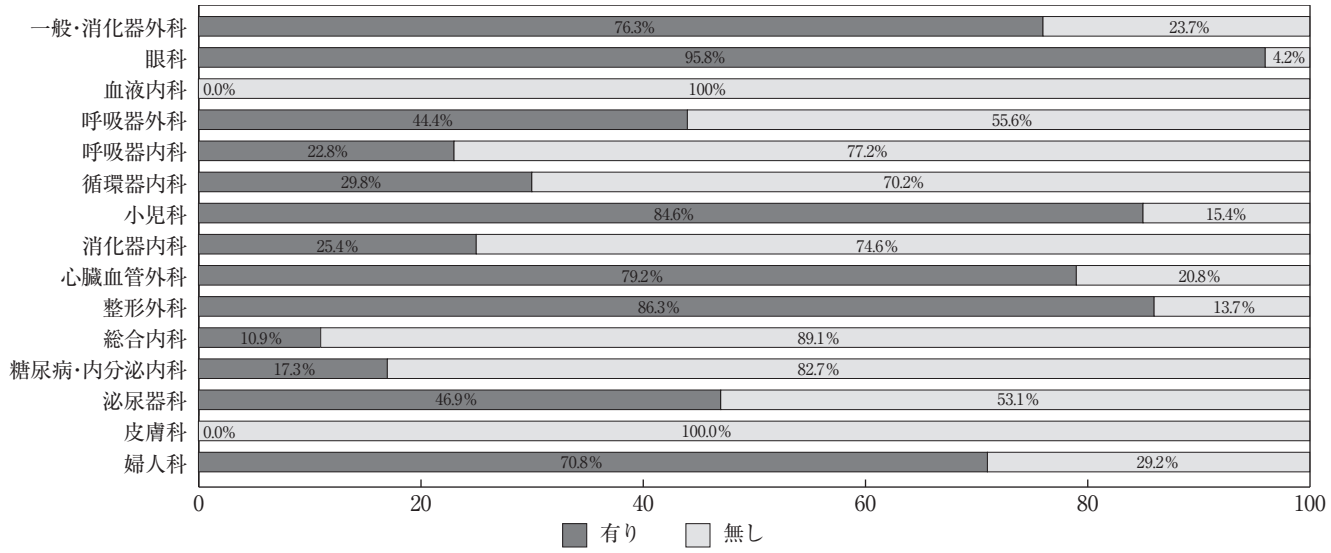
名　称	件数	平均在院日数	入院期間構成比※			
			入院期間I	入院期間II	入院期間III	入院期間III超
その他						
敗血症	49	30.3	22.4%	30.6%	36.7%	10.2%
その他の感染症（真菌を除く。）	239	15.4	3.8%	2.1%	4.6%	0.8%
その他の真菌感染症	2	31.5	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
手術・処置等の合併症	15	17.1	13.3%	20.0%	33.3%	0.0%
その他の悪性腫瘍	10	18.9	10.0%	40.0%	30.0%	20.0%
その他の新生物	6	2.5	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
計	321	17.7	8.1%	9.7%	11.8%	2.8%

総　計	5,009	13.0	16.7%	43.5%	31.5%	3.3%

※注釈1：入院期間構成比とは退院患者がその症例件数に対してどの期間に退院したかを比率で示したものである。
※注釈2：入院時より出来高算定のDPCの場合は、入院期間Ⅲ超の割合を100%とする。

(7)退院患者クリニカルパス(電子パス)使用件数





退院科	パス使用の有無		
	有り	無し	総計
一般・消化器外科	331	103	434
眼科	113	5	118
血液内科		4	4
呼吸器外科	32	40	72
呼吸器内科	74	251	325
循環器内科	244	574	818
小児科	22	4	26
消化器内科	380	1,117	1,497
心臓血管外科	61	16	77
整形外科	981	156	1,137
総合内科	29	236	265
糖尿病・内分泌内科	13	62	75
泌尿器科	82	93	175
皮膚科		27	27
婦人科	85	35	120
総計	2,447	2,723	5,170

退院科	パス使用の有無	
	有り	無し
一般・消化器外科	76.3%	23.7%
眼科	95.8%	4.2%
血液内科	0.0%	100.0%
呼吸器外科	44.4%	55.6%
呼吸器内科	22.8%	77.2%
循環器内科	29.8%	70.2%
小児科	84.6%	15.4%
消化器内科	25.4%	74.6%
心臓血管外科	79.2%	20.8%
整形外科	86.3%	13.7%
総合内科	10.9%	89.1%
糖尿病・内分泌内科	17.3%	82.7%
泌尿器科	46.9%	53.1%
皮膚科	0.0%	100.0%
婦人科	70.8%	29.2%
総計	47.3%	52.7%

(8)臨床評価指標

1.基本的な臨床指標

項　目	設定した臨床評価項目と説明		臨床指標	
			2021年度	2022年度
症例数/死亡率	全疾患	全入院症例　死亡率 【全入院症例のうち、同一入院期間内で死亡した割合】	3.47%	4.01%
		救急搬送症例　死亡率 【救急搬送された症例のうち、同一入院期間内で死亡した症例の割合】	7.28%	8.12%
診療プロセス	血液培養検査実施率　【敗血症症例に対する、血液培養検査の実施率】		91.18%	85.21%
	凝固系検査実施率　【DIC症例に対する、凝固系検査の実施率】		100.00%	100.00%
	肺血栓塞栓症予防管理料　【全身麻酔実施症例に対する、PTE予防措置の実施率】		98.89%	98.40%
感染症	院内感染	1)中心静脈注射から敗血症	10.55%	14.79%
		2)人工呼吸器から肺炎	0.00%	1.03%
		3)膀胱留置カテーテルから尿路感染	2.42%	3.01%
	手術創感染	1)膝関節形成術実施症例	0.00%	0.00%
		2)腹式子宮摘出術実施症例	0.00%	0.00%
再入院	再入院率(30日以内の再入院)	1)全症例	4.04%	2.91%
		2)慢性閉塞性肺疾患症例	7.41%	0.00%
		3)肺炎(15歳以上)	2.91%	0.89%
		4)心不全	4.81%	4.63%
		5)狭心症	5.74%	2.42%
		6)急性心筋梗塞	0.00%	0.00%

2.薬剤に関する臨床指標

項　目	薬剤名と評価指標	臨床指標	
		2021年度	2022年度
高額薬剤	血液製剤 1)アルブミン　使用率・使用日数	2.97%・3.07日	2.64%・3.02日
	血液製剤 2)グロブリン　使用率・使用日数	0.22%・2.58日	0.28%・3.21日
	アンチトロンビンⅢ　使用率	0.00%	0.02%
	MRSA用製剤　使用率・使用日数	1.11%・8.65日	0.86%・8.98日
	脳梗塞 オザグレルナトリウム　使用率・使用日数	28.57%・11.00日	0.00%・0.00日
	脳梗塞 エダラボン　使用率・使用日数	42.86%・7.33日	33.33%・7.50日
	心不全 ハンプ(カルペリチド)　使用率・使用日数	24.47%・3.61日	23.58%・3.09日

3.手術に関連する指標

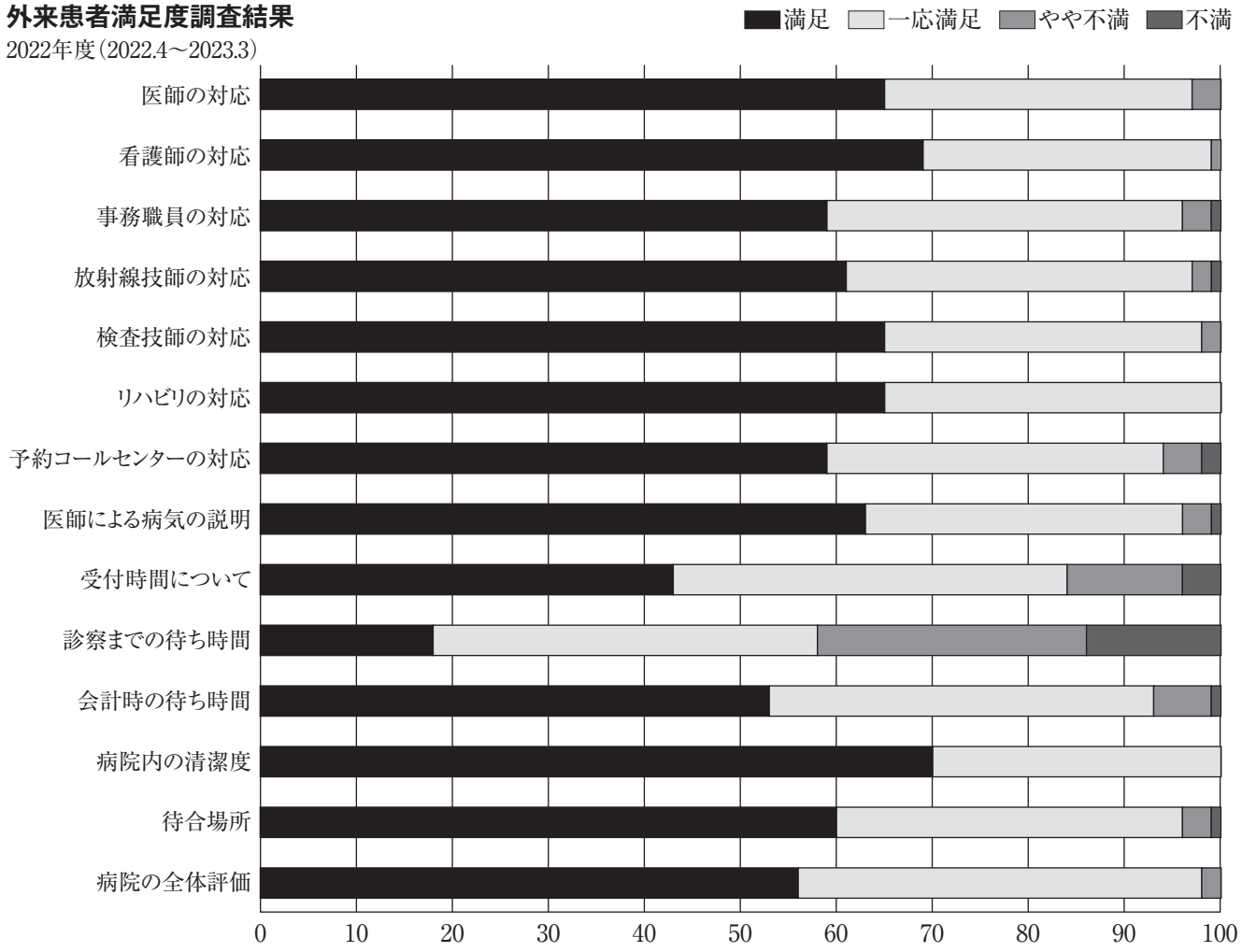
項　目	設定した臨床評価項目と説明	臨床指標	
		2021年度	2022年度
全手術	手術実施率	48.03%	51.11%
	予定入院手術割合	74.45%	73.48%
	緊急入院手術割合	25.55%	26.52%
初回手術	手術在院日数	11.99日	11.89日
	術前検査・画像の入院実施率	68.57%	66.64%
	術後創傷ケア実施率・実施日数	21.94%・2.10日	23.55%・2.57日
	術後ドレーン実施率・実施日数	14.71%・6.99日	13.87%・7.18日
	術後膀胱留置カテーテル実施率	40.30%	38.01%
	術後中心静脈注射実施率・実施日数	3.19%・10.70日	3.16%・12.10日
	術後リハビリ実施率・開始日数	35.04%・2.16日	36.45%・1.99日

5. アンケート調査結果（1）外来患者満足度

外来		医師の対応	看護師の対応	事務職員の対応	放射線技師の対応	検査技師の対応	リハビリの対応	予約コールセンターの対応	医師による病気の説明	受付時間について	診察までの待ち時間	会計時の待ち時間	病院内の清潔度	待合場所	病院の全体評価
2022年度（2022.4～2023.3）	満　足	66%	69%	59%	62%	65%	65%	59%	63%	43%	18%	53%	70%	60%	56%
	一応満足	32%	30%	37%	36%	33%	35%	35%	33%	41%	40%	40%	30%	36%	42%
	やや不満	3%	1%	3%	2%	2%	0%	4%	3%	12%	28%	6%	0%	3%	2%
	不　満	0%	0%	1%	1%	0%	0%	2%	1%	3%	14%	1%	0%	1%	0%

外来患者満足度調査結果

2022年度（2022.4～2023.3）

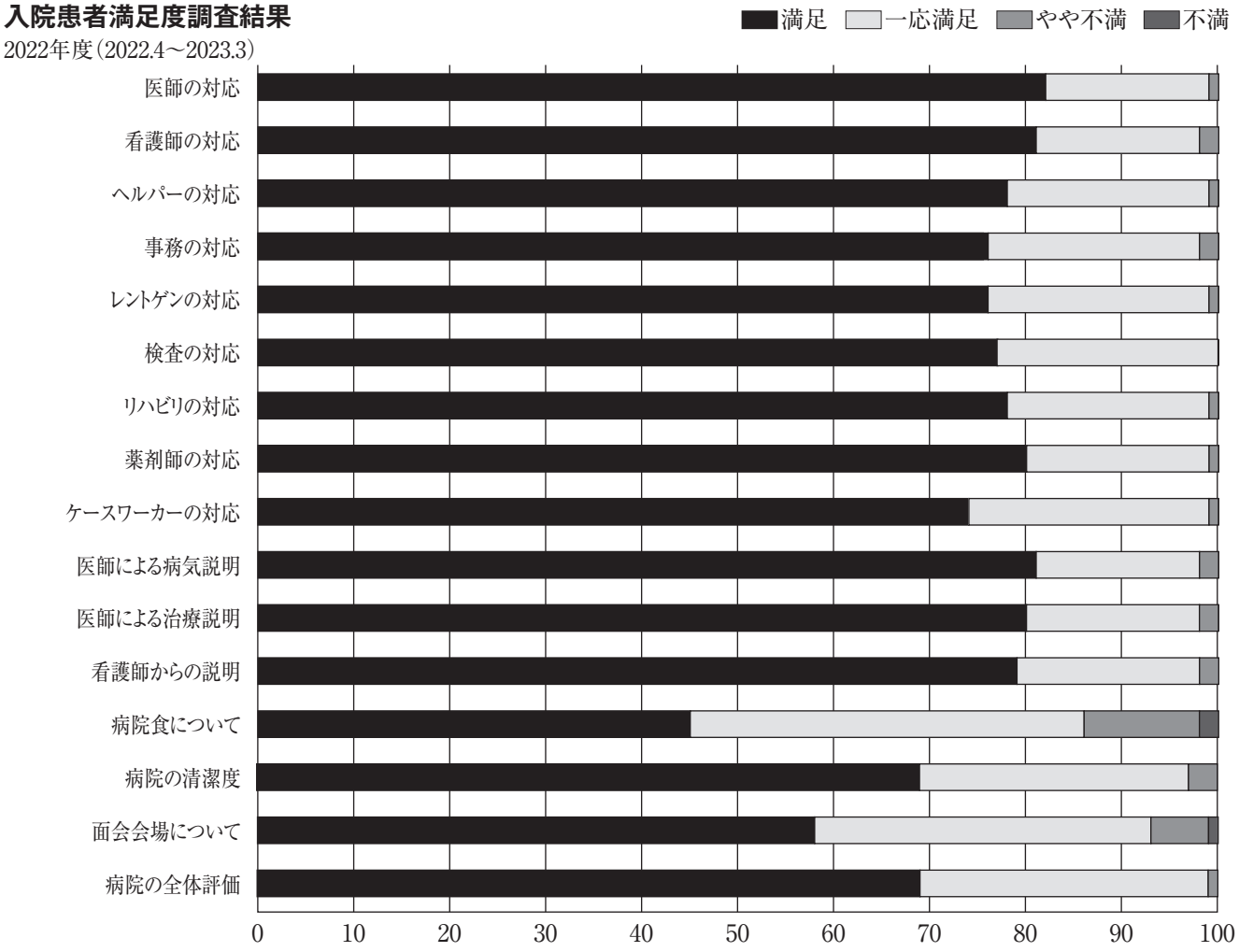


(2)入院患者満足度

入院		医師の対応	看護師の対応	ヘルパーの対応	事務の対応	レントゲンの対応	検査の対応	リハビリの対応	薬剤師の対応	ケースワーカーの対応	医師による病気説明	医師による治療説明	看護師からの説明	病院食について	病院の清潔度	面会会場について	病院の全体評価
2022年度(2022.4～2023.3)	満　足	82%	81%	78%	76%	76%	77%	78%	80%	74%	81%	80%	79%	45%	69%	58%	69%
	一応満足	17%	17%	21%	22%	23%	23%	21%	19%	25%	17%	18%	19%	41%	28%	35%	30%
	やや不満	1%	2%	1%	2%	1%	0%	1%	1%	1%	2%	2%	2%	12%	3%	6%	1%
	不　満	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	0%	1%	0%

入院患者満足度調査結果

2022年度(2022.4～2023.3)



Ⅲ. 診療活動等の状況

1-1. 2022年度　理事長活動報告

理事長発表論文、主な講演その他

1. 木野 昌也：　主張：政治のリーダーシップが求められている、大阪府私立病院ニュース、2022 年 3 月 1 日
2. 木野 昌也：　医療事情のウラオモテ（121）、公的医療保険制度と診療報酬制度について（1）、ニューライフ、2022 年 4 月号、通巻 731 号、vol 69 No4 ;46-52
3. 岡原 猛、生野 弘道、井上 幹人、木野 昌也、香川 英生、五島 淳、宮田 重樹、西川 正治、市川 正浩、中川 浩彰、中島 滋郎、村野 実之、二木 理人、佐々木 洋、良本 佳代子、堤 俊仁、山本 道也、宮田 憲一、柿本 博之、勝矢 聡子：
   大阪府医師会地域医療計画推進委員会、会長諮問委員会答申書「地域医療構想における医師偏在、専門医制度、外来機能、医師の働き方改革を踏まえてのあるべき姿の実現に向けて～新興感染症対策も考慮した体制の確保～」、2022 年 5 月 25 日
4. 木野 昌也：　医療事情のウラオモテ（122）、公的医療保険制度と診療報酬制度について（2）、ニューライフ、2022 年 7 月号、通巻 732 号、vol 69 No7 ;46-52
5. 木野 昌也：　ドクターズアテンションインタビュー、2022 年 6 月からの大阪府病院協会、木野昌也新会長抱負を語る、Doctor's Attention 7 月号、p7、2022 年
6. 木野 昌也：　医療事情のウラオモテ（123）、公的医療保険制度と診療報酬制度について（3）、ニューライフ、2022 年 8 月号、通巻 733 号、vol 69 No8 ;46-52
7. 木野 昌也：　主張：病院間のよりスムーズな連携を目指して、大阪府私立病院ニュース、2022 年 8 月 1 日
8. 木野 昌也：　医療事情のウラオモテ（124）、公的医療保険制度と診療報酬制度について（4）、出来高払いと包括払い方式、ニューライフ、2022 年 9 月号、通巻 734 号、vol 69 No9 ;46-52
9. 茂松 茂人、高井 康之、生野 弘道、木野 昌也、加納 繁照：
   ドクターズアテンション懇談会特別企画、＜茂松茂人日本医師会副会長を囲んで＞医師会と各病院団体の連携強化のための提案、Doctor's Attention 10 月号、p2 ～ 4、2022 年
10. 木野 昌也：　医療事情のウラオモテ（125）、公的医療保険制度と診療報酬制度について（5）、DPC 制度について（1）、ニューライフ、2023 年 1 月号、通巻 735 号、vol 70 No1 ;45-49
11. 黒岩 祐治、生野 弘道、加納 繁照、木野 昌也：
    第 16 回ドクターズアテンション医療セミナー、Doctor's Attention 1 月号、p1 ～ 4、2023 年
12. 加納 繁照、永田 昌敬、飯尾 雅彦、蔭山 尚正、木野 昌也、多根 一之、長尾 喜一郎、西川 覚、露口 隆一、橘 克英、焦 昇、松木 智子、山川 智之、幸原 晴彦：
    大阪府医師会医療保険委員会、会長諮問委員会答申書「診療報酬改定（令和 4 年 4 月）について―新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いの評価を含む―」、2023 年 3 月 14 日

理事長資格・加盟学会（令和５年７月現在）

●医学博士　●日本内科学会認定総合内科専門医　●日本内科学会指導医
●日本循環器学会認定循環器専門医　●人間ドック指定医
● Best Doctors in Japan（2022 − 2023）
●米国心臓病学会フェロー（Fellow of the American College of Cardiology）
●米国心臓協会フェロー（Fellow of the American Heart Association）
●米国内科学会フェロー（Fellow of the American College of Physicians）
●日本心臓病学会会員　他

主な公職（令和５年７月現在）

●大阪府病院協会会長　●臨床心臓病学教育研究会（JECCS）会長
●大阪府私立病院協会副会長　●全国病院経営管理学会副会長　●日本病院会理事
● VHJ 機構理事　●大阪府医療法人協会理事　●大阪府私立病院協同組合理事
●大阪旭こども病院理事　●大阪医科薬科大学評議員　●新阿武山病院評議員
●高槻市医師会顧問、裁定委員

●地域医療構想アドバイザー（厚労省）　●大阪府医療審議会委員（大阪府）
●大阪府医療対策協議会委員（大阪府）
●大阪府新型コロナウイルス対策本部専門家会議構成員（大阪府）
●大阪府新型コロナウイルス感染症対策協議会委員（大阪府）
●大阪府薬事審議会医療機器安全対策推進部会委員（大阪府）
●大阪府後発医薬品安心使用促進のための協議会委員（大阪府）
●大阪府国民健康保険運営協議会委員（大阪府）
●大阪府消防広域化推進審議会委員（大阪府）
●大阪府医療勤務環境改善支援センター運営協議会委員（大阪府）
●日本病院会病院経営管理士教育委員会委員長
●日本病院会医療政策委員会委員
●大阪府病院協会看護専門学校運営検討委員会委員
●大阪府医師会病院委員会副委員長
●大阪府医師会医療保険委員会委員
●箕面新市立病院整備審議会委員

1-2. 2022年度　病院長　院外活動報告

2022年

4月　4日　月　北摂血液連携セミナー
4月　6日　水　高槻市保健所来訪
4月 13日　水　高槻消防来訪
4月 19日　火　大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会（web 会議）
4月 20日　水　ベルランド総合病院来訪
4月 22日　金　アールクリニック来訪
北摂医療安全ネットワーク コア会議（web 会議）
4月 26日　火　高槻市介護認定審査会（合議体）（web 会議）
4月 30日　土　第 38 回臨床研修研究会（オンライン参加）
5月　9日　月　高槻赤十字病院来訪
5月 10日　火　高槻市介護認定審査会（合議体）（web 会議）
5月 17日　火　大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会（web 会議）
5月 24日　火　高槻市介護認定審査会（合議体）（web 会議）
5月 31日　火　大阪医科薬科大学病院広域連携室来訪
6月　3日　金　北摂医療安全ネットワーク会議（web 会議）
令和 4 年度第 1 回三島医療圏医療安全ネットワーク会議（web 会議）
6月　7日　火　JMDC 診療報酬改定セミナー（オンライン参加）
6月　8日　水　高槻市災害医療センター指定変更に係る検討（高槻市立総合保健福祉センター）
6月 10日　金　第 11 回大阪医科薬科大学病院医療安全業務外部監査委員会（大阪医科薬科大学）
6月 13日　月　守口敬仁会病院理事長来訪
6月 14日　火　高槻市介護認定審査会（合議体）（web 会議）
大阪医科薬科大学三島南病院来訪
6月 18日　土　令和 4 年度仁泉会高槻支部総会（ホテルアベストグランデ高槻）
6月 25日　土　大阪医科薬科大学病院新本館 A 棟竣工記念講演会並びに内覧会
6月 28日　火　大阪府三島救命救急センター来訪
7月 12日　火　高槻市介護認定審査会（合議体）（web 会議）
7月 15日　金　北摂医療安全ネットワークコア会議（web 会議）
大阪府健康医療部　web 説明会
7月 19日　火　大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会（web 会議）
7月 21日　木　VHJ 医師の働き方検討会（web 会議）
7月 22日　金　大阪医科薬科大学三島南病院来訪
7月 26日　火　高槻市介護認定審査会（合議体）（web 会議）
8月　2日　火　大阪府健康医療部　地域医療構想等に係る病院説明会（web 会議）
8月　3日　水　藍野大学学長来訪

8月　5日　金　令和 4 年度第 2 回 三島医療圏医療安全ネットワーク会議（web 会議）
8月 16日　火　大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会（web 会議）
8月 18日　木　VHJ 医師の働き方検討会（web 会議）
8月 23日　火　高槻市介護認定審査会（合議体）（web 会議）
8月 25日　木　大阪医科薬科大学内科学Ⅱ西川教授来訪
8月 29日　月　令和 4 年度第 3 回 三島医療圏医療安全ネットワーク会議（web 会議）
9月　3日　土　日本医療・病院管理学会第 408 回例会（オンライン参加）
9月　6日　火　高槻市医師会　医療安全委員会（web 会議）
9月 27日　火　高槻市介護認定審査会（合議体）（web 会議）
10月 11日　火　高槻市介護認定審査会（合議体）（web 会議）
10月 12日　水　読売新聞社取材
10月 18日　火　大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会（web 会議）
10月 25日　火　高槻市介護認定審査会（合議体）（web 会議）
10月 27日　木　日本看護協会神戸研修センター　管理者研修サードレベル講師（web 会議）
10月 28日　金　三島医療圏医療安全ネットワーク会議（web 会議）
10月 29日　土　第 139 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会　座長（グランフロント大阪 北館 B2F ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター）
11月　2日　水　大阪府健康医療部　web 説明会
11月　8日　火　高槻市介護認定審査会（合議体）（web 会議）
11月 11日　金　2022 年度第 1 回特定機能病院管理者研修講師（web 会議）
11月 15日　火　大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会（web 会議）
11月 17日　木　2022 年度大阪医科薬科大学病院連携病院長会役員会・総会（新阪急ホテル）
11月 21日　月　2022 年度第 2 回特定機能病院管理者研修講師（web 会議）
11月 22日　火　高槻市介護認定審査会（合議体）（web 会議）
11月 25日　金　第 12 回大阪医科薬科大学病院医療安全業務外部監査委員会（大阪医科薬科大学）
11月 25～26日　金～土　VHJ 職員交流研修会（しこちゅうホール、リーガロイヤルホテル新浜、HITO 病院）
12月　4日　日　はまだ剛史高槻市長を囲む懇談会（ホテルアベストグランデ高槻）
12月　7日　水　2022 年度第 3 回特定機能病院管理者研修講師（web 会議）
12月　9日　金　北摂医療安全ネットワークコア会議（web 会議）
12月 20日　火　大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会（web 会議）
12月 21日　水　高槻消防来訪
12月 22日　木　高槻市濱田市長来訪
12月 27日　火　高槻市介護認定審査会（合議体）（web 会議）

2023年

1月 10日　火　　高槻市介護認定審査会（合議体）（web 会議）
1月 14日　土　　大阪医科薬科大学整形外科学教室同門総会（ホテル阪急インターナショナル）
1月 16日　月　　2022 年度第 4 回特定機能病院管理者研修講師（web 会議）
1月 17日　火　　大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会（web 会議）
1月 19日　木　　VHJ 医師の働き方検討会（web 会議）
1月 20日　金　　高槻市医師会医療安全委員会
1月 27日　金　　三島二次医療圏病床機能報告対象病院　令和 4 年度病院連絡会（大阪府茨木保健所）
1月31 日　火　　高槻市医師会医療安全委員会（web 会議）
2月 2 日　木　　2022 年度第 5 回特定機能病院管理者研修講師（web 会議）
2月14 日　火　　高槻市介護認定審査会（合議体）（web 会議）
2月17 日　金　　北摂医療安全ネットワークコア会議（web 会議）
2月20 日　月　　2022 年度第 6 回特定機能病院管理者研修講師（web 会議）
2月28 日　火　　大阪府健康医療部　救急搬送困難事案抑制に向けた取組に係る会議（web 会議）
3月13 日　月　　令和 4 年度第 4 回 三島医療圏医療安全ネットワーク会議
3月14 日　火　　高槻市介護認定審査会（合議体）（web 会議）
3月20 日　月　　高槻市濱田市長来訪
3月22 日　水　　大阪医科薬科大学臨床研究審査委員会（web 会議）
3月24 日　金　　大阪府健康医療部　Web 説明会
3月28 日　火　　高槻市介護認定審査会（合議体）（web 会議）
3月29 日　水　　愛仁会高槻病院来訪

2-1. 循環器科

スタッフ

部　　長：永松 航（カテーテル治療センター長兼任）
循環器センター長：森井 功（副院長・救急診療科部長兼任）
医　　長：山口 茂（血液浄化療法科部長兼任）

上記に加え、木野昌也理事長、斎藤隆晴部長、諏訪道博部長、玄武司部長、西村綾医員、津田浩佑医員、藤田正紘医員、水谷早希医員の体制で診療にあたっております。

使命

地域支援病院としての役割を果たし、また、標準的治療の提供に努め、全人的医療を行って参ります。

診療内容

1. 循環器救急体制

急性心不全患者様の対応や緊急冠動脈カテーテル治療を含めた救急診療体制の継続に努めて参ります。どうか夜診などの時間にかかわらず御遠慮なく御紹介いただければと存じます。これは急ぐという場合は救急外来にて対応させていただきます。

2. カテーテル検査治療関連

カテーテル治療は近年、より適応を検討されるようになりました。結果、複雑病変に対する治療が増えております。当科では客観的指標に基づく適応判断を進め、また、多枝、石灰化、慢性閉塞病変などの複雑病変に対応できますように国内外での学会活動・交流を通じて、世界標準レベルの治療を目指して研鑽を積んでおります。ロータブレータ手技を導入し、硬い石灰化病変への治療も積極的に取り組んでおります。なかんずく慢性閉塞冠動脈病変への治療は当科の特徴でもありますので、他院で狭心症と診断されたものの、薬物療法での管理が難しい場合は是非ご相談ください。本年よりCoroFlow検査を導入いたしました。いままで診断が困難であった冠微小循環障害の評価が可能となりましたので、胸痛の包括的診断が可能となりました。是非ご相談下さい。また、透析シャント血管に対するカテーテル治療、末梢動脈カテーテル治療、心房細動などの不整脈に対するカテーテル治療にも積極的に取り組んでおります。

3. その他疾患

近い将来に心不全パンデミックを迎えるといわれております。心不全薬物治療・デバイス治療は近年大きく変わりました。心不全評価・治療指針の検討・再検討が必要な場合は是非ご相談下さい。具体的には弁膜疾患においては心エコー図検査や心臓カテーテル検査を行い、低侵襲である経皮的治療（TAVI（経カテーテル大動脈弁留置術）などのカテーテル治療）を含めた手術適応の評価を行っております。高血圧や心筋症においてはその背景疾患を評価の上、薬物治療の調整を行い、再入院予防に努めております。退院後においては大阪ハートクラブと連携をとり、心不全地域ネットワーク事業を進めてまいります。慢性腎不全においては透析の導入に関わるマネージメントを山口医師が専門的に行っております。人工ペースメーカー植え込み術、リードおよびジェネレーター（本体）交換術も行っております。

4. 冠動脈造影 CT 検査、心エコー検査など

冠動脈、頭頚部、腎、下肢血管などのCT画像評価を行っております。CTの診断精度は画像作成技術に依存しておりますが、当院では全例、森井医師が画像作成に携わり、非常に精度の高いCT診断を行っており、所見用紙に今後の方針を記載させていただき、迅速な対応ができますように対応いたしております。オープン検査予約については日時・送迎も含めて御要望に御答えいたしますので、病診連携室に御相談下さい。

5. 心臓リハビリテーション

急性心筋梗塞後および慢性心不全患者様などに対して、多職種チームによる患者教育なども含めた多面的・包括的心臓リハビリテーションプログラムを通じ、再発、再入院の減少に努めております。

6. 逆紹介について

心不全パンデミックを考慮いたしますと、再入院を減らし、患者 QOL を担保するには地域ネットワークが果たす役割は重要です。御紹介いただきました患者様については詳細な紹介状とともにホームドクターの先生方に逆紹介をさせていただきます。もちろん、退院後も柔軟に対応いたしますので、どうか御遠慮なく御相談いただければと存じます。

来年度目標

1. 地域支援病院として

ご依頼いただきました診療を全てお受けさせていただきます。また、先生方に症状安定後に逆紹介させていただきます。

2. 救急隊との連携

循環器科患者様の多くは急性期疾病として救急外来がゲートとなります。「断らない」をモットーにフットワーク軽く受け入れをいたします。

3. チーム医療

看護部や診療技術部門、地域医療連携室など多職種にわたっての問題の提議・共有・解決を今後も継続していきます。

4. 医療の質的向上

国内外の学会活動の積み重ねにより、当院が周知されております。今後も医療の質をさらに高めるべく、努力を継続してまいります。

2022 年度　診療実績

・入院患者数：802 名（平均在院日数 13.3 日）

・外来延べ患者数：16,468 名（初診患者数 462 名）

■過去のカテーテルインターベンション等実績

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
CAG	380	344	344	293	168
PCI	213	187	187	159	112
アブレーション	25	36	21	33	30
下肢 PTA	50	59	57	36	20
冠動脈 3D-CT	456	370	370	400	397

５. 循環器科学会活動報告

■永松 航

4/14-16	KCJL 京都、ファカルティ、ライブオペレーターなど
4/28-30	Philippine society of cardiovascular catheterization and interventions, 28th Annual Scientific Convention、Manila（webinar）, Faculty
5/17-19	Euro PCR, Paris（Webinar）, Faculty
6/17-18	Japan CTO club（Webinar）、コースディレクター、ライブオペレーターなど
6/3-5	TIC CSI2022, Chennai（Webinar）, Faculty,
7/1	CCT coronary web live 2022 Sapporo、コメンテーター
7/16	東北 YES Club、レクチャー
7/21-23	CVIT2022、横浜、レクチャー
8/19-21	Indo Japanese CTO club, Delhi, Faculty、ライブオペレーターなど
8/5	CCT coronary web live 2022 Kyoto、コメンテーター
9/1-2	Sapporo live demonstration course、ファカルティ
9/21	CCT@QICC、杭州（Webinar）, Faculty、
9/24	CMIT2022、北京（Webinar）, Faculty,
10/8	第 39 回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会、コメンテーター
10/27-29	CCT、神戸、コースディレクター、ライブオペレーターなど
10/20	Chronic total occlusion club China、上海（Webinar）, ファカルティ
10/21-22	仙台 PTCA ネットワークライブ、仙台（Webinar）, ファカルティ
11/13	Sri Lanka college of cardiology annual academic session webinar、ファカルティ
11/19-20	CIAT、Bangkok、ファカルティ、ライブオペレーターなど
12/1-2	岩手リアルワールドライブ、盛岡、ファカルティ、ライブオペレーターなど
12/10	APCTO cinema 2022 CTO PCI safety webinar、ファカルティ
12/3	関西 YES Club、座長
2/13	Asia-pacific CTO club meeting、コメンテーター
2/24-25	中国四国ライブ、倉敷（Webinar）、ファカルティ
3/16-18	India Live, Chennai、ファカルティ
3/23	関西 YES Club live 座長
	著作：PCI, EVT, SHD インターベンションスペシャルハンドブック、南江堂 2023 年 3 月

■諏訪 道博

Suwa M, Nohara Y, Morii I, Kino M.
Safety and efficacy re-evaluation of edoxaban and rivaroxaban dosing with plasma concentration monitoring in non-valvular atrial fibrillation: with observation of on-label and off-label dosing.
CIrculation Reports 2023; 5: 80-89.（March）

「心房細動の DOAC 療法において血中濃度モニタリングから判ったこと」
諏訪道博　MISHIMA Pharmacy Director Seminar 2023.02.08

■津田 浩佑

3/2-4　第 50 回日本集中治療医学会学術集会（国立京都国際会館）
「VA-ECMO により究明した WPW 症候群に起因する院外心停止の一例」

3/10-12　第 87 回日本循環器学会学術集会（福岡国際会議場）
「Identification of Worsening Renal Function Associated with Adverse Outcomes in Acute Heart Failure Using Fibrosis-4 Index」

2-2. 消化器内科・血液内科

＜消化器内科＞

Ⅰ 消化器内科スタッフ（2023 年 6 月 1 日現在）

【常 勤 医 師】　佐野村 誠（病院長補佐・主任部長）、西谷 仁（化学療法センター長・医長）、
磧山 直邦（内視鏡センター長・医長）、坂口 奈々子（医長）、冨永 真央（医員）、
辻 沙也佳（医員）、山田 達明（医員）

【非常勤医師】　佐々木 有一、西岡 伸、由上 博喜、福田 彰、朝井 章、西川 知宏

Ⅱ 消化器内科・血液内科の現状と目標

当院の消化器内科は内視鏡部門として内視鏡センターを有しており、消化器内視鏡検査の積極的な運用を行っている。外来では消化器内科外来の他に、肝臓内科外来、化学療法外来、緩和ケア外来を設置しており、消化器に関連する幅広い疾患・病態に対応している。入院では消化器疾患の患者の他、他臓器がんの緩和医療も担っている。また血液内科の入院患者の主治医・担当医として、血液内科診療をサポートしている。

1. 消化器がん診療の充実

大阪府がん診療拠点病院・日本がん治療認定医機構認定研修施設・日本消化器病学会認定施設・日本消化器内視鏡学会指導施設として、消化器がんの診断・内視鏡治療・抗がん剤治療・緩和医療の充実を図り、消化器がん診療の更なる発展を目指す。がん化学療法においては、外来化学療法センターを中心に大阪医科薬科大学化学療法センターと連携して更なる充実を図る。

2. 新規入院患者数の増加

登録医への営業活動、研究会などを通じて登録医との連携を更に強化する。また消化器内科患者の入院数増加を図り、退院支援・MSW の協力のもと平均在院日数の減少を目指す。

3. 外来診療の強化

登録医との連携を通じて消化器内科外来診療を効率的に行う。大阪医科薬科大学第 2 内科からの派遣医師による肝臓内科外来・化学療法外来の専門外来を更に充実させる。

4. 消化器内科診療の質的向上

消化器内科スタッフの拡充・充実を目指し、専攻医・臨床研修医への指導体制を強化して、消化器内科診療の質的向上を図る。また内科専門医制度にも対応した専攻医の研修体制を確立し、魅力ある診療科を目指す。

5. 登録医との密な連携

紹介状での診療情報提供だけではなく、登録医との“顔の見える”連携により地域医療に貢献する。登録医の先生に講演会の座長 / 講師を依頼するなど、登録医との更なる連携強化を図る。

6. 消化器内視鏡検査件数の増加

検査・治療施行医の充足を目標に、内視鏡・周辺機器などの新規導入・更新により消化器内科検査件数の増加を目指すとともに、安全で質の高い消化器内科検査・治療を行う。またオープン検査の広報を行うことによる紹介検査件数の増加を目指す。

7. 学術活動の推進

学会・研究会・論文などの学術的な発表を更に推進し、消化器内科全体のレベルアップを図り、北摂総合病院のブランド力の強化に繋げる。

8. 血液内科の入院患者の担当

当院の消化器内科は血液内科の入院患者も担当しており、京都大学血液・腫瘍内科、高槻赤十字病院血液内科と連携して診療を行う。

Ⅲ 消化器内科　患者数実績

【外来】	初診患者数	再診患者数	外来延べ患者数	1日平均患者数
2013年度	1,124	10,586	11,710	40
2014年度	1,161	10,337	11,498	39
2015年度	1,350	10,847	12,197	41
2016年度	1,235	10,211	11,446	39
2017年度	1,181	10,803	11,984	41
2018年度	1,062	11,019	12,081	41
2019年度	1,014	11,359	12,373	42
2020年度	999	10,909	11,908	41
2021年度	1,133	11,540	12,673	39
2022年度	1,030	10,665	11,695	40

【入院】	新入院数	退院数	在院延べ患者数	1日平均在院数	平均在院日数
2013年度	1,716	1,657	18,024	49.4	10.7
2014年度	1,723	1,672	16,481	45.2	9.7
2015年度	1,760	1,677	17,219	47.0	10.0
2016年度	1,902	1,825	18,775	51.4	10.1
2017年度	1,821	1,764	20,720	56.8	11.6
2018年度	1,655	1,617	18,083	49.7	11.1
2019年度	1,772	1,750	17,086	46.7	9.7
2020年度	1,823	1,748	16,786	46.0	9.4
2021年度	1,801	1,750	16,862	46.2	9.5
2022年度	1,542	1,497	14,814	40.6	9.7

Ⅳ 消化器専門外来（2023年6月1日現在）

	月	火	水	木	金	土
午前	佐野村		碕山	佐野村	朝井＊	西川
	由上＊＊		西谷＊＊	西谷＊＊		西谷＊＊
				福田＊		
午後	佐野村		佐野村	坂口	冨永	

＊：肝臓内科）

＊＊：がん化学療法外来・緩和ケア外来

Ⅴ 各種消化器検査

	月	火	水	木	金	土
消化管透視	放射線科	放射線科	放射線科	○	放射線科	放射線科
上部消化管内視鏡検査	○	○＊	○	○＊	○	○＊
逆行性膵胆管造影、胆道処置、肝生検		○＊ △＊				
大腸内視鏡検査	△＊	△＊	△＊	△＊	△＊	△
腹部エコー	△		○		○	
腹部血管造影		△	△			

○：午前　△：午後　＊：大阪医大2内科より派遣

Ⅵ 過去５年間における各種消化器検査及び処置件数（2018.4.1 ～ 2022.3.31）

項　目	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
○上部消化管内視鏡　経口	1,645	1,678	1,615	1,568	1,442
経鼻	1,323	1,341	1,069	1,354	1,250
緊急止血術	139	126	123	92	86
食道静脈瘤硬化療法（EIS）	0	1	0	3	5
食道静脈瘤結紮術（EVL）	20	12	24	20	9
異物除去	10	19	10	16	12
胃瘻造設術（PEG）	17	19	17	12	12
PEG 交換	50	29	31	37	33
粘膜切除術（EMR）・粘膜下層剥離術（ESD）	20	18	30	36	32
超音波内視鏡下穿刺吸引法（EUS-FNA）	24	26	13	10	5
超音波内視鏡（EUS）	72	79	49	68	64
カプセル内視鏡	19	9	18	3	3
○下部消化管内視鏡（CF）	1,886	1,963	1,816	1,887	1,727
粘膜切除術（EMR）・粘膜下層剥離術（ESD）	454	585	633	676	620
緊急内視鏡（止血等）	52	44	39	43	34
○逆行性膵胆管造影（ERCP）	291	255	199	207	175
経鼻胆管ドレナージ（ENBD）	5	3	1	2	0
乳頭括約筋切開術（EST）	93	86	67	91	52
胆管ドレナージ（ステント挿入）	186	159	117	137	121
結石除去	89	75	94	101	57
○経皮的胆管ドレナージ（PTCD）	5	4	2	9	0
経皮経肝胆嚢ドレナージ（PTGBD）	16	5	0	0	2
○経皮的エタノール注入療法（PEIT）	0	0	2	0	0
腹部エコー	1,250	1,218	1,099	1,021	1,108
腹部血管造影	12	14	10	5	4
肝生検	14	10	22	12	21
○イレウス管挿入術	51	61	46	47	53
小腸造影	1	3	18	3	9
上部消化管透視	173	201	245	133	171
注腸	88	73	33	50	36
CV ポート挿入術	31	42	29	45	31

＜血液内科＞

【非常勤医師】　越智 陽太郎、岡崎 俊朗、長谷川 稔

Ⅶ 血液内科　患者数実績

血液内科疾患の入院患者は、京都大学血液・腫瘍内科の先生のサポートを受けながら、消化器内科医が担当している。

血液内科　2022年度退院患者数(大分類別･主病名別)

大分類名	主 病名	計
02・新生物	びまん性大細胞型Ｂ細胞性リンパ腫	3
	悪性リンパ腫	1
	急性骨髄性白血病	1
	骨髄異形成症候群	2
	多発性骨髄腫	3
	慢性骨髄性白血病	1
03・血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	悪性貧血	1
	巨赤芽球性貧血	1
	血小板減少症	1
	再生不良性貧血	1
	重症再生不良性貧血	1
	出血性貧血	1
	小球性貧血	1
	腎性貧血	1
	正球性貧血	4
	大球性貧血	6
	鉄欠乏性貧血	17
	播種性血管内凝固	4
	発熱性好中球減少症	1
	汎血球減少症	2
	貧血	6
総計		59

Ⅷ 血液内科専門外来

	月	火	水	木	金	土
午前 予約		越智				
午後 予約					岡崎 長谷川	

IX 2022 年度　学会・研究会・論文発表

〈学会発表・研究会発表・講演・座長・司会など〉

■北摂血液連携セミナー　2022.4.4　高槻
総合司会：佐野村 誠

■第 239 回 大腸疾患研究会　2022.4.8　Web 開催
司会：佐野村 誠

■第 108 回 日本消化器病学会総会　2022.4.21-23　東京
コロナ禍における潰瘍性大腸炎 5-ASA 不耐症例に対する内科的治療対応の臨床的検討
○碕山 直邦、中村 志郎、沼圭 次朗、木下 直彦、川崎 裕香、小柴 良司、平田 有基、柿本 一城、宮嵜 孝子、樋口 和秀

■第 103 回 日本消化器内視鏡学会総会　2022.5.13-15　京都
一般演題 座長：佐野村 誠

■みやぎ消化器疾患フォーラム 2022　2022.5.17　Web 開催
慢性便秘症における大腸内視鏡検査とルビプロストンの特性～新しい知見を含めて
○佐野村 誠

■第 478 回 大阪胃研究会　2022.5.18　Web 開催
司会：佐野村 誠

■ GI Area Conference in 北摂　2022.6.2　Web 開催
胃食道逆流症（GERD）診療ガイドライン 2021 を紐解く～ Hp 陰性胃癌とガストリンの話題を含めて～
○佐野村 誠

■中河内消化器疾患フォーラム　2022.6.9　Web 開催
在宅診療における排便管理の重要性
○佐野村 誠

■第 108 回 日本消化器内視鏡学会近畿支部例会　2022.6.11　京都
非中毒性巨大結腸症を呈した大腸型 Crohn 病の 1 例
○疋田千晶、佐野村 誠、辻 沙也佳、内海 麻衣、冨永 真央、坂口 奈々子、西川 知宏、碕山 直邦、西谷 仁、植田 初江、樋口 和秀

■第 108 回 日本消化器内視鏡学会近畿支部例会　2022.6.11　京都
特異な形態を示した EBV 関連胃癌の 1 例
○坂口 奈々子、佐野村 誠、辻 沙也佳、内海 麻衣、冨永 真央、西川 知宏、碕山 直邦、西谷 仁、樋口 和秀

■第 108 回 日本消化器内視鏡学会近畿支部例会　2022.6.11　京都
部分的脾動脈塞栓術が有効であった胆管癌術後の左側門脈圧亢進症に伴う異所性静脈瘤の一例
○西川 知宏、内海 麻衣、桶本 大、冨永 真央、坂口 奈々子、福田 斯盧恵、西谷 仁、佐々木 有一、佐野村 誠、樋口 和秀、他.

■第 108 回 日本消化器内視鏡学会近畿支部例会　2022.6.11　京都
ワークショップ 4「消化管腫瘍性病変に対する内視鏡診断の進歩（上部・下部）」
座長：佐野村 誠

■第 108 回 日本消化器内視鏡学会近畿支部例会　2022.6.11　京都
アフタヌーンセミナー 1
低用量アスピリンによる胃十二指腸潰瘍の再発抑制と治療～ Hp 陰性胃癌とガストリンの話題を含めて
○佐野村 誠

■第 240 回 大腸疾患研究会　2022.6.17　Web 開催
症例呈示・コメンテーター
○佐野村 誠

■肝細胞癌治療について考える会　2022. 6. 23　Web 開催
特別講演Ⅰ　座長：佐野村 誠

■ヴィアトリス Web 講演会　2022. 7. 5　Web 開催
慢性便秘症における排便管理～大腸内視鏡検査とルビプロストンの話題を含めて～
○佐野村 誠

■第 128 回 日本消化器内視鏡学会中国支部例会　2022.7.7　広島
いわゆる AFP 産生胃癌 24 例の臨床病理学的特徴の検討
○佐野村 誠、辻 沙也佳、内海麻衣、冨永真央、坂口奈々子、西川知宏、碕山直邦、西谷 仁、植田初江、樋口 和秀

■北摂地域連携 Web 講演会　2022. 7. 7　Web 開催
実地医家のための“便秘の診かた”
○佐野村 誠

■早期胃癌研究会 7 月度例会　2022. 7. 20　Web 開催
司会：佐野村 誠

■がん治療に伴う痛みの管理を考える　2022. 7. 21　Web 開催
講演 I　座長：西谷 仁

■第 91 回 Medical Grand Rounds　2022. 7. 21　Web 開催
腸内細菌叢と大腸がん・慢性便秘症について
○佐野村 誠

■第 53 回 近畿消化器内視鏡懇談会　2022. 7. 23　大阪
テーマ①「診断」ディスカッサント
佐野村 誠

■第 22 回 臨床消化器病研究会　2022. 7. 30　東京
消化管癌（形態学）下部消化管：「腸管非上皮性腫瘍の鑑別」読影者
佐野村 誠

■慢性便秘症治療講演会 in 静岡　2022. 8. 4　静岡
大腸粘膜下腫瘍様病変に対する内視鏡診断　～エロビキシバットの話題を含めて～
○佐野村 誠

■ IBD Session with the Expert　2022. 8. 22　Web 開催
Discussion　座長：佐野村 誠

■ IBD Session with the Expert　2022. 8. 22　Web 開催
Discussion　パネリスト：碕山直邦

■ APASL Oncology 2022　2022. 9. 1　Takamatsu
Therapeutic Response of Atezolizumab plus Bevacizumab Therapy for Unresectable Hepatocellular Carcinoma: A Single Center Experience
○ T Nishikawa, K Yokohama, K Ushiro, M Matsui, H Ohama, A Asai, S Fukunishi, S Nakamura, H Nishikawa

■第 29 回 日本門脈圧亢進症学会総会　2022. 9. 8-9　大阪
部分的脾動脈塞栓術が有効であった胆管癌術後の異所性静脈瘤の一例
○西川 知宏、他

■第 241 回 大腸疾患研究会　2022. 9. 9 大阪
Hybrid ESD を施行した大腸神経鞘腫の 1 例
○佐野村 誠

■第 241 回 大腸疾患研究会　2022. 9. 9 大阪
私の「大腸疾患研究会」勉強法
○佐野村 誠

■第 32 回 高槻消化器疾患談話会　2022. 9. 10　高槻
大腸粘膜下腫瘍様病変に対する内視鏡診断～エロビキシバットの話題も含めて～
○佐野村 誠

■第 480 回 大阪胃研究会　2022. 9. 14　Web 開催
自己免疫性胃炎を背景とした幽門腺腺腫の 1 例
○佐野村 誠

■第 27 回 三島圏域がん研究会　2022. 9. 22　Web 開催
Session 1　一般演題　座長：佐野村 誠

■第 117 回 日本消化器病学会近畿支部例会　2022.10.8　大阪
腸閉塞を繰り返した回盲部の腸管子宮内膜症の 1 例
○辻 沙也佳、佐野村 誠、内海 麻衣、冨永 真央、坂口 奈々子、西川 知宏、碕山 直邦、西谷 仁、植田 初江

■第 109 回 日本消化器内視鏡学会近畿支部例会　2022.11.5　京都
消化管出血を来したクッションサイン陽性の十二指腸 GIST の 1 例
○内海 麻衣、佐野村 誠、辻 沙也佳、冨永 真央、坂口 奈々子、西川 知宏、碕山 直邦、西谷 仁、豊田 昌夫、植田 初江、西川 浩樹

■第 109 回 日本消化器内視鏡学会近畿支部例会　2022.11.5　京都
虫垂開口部に発生した IIa+IIc 型 SSLD の 1 例
○冨永 真央、佐野村 誠、辻 沙也佳、内海 麻衣、坂口 奈々子、西川 知宏、碕山 直邦、西谷 仁、島津 和晃、西内 善彦、鈴木 重徳、川崎 浩資、豊田 昌夫、植田 初江、西川 浩樹

■第 3 回 三島医療圏がん診療連携拠点病院合同市民公開セミナー　2022.11.26　高槻
脂肪肝と肝臓がん、生活習慣病
○佐野村 誠

■ IBD Clinical Practice Web Seminar　2022.12.7　Web 開催
知っておきたい、潰瘍性大腸炎治療の勘所
○碕山 直邦

■ IBD Session with the Expert　2022.12.19　Web 開催
座長（Lecture, Discussion）：佐野村 誠

■ IBD Session with the Expert　2022.12.19　Web 開催
パネリスト「JAK 阻害剤のポジショニングについて考える」
碕山 直邦

■第 51 回 日本消化器がん検診学会近畿地方会　2023.1.14　奈良
司会　シンポジウム「がん診療に及ぼしたコロナ禍の影響」
佐野村 誠

■摂津医師会　学術 WEB セミナー講演会　2023.1.17　Web 開催
腸内細菌叢と大腸がん・慢性便秘症について
○佐野村 誠

■第 118 回 日本消化器病学会近畿支部例会　2023.1.21　京都
原発性硬化性胆管炎を合併した潰瘍性大腸炎の 1 例
○坂口 奈々子、佐野村 誠、辻 沙也佳、内海 麻衣、冨永 真央、西川 知宏、碕山 直邦、西谷 仁、西川 浩樹

■第 118 回 日本消化器病学会近畿支部例会　2023.1.21　京都
Young Investigator Session　座長
碕山 直邦

■第 28 回 三島圏域がん研究会　2023.1.26　Web 開催
特別講演　座長：佐野村 誠

■第 188 回 大曲仙北医師会学術講演会　2023.1.27　Web 開催
慢性便秘症と大腸癌～ルビプロストンの話題を含めて～
○佐野村 誠

■第 367 回 臨床心臓病研修会　2023.1.28　大阪
中性脂肪と脂肪肝～腸内細菌の話題を含めて～
○佐野村 誠

■第 19 回 日本消化管学会総会学術総会　2023.2.3　東京
症例検討セッション（上部消化管）
症例呈示
佐野村 誠

■スキルアップセミナー＜腎性貧血・慢性便秘＞　2023.2.9　大阪
大腸内視鏡検査と慢性便秘症～リナクロチドの位置付けを含めて～
○佐野村 誠

■第 35 回 高槻市医師会勤務医会総会講演会　2023.2.6　高槻
コロナ禍の 3 年をふりかえる
司会：佐野村 誠

■潰瘍性大腸炎セミナー in 北摂　2023.2.18 大阪
座長：佐野村 誠

■がん教育 高槻市立第四中学校　2023.3.1　高槻
「がんの予防」について
○佐野村 誠

■大阪肝疾患 WEB カンファレンス　2023.3.2　Web 開催
パネルディスカッション
「当院における肝性脳症の診断・治療　～改訂ガイドラインを踏まえた治療戦略～」
○佐野村 誠

■第 31 回 日本がんチーム医療研究会　2023.3.4　大阪
消化器内視鏡検査の病理所見におけるアラートシステムの運用
○佐野村 誠、金澤 史子、京林 裕美、榎南 祥太、西谷 仁

■便秘症の診断と治療を考える会　2023.3.17　Web 開催
高齢者の慢性便秘症におけるルビプロストンの位置付け
○佐野村 誠

■ Endoscopy e-learning New Endoscopic Horizon　2023.3.29　北京（Web 講演）
State-of-the-art of the colonoscopic diagnosis for treatment decision of colorectal neoplasia “Magnifying and image-enhanced colonoscopic diagnosis”
○ Makoto Sanomura

＜論文・著書・その他＞

■佐野村 誠：上皮機能変容薬：ルビプロストン．すべての臨床医が知っておきたい便秘の診かた．中島 淳（編）

羊土社　pp 77-83, 2022　東京

■佐野村 誠、沼 圭次朗：直腸粘膜脱症候群．図説「胃と腸」画像診断用語集 2022

胃と腸　57: 646, 2022

■佐野村 誠、沼 圭次朗、他：化膿性肉芽腫．日本臨牀 小腸疾患～診断・治療の最新動向～

日本臨牀社　pp 160-164, 2022　東京

■佐野村 誠、坂口 奈々子、樋口 和秀：大腸腫瘍に対する内視鏡治療の適応　治療法決定のための診断学．大腸腫瘍内視鏡治療の要点と盲点

文光堂　pp 7-10, 2022　東京

■佐野村 誠、鳴田 賢次郎、川上 研：内視鏡治療に必要な機器・器具　フードの種類と選択．大腸腫瘍内視鏡治療の要点と盲点

文光堂　pp 22-24, 2022　東京

■佐野村 誠、福田 斯盧恵、冨永 真央：ポリペクトミー　留置スネアの適応、コツとピットフォール．大腸腫瘍内視鏡治療の要点と盲点

文光堂　pp62-63, 2022　東京

■佐野村 誠、坂口 奈々子、疋田 千晶、辻 沙也佳、内海 麻衣、冨永 真央、西川 知宏、碕山 直邦、西谷 仁、柿本 一城、中村 志郎、西川 浩樹：非中毒性巨大結腸症を呈した大腸型 Crohn 病の 1 例

胃と腸　57: 1490-1493, 2022

■佐野村 誠、他：早期胃癌研究会 2021 年 6 月の例会から

胃と腸　57: 1719-1722, 2022

■佐野村 誠：大腸内視鏡検査について．日本大腸肛門病学会ホームページ．市民のみなさまへ　大腸の病気．https://www.coloproctology.gr.jp/modules/citizen/index.php?content_id=34

2-3. 呼吸器内科

スタッフ

部　　長：貴島 源一

非常勤医師：田村 洋輔（2016 年 10 月～毎週金曜午前外来）

辻 博行（2018 年 4 月～月曜気管支鏡検査と入院患者）

鶴岡 健二郎（2020 年 4 月～木曜外来と入院患者）

船本 智哉（2021 年 4 月～火曜午前外来）

亀井 郁恵（2021 年 4 月～ 2022 年 9 月まで水曜入院患者）

高田 悠司（2022 年 10 月～ 2023 年 3 月まで水曜入院患者）

2023 年度も常勤医一人体制で貴島が呼吸器外科の越智の協力で呼吸器内科の診療を行った。非常勤医師も昨年度同様に月曜から金曜まで大阪医科薬科大学からの非常勤医師の協力を得た。特に肺癌に関しては、気管支鏡認定医の辻とがん薬物療法専門医の鶴岡、田村との症例検討の下で診断および治療の選択を行った。

〈外来及び入院〉

外来は貴島が月曜と水曜に呼吸器内科外来を、非常勤医師は船本が火曜の外来（一時期船本と高田が交代した）、鶴岡が木曜の外来、田村が金曜の外来を担当した。尚、鶴岡と田村は肺癌症例の診療を中心とした外来を担当した。

外来の患者数の 1 ヶ月平均は 2020 年度 313 名、2021 年度 360 名から 2022 年度 320 名と推移している。

呼吸器内科 年度別疾患別入院患者数

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
COPD･喘息	53	71	34	32	19
誤嚥性肺炎	73	63	45	37	38
睡眠時無呼吸症候群	21	18	22	28	14
間質性肺炎	30	45	36	42	21
肺炎･気管支炎	170	145	76	61	79
肺癌	116	136	121	107	111
胸膜炎･気胸	1	11	9	6	2
膿胸	3	10	6	4	4
その他	63	79	40	62	37
計	530	578	389	379	325

入院患者は上記の表に示したように常勤医が一人体制になった 2020 年度以降は 300 人台で経過し、2022 年度は 325 症例とコロナ禍の影響で前年度より呼吸器内科全体の入院は減少した。しかし、肺癌患者の入院数は肺癌化学療法レジメン件数の増加に伴い今後も増加が予想される。常勤医一人体制のため前年度から引き続き誤嚥性肺炎など高齢の肺炎症例の一部は、呼吸器内科以外の診療科で入院治療を協力して頂いた。

2017 年度からは呼吸器内科と外科が共同して行う新たな気管支鏡検査の体制が整い肺癌手術症例、抗癌剤治療症例も増加している。（肺癌化学療法レジメン件数参照）

2014 年 10 月より 65 歳以上で定期接種となった肺炎球菌ワクチンは毎週外来で接種を続けており、毎年のインフルエンザワクチン接種、呼吸器病棟で行っている誤嚥性肺炎予防のマウスケアなどを推進して今後も積極的な肺炎予防に取り組みたい。

〈肺癌化学療法レジメン件数〉

大阪医科薬科大学からの非常勤医の田村、鶴岡には肺癌治療に特化して頂き、積極的に入院及び外来での肺癌化学療法の導入を推進し、統計を始めた 2019 年以降下記に示すように毎年順調にレジメン件数が増加している。

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
肺癌化学療法レジメン件数	116	120	190	212

〈気管支鏡検査〉

2016 年 11 月までは呼吸器外科が中心で気管支鏡検査を行っていたが、呼吸器外科医の退職で一時検査は中断し 2017 年度から再開。2019 年度からは呼吸器外科越智と非常勤医辻による毎週月曜の気管支鏡検査の体制を整え、他病院からの紹介症例にも対応している。

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
気管支鏡検査	56	47	83	75	54	57	43

〈外来の在宅酸素療法症例数、CPAP 治療症例数〉

慢性呼吸不全症例に対する在宅酸素療法と、睡眠時無呼吸症候群に対する CPAP 治療の夫々の月平均の外来での管理患者数は以下の通りで、在宅酸素療法に関しては近年登録医での管理を依頼することが増えた影響で 2022 年度はやや減少傾向であった。2005 年頃より開始した CPAP 治療は年々増加傾向であったが、最近は 80 人台で推移している。

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
在宅酸素療法	22.4	20.1	22.9	23.0	21.1	23.4	13.2
CPAP 治療	71.8	74.8	84.0	80.7	82.7	85	82.3

〈学会・研究会発表など〉

2022 年 9 月 10 日　第 237 回内科学会近畿地方会

「気管支喘息増悪の原因に *Bordetella bronchiseptica* 肺炎が疑われた 1 例」

◎水野律子、貴島源一　　於 : 千里ライフサイエンスセンター

2-4. 糖尿病・内分泌内科

スタッフ

部　長：竹内 徹

〈外来総括〉

数年来外来枠変更なく、週3回の糖尿病内分泌内科枠（火午前・水午前・木午後）並びに週2回の総合内科枠（月午前・木午前）を中心に予約診療を継続した。2019年末より発生した新型コロナ感染症対策にも関わらず、患者実数に大幅な変化はなく700余名の通院患者に対応を行った。2023年5月より新型コロナ感染症の扱い分類が変更になり従来の電話診療はほぼ無くなり、またこれ迄3ヶ月上限の長期処方も患者における病態に応じた診療間隔に戻す作業を行った。

本年度の最も大きな変化として、糖尿病療養指導士1名が不定期ながら診療サポートに加わった事である。一般診療においては担当医からの一方的な指導になりがちであるが、元来糖尿病診療においては各患者の置かれている環境因子が血糖コントロールに大きく影響するため、実診療においてもこれらに時間を割く事が多くなり、結果診療時間の長さに繋がっている事が分かっている。これらの作業を実診療時間前後に療養指導士に委任する事で効率よくかつ詳細な情報を得る事が出来ており、実際要点を押さえた教育指導が成された症例を経験した。合併症精査のための検査スケジュール設定やインスリン・GLP-1受容体作動薬の外来導入や血糖測定に関わる作業の多くを委任する事も出来ており、本来の糖尿病内科外来の形態が整ってきた。

＞初診患者について

概ねの初診患者は登録医からの血糖コントロール悪化症例に対する精査依頼、並びに検診にて高血糖を指摘された症例であった。前者においては事前に提供された情報から血糖悪化の原因を推察する事が多いが、糖尿病外疾患（内分泌疾患や悪性腫瘍等）が認められる事があるため、可能な範囲で入院精査を勧める様に対応した。また、特に高齢者において入院後に認知症が指摘される事が増えている印象である。後者においては、糖尿病代謝関連の詳細なデータが無い場合が殆どであるため、一旦当方での血液検査再検や栄養指導の介入などを案内し再診対応とし糖尿病教育、指導継続とした。

＞再診患者について

当該外来通院患者の9割が再診患者である事もあり数年来の傾向に大きな変化の無かった1年であるが、数年来発表されるクリニカルエビデンスに基づき全体の血糖コントロール状況は僅かながらも改善傾向にあると思われる。特にSGLT2阻害薬の登場やGLP-1受容体作動薬の普及は血糖管理に大きな変化を示している印象である。例年一定数の大血管障害（心筋梗塞・脳梗塞）や維持透析へ移行する糖尿病腎症患者があるが、本年度はこれらも極めて少なく、血糖管理環境の改善傾向が伺える。

〈入院総括〉

昨年に引き続き、一般的な血糖コントロール悪化症例に対する精査目的入院は実数的にも減少傾向にある印象である。これらはここ10年前後に上梓された薬剤の影響が大きく、登録医からの入院依頼内容からもこれら薬剤を使用している中での入院依頼は極めて少ない。また、従来定期的に認められていた高血糖高浸透圧症候群や糖尿病性ケトアシドーシスによる入院も減少、清涼飲料水ケトーシスと思われる急性高血糖が原因の入院が横ばいであった。外来治療レベルの底上げが効果を出しているとも言え、この傾向は引き続き注視していく。また、例年同様であるが一定数の成人発症1型糖尿病（緩徐進行型含む）が認

められており、近日緩徐進行型１型糖尿病の診断基準の改定もあったが、これら発症の見落としが無い様、入外関わらず血糖コントロール悪化症例については慎重な対応を取りたい。

入院中の糖尿病教育・指導については従来通りビデオ等の資料や院内作成のパンフレットを通じて実施継続とした。改めて本年度も内容を確認したが従来使用中の資料にはいくつか古くなった情報が存在しており、これら改定に務める必要を感じた。同様、近年新たに上梓されているインスリン製剤（ウルトララピッド）やBS製剤（バイオシミラー・バイオセイム）も必要に応じ導入を検討中である。

■ 2022年度　外来・入院患者数

外来初診患者数：51
外来延べ患者数：4,108
新　入　院　数：80
在院延べ患者数：1,540
総合内科外来患者数（当方担当患者）：969

■ 2022年度　糖尿病・内分泌内科退院患者数

MDC分類名称	計
1型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）	2
2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）	28
その他の感染症（真菌を除く。）	8
その他の消化管の障害	1
その他の糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）	1
急性腎不全	1
急性膵炎、被包化壊死	1
筋疾患（その他）	1
誤嚥性肺炎	1
腎臓又は尿路の感染症	2
胆管（肝内外）結石、胆管炎	1
胆嚢炎等	1
低カリウム血症	1
低血糖症	1
糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡	20
脳梗塞	1
播種性血管内凝固症候群	1
敗血症	1
肺炎等	1
慢性閉塞性肺疾患	1
総　計	75

2-5. 総合内科

スタッフ

部　　長：玄 武司
医　　長：黄俊 貴文
非常勤医師：西村 綾

総合内科は玄が入院患者振り分けを行い各専門医の協力の下、総合内科外来患者、各内科専門外の入院患者の診療に当たった。

1. 外来診療

外来は月曜から土曜まで毎日午前診療が行われており西村先生、黄俊先生、玄が担当した。該当患者は紹介患者、直来の初診患者、専門外来以外の症状の通院患者と健康診断である。初診患者で専門医の診察が必要と判断されればERの協力の下、専門医と連絡をとり専門医の診察を受けていただいた。問診で可及的迅速に状態把握が必要とされる患者は看護部で診察前バイタルサインのチェックをしていただきバイタルサイン不良患者はERで対応していただいた。発熱患者は2020年3月から新型コロナウイルス感染防御対策のリモート診療による発熱外来が設置され、発熱外来でPCR陰性の発熱患者が総合内科外来受診となった。総合内科でフォローされていた専門外来適応患者は極力専門外来へ受診していただく様になり初診外来患者の待機時間の短縮につながった。

内科1日平均外来患者数は　総合内科／全内科＝29／161＝0.18（18%）であった。

2. 入院診療

入院診療は総合内科入院患者診療と他科入院中患者のコンサルテーション（対診依頼）である。

① 総合内科入院患者診療

常勤医師のいる専門領域（消化器内科、循環器科、糖尿病、呼吸器内科、血液内科）以外の入院患者は黄俊先生が主に主治医となり玄が指導医の立場で一患者二担当医制で対応した。この間、ローテート中の臨床研修医の先生方が入院患者診療に加わり研修された。尿路や皮膚軟部組織を中心とした感染症やそれに伴う敗血症、敗血症性ショックや誤嚥性肺炎、COVID-19肺炎、低Na血症、低K血症を中心とする電解質異常、老衰で経口摂取不良となった患者まで実に多彩で機動力を発揮して対応できた。総合内科入院の内訳は下記に記す。

② 他科入院中患者のコンサルテーション（対診依頼）

特に外科系入院中の発熱患者、原因がはっきりしない炎症反応高値患者、電解質異常患者、薬疹を含む皮疹患者である。ほぼ原因判明、治療に繋がったと自負できる結果であった。

2022 年度　総合内科 入院患者数（ICD-10 大分類）

大分類名	計		大分類名	計
01・感染症及び寄生虫症	26		10・呼吸器の疾患	43
02・新生物	1		11・消化器の疾患	6
03・血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	3		12・皮膚及び皮下組織の疾患	6
04・内分泌、栄養及び代謝疾患	44		13・筋骨格系及び結合組織の疾患	5
05・精神及び行動の障害	2		14・尿路性器系の疾患	60
06・神経系の疾患	7		19・損傷、中毒及びその他の外因の影響	20
08・耳及び乳様突起の疾患	15		22・特殊目的用コード（新型コロナウイルス感染症）	20
09・循環器の疾患	7			
総　計				265

2-6. 内科症例検討会

内科診療部門の医師が参加して週１回（水曜日朝８時より）症例検討会を行っている。

日　付	年齢	性別	症　例
2022年 4月 6日	82	M	新型コロナウイルス感染症
	83	M	新型コロナウイルス感染症　合併症持ち
2022年 4月20日	79	M	新型コロナウイルス感染症
2022年 6月22日	77	F	貧血　消化管出血をきたした十二指腸 GIST
2022年 6月29日	80	F	新型コロナウイルス感染症
2022年 7月 6日	81	M	S 状結腸捻転　新型コロナウイルス感染症
2022年 9月14日	62	M	DM 背景にある患者のガス壊疽
2022年 9月21日	84	M	イレウス管挿入
2022年11月 9日	85	M	AL 型消化管アミロイドーシス
2022年11月16日	78	M	圧迫骨折　多発肝腫瘍　原発不明癌
2023年 1月11日	79	M	左大腿骨転子部骨折
2023年 1月18日	34	M	心不全の肺水腫
2023年 1月25日	86	M	心不全　コロナウイルス感染症
	41	M	肺血栓閉塞症
2023年 2月 1日	69	F	感染性腸炎
2023年 2月 8日	85	F	CO2 ナルコーシス　慢性心不全増悪
2023年 2月15日	54	M	急性大動脈解離
2023年 2月22日	74	F	意識障害　肺血症性ショック
2023年 3月 1日	76	F	腹腔内出血＋腫瘍
2023年 3月29日	35	M	over dose

3. 小児科

スタッフ

部　　長：八上 隆行
医　　員：水谷 翠
非常勤医師：清水 達雄
非常勤医師：黒柳 裕一

2022年2月より八上が小児科部長に着任し1年と少し経過しました。引き続き、小児科常勤医師2名（八上、水谷）、非常勤医師2名（清水：小児循環器、黒柳：小児内分泌）体制での診療を行っています。常勤医2名で一般診療を担当しつつ、八上はアレルギー疾患を担当。食物経口負荷試験、舌下免疫療法（スギ・ダニ）も行っています。水谷は心身症を担当。患者数の増加に伴い、初診枠を木曜日午後1枠、新たに設けました。なお、心理士による発達検査も週1回行っています。新型コロナ感染症の五類移行に伴い、感染症を含めた患者数が緩やかに増加傾向にあります。新規紹介患者受け入れにはまだゆとりがありますので、それぞれの専門診療に加え、精査及び入院紹介を登録医先生からお願いしたい状況です。信頼関係を大切に、責任をもって対応いたします。今後とも引き続きご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

〈外来診療〉

一般外来診療は八上が月・火・水曜日午前、水谷が木・金・土曜日午前を担当。ただし土曜日は患者側受診希望も多く、水谷／八上の2診体制です。なお多忙時は診療枠にとらわれず、八上・水谷が臨機応変に協力して診療を行っています。専門外来は、水谷が心身症外来（初診：木曜日午後予約制、再診：水・金曜日午後予約制）、清水が小児循環器外来（火曜日午前予約制）、黒柳が小児内分泌外来（金曜日午後予約制）を継続して行っています。なお八上のアレルギー診療は現状一般外来枠で診療。ただ、食物経口負荷試験は木曜日午前予約制で行っています。なお毎週火曜日は三島地域広域小児救急の二次輪番救急病院として、夜間小児救急診療を行っています。それ以外の時間外診療も必要に応じ受け入れていますので、必要な場合はぜひご連絡ください。

〈入院診療〉

2022年度はまだコロナ禍の中で感染症患者も少なく、入院患者数も少ない状況でした。入院患者の内訳は表のとおりで、呼吸器、胃腸感染症が主でしたが、全身薬疹、横紋筋融解症、化膿性頚部リンパ節炎も各1名いました。2023年度は入院患者も増加傾向にあります。当院で対応できる疾患については責任を持って対応いたしますので、登録医の先生方からのご紹介をぜひよろしくお願いいたします。

【八上 隆行】

資　格

- 日本小児科学会認定小児科専門医
- 日本小児アレルギー学会認定アレルギー専門医（小児科）
- 社団法人日本病院会　臨床研修指導医養成講習会修了（臨床研修指導医）

【水谷 翠】

資　格

- 日本小児科学会認定小児科専門医
- 日本小児心身症学会認定小児心身症専門医
- こどものこころ専門医

■ 2022 年度 診療実績

新 入 院 数：26　　（前年：13）
平均在院日数：2.6 日　　（前年：2.7 日）

初 診 患 者 数：　413　（前年：314）
外来述べ患者数：2,716　（前年：1,597）

【アレルギー疾患】 八上

小児アレルギー初診：61
食物経口負荷試験：7

【心　身　症】 水谷

心身症初診：56（紹介：34）

【循環器疾患】 清水

小児循環器初診：24
小児循環器外来述べ患者数：87
（心エコー：58、ホルター：21、トレッドミル：3）

【小児内分泌】 黒柳

小児内分泌初診：8
小児内分泌外来述べ患者数：129

■ 2022 年度　小児科退院患者数（大分類別・主病名別）

大分類名	主病名	計
01・感染症及び寄生虫症	アデノウイルス腸炎	1
	ノロウイルス性腸炎	1
	感染性胃腸炎	1
	手足口病（熱性けいれん）	1
04・内分泌、栄養及び代謝疾患	ケトン血性嘔吐症	1
07・眼及び付属器の疾患	急性滲出性中耳炎	1
10・呼吸器の疾患	急性咽頭炎	1
	RS ウイルス肺炎	1
	ヒトメタニューモウイルス肺炎	2
	RS ウイルス気管支炎	1
	インフルエンザ菌気管支炎	1
	ウイルス性気管支炎	1
	ヒトメタニューモウイルス細気管支炎	1
	急性気管支炎	3
	気管支喘息	1
	小児喘息性気管支炎	1
	喘息性気管支炎	1
12・皮膚及び皮下組織の疾患	頚部リンパ節炎	1
	膝部蜂巣炎	1
	全身薬疹	1
13・筋骨格系及び結合組織の疾患	横紋筋融解	1
14・尿路性器系の疾患	尿路感染症	1
19・損傷、中毒及びその他の外因の影響	熱中症	1
総　計		26

4. 一般・消化器外科

スタッフ

主 任 部 長：豊田 昌夫
部　　長：川﨑 浩資
医　　長：なし
医　　員：鈴木 重徳（9/30 まで）、西内 善彦、島津 和晃、阿部 信貴（10/1 より赴任）
非常勤医師：一般消化器外科（土曜日）：河合 俊哉（4/1 ～ 9/30）、鈴木 悠介（10/1 ～現在）
　　乳腺外科：高井 早紀（火）、碇 絢菜（木）（8/1 ～ 3/31 まで産休）

外科メンバーの人事につきまず報告いたします。2022 年 3 月末で河合俊哉 Dr が大阪医科薬科大学　一般消化器外科の医局人事で大学病院に帰局しましたが、一般消化器外科からの交代の医師派遣人事はありませんでした。それに代わって大阪医科薬科大学　救急医療部から卒後 4 年目の島津和晃 Dr を 4 月 1 日より当院外科に派遣していただきました。これで 2022 年度も 5 人体制でスタートすることが出来ました。その後、秋の 9/30 で鈴木重徳医師（大学院 2 回生）も大阪医科薬科大学　一般消化器外科の医局人事で大津市民病院に転勤となり、代わりに卒後 4 年目の阿部信貴 Dr が大学から交代人事で派遣され、2022 年度末まで 5 人体制で診療を行うことができました。

今年度は新型コロナ感染の流行が 3 年目に入りましたが、この一年もワクチン接種と新たな変異株出現などで沈静化と再流行を繰り返す一年でした。そんな中で、われわれ外科医も日常診療を継続しつつ、鼻腔咽頭でのコロナ PCR 検査やワクチン接種にも全面的に協力し、病院を挙げて社会の要請に対応してまいりました。

2022 年度も、コロナ感染がいくつかの病棟で流行したり、スタッフが感染したり、また感染してはいないが濃厚接触者となったり、さらにはお子様の臨時休校・休園で出勤できなくなったりとさまざまの事例が頻発しました。その都度、有効病床を減少せざるをえなくなったり、救急診療の縮小を余儀なくされたりして、この一年も前年度と同様にコロナ関連の事柄に振り回される事態が多く見られました。このため前年度に引き続き紹介患者数が減り、手術件数も増えませんでした。しかしこのような不利な条件が持続する中でも、外科では行動目標に掲げた年間 450 例の手術症例数を得られるよう、≪患者さんを逃がさない / 救急を断らない≫を合言葉に今年度も日常診療に奔走いたしました。その結果、行動目標に掲げた 450 例には到達できませんでしたが、425 例と前年度（429 例）とほぼ同じ件数を得ることができました。悪性腫瘍手術症例も、前年と同様にコロナ禍で検診控え / 検査控えが進んだ結果、症状のない早期がん症例が激減し、手術に回ってくるのは今年度も高齢者の進行癌が多い傾向でありました。悪性腫瘍切除手術症例数は 85 件と行動目標にしていた 120 件の 70% に落ち込みました。このうち最も多い大腸癌は 55 例（前年度 68 例）、次いで多い胃癌は 26 例（前年度 31 例）と両者とも 15-20％の減少となりました。しかし胃癌はコロナ前の 2019 年度の症例数 25 例を越えており、予想以上に確保できておりました。また膵臓癌も 3 例（前年度 2 例）の切除手術症例がありました。コロナ禍でもこれだけ善戦できたのも、地域の開業医先生方や患者様から、消化器悪性腫瘍の手術施設として当院をお選びしていただけているものと深く感謝しております。今後もこの信頼をさらに向上していきたいと考えます。大腸癌手術症例は 90% を腹腔鏡手術で、高度進行癌が多かった胃癌でも 50% を腹腔鏡手術で行うことができました。今後も消化器悪性腫瘍は積極的に腹腔鏡下手術を行っていきます。

2022 年度も上述の如く、コロナ流行で無症状の患者さんが受診を控えられたためか、前年度と同様、悪性腫瘍では有症状の進行癌が多く、良性疾患の胆石・単径ヘルニアでは予防的手術は減少しました。胆石・

虫垂炎では炎症の強い膿瘍形成を伴った緊急症例が多い状況でしたが、胆石 96 例、虫垂炎 50 例は、全例を腹腔鏡手術で行うことができました。今年度も初診から診断、診断から外科治療へと、出来るだけ速やかに手術治療ができるように、内科・救急科 / 外科が垣根なく診療にあたることを心がけて対応いたしました。また婦人科が 1 人体制ですので、今年度も婦人科の開腹手術はもちろんのこと、腹腔鏡下手術でも手が足らない場合には参加して協力しております。

次年度はコロナが 5 類に移行するため、検診や検査の数も増えていくことと思われます。そこで癌診療拠点病院として胃癌　大腸癌、膵臓癌、肝・胆道系の癌などの治療を中心として多岐にわたる手術をさらに充実させ、次年度は癌の手術件数も再び 100 例を超えることを目標にいたしております。消化器内科の化学療法チームとも連携し、胃癌や大腸癌の再発症例にも積極的に対応し、緩和医療としての外科手術にも対応しております。また地域の基幹病院として救急疾患のみならず、高齢者や心血管障害・脳血管障害・腎不全での透析導入などの基礎合併疾患を有する手術症例も多く、循環器内科や内分泌内科などの関連他科とも協力し合って予定および緊急手術にも迅速に対応しております。手術方法も積極的に腹腔鏡下手術を行いつつ、一方で高度に進行した癌には開腹手術で十分な根治性を目指す高度な手術に取り組んでおります。今後も症例ごとの最適な外科治療を目指してまいります。

（2022 年度学会発表 / 論文）

■ 2022 年 7 月 20 日～ 22 日　第 77 回　日本消化器外科学会総会
「二期的に腹腔鏡下ヘルニア修復術を施行した De Garengeothernia の 1 例」
○鈴木 重徳、川﨑 浩資、西内 善彦、河合 俊哉、豊田 昌夫

■ 2022 年 7 月 20 日～ 22 日　第 77 回　日本消化器外科学会総会
「経肛門的直腸異物の 1 例」
○西内 善彦、川﨑 浩資、河合 俊哉、鈴木 重徳、豊田 昌夫

■ 2022 年 4 月～ 2023 年 3 月　一般・消化器外科　手術件数

手　術	全件数	がん件数（再掲）
胃・十二指腸	28（腹腔鏡 14）	26（腹腔鏡 13）
小腸・大腸	96（腹腔鏡 69）	68（腹腔鏡 54）
肝臓	0	0
膵臓	3	3
食道	0	0
乳腺	0	0
血管	0	
ヘルニア	99（腹腔鏡 90）	
胆嚢・総胆管結石	96（腹腔鏡 96）	
虫垂炎	50（腹腔鏡 50）	
消化管穿孔・腹膜炎	6（腹腔鏡　2）	
イレウス	26（腹腔鏡 16）	
肛門	7（腹腔鏡　0）	0（腹腔鏡 0）
その他	14（腹腔鏡　1）	
合　計	425	

5. 呼吸器外科

2022 年度総評

2017 年 4 月より常勤 1 名､非常勤 1 名(外来)での診療を行なっています。2022 年には手術は計 34 例行い、肺葉切除 5 例、肺部分切除 6 例、自然気胸 16 例でした。

2022 年度は 2021 年の 10 例と比べ増加しており、気胸の手術を増やすという目標が達成できました。若年者の気胸を紹介いただけるよう、今後、登録医の先生がたとの連携をさらに強めていきたいと考えております。

6. 心臓血管外科

スタッフ

医　　長：禹 英喜
顧　　問：勝間田 敬弘
非常勤医師：森本 大成、鈴木 昌代、前田 和人

下肢静脈瘤を中心に診療を行っております。2022 年の下肢静脈瘤年間手術件数は 67 件でした。外観で明らかな下肢静脈瘤以外にも、原因がはっきりしない下腿浮腫や皮膚の色素沈着などの症状でお困りの方がいらっしゃいましたら、御紹介ください。また、CT 検査やエコー検査などで偶然指摘された動脈瘤については、精査のうえ手術適応でしたら他院への紹介、手術未適応でしたら当院で定期検診致します。診療に迷われるケースがありましたら御相談いただけると幸いです。

地域の先生方と連携し、地域医療の一翼を担えるよう努めてまいります。今後とも御指導賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

7. 整形外科

スタッフ

副院長・部長・手外科センター長：　植田 直樹
病院長補佐・部長：　劉 長勘
リハビリテーション科部長：　福井 浩一
医員：　池田 邦明
医員（ローテーター）：　杉島 慎太郎、神谷 一成（ともに 2023 年 3 月 31 日異動)、高島 雅俊

2022 年度は、藤野、澄川、齋藤 医師が 2022 年 3 月 31 日に大学人事による異動のため退職し、4 月 1 日からは池田邦明医師、杉島慎太郎医師、神谷一成医師が常勤医師として着任された。植田、劉整形外科部長、福井リハビリテーション科部長は継続で、2021 年度と同様の整形外科専門医は 4 名、ローテーターが 2 名の合計 6 名体制でのスタートであった。非常勤医師としては、毎週水曜日には洛西シミズ病院整形外科の廣藤真司医師がひきつづき勤務し、常勤であった藤野圭太郎医師も水曜日に大阪医科薬科大学から来られ、二人とも専門である手外科症例の手術などを中心に診療している。木曜日には大阪医科薬科大学三島南病院整形外科の中野敦之医師も引き続き勤務し、脊椎外来と脊椎手術を行っている。木野圭一朗医師は新河端病院から金曜日に、さらに大阪医科薬科大学からは大学院生の平井宏典医師が木曜日に引き続き勤務し、整形外科レジデントの枠としては木曜日に安田果歩医師が非常勤として診療をしている。昨年同様の整形外科医員、非常勤医師スタッフ数でのスタートであったが、2023 年 1 月からは大学人事により高島雅俊医師が常勤医師として着任した。2022 年の手術件数は昨年度の 1,073 件を上回り、さらにコロナ前の 2019 年度の 1,082 件も上回っており、過去最多の 1,227 件であった。

学会研究発表

1. 多発胸椎圧迫骨折を伴う転位型胸骨骨折に対してロッキング機構を有した Mesh Plate にて固定した 1 例
　齋藤 敦徳、植田 直樹、劉 長勘
　中部日本整形外科災害外科学会　2022；65 秋季学会：336

2. 非定型大腿骨骨折の初回手術時に chipping 法を行なった 1 例
　澄川 美奈子、劉 長勘、藤野 圭太郎、齋藤 敦徳、植田 直樹
　骨折　2022；44 Suppl：s252

3. 上腕骨通顆骨折に対する内外側皮切による dual plate 固定
　劉 長勘、植田 直樹、藤野 圭太郎、澄川 美奈子、齋藤 敦徳
　骨折　2022；44 Suppl：s228

4. 大腿骨頸部骨折 Garden Stage1 における外反角と合併症の関係
　齋藤 敦徳、劉 長勘、藤野 圭太郎、澄川 美奈子、植田 直樹
　骨折　2022；44 Suppl：s210

5. 関節鏡視下内固定を行った距骨滑車骨軟骨骨折の 1 例
劉 長勘、植田 直樹、藤野 圭太郎
骨折　2022;44（3）：773-776.

6. 特発性中指伸筋腱脱臼に対する術直後に装具療法併用した治療成績
植田 直樹、蓬莱谷 耕士
日本リハビリテーション医学会　2022：s123

7. 橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート固定後の橈骨遠位端の前後径と断面積は術後に変化するのか
藤野 圭太郎、植田 直樹、劉 長勘、澄川 美奈子、齋藤 敦徳、小林 一朗
第 65 回日本手外科学会学術集会　2022/4/14-15

8. 稀な中・環指 MP 関節ロッキングの治療経験
藤野 圭太郎、植田 直樹、劉 長勘、澄川 美奈子、齋藤 敦徳、小林 一朗
第 65 回日本手外科学会学術集会　2022/4/14-15

9. 外来診療に役立つ手関節・手指外傷の治療の実際　－保存療法から手術療法まで－
植田 直樹
市整会学術・文化講演会　2022/11/5

10. 非定型大腿骨骨折の初回手術時に chipping 法を行なった 1 例
澄川 美奈子、劉 長勘、福井浩一、藤野 圭太郎、齋藤 敦徳、植田 直樹
第 83 回大阪医科薬科大学整形外科関連病院談話会　2022/3/12

11. 上腕骨通顆骨折に対する内外側皮切による dual plate 固定の小経験
池田 邦明、劉 長勘、植田 直樹、福井 浩一、杉島 慎太郎、神谷 一成
第 84 回大阪医科薬科大学整形外科関連病院談話会　2022/10/1

2022年1月～2022年12月の手術件数

					件数
脊椎手術	頚胸椎		骨折、外傷の手術		3
			直視下手術		22
			鏡視下手術、低侵襲手術		0
	腰仙椎		骨折、外傷の手術		8
			直視下手術		49
			鏡視下手術、低侵襲手術		8
	その他		側弯症手術		0
			腫瘍手術		0
骨盤			骨折、外傷の手術		4
上肢手術	肩関節		骨折、外傷の手術（鎖骨、肩甲骨を含む）		62
			直視下手術	腱板断裂	0
				肩関節不安定症	0
				その他	1
			鏡視下手術	腱板断裂	2
				肩関節不安定症	1
				その他	1
	肘関節		骨折、外傷の手術		27
			直視下手術	肘部管症候群	13
				人工関節置換術	0
				靭帯再建術	1
				その他	5
			鏡視下手術		0
	手部、手関節		骨折、外傷の手術		221
			直視下手術	末梢神経手術	1
				関節形成術（固定術を含む）	15
				腱・靱帯再建術	8
				顕微鏡下手術	3
				その他	70
			鏡視下手術	手根管症候群	46
				その他	0
	骨幹部	上腕	骨折、外傷の手術		4
		前腕			4
下肢手術	股関節		骨折、外傷の手術	人工骨頭挿入術	80
				骨接合術	119
				その他	4
			直視下手術	人工関節置換術	16
				関節形成術（骨切り術）	0
				その他	0
			鏡視下手術		0

下肢手術	膝関節		骨折、外傷の手術		44
			直視下手術	人工関節置換術	27
				関節形成術（骨切り術）	5
				その他	1
			鏡視下手術	靭帯再建術	7
				その他	10
	足部、足関節		骨折、外傷の手術		68
			直視下手術	矯正術	1
				関節形成術（固定術を含む）	1
				腱・靱帯再建術	0
				その他	3
			鏡視下手術		4
	骨幹部	大腿	骨折、外傷の手術		1
		下腿			4
腫瘍の手術（脊椎を除く）			良性軟部腫瘍手術		54
			悪性軟部腫瘍手術		0
			良性骨腫瘍手術		12
			悪性骨腫瘍手術		0
内固定材料抜去術					137
その他の手術（上段のいずれにも分類困難な手術）					50
外傷手術合計（各部位の骨折、外傷の手術の合計）					653
疾病手術合計（外傷以外の手術、ただし内固定材料抜去術は除く）					387
総件数（内固定材料抜去術+その他の手術+外傷手術合計+疾病手術合計）					1,227

8. 婦人科

スタッフ

医　長：田中 理恵（2016 年 4 月より現在まで）
非常勤：橋田 宗祐（2020 年 11 月より現在まで）
非常勤：田中 良道（2021 年 4 月より現在まで）
顧　問：奥田 喜代司（2016 年 11 月より 2023 年 3 月）

2022 年度は昨年度に引き続き、非常勤医師として大阪医科薬科大学病院より橋田宗祐医師と田中良道医師に出向いただき、外来診療および手術に従事していただきました。また奥田喜代司医師には引き続き顧問として従事いただき、上記の 4 人体制で診療を行いました。

当科では従来の良性疾患に対する診療、腹腔鏡手術を中心とした手術に加えて、2020 年度より卵巣癌・卵管癌などの婦人科悪性腫瘍に対する診療を開始しており、遺伝カウンセリングおよび HBOC（遺伝性乳がん卵巣がん症候群）に対する BRCA1/2 遺伝子検査、進行卵巣癌に対する HRD 検査も導入しております。また、子宮鏡手術も積極的に行っており、従来の硬性子宮鏡（直径 8.9mm）に加えて細径の硬性子宮鏡（直径 3.4mm）を導入し、患者さんの負担軽減に努めております。

1. 外来診療：

2022 年度の外来延べ患者数は 3,030 人（前年度からは 9 人減少）、初診患者数は 203 人（前年度からは 22 人減少）で、近隣の先生方からは以前に引き続き多くのご紹介をいただいており、心より感謝申し上げます。外来での特殊検査としては、子宮内腔病変を精査する「子宮鏡検査」と、子宮がん検診などで頸部細胞診異常を指摘された方に対して行う「腟拡大鏡検査（コルポスコピー）」を行っております。子宮鏡検査には直径 3mm の非常に細い軟性鏡を使用しており、ほぼ痛みを感じることなく患者さんに検査を受けていただいております。また、子宮頸部細胞診異常を指摘された方に対する腟拡大鏡検査（コルポスコピー）での精査および加療も積極的に行っております。

2. 入院診療：

a）手術：

2022 年度の手術は 93 件であり、そのうち腹腔鏡下手術は 44 件で、前年度（39 件）より 5 件の増加であり、内訳は子宮全摘術 12 件、付属器切除術 12 件、子宮内膜症手術 3 件、筋腫核出術 4 件でした。また、子宮鏡下手術は 26 件でした。開腹手術は 10 件で、うち悪性腫瘍手術は 3 件でした。

b）悪性腫瘍に対する診療：

悪性腫瘍に対する手術は、2022 年度は 5 件（開腹術 3 件、腹腔鏡手術 2 件）で、内訳は卵巣・卵管癌 3 件、子宮体癌 2 件でした。また年間の化学療法は計 45 コース（昨年度は 28 コース）、対象患者は 8 人（昨年度 5 人）で、化学療法コース数、対象患者ともに毎年度増加しております。

術式	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
腹腔鏡下子宮全摘術	13	17	13	10	12
腹腔鏡下子宮筋腫核出術	10	5	5	5	4
腹腔鏡下付属器摘出術	20	9	12	11	12
腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術	7	11	9	4	3
腹腔鏡下卵巣腫瘍切除術	18	9	6	6	5
腹腔鏡下卵管切除術	3	5	3	1	2
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術	0	0	0	1	2
腹腔鏡下腫瘍生検	0	0	0	0	2
その他（膿瘍ドレナージ等）	0	0	0	1	2
腹腔鏡下手術の合計	71	56	48	39	44
腹式子宮全摘術	10	6	12	11	5
腹式子宮筋腫核出術	1	4	2	0	1
腹式卵巣嚢腫摘出術（妊娠中）	1	0	0	1	1
子宮悪性腫瘍手術（開腹）	0	0	2	0	0
子宮付属器悪性腫瘍手術	0	0	2	3	2
開腹手術の合計	14（0）	12（0）	18（0）	15	9
子宮鏡下内膜ポリープ切除術	35	35	38	31	26
子宮鏡下筋腫切除術など	6	7	6	3	0
子宮鏡下手術の合計	47	44	44	34	26
子宮頸部円錐切除術	7	13	5	2	3
その他（内膜掻爬、コンジローマ焼灼術、バルトリン腺嚢胞手術　等）					11
その他の合計	11	16	14	15	14
手術合計	143	128	124	103	93

2023年度も良性疾患はもちろんのこと、婦人科悪性腫瘍に対する診療も積極的に行ってまいりたいと存じます。当院での治療が困難と思われる患者さんは、大阪医科薬科大学をはじめとする専門施設へ早々にご紹介し早期に治療を開始いただいておりますので、婦人科疾患を疑われた場合、まずはお気軽に当科へご紹介くださいませ。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

9. 眼科

スタッフ

医　長：丸山 会里
医　員：田端 珠美、延藤 綾香

1. 北摂総合病院の病診連携と最近の動静

当院の特色は近隣の先生方と密に連携していることです。最近は白内障手術を開業医自身でも実施する傾向にあり、近隣の新規開業が増えるとともに、紹介件数は減ってきています。

2. 外来診療

2021 年 4 月 1 日からは延藤医師が大阪医科薬科大学より、2023 年 4 月 1 日より田端医師が転任赴任されました。2023 年 5 月現在の診療担当表は下記のようになっています。

外来の設備機器としてはレーザー装置としてニデック社製パターンスキャンレーザ、ヤグレーザーと SLT（選択的線維柱帯形成術）に対応したルミナス社製 Selecta Duet を保有しており、糖尿病網膜症や網膜静脈閉塞症をはじめとする網膜疾患の光凝固やレーザー虹彩切開術、選択的線維柱帯形成術などの緑内障疾患に活躍している。

診断機器としてはニデック社製ミランテが導入され、加算可能な OCT-angio が導入されました。角膜形状解析装置付きのオートレフはトーリックレンズの選択に重宝しています。眼底カメラとしてトプコン社製眼底カメラ DRC-50DS、視野計として、ゴールドマン型視野計とハンフリー視野計が導入されています。ハンフリー視野計では新しい緑内障用プログラムとして 24-2C が導入され、測定時間が片眼 3 ～ 6 分程度とかなり短縮され、患者の疲労も少なくなっており、了解を得た患者様を順次新しいプログラムに切り替えています。眼軸長測定装置としてツァイス社製 IOL マスター、超音波診断装置として UBM も測定可能な A モード B モードとトーメー社製 UD-8000 を保有しています。

診療担当表（令和5年4月現在）

	月	火	水	木	金	土
午前	丸山、田端	術前外来手術	丸山、延藤	田端、延藤	術前外来手術	丸山（1.3） 延藤（2.4.5）
午後 特外	丸山、田端	手術	丸山、延藤	田端、延藤	手術	

特外：特別外来（レーザー、螢光造影、手術説明、外来小手術など）

3. スタッフ（医師以外）

ORT としては現在、石飛、高松、森の 3 名が ORT として勤務しています。ORT は視力・視野・眼位検査だけでなく従来医師が行っていた蛍光眼底撮影もトーリックレンズを含めた眼内レンズの計算も行ってくれています。また OMA として名越伸子が視力や OCT などを担当してくれています。看護師として松山 Ns、田中 Ns、御手洗 Ns、高添 Ns が内科と眼科をかけもちで担当して頂き、大変助かっています。

4. 診療

	外来受診患者	外来新患数	入院患者数	平均在院日数
2008年度	9,295	506	235	1.6
2009年度	9,165	585	311	2.2
2010年度	8,923	647	283	2.7
2011年度	8,558	648	283	2.3
2012年度	9,262	707	332	2.3
2013年度	9,413	678	370	2.4
2014年度	8,500	603	323	1.8
2015年度	8,285	466	289	2
2016年度	7,662	416	180	1.6
2017年度	6,273	402	120	1.6
2018年度	6,200	372	110	1.7
2019年度	6,551	332	166	1.2
2020年度	6,069	244	153	1.5
2021年度	6,095	267	110	1.5
2022年度	5,945	261	118	1.1

5. 手術

顕微鏡はカールツァイス社製顕微鏡 OPM1 Lumera T を使用し、白内障手術装置としてはアルコン社のセンチュリオンが導入されています。購入費はアルコン社の眼内レンズの使用によりペイバックされる仕組みで当院の新たな負担はありません。2022 年度より白内障以外に眼瞼内反症手術、眼瞼下垂手術、翼状片手術が短期滞在手術（2718 点）の算定が可能となり、収益増に貢献すると思われます。

またアイリーアやルセンティスなどの硝子体注射も手術室で施行しその数は徐々に増加しています。

1）手術室手術

年　度	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
白内障手術	536	583	551	562	590	681	688	623	516	433	345	373	284	285	306
白内障緑内障 同時手術	9	7	5	3	3	3	4	6	2	3	1	0	5	2	2
緑内障手術	10	18	8	5	10	14	16	13	16	14	12	6	13	9	5
眼瞼下垂手術	5	7	7	4	1	18	3	16	6	13	11	6	16	0	0
内反症手術	17	3	4	3	2	1	7	6	4	4	1	0	0	1	2
翼状片手術	6	11	2	8	6	3	8	1	5	1	2	3	2	2	2
霰粒腫切除	2	9	13	16	4	7	7	6	0	2	2	0	3	2	1
結膜腫瘍摘出	8	4	1	4	3	4	3	5	0	3	5	0	3	0	1
斜視手術	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
硝子体内注射 その他	5	10	8	3	9	33	13	49	80	96	152	210	203	211	250
合　計	598	654	599	608	631	764	749	725	629	569	531	598	529	512	569

2）外来手術

年　度	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
霰粒腫手術	8	9	9	17	4	10	7	4	0	1	3	0	2	0	1
麦粒腫手術	3	3	3	5	0	1	8	4	1	1	0	0	1	0	1
結膜結石除去	2	8	3	9	4	13	8	6	8	3	3	3	6	0	4
合　計	13	20	18	31	8	24	23	14	9	5	6	3	9	0	6

3）レーザー手術（外来）

年　度	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
網膜光凝固術(特殊)	53	45	28	51	29	26	60	22	19	19	20	20	23	7	15
網膜光凝固術(通常)	131	130	113	69	61	50	51	32	39	31	36	36	40	21	12
ヤグ後発白内障切開術	90	111	93	101	107	118	118	79	64	95	82	89	52	44	51
虹彩光凝固	28	13	29	32	31	21	13	9	3	4	1	6	5	2	2
隅角光凝固術	26	20	32	14	6	19	9	4	4	15	5	2	4	8	3

10. 皮膚科

スタッフ

部　　長：芳川 た江子

非常勤医師：多田 真知花（水曜日 午前診）

～２０２２年度　１年間の診療を振り返って～

この１年間の外来延べ患者数は、5,223 名で、前年度と比べて 231 名減少しています。

新患は 868 名で、そのうち紹介患者数は 114 名でした。まだまだ紹介患者数を増やしていきたいと思っておりますので、地域の先生方、よろしく御紹介（外来･入院とも）の程、お願いいたします。入院の方は、皮膚科単独の入院は少ないのですが、他科入院の皮膚科依頼は多く、１年間で 1,227 名ありました。皮膚科単独の入院も増やしていきたいと思っていますので、ぜひ入院紹介よろしくお願いいたします。

又、院内で褥瘡対策チームをつくって、全病棟の患者様の管理やケアを行っております。詳細については、別記しています。

院外活動としては、高槻市医師会の委員（女医会・勤務医会・看護学校）、大阪府女医会の理事、大阪府医師会医学会総会評議員、北摂皮膚科医会の世話人、大阪医科薬科大学皮膚科同門会の会計監査などをしています。2018 年 6 月からは、日本女医会の理事になり、月に 1 回東京での理事会に出席しています。今年度は、コロナの影響でリモート会議が多かったです。又、時間をみつけて、学会や研修会などにも積極的に参加していきたいと思っています。院外活動の詳細は後記しています。

今後とも、地域の先生方との診療連携を上手に活かして、患者様主体の診療を続けていきたいと思っておりますので、よろしく御指導の程お願いいたします。

〈2022 年度　院外活動〉

※毎月第 3 火曜日午後	大阪府女医会理事会	（大阪府医師協同組合）
※毎月第 4 木曜日午後	高槻市医師会看護学校運営委員会	（看護学校）
※毎月第 3 土曜日午後	日本女医会理事会	（東京）

・2022 年　4 月　2 日（土）	大阪府女医会評議員会・春の勉強会	（大阪府医師協同組合 8 階）
・2022 年　4 月 17 日（日）	日本女医会大阪支部総会	（ホテルグランヴィア大阪）
・2022 年　5 月 15 日（日）	日本女医会第 67 回定時総会	（司会）（ズームで）
・2022 年　5 月 21 日（土）	大阪地方会	
・2022 年　6 月　3 日（金）4 日（土）5 日（日）	日本皮膚科学会総会（京都）	
・2022 年　6 月 11 日（土）	当院 理事会	
・2022 年　6 月 15 日（水）	皮膚科医療連携シンポジウム	（ホテルアベストグランデ高槻）
・2022 年　6 月 19 日（日）	大阪府女医会総会	（司会）（グランフロント大阪）
・2022 年　7 月 12 日（火）	夜　第 1 回日本女医会 120 周年記念誌委員会	
・2022 年　8 月　3 日（水）	夜　第 2 回日本女医会 120 周年記念誌委員会	

・2022 年　9 月 24 日（土）　登録医会議　（新阪急ホテル）
・2022 年 10 月 22 日（土）　大阪府女医会秋の学術講演会
・2022 年 10 月 29 日（土）30 日（日）　日本皮膚科学会中部支部学術大会　（富山国際会議場）
・2022 年 11 月　6 日（日）　大阪府医師会医学会総会・評議員会　（大阪府医師会館）
・2022 年 12 月　4 日（日）　大阪府女医会まとめの会　（司会）（ホテルグランヴィア大阪）
・2022 年 12 月 11 日（日）　日本女医会 120 周年記念式典・講演会・祝賀会　（司会）
・2023 年　1 月 27 日（金）　大阪医大皮膚科同門会・会計監査　（大阪医大）
・2023 年　1 月 29 日（日）　長寿社会福祉委員会講演会　（日本女医会）
・2023 年　2 月 16 日（木）　高槻市医師会勤務医会総会　（アベストグランデ高槻）
・2023 年　2 月 19 日（日）　緩和ケア研修会　（PEACE 集合研修）
・2023 年　3 月　4 日（土）　大阪医大皮膚科同門会　（ホテルグランヴィア大阪）
・2023 年　3 月 25 日（土）　当院　理事会

11. 泌尿器科

スタッフ

泌尿器科医長：濵田 修史
医　　員：田中 幹人
非　常　勤：東 治人、大阪医科薬科大学泌尿器科教室医員

常勤医師一人体制で非常勤医師の応援を得て診療を行ってきましたが、2022 年 4 月より常勤医 2 人態勢となりました。泌尿器科の手術加療は、前立腺癌、腎癌、膀胱癌を中心にロボット支援下手術が中心となってきており常勤医が少ない病院での手術件数の増加は難しい環境でありますが、引き続き排尿障害、複雑性尿路感染症、性器感染症、尿路停滞、尿路結石、尿路性器悪性腫瘍に対し大阪医科薬科大学泌尿器科および関連病院と連携をとりつつ診療を行ってまいります。引き続き、地域診療も正しい知識をもって励んでいきますのでよろしくお願いします。

■過去 3 年間の患者数推移

	外来患者数			入院患者数		
	初診患者数	再診患者数	外来延患者数	新入院数	退院数	延べ患者数
2020年度	339	6,053	6,392	146	149	837
2021年度	336	6,246	6,582	143	140	1,244
2022年度	327	6,875	7,202	176	175	1,642

■過去 3 年間の手術数推移

手術名	2020年度	2021年度	2022年度
TUR-Bt	83	68	72
TUR-P	0	1	9
膀胱腫瘍切除術	0	1	2
経尿道的止血術	0	0	2
シャント造設術	8	5	9
陰嚢水腫根治術	0	1	2
高位精巣摘除術	0	0	3
腎瘻造設術	0	0	6
膀胱水圧拡張術	1	0	0
腎尿管全摘術	0	0	3
透析シャント作成	0	1	2
シャント血栓除去術	1	0	0
腹腔鏡下腎摘出術	0	0	1
合　計	93	77	111

12. 救急診療科

スタッフ

部　　長：森井 功

医　　員：各診療科　救急当番医　初期研修医　後期研修医

2022 年度は新型コロナウィルス感染症院内クラスターの発生により一時的な入院病床数の制限を余儀なくされたが、2022 年度の年間救急応需件数は前年度の 3,231 件から 3,395 件に僅かながら増加した。しかしながら入院件数は 1,461 件から 1,416 件に減少しており搬送症例の変化が推測される。

ER で同時収容可能な病床は感染管理のため昨年同様 3 ～ 4 床にとどまり、これが不応需の最大要因となっている。その対策として ER 滞在時間の短縮が必須となり、これについては複数名となった救急認定看護師並びに ER での診療業務が可能となった救急救命士へのさらなるタスクシフトを院内メディカルコントロール体制構築の基に進め、その改善に向けた取り組みを行った。

救急診療体制の維持充実は地域医療支援病院の重要な役割であり、引き続き当地域で連携頂いている先生方並びに三島二次医療圏救急隊との良好な関係を維持しつつ、本院の各診療科の有する機能を最大限に生かし、更なる救急診療の質向上に努めるとともに、初期研修医教育の場として資することが当診療科の使命と考えている。

診療体制

★地域医療支援病院

★基幹型臨床研修指定病院

★大阪府がん診療拠点病院

★大阪府三島 2 次医療圏災害協力病院

★大阪府三島地区メディカルコントロール参加病院

★ 24 時間 365 日　常時救急対応病院

★新型コロナウィルス感染症軽症・中等症対応病院（2022 年 7 月～中等症・重症一体型病院）

院外活動

1）高槻・島本災害医療会議

2）三島地域メディカルコントロール協議会（月例の検証会議（文面会議を含む）を含む）

3）大阪府 ICLS コースへの参加（インストラクターを含め）

院内活動

1）救急委員会（年 12 回）

2）院内メディカルコントロール委員会（年 12 回）

3）院内 ICLS コースの開催（年 12 回、看護部）

2022 年度統計資料

診療科	救急診療科患者数	救急車搬入数
内 科 系	1,681	2,322
小 児 科	104	38
外 科 系	1,400	1,035
産婦人科	1	0
合計	3,186	3,395

13. 放射線科

スタッフ

部　　長：結城 雅子、山口 亜沙美
非常勤医師：田中 康敬、土井 健司、新保 大樹、堀 章裕
診療放射線技師　14 名

後期研修医と、非常勤医師の協力を得て診療を行った。

コロナ禍の影響があったが、感染対策に万全の体制で対応を行い、安全に診療を行うことができた。入院制限等により、検査件数は昨年よりはやや下回ったが、CT/MR ともに過去最高の紹介率であった。

2021 年 1 月に、2 管球を搭載した最新型 CT SOMATOM Force（シーメンス社）への更新を行い、日常検査、冠動脈造影 CTA などを毎日、安定して施行できるようになった。

・CT、MR、PET 診断は画像加算管理 2 を取得しており、原則 2 日以内に所見を返答している。画像診断用 viewer“Synapse SAI” により格段に効率性、操作性が向上し、さらにシーメンス社読影用ワークステーション “Syngo via” を用い、診断モニター上で簡便に MRP や 3 D 作成、thin slice での詳細な診断を実施している。造影の可否や検査指示など、事前に全例に検討している。
・放射線医療従事者のための教育訓練を e-learning で開催。健康調査も併用実施した。バッチは該当者全員が 2 部位装着している。
・医師、技師、看護師による放射線科ミーティングを毎週開催
・技師対象の STAT 画像報告にむけた救急疾患症例の勉強会を実施。緊急症例の通知・フィードバック機能構築開始。
・院内医療安全対策会議における画像診断報告書確認を開始。重要所見の確実な通知と確認を徹底している。
・院内では消化器科、呼吸器科との毎週のカンファレンスに参加。院外カンファレンスはコロナの影響で中止あるいは Web 参加となった。
・当院前期研修医研修、大阪医科薬科大学学生実習を行った。
・発熱外来・救急外来（研修医）担当。
・高槻市医師会　肺癌読影会に参加。乳がん精度管理委員。

実　績

2 管球 MDCT；96 x 2 列　シーメンス（dual energy CT 撮像可能）

柔軟な救急対応、癌診療など術前の詳細な評価や血管構築 / 3 D作成と定期的な全身評価、特殊な冠動脈造影 CTA や各種ダイナミック撮影、COVID 肺炎スクリーニング、Ai（死後 CT）まで様々な病態、状況に応じている。スループットが良く救急疾患に非常に貢献している。感染対策は十分に行い、導線を考慮し、安全に施行できている。

撮像スピードがかなり速く、多少の体動や呼吸停止不良にも対応可能となっている。とくに整形外科領域の骨折の評価に、微妙な浮腫の評価が可能となり、ほぼ全例、dual energy CT で撮影している。また、被曝線量の大幅な減量が可能で、画質補正により、胸腹部の撮像では、従来の 2/3－1/2 程度に線量減量も可能となる。画質が格段に向上し、薄いスライスでも、十分読影できる精度となっている。

術前の胸腹部 dynamic 撮像や入院中の短期間での頻回な撮像の場合は推奨線量よりも低線量で撮像している。さらに、画質補正を併用することで、造影剤の減量も最大半量程度可能で、腎機能不良で従来撮像が困難な症例でも撮像可能な症例もあった。

尿路結石の成分評価には dual energy CT で Ca 系と尿酸系の鑑別が可能で、診断加療に有用な症例があった。

紹介率 12%。

MRI；3T　シーメンス

救急症例には 24 時間対応で、脳梗塞のみならず、MRCP などの胆道疾患にも広く活用されている。判断困難な骨折症例の評価に非常に有用である。アルツハイマー病の評価に VSRAD は約 5 分で撮像している。心機能解析他、遅延造影による viability 評価、T1・T2 mapping、単純造影 T1 mapping などの性状評価はルーチンで安定して施行している。造影 MRマンモグラフィは紹介依頼がさらに増加している。条件付きペースメーカ症例にも柔軟に対応している。大阪医科薬科大学病院 耳鼻咽喉科紹介の他、メニエル病における内耳遅延造影 MR 撮像でメニエル病における新たな評価に貢献するものとして期待される。

整形外科領域を中心に、紹介率 46%。

STAT 画像報告システム

技師学会を中心に開始されたタスクシフトで、緊急症例の医師への迅速な報告とフィードバックを含め、技師の読影レベルの向上のために e-learning 形式で開始、医師を含めた勉強会を 1 回施行した。

講演・発表

最近の CT の進歩　Dual-energy CT の使用経験：結城 雅子：よどがわ呼吸器カンファレンス　2022/7/28

14. 麻酔科

スタッフ

部　　長：西原 功（中央手術センター長、集中治療科部長兼任）（2023 年 3 月 31 日まで）
レジデント医師：高山 愛陽（2023 年 3 月 31 日まで）
非常勤麻酔科医：辰巳 真一、駒澤 伸泰、中野 祥子、藤澤 貴信、進藤 真美子

麻酔手技別件数　過去 5 年間の推移

麻酔種別	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
全身麻酔(吸入)	1,230	1,356	1,157	1,137	1,166
全身麻酔(TIVA)	128	93	96	103	113
全身麻酔(吸入)+硬・脊・伝麻	241	287	302	286	267
全身麻酔(TIVA)+硬・脊・伝麻	12	1	4	7	7
硬膜外麻酔	1	0	0	0	0
脊髄くも膜下麻酔	64	71	46	46	50
伝達麻酔	1	0	0	0	0
その他(局所麻酔等)	929	991	816	808	951
総　計	2,606	2,799	2,421	2,387	2,554
緊急手術	229	274	323	329	256
麻酔科管理症例	1,676	1,809	1,605	1,579	1,603

2022 年度　科別麻酔手技別件数

	消化器外科	眼科	呼吸器外科	循環器内科	心臓血管外科	整形外科	泌尿器科	婦人科	麻酔科	総計
全身麻酔(吸入)	284		20			783	41	38		1,166
全身麻酔(TIVA)	6					72		34	1	113
全身麻酔(吸入)+ 硬・脊・伝麻	124		11			116	7	9		267
全身麻酔(TIVA)+ 硬・脊・伝麻						5		2		7
脊髄くも膜下麻酔						1	46	3		50
その他(局所麻酔等)	11	569	3	31	77	236	17	6	1	951
総　　計	425	569	34	31	77	1,213	111	92	2	2,554

15. 病理診断科

スタッフ

常　勤：植田 初江　病理専門医・指導医

非常勤：服部 公亮（大阪医科薬科大病理学教室）　病理専門医、細胞診専門医

松本 学（国立循環器病研究センター病理部医員　病理専門医未取得、循環器内科専門医）

雨宮 妃（国立循環器病研究センター病理部非常勤医師　病理専門医未取得、循環器内科専門医）

病理業務は 1 名の常勤部長と 1 名の非常勤病理専門医によって担当。

松本、雨宮は専門医取得を目指し研修中

細胞検査士　（中間 愛）1 名

業務実績

組織診断：2,975 件

細 胞 診：1,500 件 (婦人科　1,059、その他（尿、体腔液）441

術中迅速診断：組織診断　64 件

細 胞 診　57 件

病理解剖（大阪医科大学附属病院にて実施）：1 件（記録・資料などは検査科で保存）

CPC（臨床病理検討会）：第 142 回　6 月開催予定

学術研究業績

Ⅰ．学会活動：

1. 第 111 回日本病理学会　2022 年 4 月 14 ～ 16 日・神戸国際会議場　循環器疾患 Workshop
2. 第 43 回心筋生検研究会　2022 年 6 月 12 日　岡山大学循環器内科（Web 開催）
3. 第 70 回日本心臓病学会　2022 年 9 月 23 ～ 25 日　京都国際会議場（慶応大学循環器内科）　若年男性における COVID19 ワクチン後心筋炎 3 例の病理学的検討（雨宮 妃、植田初江）
4. 第 26 回日本心不全学会　2022 年 10 月 21-23 日　奈良県コンベンションセンター（奈良医大循内）右室心筋内膜生検は DCM 症例の左室線維化を予測できるか（雨宮 妃、植田初江）

Ⅱ．学術論文：

1. Yaku A, Inagaki T, Asano R, Okazawa M, Mori H, Sato A, Hia F, Masaki T,Manabe Y, Ishibashi T, Vandenbon A, Nakatsuka Y, Akaki K, Yoshinaga M, Uehata T, Mino T, Morita S, Ishibashi-Ueda H, Morinobu A, Tsujimura T, Ogo T, Nakaoka Y, Takeuchi O. Regnase-1 Prevents Pulmonary Arterial Hypertension Through mRNA Degradation of Interleukin-6 and Platelet-Derived Growth Factor in Alveolar Macrophages. Circulation. 2022 Sep 27;146（13）：1006-1022.
2. Koga-Ikuta A, Fukushima S, Ishibashi-Ueda H, Tadokoro N, Kakuta T, Watanabe T, Fukushima N, Suzuki K, Fukui T, Fujita T. Immunocompetent cells in durable ventricular assist device-implanted non-ischaemic dilated cardiomyopathy. Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2022 Aug;70（8）：685-693. doi: 10.1007/s11748-022-01773-y. Epub 2022 Feb 28. PMID: 35229229; PMCID: PMC9300518.
3. Kataoka Y, Sonoda K, Takahashi JC, Ishibashi-Ueda H, Toyoda K, Yakushiji Y et al. Histopathologi-

cal analysis of retrieved thrombi from patients with acute ischemic stroke with malignant tumors. J Neurointerv Surg. 2022 May;14（5）：neurintsurg-2020-017195. doi: 10.1136/neurintsurg-2020-017195. Epub

4. Ohta-Ogo K, Sugano Y, Ogata S, Nakayama T, Komori T, Eguchi K, Dohi K, Yokokawa T, Kanamori H, Nishimura S, Nakamura K, Ikeda Y, Nishimura K, Takemura G, Anzai T, Hiroe M, Hatakeyama K, Ishibashi-Ueda H, Imanaka-Yoshida K. Myocardial T-Lymphocytes as a Prognostic Risk-Stratifying Marker of Dilated Cardiomyopathy - Results of the Multicenter Registry to Investigate Inflammatory Cell Infiltration in Dilated Cardiomyopathy in Tissues of Endomyocardial Biopsy （INDICATE Study）. Circ J. 2022 Jun 24;86（7）：1092-1101. doi: 10.1253/circj.CJ-21-0529. Epub 2022 Mar 10. PMID: 35264513.
5. Aoyama D, Fukui S, Hirata H, Ohta-Ogo K, Matama H, Tateishi E, Nishii T, Asaumi Y, Toyofuku M, Ikeue T, Ogo T, Ishibashi-Ueda H, Yasuda S. Crizotinib for ROS1-rearranged lung cancer and pulmonary tumor thrombotic microangiopathy under venoarterial extracorporeal membrane oxygenation. Pulm Circ. 2022 Feb21;12（1）：e12047. doi: 10.1002/pul2.12047. PMID: 35506104; PMCID: PMC9052980.
6. Nakajima H, Takazawa A, Nakamura Y, Ishibashi-Ueda H, Yoshitake A, Iguchi A. Reversal flow in the left anterior descending artery after internal thoracic artery grafting. J Cardiothorac Surg. 2022 Oct 10;17（1）：264. doi: 10.1186/s13019-022-02008-0. PMID: 36217166; PMCID: PMC9552515.
7. Amemiya K, Yonemoto Y, Ishibashi-Ueda H, Matsumoto M, Ohta-Ogo K, Ikeda Y, Kobayashi J, Fukushima S, Fujita T, Hatakeyama K. Morphological characteristics of cardiac myxoma causing embolism: a series of 40 years of experience at a single institute. Virchows Arch. 2023 Feb;482（2）：377-384. doi: 10.1007/s00428-022-03461-x. Epub 2022 Nov 28. PMID: 36441241.
8. Kawagoe Y, Otsuka F, Onozuka D, Ishibashi-Ueda H, Ikeda Y, Ohta-Ogo K, Matsumoto M, Amemiya K, , Virmani R, Early vascular responses to abluminal biodegradable polymer-coated versus circumferential durable polymer-coated newer-generation drug-eluting stents in humans: a pathological study. EuroIntervention. 2023 Mar 20; 18（15）：1284-1294. doi: 10.4244/EIJ-D-22-00650. PMID: 36448921; PMCID: PMC10018292.

16. 血液浄化療法科

スタッフ

部　長：山口 茂

外来通院透析、入院透析を中心に下記のような血液浄化療法を実施した。高齢者の新規透析導入患者の割合が増加する傾向が見られる。心血管合併症を有する患者も多く、長期の良好な予後が見込めない場合もある。透析シャフト管理やフットケアにも多職種で取り組んだ。

■ 2022 年度　血液浄化療法科実績

2022～23年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来透析回数	147	143	148	165	136	130	130	130	130	121	116	102	1,598
入院透析回数	97	61	91	101	55	41	49	21	68	61	102	56	803
透析導入患者数	3	1	2	0	0	2	0	0	3	3	3	1	18
持続的腎代替療法(CRRT)実施件数	2	1	0	8	3	8	2	0	2	16	12	0	54
潰瘍性大腸炎に対する自己免疫吸着療法(G-CAP)実施件数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
腹水濃縮潅流法(CART)実施件数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2

17. 健診科

スタッフ

部　長：斎藤 隆晴（健康管理センター長、2018 年 1 月～）

内容については、「Ⅲ-31　健康事業室」を参照ください。

18. 診療部医薬品勉強会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止としました。

19. 地域研修実績

2022年度　地域医療従事者研修会

年月日	講演名	講演内容	講師名	参加者数	（再掲）外部医療従事者	（再掲）外部一般	備考
2022年4月4日	北摂血液連携セミナーWeb講演	「Opening Remarks」 「骨髄異形成症候群の病態・診断・治療」	京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学 准教授　山下 浩平 先生 京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学 教授　高折 晃史 先生	19	7	0	3階多目的ホール、WEB
2022年5月26日	第26回 三島圏域がん研究会	「胃がん術後の食事療法」 「安全な化学療法実施に向けたマネジメントについて」 「胃癌1st line治療最前線～オプジーボ+化学療法の実際～」	大阪医科薬科大学病院 栄養部栄養科 式見 良博 先生 北摂総合病院 薬剤科　榎南 翔太 先生 市立豊中病院 医務局長兼外科主任部長 今村 博司 先生	76	71	0	3階多目的ホール、WEB
2022年6月2日	GI Area Conference in北摂	胃食道逆流症（GERD）診療ガイドライン2021を紐解く ～Hp陰性胃癌とガストリンの話題を含めて～	座長：もりた内科・胃腸内科　院長　森田 勇 先生 演者：北摂総合病院 病院長補佐・消化器 内科主任部長　佐野村 誠 先生	17	12	0	3階多目的ホール、WEB
2022年6月15日	北摂連携カンファレンス	膝関節手術における最近のトピックス～変性疾患からスポーツ外傷まで～	司会：第一三共株式会社 北摂総合病院　整形外科　池田 邦明 先生	8	8	0	WEB（特別会議室）
2022年7月7日	北摂地域連携Web講演会	実地 医家のための“便秘の診かた”	座長：堀井医院　院長　堀井 孝容 先生 演者：北摂総合病院　病院長補佐/消化器内科 主任部長/がん診療推進室長　佐野村 誠 先生	18	13	0	WEB（外部施設）
2022年7月7日	Tea Time Conference	安定冠動脈疾患診療にまつわる話題提供	司会：津久田医院　院長　津久田 康成 先生 講師：北摂総合病院　副院長　森井 功 先生	12	12	0	WEB（特別会議室）
2022年7月14日	北摂連携カンファレンス	膝関節手術における最近のトピックス～変性疾患からスポーツ外傷まで～	オープニングリマークス 北摂総合病院　副院長　植田 直樹 先生 座長：白石クリニック　院長　白石 将史 先生 演者：北摂総合病院　整形外科　池田 邦明 先生	15	11	0	WEB（特別会議室）
2022年7月21日	第91回 Medical GrandRounds	『～腸内細菌叢と大がん・慢性便秘症について～』	座長：藤田胃腸科病院 理事長・院長　本郷 仁志 先生	27	21	0	3階多目的ホール、WEB
2022年9月22日	第27回 三島圏域がん研究会	「高槻病院でのがんサロンの取り組み」 「アテゾリズマブ維持療法中に発症した間質性肺炎の1例」 「制吐療法 UP TO DATE ～患者さんとチーム医療の視点から考える～」	愛仁会高槻病院 看護部 がん看護専門看護師　塚 久美子 先生 大阪医科薬科大学病院 薬剤部　東 春奈 先生 松山赤十字病院 薬剤部 部長　村上 通康 先生	67	62	0	3階多目的ホール、WEB
2022年9月24日	第25回 登録医会議	小児科診療内容紹介 膝の痛みに対する保存加療から手術加療について 冠動脈診療のご案内	小児科部長　八上 隆行 先生 整形外科　池田 邦明 先生 循環器科部長　永松 航 先生	86	46	0	新阪急ホテル
2022年11月17日	Tea Time Conference	『Practical Treatment Strategy』 ～糖尿病と慢性腎臓病の密な話～	司会：津久田医院　院長　津久田　康成 先生 講師：北摂総合病院　糖尿病・内分泌内科 部長　竹内 徹 先生	15	13	0	WEB（特別会議室）
2022年11月19日	第3回 北摂心臓病談話会	下肢静脈瘤について 循環器医からみた心腎貧血連関	司会：日本赤十字社高槻病院 総合診療科部長　大中 玄彦 先生 講師：祐生会みどりケ丘病院 副院長 兼 循環器内科部長 谷村 光啓 先生 司会：祐生会みどりケ丘病院 副院長 兼 循環器内科部長 谷村 光啓 先生 講師：兵庫医科大学 循環器・腎透析内科学 講師 内藤 由朗 先生	33	30	0	3階多目的ホール、WEB
2023年1月26日	第28回 三島圏域がん研究会	「がん研修・がん教育への取り組み」 「T細胞リンパ腫の診断と治療 」	座長：大阪医科薬科大学病院 がん医療総合センター 副センター長 後藤 昌弘 先生 演者：北摂総合病院 がん診療推進室副長 がん性疼痛看護認定師 京林 裕美 先生 第一東和会病院 副院長/内視鏡外科センター長　佐藤 功 先生 高槻病院 副院長/呼吸器内科/がん支援センター長　船田 泰弘 先生 高槻赤十字病院 緩和サポートチーム/がん相談支援センターがん看護専門看護師　西川 亜紀子 先生 大阪医科薬科大学病院 看護部/がん医療総合センターがん看護専門看護師　上田 育子 先生 座長：北摂総合病院 病院長補佐/がん診療推進室長/消化器内科主任部長　佐野村 誠 先生 演者：京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学 教授　高折 晃史 先生	65	65	0	3階多目的ホール、WEB

年月日	講演名	講演内容	講師名	参加者数	（再掲）外部医師等	（再掲）外部一般	備考
2023年1月30日	循環器疾患リハ勉強会	消化器外科術後患者がARDSによって心停止し人工呼吸器管理となった症例	演者：高槻病院 リハビリテーションセンター 服部 芳和 先生 座長：北摂総合病院リハビリテーション科 古澤 隆雄 先生	22	22	0	WEB
2023年2月3日	北摂栄養セミナー	心疾患に対し、入院時から退院後まで途切れない栄養管理を目指して	演者：北摂総合病院 栄養科　狩野 慎太郎 先生	12	12	0	WEB
2023年2月25日	多職種連携の会	「心不全経過観察　ここに注意しましょう」 「パーソン・センタード・ケアについて」	循環器科 部長　永松 航 先生 認知症認定看護師研修修了者 染田 敦子 看護主任	49	26	0	クロスパル高槻
2023年3月11日	第21回 北摂総合病院 薬薬連携研修会	患者に恩恵のある連携充実加算・特定薬剤管理指導加算2を目指して ～免疫関連有害事象（irAE）を見逃さないためのポイント～	薬剤科 科長　榎南 祥太				3階多目的ホール
			合　計	541	431	0	
			（昨年度）	381	203	0	

20. 卒後臨床研修実績

■ 1 年目研修医（2022 年 4 月～）【プログラム番号：030840303】

疋田 千晶、星山 大成

■ 2 年目研修医（2021 年 4 月～）【プログラム番号：030840303】

水野 律子、森田 琢郎

□北摂総合病院臨床研修プログラム【プログラム番号：030840303】

月	研修期間	研修分野	研修病院・施設
1	6ヶ月	内科研修	北摂総合病院
2			
3			
4			
5			
6			
7	3ヶ月	外科研修	北摂総合病院
8			
9			
10	4ヶ月	救急部門研修	北摂総合病院
11			
12			
13			
14	1ヶ月	地域医療研修	鄭クリニック
15	1ヶ月	精神科研修	新阿武山病院（精神）
16	1ヶ月	産婦人科研修	大阪医科薬科大（産婦人科）
17	1ヶ月	小児科研修	大阪医科薬科大（小児科）
18	1ヶ月	一般外来研修	北摂総合病院（総合内科）
19	6ヶ月	選択科目	北摂総合病院
20			
21			
22			
23			
24			

週間予定表（内科基礎研修の例）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	早朝報告*1	早朝報告*1	早朝報告*1	早朝報告*1	早朝報告*1	
8:30	職員朝礼	職員朝礼	内科合同カンファレンス 職員朝礼	職員朝礼	職員朝礼	
9:00	指導医回診	指導医回診	指導医回診	指導医回診	院長回診	
12:30	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩	
13:30	入院患者診察等	デスカンファレンス、CPC（13時～）入院患者診察等	入院患者診察等	入院患者診察等	入院患者診察等	
16:30						

内科基礎研修中は、担当医の下に 5 ～ 10 名前後の患者を受け持ち、副担当医として診療に従事する。当院内科基礎研修では、消化器内科（3 ヶ月）、循環器内科（2 ヶ月）、呼吸器内科（1 ヶ月）をローテートして研修する。さらに週 1 回程度、副宿直医として、宿直医とともに夜間、時間外における救急医療・時

間外診療に従事する。他の研修期間においても、基本的に上記の内科基礎研修とおおむね同様のスケジュールにより実施する。

＊１ 早朝報告（Morning report）（7：30 ～ 8：00AM）

一日の診療の開始にあたり、前日までの入院患者の状況を、プログラム責任者である院長と佐野村主任指導医に報告する。それぞれの受け持ち患者や診療を担当した患者の状況を、重要な事項を漏れなく手短にまとめて報告する能力を養成するとともに、他の研修医の診療状況及び病院活動の概要を理解する。

＊２ 研修医学術発表会

■ 2022 年度　北摂総合病院研修医学術発表会

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より開催中止

＊３ 臨床研修管理委員会（年３回）

■第 44 回 臨床研修管理委員会　令和 4 年 7 月 21 日（木） 14 時～ 15 時

議題：Ⅰ　令和 3 年・及び 4 年度 臨床研修医研修実施の状況について

Ⅱ　EPOC2 における症例等の登録状況について

Ⅲ　令和 5 年度から研修を開始する研修医の募集定員について

Ⅳ　令和 4 年度臨床研修委員会開催について

Ⅴ　その他

■第 45 回 臨床研修管理委員会　令和 4 年 11 月 24 日（木） 14 時～ 15 時

議題：Ⅰ　令和 3 年・4 年度臨床研修医研修実施の状況について

Ⅱ　EPOC2 における症例等の登録状況について

Ⅲ　令和 4 年度マッチング結果（令和 5 年度採用内定者）発表について

Ⅳ　令和 4 年度 第 3 回臨床研修委員会開催について

Ⅴ　その他

（①次年度　院外研修について　②基本的臨床能力評価試験受験について）

■第 46 回 臨床研修管理委員会　令和 5 年 3 月 9 日（木） 14 時～ 15 時

議題：Ⅰ　令和 3 年・4 年度臨床研修医研修実施の状況について

Ⅱ　EPOC2 における症例等の登録状況について

Ⅲ　令和 5 年度研修医採用者について

Ⅳ　令和 3 年度臨床研修医の修了認定について

Ⅴ　その他

21. 看護部

2022年看護部の取り組み

看 護 部 長：田尻 愛子
看護副部長：西村 直代

看護部のコンセプト『EGAO えがお』の北摂看護師

E	Experience　豊かな経験	**G**	Growing　育てる・人材育成
A	Activity　行動する	**O**	Observation　確かな観察力

2022年度の看護部は、病院の行動目標である「熱意・誠意・創意」を元に個人個人がさらに飛躍するために、「自問自答」に加えて「確かな看護」を考えて行動すること、他人の評価もさることながら、まず自分を評価し自分のしたことが本当に正しかったかどうかを意識して行動することを目標とした。

新型コロナウイルスは変異と感染拡大を繰り返し、蔓延した状況が3年以上続いている。大阪府の要請を受けてフェーズに応じて環境を整え重症患者の受け入れや見取りの看護にも携わってきた。感染症対策も3年目となり感染防止対策としてN95マスクやフェイスシールドの装着など、表情が見えにくい環境の中で、一人ひとりが責任感を持って行動できた。しかし、第7波・8波においては、当院でも病棟内でのクラスターが発生した。一般病棟のゾーニングのための病床制限や職員の感染、濃厚接触者等の休職によるマンパワー不足に伴う病床の制限など厳しい状況が続いた。さらに、看護師の離職や病欠など人員配置の観点から病床を縮小したことで救急患者や入院患者の受け入れ制限など急性期病院の役割に影響を及ぼしたことは課題であった。

(1)北摂ラダー・教育の実績

専門・認定看護師等で構成する「NQM」(Nursing Quality Management)の活動は看護部のみならず組織横断的に職員教育の充実と、実践力の強化に向けて活動できるコンサルテーションを確立してきた。また、2019年4月に働き方法案が施行され、医療現場においてタスクシフト・シフティングの取り組みが求められるようになった。その中で、専門的な知識と技術を備えた専門・認定看護師に加えて特定行為研修修了者が実践や教育・指導の場面で組織横断的に活躍している。特定行為については、11区分21分野の修了者5名が在籍しており、クリティカルケア領域を中心に手順書に基づき特定行為を実施している。

看護管理研修においても主任以上を対象にファーストレベル、セカンドレベル研修を計画的に進めている。加えて医療安全管理研修についても2人/年の受講計画を立て安全な職場環境の醸成に努めている。

2019年度に日本看護協会が公表した看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版)に添って北摂ラダー院内認定制度の見直しと改定を行い、北摂ラダー制度を継続している。しかし2020年度からは、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、新人看護師の研修は、集合研修からナーシング・スキルなどeラーニングを活用した教育プログラムを継続している。ラダーⅡ以上の院内研修や院外研修、学会等への参加も大幅に減少していたが、今年度はオンラインが普及したこともあり、オンラインによる学会参加や研修も増加している。OJTやeラーニング研修を中心とした根拠に基づいた看護ケアの技術と知識の向上への取り組みを継続している。

ラダーレベル	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
認定者数	11名	49名	36名	16名	7名
新認定	11名	20名	12名	2名	5名

（2）認定看護師取得状況と活動実績

【資格取得】

認定看護管理者		1名
認定看護管理者教育課程（セカンドレベル）		4名
認定看護管理者教育課程（ファーストレベル）		24名
臨床実習指導者講習会等		10名
専門看護師（在宅看護）		1名
認定看護師		9名
	感染管理	1名（看護師特定行為研修修了　大阪府看護協会）
	がん性疼痛	1名（看護師特定行為研修修了　大阪府看護協会）
	がん化学療法	1名
	救急看護	1名
	クリティカルケア	1名
	皮膚排泄ケア	1名
	慢性心不全	1名
	集中ケア	1名
	認知症看護	1名（看護師特定行為研修修了　兵庫県看護協会）
特定行為研修修了者		5名
感染制御実践看護師		1名
医療安全管理研修修了者		9名

【認定看護分野：在宅看護】野口 忍　　**活動年：2022年4月～2023年3月末日**

実　践

1．入退院支援業務

1）入退院支援加算　算定状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数（退院患者数における割合%）	186（40.2）	171（38.8）	169（36.8）	138（32.6）	133（33.0）	187（44.9）	156（35.3）	175（41.7）	177（37.6）	121（36.2）	135（31.3）	175（37.9）	1,923（37.4）

2）入院時支援加算　算定状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数（退院患者数における割合%）	25（5.4）	16（3.6）	15（3.2）	8（2.0）	1（0.2）	4（0.9）	11（2.4）	14（2.7）	13（4.0）	9（2.6）	6（1.3）	7（1.5）	126（6.6）

3）入退院支援加算は前年度より148件減少、入院時加算は前年度より38件増加

4）介護支援連携加算　135件（規定数年間33件以上）　前年度より38件増加

5）Covid-19対応:発熱外来、結果報告、ワクチン接種の業務に従事

6）患者サポート委員、職員研修委員、地域医療従事者委員、看護部教育委員NQM担当師長

2．地域活動（調整も含む）

北摂総合病院多職種連携の会運営　2023.2.25 クロスパル高槻　院外26名　院内23名　計49名

循環器疾患 ミニレクチャー 『心不全経過観察　ここに注意しましょう』循環器科　部長　永松航先生
ミニレクチャー「パーソン・センタード・ケアについて」認知症看護認定看護師　染田敦子
グループワーク『認知症の人へのかかわり方』

3．教育活動（院内）

1）退院支援、意思決定支援関連

2022.4　全職員必修研修　倫理研修　ACP とは　e-learning　402 名
2022.2　全職員対象　ACP について　全職員対象　e-learning　473 名
2022.4　全職員対象 ヤングケアラーについて　e-learning　323 名
2022.11 看護部向け退院支援研修　STEP1-2 は全員、STEP3-5 はラダーⅡチャレンジ以上で受講者は 134 名（退職者、休職者除く 80%）

■退院支援研修効果

退院支援要で**在院日数 28 日**以上の患者数と割合を、前々年、前年同期間で比較
2020.11.15 ～ 2021.2.28　1,562 名中 204 名　13.0%
2021.11.15 ～ 2022.2.28　1,615 名中 203 名　12.5%
2022.11.15 ～ 2023.2.28　1,477 名中 114 名　**7.8%に減少**

2）ラダー教育関連

2022.12 ～看護部向け　レポートの書き方　e-learning　124 名
2022 年度北摂ラダー　レポート評価　レベルⅣ　22 名、Ⅴ　8 名
うち Ⅴ の不合格者 4 名にはレポート再提出を直接指導　次年度の実施計画から指導予定

4．その他（相談、調整、倫理調整含む）

1）倫理コンサルテーションチームメンバー：平均週 1 回介入
2）虐待予防チームメンバー：平均週 1 回介入　チームでマニュアル（検討シートを含む）を作成済
3）医療メディエーター：メンバー 3 人で半年に 1 回介入
4）精神科リエゾン代替の役割：自殺企図、抑うつ等の精神科相談：平均月 1 回介入
　月～金の 9 ～ 17 時限定で、大阪医科薬科大学の精神神経科電話相談のシステムを構築した。
　（他の対応者は特定行為区分、精神及び神経症状にかかる薬剤投与関連修了者認定看護師 2 名）

5．院外活動（教育・研究）

1）講義

2022.6.13　大阪府看護協会　病院・入所施設から地域医療へつなぐ退院支援・退院調整　82 名
2022.12.10　大阪府看護協会　府北支部研修会　ACP 実践編　講師　もっと ACP Zoom　64 名
2022.12.17 ～ 18
　大阪医科薬科大学病院　ELNEC-J 研修講師　24 名
2023.3.16　大阪医科薬科大学医学部看護学科　がん看護学講義　1 名

2）研究

目的：在宅ケアに関する研究や実践報告で、在宅ケアの向上および広報に努める。

・大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程で、地域包括ケアシステムの研究活動をおこなう
コロナ禍で休学中　2023 年度から復学し修了予定。

3）学会参加

・2022.10.1 ～ 2　第 5 回日本エンドオブライフケア学会一般参加　参加

4）外部資格

日本看護協会　在宅看護専門看護師

日本緩和医療学会　ELNEC-J コアカリキュラム指導者

日本健康科学学会　ELNEC-G 高齢者版プログラム指導者

東京大学大学院医療倫理学講座　研究倫理審査員コース、臨床倫理コンサルテーションコース修了

【認定看護分野：がん性疼痛看護】京林 裕美　　活動年：2022 年 4 月～ 2023 年 3 月末日

1. 緩和ケアチーム介入件数：226 件／年（患者重複あり）

緩和ケア回診・カンファレンス回数；50 回／年

・医療用麻薬製剤の適正使用の提唱

・疼痛コントロール・症状マネジメントの実践

・治療に対する患者の意思決定支援と家族ケアをチームで実践

・療養場所の選択に対する患者の意思決定支援

・認知症がん患者の症状コントロールと意思決定支援

・壮年期患者の患者家族支援（子どもへの告知・就労支援など）

2. 外来がん化学療法室・緩和ケア外来

・外来化学療法件数：737 件（点滴抗がん剤治療のみ）

・患者家族に対する抗がん剤副作用の症状マネジメントとセルフケア指導

・緊急受診対応、必要時入院依頼など医師にコンサルト

・家族サポート（個別面談等）と、治療・療養場所の選択での患者の意思決定支援

・苦痛症状マネジメント、多職種連携で在宅療養支援

・在宅療養患者の緩和ケア依頼（PICC 挿入・輸血・緊急対応など）

・連携充実加算　496 件（外来化学療法加算 I 対象者に月 1 回／ 150 点）

3. がん相談 113 件／年（外来予約枠なし）（前年 48 件）

・セカンドオピニオンについて説明、希望者には MSW との連携

・意思決定支援：治療方針・療養環境・告知など意思決定のサポート

・未告知を希望する家族に、患者の意思尊重について相談支援

・病態悪化による患者の苦痛・家族の不安に対する相談支援

・緩和ケア外来受診への調整
・緩和ケアについて、ホスピスについて患者・家族へ情報提供と調整
・他院精査中または治療中患者の家族の不安相談、治療内容や今後の見通しなど（電話・対面）
・就労支援

4. 教育（院内・院外）

・専門研修
○緩和ケア研修
①痛みのマネジメント（11/28）
②痛みの包括的評価の方法（12/29）
③症状マネジメント（1/16）
④苦痛緩和のための鎮静の妥当性と倫理的検討方法（2/20）
○看護倫理研修
行動制限の三原則（11/30）
○せん妄研修
せん妄の基礎知識、薬物療法、非薬物療法、看護ケア（1/19）
・院外講師・研修会
○ ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育研修
講師・ファシリテーター（12/17 ～ 12/18）
○第 28 回三島圏域がん研究会
「がん研修・がん教育への取り組み」講演（1/26）

5. がん診療推進室

・がん治療・化学療法委員会／緩和ケア委員会／レジメン管理委員会　11 回／年
①医療用麻薬製剤適正使用の検討
②看看連携の推進
③症例検討
④苦痛スクリーニングの監査・質的評価と苦痛スクリーニング在り方の見直し（評価）
アセスメントの方法・記録・病棟カンファレンスの在り方など部署ごとに検討
⑤北摂がんフォーラム 2022 開催（3/24）
・三島圏域がん研究会幹事会（3 回／年）
・三島圏域緩和ケア部会・三島圏域がん診療ネットワーク協議会・準備会（各 1 ～ 2 回／年）
・大阪府がん診療連携協議会・緩和ケア部会総会（1 回／年）
・三島医療圏合同がん患者サロン共催（11/19）
・第 3 回三島圏域医療圏がん診療連携拠点病院合同市民公開セミナー共催（11/26）
・三島圏域在宅医療普及推進研修会（12/1）
・がん治療と仕事の両立支援に関する講演会　市民向け共催（12/10）
・がん診療拠点病院訪問（2/3 高槻赤十字病院）

・北摂総合病院　緩和ケア研修会 2022 開催（2/19）
・がん教育（高槻市立第 4 中学校「がん予防」について　3/1）
・がん治療と仕事の両立支援に関する講演会　医療者向け共催（3/2）

6. がん患者指導管理加算；全 48 件／年　500 点（がん告知時の支援）35 件／年
200 点（心身的不安などに対する支援）13 件／年

7. 研修・学会・研究会参加
・第 26 回・27 回・28 回　三島圏域がん研究会
・がんサポートグループ企画・運営者のためのフォローアップ研修会　2/26
・第 34 回日本緩和医療学会教育セミナー　1/22
・R4 がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修終了者のためのフォローアップ研修　2/26
・地域がん診療拠点病院「高齢者がん診療ガイドライン」研修会　3/4
・2022 年度地域緩和ケア連携調整員フォーラム　3/4
・がん相談支援センター相談員研修基礎研修Ⅰ・Ⅱ修了

8. 特定行為
・非常勤医師によるリエゾン介入；49 回／年・326 件／年（患者重複あり）
せん妄予防・せん妄悪化予防の薬物療法と看護ケア
精神症状に対する支持療法
精神科医師推奨薬剤の適正使用状況の確認と部署へのフィードバック

【認定看護分野：皮膚・排泄ケア】門戸 典子　　活動年：2022 年 4 月～ 2023 年 3 月末日

1. 実践（件数はカウント可能であった延べ人数で表記）

【Wound 分野】
創傷・癒孔ケア・スキン - テア等皮膚障害含む　116 件
局所陰圧閉鎖療法　33 件（消化器外科を除く）
褥瘡ケア　226 件（褥瘡回診：24 回 147 件、褥瘡回診以外：79 件）
・年々創傷の介入件数が増加している。継続看護が行えるよう病棟での管理方法を部署のスタッフへの情報共有・指導を行った。また退院 / 転院時の情報共有が行えるような介入を心掛けた。
・局所陰圧閉鎖療法は皮膚科の褥瘡で適応症例があり、特定行為研修終了後に実施していく。
・褥瘡は入院よりも外来での関わりが増えた。そのため院外で多職種と連携する機会が多かった。院内発生数は今年度も減少。持ち込み / 院内発生に関わらず入院期間中に治癒又は軽快出来るように多職種と共同し特に部署の看護師の連携を密に行った。
フットケア　295 件（入院：94 件、外来：201 件）
・外来患者数は年々上昇。創傷を有する場合は整形外科 劉医師と共に外来を行い、ハイリスクフット

ではあるが創傷がなく予防的な関わりの場合はフットケア外来で外来中道看護師長（フットケア指導士）と共に対応している。

・フットの治療には多数の診療科が携わることが多いため、常にコーディネーターとしての立ち位置を意識しシームレスな治療・ケアが行えるように関わった。

・病棟看護師のフットケアの意識は創傷があればコンサルテーションがあるが、予防的な介入が乏しい場面が見受けられた。そのため、褥瘡対策委員会でフットケアの講義とニッパーでの爪切りの実技を実施。今後は看護師全体の知識・技術を少しずつ底上げしていくことが課題である。

【Ostomy 分野】

ストーマケア　278 件（入院：175 件、外来：103 件）

ストーマサイトマーキング・術前ストーマオリエンテーション　実施 25 件

（未実施 3 件；ER からの緊急手術）※ストーマ造設数 25 件 / 年

・例年と比較しストーマ造設数が減少。ストーマ外来通院患者が転院 / 死亡数が多く、新たな造設者数が減少した背景もあり例年より外来通院患者数が減少した。

・消化器センター病棟のストーマケアを担ってきたスタッフが年々退職していき、中途採用看護師と新人看護師の在籍が主となったため、ストーマ造設後は初回のケアから退院までストーマケア指導に訪床し、患者・家族・部署看護師に指導を行った。

・ストーマ造設患者の局所ケア・精神的ケア

勤務日は朝の外科回診に参加し医師と連携を取ることでストーマ造設となる情報をキャッチし、ストーマ造設前に早期に関わることができ、ストーマ以外の創傷管理を多職種と共に行えた。

早期から患者の人柄や背景を把握することで、患者の個別性を配慮した上で術前に正しい情報を提供することができた。それにより信頼関係を築き術後や退院後のストーマ外来がスムーズに行えた。しかし、入院してからの関わりではストーマリハビリテーションの進みは遅く、在院日数にも影響を及ぼす。今後は外来で手術の I.C 時に外来看護師がストーマ造設患者を把握し、ストーマに関するオリエンテーションが行えるようになることが求められる。

・患者に必要な情報を共有しよりよいケアが継続して提供できるように、訪問看護や入所施設、ケアマネージャーなど必要部署と密に連携をとるように心掛けた。

【褥瘡対策委員会】

・褥瘡発生件数　12 件

（2016 年 74 件、2017 年 58 件、2018 年 47 件、2019 年 38 件、2020 年 26 件、2021 年 17 件）

・医療関連機器圧迫創傷（以下 MDRPU）発生件数　7 件

（2016 年 35 件、2017 年 54 件、2018 年 44 件、2019 年 33 件、2020 年 18 件、2021 年 18 件）

・褥瘡発生率　0.23%

（2016 年 1.22、2017 年 0.98、2018 年 0.78、2019 年 0.58、2020 年 0.45、2021 年 0.31）

・褥瘡回診　24 回　147 名

・褥瘡対策委員による院内研修を計 4 回開催（①スキンケア、スキン－テア、おむつの当て方 ② DESIGN-R2020 ③体圧分散、ポジショニング④褥瘡ケアの実際）。研修担当の褥瘡対策委員に指

導を行い実施。

・2020年1月より褥瘡ハイリスク患者ケア加算算定開始となり、手術中の2項目（特殊体位・6時間以上）を算定している。今年度は他の項目も算定拡大予定であったが、コロナ禍における職員のマンパワー等を考慮し見合わせた。

・入院前から始めるスキンケア（保湿ケア）と称して、12月から手術予定患者に対し外来にて保湿ケアの必要性を説明する取り組みを始めた。パンフレット作成を行い、外来フロアと共に共同して実施。もともと手術患者を含め入院後のスキントラブルや褥瘡発生が少ない背景があるため、今後も引き続き評価を行っていく。対象患者を高齢者と高齢者以外のハイリスクスキン（ドライスキン・浮腫・ひ薄化等）に拡大予定。

・2023年1月に中央手術センターの褥瘡予防対策に多層性シリコンフォームドレッシング材（ふぉーむ Pro）を導入。3/6に中央手術室看護師対象にメーカーと共に製品の特長と使用方法について研修を実施。今後は侵襲度の高い検査時に褥瘡形成ハイリスク患者に対して使用拡大を検討している。

2. 指導（教育）※研修以外での指導内容は実践の項目参照

・院外研修

5/20　寿栄川添地区福祉委員会　健康教室「下肢静脈瘤 ～日常生活で気を付けたいこと～」

・新人教育研修　全3回

4/ 8　医療関連機器圧迫創傷～弾性ストッキング～

4/18　スキンケア、おむつの当て方、体圧分散・ポジショニング

10/31　褥瘡とは、DESIGN-R、褥瘡対策に関する記録について

・褥瘡対策委員会主催勉強会　全4回

7/ 6　DESIGN-R 2020　（31名）

10/ 5　スキンケア、スキン－テア、おむつの当て方　（21名）

11/ 2　体圧分散、ポジショニング　（19名）

2/ 1　褥瘡ケアの実際　（23名）

・ストーマケア　全4回

7/ 4　解剖・生理、ストーマ造設、早期合併症（講師：一般消化器外科 豊田医師）　（36名）

10/20　ストーマ造設患者の術前・術後の看護　（18名）

11/17　ストーマケア　実技　（32名）

12/ 7　ストーマに関する退院支援、ストーマサイトマーキング　（21名）

・褥瘡対策委員会内研修

5/18　皮膚の機能と褥瘡発生のメカニズム～新たな褥瘡発生要因！～

12/7　フットケア（講義）

1/18　フットケア（ニッパーでの爪切り実践）

3. 相談

「1. 実践」の項参照。

4. 学会、研究会、研修

・Zoom など多数の Web 研修に参加

・8/23 ～ 24　第 21 回日本褥瘡学会学術集会（参加）

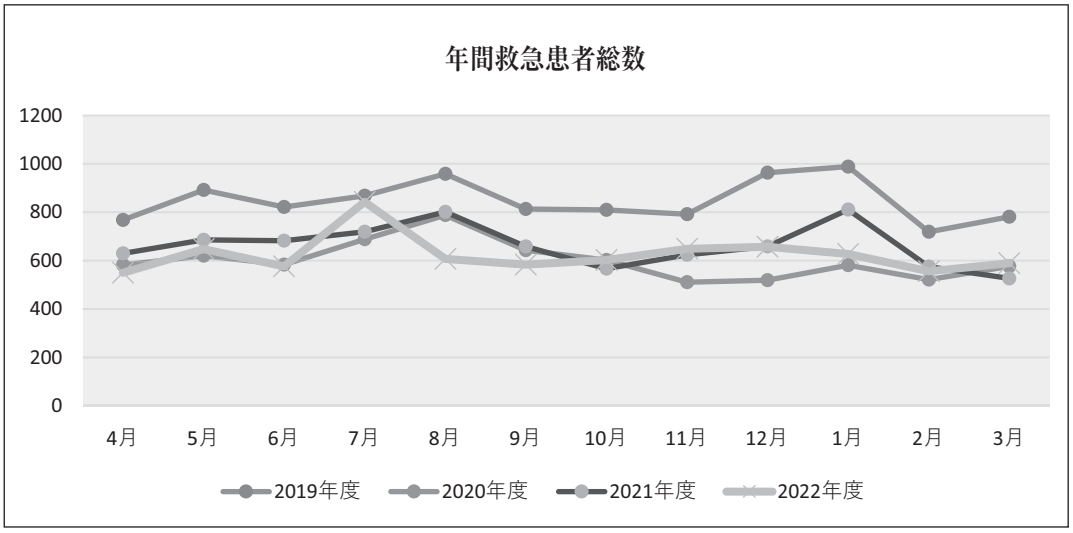
・2/10 ～ 11　第 3 回日本フットケア・足病医学会学術集会（参加）

【認定看護分野：救急看護】小西 ゆかり　　活動年：2022 年 4 月～ 2023 年 3 月末日

実　践

1. ER 関連の実績

【救急車台数】



コロナ禍前となる 2019 年の台数には未だ、戻っていない。

【救急患者総数】

2020 年度：7,220 名（昨年比▲ 2,957 名）

2021 年度：7,942 名（昨年比 722 名）

2022 年度：7,492 名（昨年比▲ 450 名）

【内 Walk in 数】

2020 年度：4,057 名（昨年比▲ 1,847 名）トリアージ加算対象：507 件

2021 年度：4,153 名（昨年比 96 名）トリアージ加算対象：202 件

2022 年度：4,064 名（昨年比▲ 56 名）トリアージ加算対象：155 件

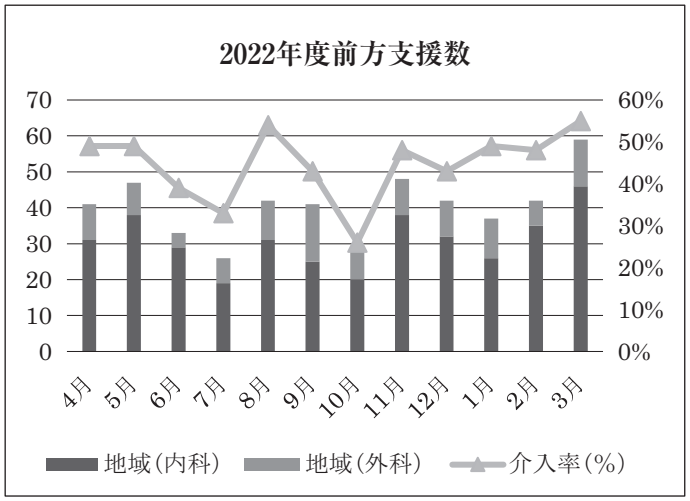
2022 年度のトリアージ総数：3,497 件（▲ 443）

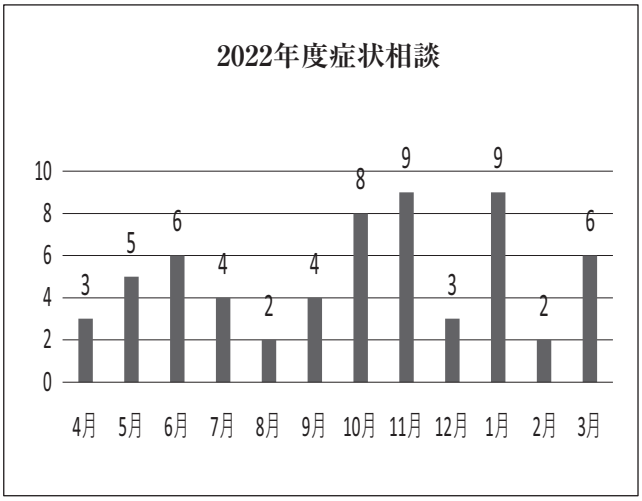
内アンダートリアージ件数は 125 件（UT 率 3.6%）

【前方支援・患者からの症状相談】

地域のクリニックや診療所からの紹介で ER 受診した方の年間総数：1,091 件（昨年比▲ 94 件）内訳は ER 内科：819 件（昨年比▲ 92 件）ER 外科：272 件（昨年比▲ 2 件）そのうち 45%（昨年 42%）の 486 件を調整した。

昨年に引き続き、発熱外来を担当していることにより、電話による症状相談や受付来院された患者さんの症状相談件数は本年も少数となった。（新型コロナ関連の電話相談は含まず）





2. 救急委員会の運営、実施（毎月第２金曜日 16:00 ～ 17:00）

1）救急委員会における各病棟の CPR 実施症例のケースカンファレンス　11 件

7F 循環器センター	：2 件
6F 呼吸器センター	：3 件
手術室	：2 件
ICU・救急フロア	：1 件
外来	：2 件
心臓カテーテル治療センター	：1 件

2）本年の委員会での決定内容。

① CPR 時のタイマーの電池チェックについて 6 ヶ月と取り決めた。

②バッグバルブマスクの保管は ME 管理となり、洗浄中は管理場所（ICU）から補充。

③手術室のバックバルブマスクはディスポーザブルに変更することとなった。

④救急カートから 18G サーフローと挿管チューブ固定用に二股に切ったテープを撤去することとなった。

指　導

1．研修実施状況

日　　程	テ　ー　マ	対　象　者	参加人数
2022 年 5 月 6 日	BLS 研修	新人看護師	14 名
同上	心電図演習	同上	同上
同上	フィジカルアセスメント	同上	同上
同上	急変前兆候	同上	同上
2022 年 5 月 8 日	ICLS コース	看護師・診療技術部	6 名
2022 年 6 月 5 日	ICLS コース	看護師・診療技術部	5 名
2022 年 7 月 3 日	ICLS コース	看護師・診療技術部	10 名
2022 年 10 月 2 日	ICLS コース	看護師・診療技術部	9 名
2022 年 11 月 6 日	ICLS コース	看護師・診療技術部	9 名
2022 年 12 月 4 日	ICLS コース	看護師・診療技術部	10 名
2023 年 2 月 5 日	ICLS コース	看護師・診療技術部	6 名
2023 年 3 月 5 日	ICLS コース	看護師・診療技術部	8 名
2022 年 9 月 21 日	「乳児の BLS」研修	北摂保育士対象	5 名
2022 年 9 月 28 日	「乳児の BLS」研修	北摂保育士対象	5 名
2022 年 11 月 4 日	BLS 研修	看護補助対象	15 名
2022 年 12 月 16 日	BLS 研修	看護補助対象	7 名

2．講演・講師など

【外部講師】

東洋医療専門学校　　救急救命士学科（昼間部 80 名・夜間部 40 名）

2022 年 11 月 18 日　「接遇、コミュニケーション」講義
2022 年 12 月 2 日　「ストレスマネージメント」「フィジカルアセスメント」講義
2022 年 12 月 23 日　「安全管理」「院内トリアージ」講義
2023 年 1 月 6 日　テスト前講義・終講テスト

東洋医療専門学校救急救命士実習生受け入れ

2023 年 1 月 30 日～ 3 月 29 日の 42 日間　実習生 12 名

【その他】

2022 年 7 月 10 日　院内 JEMCC 協力参加
2022 年度　発熱外来担当回数：111 回

【相談】

RRS 相談件数：7 件
蘇生処置件数：10 件

【認定看護分野：クリティカルケア】床尾 羊翼　　活動年：2022 年 4 月～ 2023 年 3 月末日

実　践

院内トリアージ事後検証、事後評価

2018 年 10 月より JTAS に基づいて院内トリアージを電子カルテ内へ導入。2022.4 ～ 2023.3 の 1 年間で 3404 件の院内トリアージを実施。院内トリアージ総数のうち、全ての院内トリアージの事後評価を行った。記録不備、電子カルテに記載がない院内トリアージ等で評価ができないものは未トリアージと下記する。毎月（第 2 金曜日）の救急委員会内で事後検証会を開催し、妥当性の評価を行った。2021 年度のアンダートリアージ率は 4.3%あったが、研修会等を行うことで 2022 年度のアンダートリアージ率は 3.7%まで減少することができた。引き続き、院内トリアージにおける評価を継続し、改善に努める。

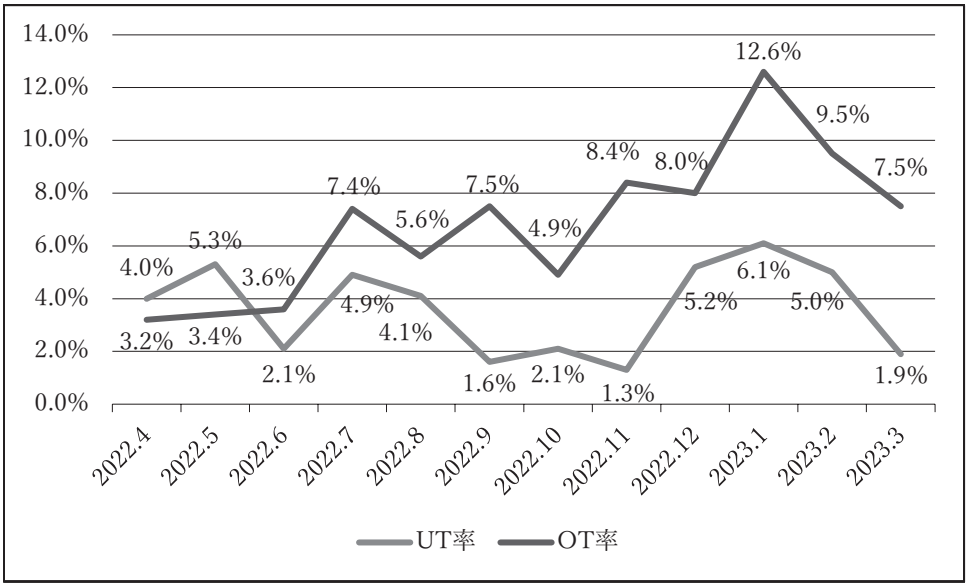
2022 年度の院内トリアージ実績

全トリアージ数：3,404 件

アンダートリアージ数：125 件

オーバートリアージ数：232 件

未トリアージ数：93 件



院内認定トリアージナースの育成

院内トリアージの質の担保と共に統一性を維持させること、救急看護師のスキルアップにつなげることを目標に院内認定トリアージナースを育成するためのプログラムを作成。約 2 ヵ月間で第 1 クール（第 1 回緊急度判定の基本編、第 2 回補足因子編、第 3 回成人緊急度判定編、第 4 回小児緊急度判定編、第 5 回筆記試験）、第 2 クール（第 6 回シミュレーション前半編、第 7 回シミュレーション後半編、第 8 回模擬試験）と分け、各クールに筆記試験と模擬試験を設けて、すべてに合格したものを院内認定トリアージナースとした。

2022 年度は、救急救命士 2 名を含む 6 名の院内認定トリアージナースが誕生。2023 年度より 20 名の院内認定トリアージナース（救急救命士含む）となった。今後も院内認定トリアージナースを育成し、さらなるアンダートリアージ率の減少に努める。

特定行為研修修了≪救急領域パッケージ≫

2022 年 2 月に救急領域パッケージ修了。

2022 年度　特定行為別実施表

2022 年度　特定行為	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連													
①脱水症状に対する輸液による補正				1									1
2. 呼吸器（気道確保に係るもの）関連													
②経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整													0
3. 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連													
③侵襲的陽圧換気の設定の変更	1			1									2
④非侵襲的陽圧換気の設定の変更			1			1				1	1		4
⑤人工呼吸器管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	1			1				1					3
⑥人工呼吸器からの離脱													0
4. 動脈血液ガス分析関連													
⑦直接動脈穿刺法による採血	13	6	12	13	11	12	12	13	4	10	9	10	125
⑧橈骨動脈ラインの確保	2		1	1		1	1	1		2	1		10
5. 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連													
⑨抗けいれん剤の臨時の投与				1			1						2
合　　計	17	6	14	18	11	14	14	15	4	13	11	10	147

指　導

〈院内〉

院内における二次救命処置（ICLS）指導

院内での二次救命処置技術を向上、アルゴリズムの周知を目標に実施。

2022 年 5 月、6 月、7 月、10 月、11 月、12 月、2023 年 2 月、3 月の 8 回の院内 ICLS 研修会を開催し、医師 4 名、看護師 44 名、救急救命士 1 名、臨床検査技師 1 名、放射線技師 3 名、リハビリテーション 2 名、臨床工学技士 4 名の合計 59 名受講した。

院内における新卒看護師・看護助手に対する BLS 研修会開催

院内での一次救命処置技術を向上、アルゴリズムの周知を目標に実施。

新卒看護師に対するフィジカルアセスメント・急変前対応研修会開催

新卒看護師の必須研修として実施。

バリテスを用いた院内看護師向け研修会開催

◎ 意識レベル評価（GCS 評価）／ 60 名受講

◎ ABCD（EF）アプローチ／ 71 名受講

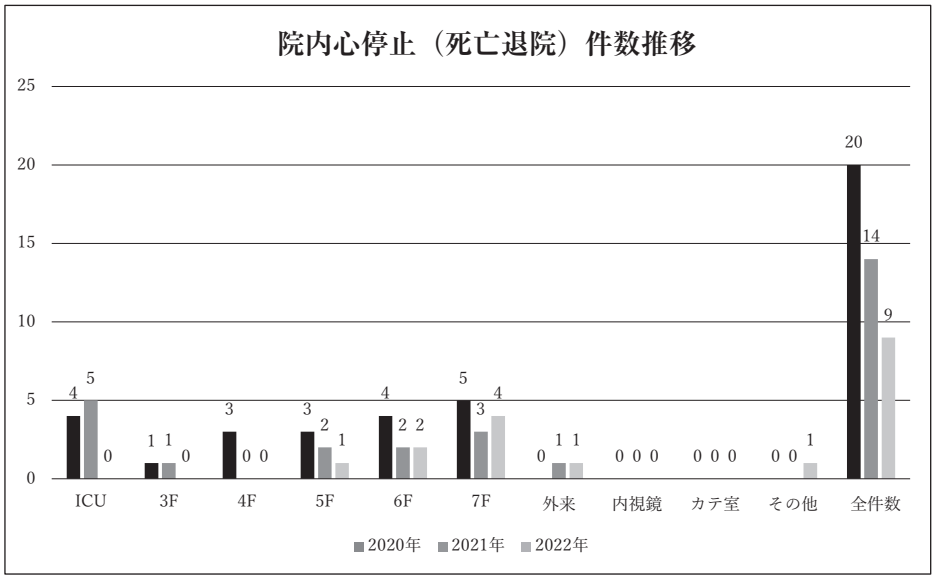
◎ 臨床推論／ 69 名受講

◎ 挿管介助／ 118 名受講

RRT（Rapid Response Team）の立ち上げ

要請部署・件数

	ICU	3F	4F	5F	6F	7F	ER	外来	内視鏡	カテ室	その他	全件数
2021 年度	1	1	6	2	0	0	0	0	0	0	0	10
2022 年度	13	0	13	6	9	1	0	1	0	0	4	47



〈院外〉

外傷・災害コース（DTLS）インストラクター

二次救命処置（大阪 ACLS）インストラクター

2022 年度は共に COVID-19 により開催なく、参加なし。

東洋医療専門学校の実習生の指導

クリティカルケア認定看護師として、2022 年 2 月東洋医療専門学校の救命救急士育成に伴う病院実習の指導を行い、医療機関で行われる医療行為、看護、処置についての指導を行った。2020 年より、救急救命士が ER 業務に参入し、共に救急医療を担っており、共に学生指導を協力して、救急救命士からの視点、病院内でおける医療、看護についてより多くの経験、知識、技術を得られるように指導を行っていく。

研究発表会

第 24 回日本救急看護学会

研究名「院内トリアージの質向上に向けた教育効果の検証」の発表

院外講師

◎岡山県就実高等学校二年生／ 227 名

演習項目：心肺蘇生法実習

◎園田学園女子大学　成熟看護学部三年生／ 85 名

成熟看護学援助論Ⅱ　演習項目：一次救命処置（BLS）

【相談】

スタッフより救急領域におけるコンサルテーション

日常業務において、救急領域におけるコンサルテーション全般に対して相談を受け、解決に向けて協力を行った。現状として、病態変化における注意点、観察項目等の振り返りがメインであり、当事者であるスタッフと共に反省点などを検討した。

【認定看護分野：慢性心不全看護】三井 巳奈子　　活動年：2022 年 4 月～ 2023 年 3 月末日

1. 実　践

1）外来・入院心臓リハビリテーション介入継続、理学療法士・管理栄養士と連携を図り、心不全患者への療養指導に努めた。

また、病棟での心臓リハビリテーション実施にあたり、理学療法士と協働し心臓リハビリ実施時間を病棟看護師と共有、双方でスケジュールを調整し効率化に努めた。

2）心臓教室担当看護師を循環器センター看護師ラダーⅡ以上とし、各スタッフに指導を行い心臓教室の継続、指導の質・意識向上に努めた。

入院心リハ　内訳	2018	2019	2020	2021	2022
全体	129	213	261	271	196
心不全	64	126	165	210	137
急性心筋梗塞	52	55	66	45	45
狭心症	11	22	19	14	10
末梢閉塞性動脈疾患	2	8	5	1	3
大動脈解離	0	1	5	0	0
開心術後	0	1	1	1	1

3）訪問看護・ケアマネージャーと連携を図り、心不全剤増悪予防のための情報共有

4）服薬支援について、全病棟で統一に向けての取り組みを開始した。今後、服薬支援の定着と質の向上に向けての取り組みを実施していく

2. 指導

1）呼吸センター看護師を対象に「心電図」勉強会実施

2）症例ごとにプライマリー看護師に対し、適宜指導

3）心不全緩和ケアについて、ICU スタッフと事例検討会

3. 相談

1）心不全看護全般

4. 学会発表・参加

2022 年 6 月　心臓リハビリテーション学会　発表

2023 年 3 月　日本循環器学会　参加

【認定看護分野：集中ケア】中口 愛　　**活動年：2022 年 4 月～ 2023 年 3 月末日**

【実践・相談】

1. RRS 活動

クリティカル領域の認定看護師を中心にした RRT 活動を実施。また、患者の状態の増悪を早期発見するためのツールとして、リハビリテーション科との連携ツールの運用を開始している。

また、院内での RRT の周知のために、院内学会での活動報告ならびに e- ラーニングでの研修を開催している。

コール件数は前年度と比較して大きく増加しており、入院部門では全病棟からの RRS 要請がみられている。

1）コール件数：47 件

2）要請部署及び件数（表 1）

3）24 時間後転帰及び 2023 年度 3 月末時点での患者の長期的転帰（表 2）

4）要請理由（表 3）

5）介入内容（表 4）

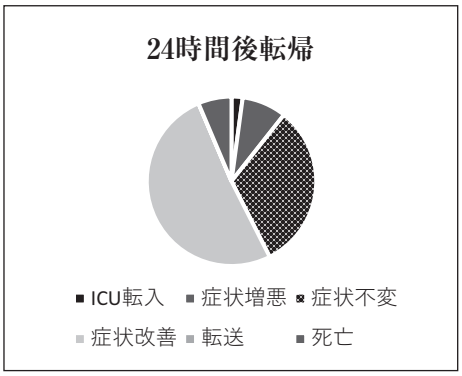
6）CPR を要した院内心停止患者総数：9 件

7）CPR を要した院内心停止患者数と発生場所（表 5）

8）ICU への予定外入室件数・及び再入室件数（表 6）

	ICU	3F	4F	5F	6F	7F	外来	内視鏡	カテ室	その他	全件数
2021 年度	1	1	6	2	0	0	0	0	0	0	10
2022 年度	13	0	13	6	9	1	1	0	0	4	47

表 1



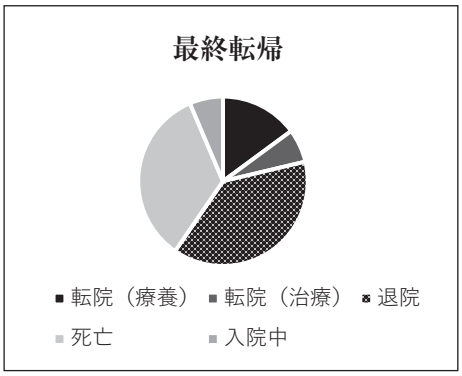


表2

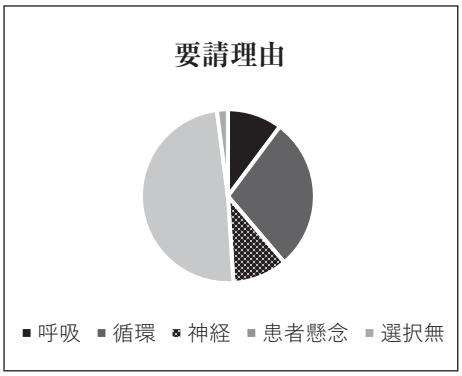


表3

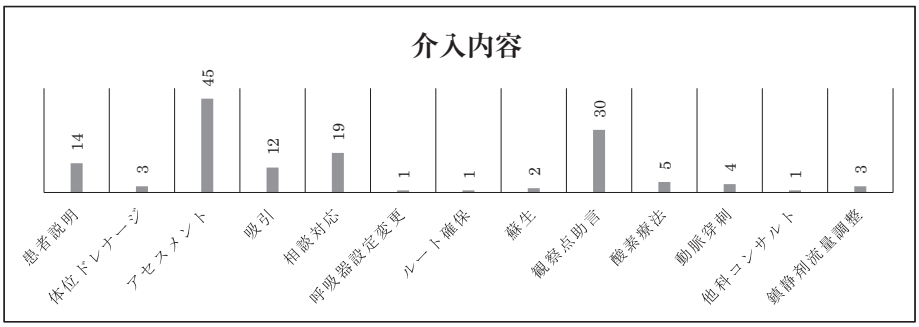


表4

	ICU	3F	4F	5F	6F	7F	外来	内視鏡	カテ室	その他	全件数
2020 年	4	1	3	3	4	5	0	0	0	0	20
2021 年	5	1	0	2	2	3	1	0	0	0	14
2022 年	0	0	0	1	2	4	1	0	0	1	9

表5

	予定外入室者数	再入室者数	総入室者数	再入室者における初回 ICU 退室時 NEWS 平均
合　計	39	11	1,448	4.85

表6

2．循環器カンファレンス

毎週火曜日にICU及び7階病棟にて循環器カンファレンスに参加。早期からのゴールの設定や退院支援の介入を重要視しながら早期回復と継続看護の充実化を目的に、看護介入方法の検討などについて受け持ち看護師へ助言を行い、ともに看護実践を行っている。

3．退室後患者訪問・コンサルテーション

手術後患者や予定外入室となった患者を中心にICU退室後訪問を実施した。患者の全身状態をアセスメントし、必要な看護ケアの実践について助言し、主治医やコメディカルと連携し、患者の早期回復と合併症予防に努めている。

1）退室後訪問総数：53件　平均年齢：77.1歳　男女比：男性30名女性23名

2）コンサルテーション介入総数：21件　平均年齢：79歳　男女比：男性11名女性10名

3）介入部署（表7）

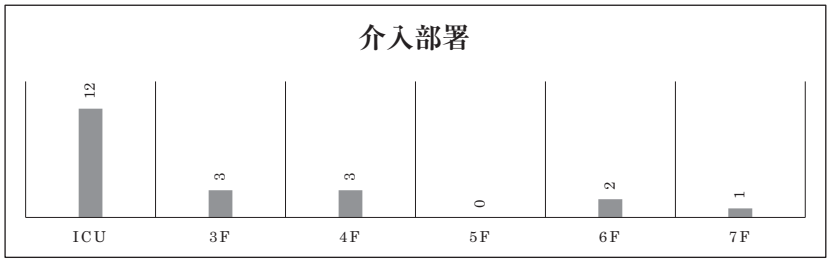


表7

4．早期離床・リハビリテーション

2022年4月よりHCUも早期離床・リハビリテーション加算の対象となったことを踏まえ、2022年7月よりICUでの早期離床･リハビリテーションを開始した。専従の理学療法士･ICU室長と専門チームを構成し、マニュアルを作成。毎朝ICUで担当看護師とともにカンファレンスを実施し、重症患者が安全かつ早期に離床できるよう助言と介入を行っている。介入開始日の平均は2.2日であり、次年度はより早期からのリハビリテーション介入を目指している。

1）HCU加算及びリハビリテーション介入率・収益一覧（表8）

2）加算漏れ事由（表9）

3）リハビリテーション開始日平均（表10）

月／項目	A：HCU加算対象者数	B：HCU加算率	C：早期リハ件数	リハ未介入数	D：リハ介入率（C/A）	収　益
6月	63	83.00%	6		9.50%	30,000
7月	96	81.00%	42	15	43.80%	210,000
8月	97	82.00%	30	13	30.90%	150,000
9月	138	93.00%	52	28	37.60%	260,000
10月	108	90.00%	46	17	42.50%	230,000

11 月	114	96.00%	30	19	26.30%	150,000
12 月	123	80.00%	56	21	45.50%	280,000
1 月	112	69%	45	18	40.10%	225,000
2 月	121	97%	45	23	37.10%	225,000
3 月	108	88%	36	12	33.30%	180,000
合　計	1,080	85.90%	388	166	34.66%	1,940,000

表8

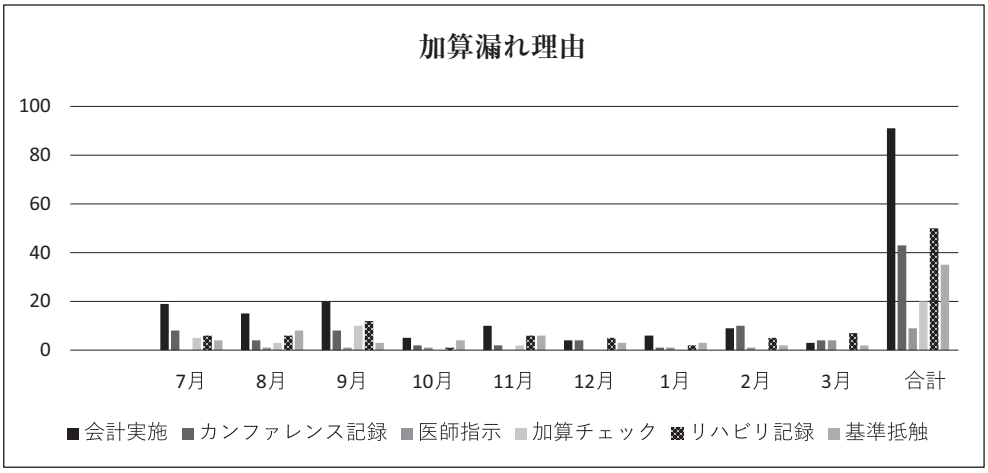


表9

	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
開始日平均	2.9	2.1	2.5	2.05	2.28	2	2	1.95	2.06	2.2

表10

5. ICU・救急フロアにおける鎮痛・鎮静マニュアルの作成

緩和ケア認定看護師及び ICU・救急フロアからのコンサルテーションがあり、ICU におけるより安全な薬剤の管理を目的に、マニュアルを作成し運用を開始した。

指　導

下記の通り院内研修を開催。開催内容については、教育委員会からの要請及び、当該部署の看護師からの依頼に基づくものである。ただし ICU・救急フロア所属の看護師を対象としたものに関しては当該部署の特殊性を鑑み、知識を深める必要があると感じた内容を選定している。また、知識不足が原因であると考えられるインシデント事例が発生した場合は、発生事象に関する理解を深めるためのニュースレポートを作成し、当該部署内への掲示を行っている。また、院内学会における ICU 救急フロアの発表者に対して指導を行っている。

2022 年度研修内容と対象者一覧

研修内容	対象者
フィジカルアセスメント　5 回 / 年	ラダーレベルⅠ・Ⅱの看護師・希望者
低体温症患者の看護	ICU・救急フロア所属の看護師
皮下出血について（ニュースレポート）	ICU・救急フロア所属の看護師
心筋梗塞患者の看護	COVID-19 対応病棟での資料作成指導
脳血管障害患者の看護	COVID-19 対応病棟での資料作成指導
RRS 研修	全職員

【認定看護分野：がん化学療法看護】増井 香菜　　活動年：2022 年 4 月～ 2023 年 3 月末日

実　践

1．外来がん化学療法室

・外来化学療法件数：990 件（うち内服抗がん剤治療 422 件）
・患者家族への化学療法オリエンテーション実施
・患者家族への副作用症状マネジメントおよびセルフケア支援
・治療選択や今後の療養場所の選択における患者の意思決定支援
・副作用や抗がん剤、支持薬等についての電話相談
・緊急受診対応、受診日調整
・他職種と連携して在宅療養支援

2．がん患者指導管理加算：全 30 件／年

500 点（がん告知時の支援）18 件／年
200 点（心身的不安などに対する支援）12 件／年

指　導

1．院内研修 4 回／年

・がん化学療法概論　・ドリップアイ、閉鎖式ルートについて
・血管外漏出、曝露対策について　・リスクマネジメントについて

2．入院化学療法取り扱い手順の確認、OJT

相　談

がん化学療法看護全般

・血管外漏出関連　・曝露対策関連　・意思決定支援についてなど

【認定看護分野：認知症看護】染田 敦子　　活動年：2023 年 2 月～ 2023 年 3 月末日

実　践

1．認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の患者への認知症サポートチーム介入

認知症高齢者の日常生活自立度ランク	2023 年 2 月 1 日～ 2 月 28 日	2023 年 3 月 1 日～ 3 月 31 日
ランクⅠ	22 人	23 人
ランクⅡ	25 人	19 人
ランクⅢ	45 人	47 人
ランクⅣ	6 人	5 人
ランクM	3 人	0 人

・2022 年 11 月　認知症サポート医取得　森井　功　副院長

・2022 年 12 月 10 日　認知症看護認定看護師取得　染田　敦子　主任看護師

・2023 年 2 月 1 日　認知症サポートチーム発足

（チーム構成：認知症サポート医・認知症看護認定看護師・社会福祉士・作業療法士・理学療法士・管理栄養士・薬剤師・事務）

・認知症サポートチーム介入人数　2023 年 2 月 1 日～ 2 月 28 日　13 人

2023 年 3 月 1 日～ 3 月 31 日　19 人

・認知症サポートチーム介入後評価

必要な治療を中断なく退院することが出来た。

病棟職員へ認知症サポートチームに相談できる事を周知することが出来た。

（※但し 2023 年 2 月～ 3 月準備期間：病棟巡回など取り組み方を検討する期間とした。2023 年 4 月からは認知症高齢者の日常生活自立度ランクⅢ以上の全ての入院患者へ 1 回 / 週以上の病棟巡回と病棟カンファレンスを実施）

2．2023 年 2 月 1 日より認知症看護認定看護師活動日、3 日 / 週取得し認知症看護実践

・準備期間：認知症サポートチームで介入が出来無かった認知症高齢者の日常生活自立度ランクⅢ以上の全ての入院患者へ、病棟巡回し病棟職員（主に認知症リンク看護師）と関わり方検討

・認知症の患者へ認知機能を評価

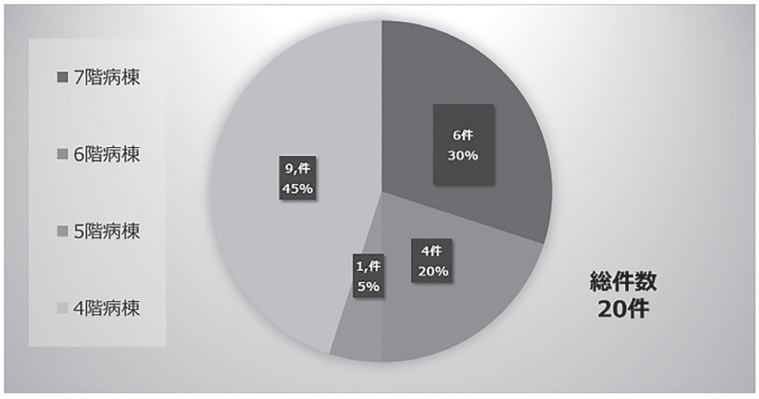
・各病棟へ訪問し、認知症患者の入院生活状況の把握。

・多職種・家族等から入院前生活背景を情報収集し関わり方の工夫を考察し実践

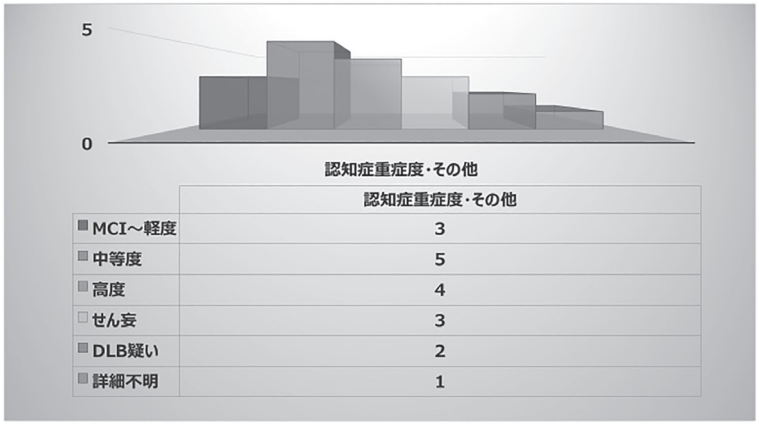
・認知症（認知症自立度Ⅰ以上）患者へ認知症看護実践　20 件

【以下介入病棟別割合・重症度・行動心理症状内容示す】

病棟別介入割合　2023.2.1～3.31

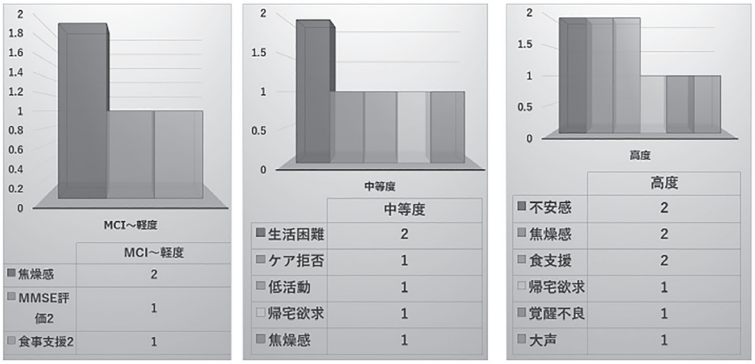


介入した認知症重症度　2023.2.1～3.31



	認知症重症度･その他
MCI～軽度	3
中等度	5
高度	4
せん妄	3
DLB疑い	2
詳細不明	1

認知症重症度別　BPSD症状　2023.2.1～3.31



	MCI～軽度
焦燥感	2
MMSE評価2	1
食事支援2	1

	中等度
生活困難	2
ケア拒否	1
低活動	1
帰宅欲求	1
焦燥感	1

	高度
不安感	2
焦燥感	2
食支援	2
帰宅欲求	1
覚醒不良	1
大声	1

介入後の評価

・行動心理症状（= BPSD）の増悪や、その他 BPSD の出現は見られなかった

・認知症の人だからではなく、出現している言動の原因や理由を病棟看護師と共に考える事が出来た

・認知症ケアチームが患者の情報を共有し気に掛けて観る事が出来た

・治療が途中で終了する事なく、退院を迎える事が出来た

3．2023 年 2 月 25 日　北摂総合病院多職種連携の会運営へ参加

・クロスパル高槻　院外 26 名　院内 23 名　計 49 名
　ミニレクチャー「パーソン・センタード・ケアについて」
　グループワーク『認知症の人へのかかわり方』

指　導

1）2023 年 2 月　認知症サポートチーム対象　認知症ケア加算について資料提示
2）2023 年 3 月　全職員対象　認知症看護について e-learning　受講率 40％

相　談

1）看護師から認知症患者への関り方について：3 日／週程度
2）認知症患者せん妄出現時の対応について：3 日／週程度
3）地域連携室より認知症患者への退院調整：3 日／週程度

(3)院内研修一覧

2022年

月日	研修名(対象)	主　催	内　　容	講　師
4/3	新採用者 オリエンテーション	職員教育研修委員会	• 当院の理念と概要 • 病院組織について • 北摂総合病院行動指針 • 当院の就業規則と労働時間管理 • 当院の情報システムについて • 個人情報保護法について • 防災について(実施・現場確認) • 医療廃棄物処理について • 医療安全管理・院内感染防止対策 • 職員の安全及び衛生管理について • 臨床倫理 • 病院における接遇とマナー • 放射線基礎 • 問題解決へのプロセスについて • 各部門紹介(診療技術部・事務局・看護部) • 医療従事者として望まれること	理事長(病院長) 各部門・部署担当者

看護部　新採用者オリエンテーション・新人教育研修・ラダーI研修

4/4	看護部　新採用者 オリエンテーション	看護部教育委員会	看護部の基本方針　看護部教育方針と体制 看護部のコンセプトEGAOについて 研修レポートや今後の研修について ナーシングスキル説明	田尻看護部長 各委員会・担当者
		新人教育委員会	目標管理	西村副部長
			接遇・コミュニケーション	実地指導者
4/5	看護を考える	看護部教育委員会		実地指導者
	シスター会			実地指導者
4/6	感染対策	感染防止対策 医療安全対策室		感染対策室 笹井師長
	医療安全			医療安全対策室 中島師長
	医療安全		ハイリスク薬剤 弾性ストッキング	医療安全対策室 中島師長
4/11	看護ケア (スキンケア)	NQM	スキンケア・おむつの当て方・陰部洗浄	皮膚排泄ケア認定看護師 門戸主任
4/14	採血研修	実地指導者会	血糖測定・採血	実地指導者
4/15	注射研修	実地指導者会	注射研修・検体の取り扱い Q サイト使用方法	実地指導者
4/22	看護ケア (褥瘡予防)	NQM	褥瘡とは、体圧分散・ポジショニング	皮膚排泄ケア認定看護師 門戸主任
5/6	救急看護	NQM	BLS の実際	救急看護認定看護師 小西師長・床尾主任
7/4	医療機器安全管理研修	医療機器安全管理研修	輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い	臨床工学技士
6/30	多重課題	新人教育担当者会 実地指導者	シミュレーション①	教育委員担当者 実地指導者
8/29		新人教育担当者会 実地指導者	シミュレーション②	教育委員担当者 実地指導者
11/18		新人教育担当者会 実地指導者	シミュレーション③	教育委員担当者 実地指導者
10/19	必要度研修	新人教育担当者会 実地指導者	必要度について・実際	西村副部長
3/6	成果発表会	新人教育担当者	事例報告	教育委員担当者

ラダーⅡ研修

月日	研修名(対象)	主　催	内　　容	講　師
9/26	リーダーシップ	看護部教育委員会 NQM	リーダーの役割（リーダーシップマインド）	教育担当者
11/7	ナラティブと看護の接点	看護部教育委員会	看護体験を語ろう	教育担当者
11/26	シミュレーション研修	看護部教育委員会	巡視後の新人看護師からの報告への対応	教育担当者
12/10	シミュレーション研修	看護部教育委員会	ショックの観察と対応　高熱と悪寒戦慄	教育担当者
1/19	せん妄研修	NQM	せん妄と認知症に違い、せん妄の三大因子他	がん性疼痛看護認定看護師 京林係長

ラダーⅢ研修

8/4	ファシリテーション	教育委員会	ファシリテーションスキル	教育委員担当者
8/24・9/15	アンガーマネジメント		怒りで失敗しないため	教育委員担当者
9/26	リーダーシップ		リーダーシップの役割	教育委員担当者
1/19	せん妄研修		せん妄と認知症に違い、せん妄の三大因子他	がん性疼痛看護認定看護師 京林係長

ラダーⅣ研修

7/30・10/22	新人教育		思考力を伸ばす指導研修	山中係長
9/30	看護管理	看護部教育委員会	目標管理と面談	西村副部長
12/21	レポートの書き方		基礎を学ぼう	在宅看護専門看護師 野口師長
1/19	せん妄研修		せん妄と認知症に違い、せん妄の三大因子他	がん性疼痛看護認定看護師 京林係長

看護補助者研修

8/31・10/3	高齢者看護 （摂食嚥下）	看護部教育委員会 NQM	解剖生理と嚥下評価	森主任
9/14・9/27	感染防止		個人防護具と手指衛生実施のタイミング	感染防止対策室 笹井師長
10/7・10/17	医療安全		危険予知トレーニング	医療安全対策室 松江師長
11/4・12/16	救急看護		BLS	救急看護認定看護師 小西師長
1/11・1/20	認知症看護		認知症の人	認知症看護特定認定看護師 染田主任

全体（全レベル）研修

4月～6月	入退院支援 バリテス	NQM	ACPとは	在宅看護専門看護師 野口師長
4月～6月	入退院支援 バリテス		ヤングケアラーをご存じですか	在宅看護専門看護師 野口師長
8/31 10/3	高齢者看護 （摂食嚥下）		解剖生理と嚥下評価	森主任
7/6	褥瘡予防	褥瘡防止対策室	「DESIGN-R」の評価	皮膚排泄ケア認定看護師 門戸主任
9/7	スキンケア		おむつの当て方	
10/5	褥瘡予防		褥瘡に関する栄養・薬剤	

月日	研修名(対象)	主　催	内　　容	講　師
11/2	褥瘡予防	褥瘡防止対策室	体圧分散・ポジショニング	皮膚排泄ケア認定看護師 門戸主任
2/1	褥瘡予防		褥瘡ケアの実際	
10/26	せん妄研修	NQM	せん妄について	がん性疼痛看護認定看護師 京林係長
11/30	看護倫理	NQM	行動制限と看護 ～倫理的側面から考える～	がん性疼痛看護認定看護師 京林係長
2/8 ～ 3/10	看護師と看護補助者	看護部 (バリテス)	看護師と看護補助者の協働	看護部
3/20	目標管理について		目標管理（基礎編）スタッフ編	西村副部長

専門領域コース別研修（NQM）

月日	研修名	対　象	内　　容	担当・講師
7/4	ストーマケアベーシック①	全レベル	解剖生理・術式	豊田消化器外科 主任部長
8/3	ストーマケアベーシック②		ストーマケア造設患者の術前・術後の看護	皮膚排泄ケア認定看護師 門戸主任
10/20	ストーマケアベーシック③		ストーマケアの実技（パウチ交換）	
12/7	ストーマケアベーシック④		ストマケアに関する退院時指導 ストマサイトマーキング	
2022/ 4/18･ 4/25	化学療法		中外	がん化学療法看護認定看護師 増井主任
8/5	がん化学療法看護	全レベル	がん化学療法基礎①	
9/2			がん化学療法基礎②	
10/21			がん化学療法有害事象①	
11/18			がん化学療法有害事象②	
10/24	緩和ケア研修	全レベル	緩和ケア①	がん性疼痛看護認定看護師 京林係長
11/28			緩和ケア②	
12/19			緩和ケア③	
1/16			緩和ケア④	
7/1 ～ 8/14	フィジカルアセスメント	全レベル	フィジカルアセスメント概論	集中ケア看護認定看護師 中口主任
8/15			フィジカルアセスメント呼吸	
10/6			フィジカルアセスメント意識	
10/31			フィジカルアセスメント体温	

（4）院外研修出張一覧

項目	研　修　名	主　催	開催日	参加者
管理･指導	認定看護管理教育課程セカンドレベル	大阪府看護協会	5/31～8/10	早川小織
	認定看護管理教育課程セカンドレベル	大阪府看護協会	8/30～11/9	古川美香
	認定看護管理教育課程ファーストレベル	大阪府看護協会	5/17～6/30	松山清美
	認定看護管理教育課程ファーストレベル	大阪府看護協会	12/6～1/31	長尾江里
	認定看護管理教育課程ファーストレベル	藍野大学キャリア開発･研究センター	10/27～12/17	山中清香
	大阪府保健師助産師看護師実習指導者講習会	大阪府看護協会	9/15～10/28	福島有紀子
教育 診療報酬	特定行為研修指導者講習会	大阪府看護協会	11/7～12/5	床尾羊翼
	日本国際看護師養成研修	大阪府看護協会	5/28､6/11･12､7/9･10､8/20･21､9/3･4･17	西岡香穂里
	術後疼痛管理研修講座	日本麻酔科学会	7/8～3/23（eラーニング）	泉妙美､碓井恭子
	医療安全管理者養成研修	大阪府看護協会	9/1～12/15（eラーニング）	奥村友子､垣崎英紀子
	大阪府保健師助産師看護師実習指導者講習会 全体発表会	大阪府看護協会	10/26	田尻愛子
	NST専門療法士実地修練	社会医療法人　誠光会	10/25～11/9	下垣内順子
	第21回　骨粗鬆症マネジャーレクチャコース	日本骨粗鬆症学会	3/7	田中理恵
	特定行為研修指導者講習会	大阪府看護協会	3/21～	床尾羊翼
実地指導	新人教育研修「新人看護師のメンタルサポートと自己のストレスマネジメント	大阪医科大学附属病院　看護部	2022/9/5･27､2/28	西根久美子､志野文香､中川美紀､新井萌子､篠原彩小里
	実地指導者の役割 新人看護職員の理解と新人看護職員の具体的､指導のあり方（コーチングとティーチング）		11/11･21､12/7	廣瀬未奈､守谷奈々美､篠田美里､枚田真侑､安藤成美､大磯沙也加､大倉梓､有田由美
	効果的な技術指導のあり方（シミュレーション演習）		12/9･16､2/10･17	廣瀬未奈､守谷奈々美､篠田美里､枚田真侑､大磯沙也加､大倉梓､有田由美
	新人教育研修「新人看護師のメンタルサポートと自己のストレスマネジメント		2022/9/5･27､2/28	西根久美子､志野文香､中川美紀､新井萌子､篠原彩小里
	第2回　臨床におけるメンタルヘルス支援		11/10	佐藤啓太､廣瀬遥
	新人看護職員研修における評価のあり方		3/10	大磯沙也加､守谷奈々美､篠田美里､枚田真侑､大倉梓､有田由美､廣瀬未奈
新人 看護師	ストレスとうまく付き合おう	大阪医科大学附属病院　看護部	6/13･17･27	本郷梨乃､和田つぐみ､初田エリカ､永山菜々子､岡城すみれ､川口さくら､高添真弓､羽根美咲､山田玖瑠実､山城祥､長岡陽子､森永千裕､西村直代､篠原彩小里､中川美貴

項目	研　修　名	主　催	開催日	参加者
新人 看護師	医療安全のための基礎知識Ⅲ～安全な輸血療法～	大阪医科大学附属病院　看護部	8/4 ZOOM研修	本郷梨乃、和田つぐみ、初田エリカ、永山菜々子、岡城すみれ、川口さくら、高添真弓、羽根美咲、山田玖瑠実、山城祥、長岡陽子、森永千裕、西村直代、志野文香
看護共通 成人	診療報酬改定		4/7	田尻愛子
	アセスメントに自信がつく臨床推論の伝え方	大阪府私立病院協看護部会	5/10	田尻愛子、西村直代
	看護補助者の活用促進のための看護管理者研修	大阪府看護協会	5/17･18･19	奥村友子、稲守綾子、稲垣亜由美今園千十世、垣崎英紀子、中島典子、松江さつき、早川小織、中道和歌子
	「看護の動向」①看護協会の立場から②看護行政の立場から「大阪府における地域医療構想について」	大阪府看護部長会	5/20	田尻愛子
	ACP支援専門人材育成事業　専門人材育成研修	大阪府看護協会	5/26（3日間）	染田敦子
	ACP支援専門人材育成事業に係る看護管理者研修	大阪府看護協会	6/11	田尻愛子
	発達障害のある看護職員に対する教育支援	大阪府私立病院協看護部会	6/20	田尻愛子、西村直代
	大阪府における地域医療構想について 看護の動向～看護行政の立場から～	大阪府看護部長会	7/1	田尻愛子
	ファーストレベルフォローアップ研修 事例検討を通じて身に着ける看護倫理判断能力	藍野大学キャリア開発研究センター	7/9	市川元子、柏原真寿美
	感染症と臨床倫理に関する研修会	大阪府私立病院協看護部会	7/12	田尻愛子
	組織で取り組み感染管理	大阪府看護協会	8/18～19	武本凪沙
	救急･集中治療領域のおけるクリティカルケア	大阪府看護協会	8/23	榎木丸愛子
	「重症度、医療･看護必要度」評価者及び院内指導研修（WEB）	日本臨床看護マネジメント学会	8/1～9/30	小西菜美
	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	大阪府看護協会	8/2～3	早河麻美
	第1回　医療事故調査制度事例検討研修会	全日本病院協会	8/6	松江さつき
	超高齢社会で口から食べる幸せを支えるために	大阪府私立病院協会	9/13	田尻愛子
	なぜ患者と医療者はすれ違うのか	大阪府看護部長会	9/16	田尻愛子
	第2回　院内事故調査指針　事故発生時の適切な対応研修会（WEB）	全日本病院協会	9/23～24	松江さつき
	第43回　関西ストマケア講習会	関西ストマケア講習会実行委員会	10/1～2	北村由紀
	「気持ちよく出す」を叶える排便ケア	大阪府私立病院協看護部会	10/11	田尻愛子
	認知症高齢者の看護実践に必要な知識②	大阪府看護協会	10/18～1/19	太田由紀
	准看護師問題検討委員会、ワークショップ	大阪府看護協会	11/17	早川小織
	看護職のキャリアと連動した処遇改善（賃金モデル）	大阪府看護協会	11/19	田尻愛子

項目	研　修　名	主　催	開催日	参加者
看護共通成人	第7回エンド・オブ・ライフ・ケア看護師教育プログラム（ELNEC-J）	大阪医科大学附属病院	12/17～18	野口忍、京林裕美、西村圭子、大森亜佑美、横山奈海、園山真由美、立花悠
	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	大阪府看護協会	12/20～21	枚田真侑
	タスクシフト／シェアの展望と課題～人材育成の観点から～	大阪府看護部長会	1/7	西村直代
	変化の時代を拓く～看護管理はレジリエントに～	大阪府私立病院協会看護部会	1/10	田尻愛子、馬場恵美
	看護管理に大切な人材育成とチームマネジメント	大阪府看護協会	1/24	田中理恵
	中間の倫理のススメ（ZOOM）	大阪府看護部長会	3/17	田尻愛子
	医療安全管理者フォローアップ研修	大阪府看護協会	3/28	松江さつき

各種学会　等

学会	第37回日本臨床栄養代謝学会学術集会	日本臨床栄養代謝学会	5/31～6/1	森あずみ
	第28回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	日本心臓リハビリテーション学会	6/11～12	三井巳奈子
	第72回日本病院学会	日本病院学会	7/7～8	田尻愛子、山中清香、藤井紳伍
	第24回日本医療マネジメント学会学術総会	日本医療マネジメント学会	7/8～9	笹井文子
	第5回エンドオブライフケア学会	エンドオブライフケア学会	10/1～2	野口忍
	第24回日本救急看護学会学術集会	日本救急看護学会	10/14～15	小西ゆかり、床尾羊翼
	第25回腎不全看護学会学術集会	日本腎不全看護学会	10/15～16	中道和歌子
	第7回国際臨床医学会	国際臨床医学会学術集会	11/3	白石志津香
	第10回大阪府看護学会	大阪府看護協会	11/26	田尻愛子、田中理恵、藤原彩
	第17回医療の質・安全学術集会	医療の質・安全学術集会	11/26～27	松江さつき
	第23回日本循環器学会学術集会	日本循環器学会	3/11～12	三井巳奈子
	高槻市医師会　52回生基礎実習の打合せ	高槻市医師会看護学校	10/26	松江さつき
	施設（就職）説明会	高槻市医師会看護学校	10/30	田尻愛子、田中理恵
	学内合同就職説明会	宝塚大学	11/26	古川美香、幸福乃唯
	就職・転職相談会	大阪医科薬科大学看護キャリアサポートセンター	11/30	田尻愛子
	みんなで話そう　看護の出前授業 大阪府北摂つばさ高等学校	大阪府看護協会	12/14	中島典子
	三島医療・病床懇話会	茨木保健所	1/16	田尻愛子
	病院説明会（オンライン）	藍野大学	3/7	田尻愛子

(5)活動実績と看護学生臨床実習受け入れ実績

活動実績

【院外・地域活動】　高槻ハーフマラソン救護
地域イベントへの看護師派遣（救護班派遣）

【看護学生等臨床実習】　高槻市医師会看護専門学校　准看護学科
藍野大学看護学部（成人看護学）
藍野大学短期大学部（小児看護学）
大阪保健福祉看護専門学校　通信課程
大阪病院協会看護専門学校通信課程
東洋医療専門学校（救急救命士）

22. 中央手術センター　(1)科別・術式別(手術室)手術件数

診療科	手術術式	件数
一般消化外	ISR、人工肛門造設	1
	K 腹 639-3　腔鏡下汎発性腹膜炎手術	1
	SSPPD	2
	T チューブドレナージ	1
	アルテマイヤー法	3
	ストーマ造設術	2
	ストーマ閉鎖術	1
	ストーマ閉鎖術（腸管切除を伴うもの）	2
	ハルトマン術	2
	ヘルニア修復術	3
	胃局所切除	1
	胃部分切除	1
	回盲部部分切除術	1
	開腹 : 胃全摘、D3 リンパ節郭清	1
	開腹 : 胃全摘、胆摘、リンパ節郭清	1
	開腹 : 癒着剥離術、小腸部分切除	1
	開腹 : 幽門側胃切除、リンパ節郭清、胆摘	1
	開腹 : 幽門側胃切除、胆摘、リンパ節郭清	1
	開腹 S 状結腸切除術	2
	開腹イレウス解除術　腸切除を伴わない	1
	開腹ヘルニア修復術	1
	開腹胃全摘、胆嚢摘出、リンパ節郭清	1
	開腹小腸切除、ドレナージ	1
	開腹小腸切除・回盲部切除、ストマ造設（十二指腸、上行結腸）	1
	開腹小腸部分切除術	2
	開腹膿瘍ドレナージ術、腹壁瘢痕ヘルニア修復術	1
	開腹腹壁瘢痕ヘルニア修復術	1
	開腹癒着剥離術・小腸部分切除術	2
	開腹膵体尾部、脾臓切除、リンパ節郭清	1
	完全腹腔鏡下横行結腸切除	1
	急性汎発性腹膜炎手術　血腫除去術	1
	高位前方術	1
	左十二指腸断端閉鎖、小腸縫合術、ドレナージ、腹壁再縫合	1
	残胃全摘術	1
	残胃全摘術　結腸切除術（小範囲）胆嚢摘出術	1
	脂肪腫摘出術	1
	痔核根治術	3
	痔核切除術	2
	痔瘻根治術	1

腫瘤切除	1
腫瘤摘出術	1
十二指腸局所切除　胆嚢摘出術	1
上行結腸での人工肛門造設術	1
審査腹腔鏡	1
審査腹腔鏡　小腸バイパス術　小腸人工肛門造設	1
審査腹腔鏡　人工肛門造設	1
審査腹腔鏡　前方ヘルニア修復術　虫垂切除	1
審査腹腔鏡　腸管癒着症手術　腸切を伴うイレウス解除術　虫垂切除術	1
審査腹腔鏡　腹膜腫瘍切除　腹壁瘢痕ヘルニア修復術	1
審査腹腔鏡、開腹Ｓ状結腸切除、ストマ造設	1
審査腹腔鏡、開腹ハルトマン	1
審査腹腔鏡、小腸部分切除	1
審査腹腔鏡、腹腔鏡下回腸人工肛門造設	1
審査腹腔鏡＋下行結腸切除　人工肛門造設術	1
審査腹腔鏡＋腹腔鏡下イレウス解除術	1
審査腹腔鏡＋腹腔鏡下両側ヘルニア修復術	1
審査腹腔鏡・腹腔鏡下バイパス術	1
人工肛門造設術	2
人工肛門閉鎖術（腸切除を伴う）	2
切開ドレナージ術	2
前方アプローチ	1
前方アプローチ・Mesh　plug 法	1
創閉鎖	1
腸瘻閉鎖術、異物除去、癒着剥離術	1
透視下ドレーン留置	1
背部脂肪腫切除・殿部アテローム切除	1
皮下腫瘤切除術（背部）	2
皮下腫瘤摘出術（胸部）	1
皮下腫瘤摘出術（肩部）　3-6cm 未満	1
皮下腫瘤摘出術×２（右背部 :4㎝、左背部 :3㎝）	1
腹腔鏡バイパス術・ストーマ造設術	1
腹腔鏡下Ｓ状結腸切除術	7
腹腔鏡下Ｓ状結腸切除術、横行結腸人工肛門造設	1
腹腔鏡下Ｓ状結腸切除術、膀胱壁部分切除	1
腹腔鏡下イレウス解除術	1
腹腔鏡下イレウス解除術（腸切を伴うもの）	1
腹腔鏡下ストーマ造設術	1
腹腔鏡下バイパス術	1
腹腔鏡下バイパス術、腹腔鏡下虫垂切除術	1

腹腔鏡下亜全摘・Bil Ⅱ、D1+ 郭清	1
腹腔鏡下胃・空腸バイパス	1
腹腔鏡下胃亜全摘	1
腹腔鏡下胃局所切除術　K654-3（2）　20,400 点	1
腹腔鏡下胃全摘術　腹腔鏡下胆嚢摘出術	1
腹腔鏡下右結腸切除術	1
腹腔鏡下右半結腸切除術	10
腹腔鏡下横行結腸切除	1
腹腔鏡下下行結腸切除術	1
腹腔鏡下回盲部切除術	8
腹腔鏡下回盲部切除術　肝生検	1
腹腔鏡下結腸右半切除術	2
腹腔鏡下結腸右半切除術　腹腔鏡下胆嚢摘出術	1
腹腔鏡下結腸右半切除術 + 肝部分切除術（肝転移巣）	1
腹腔鏡下結腸部分切除術	2
腹腔鏡下高位前方・小腸合併部分切除	1
腹腔鏡下高位前方切除	2
腹腔鏡下左側結腸切除術	1
腹腔鏡下小腸ストーマ造設術・癒着剥離術	1
腹腔鏡下小腸部分切除術	1
腹腔鏡下人工肛門造設術（小腸）	1
腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術　小腸部分切除	1
腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術　癒着剥離術	2
腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術（TAPP）	57
腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術（TAPP）（両側）	25
腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術・TAPP 法（両側）・腹腔鏡下癒着剥離術	1
腹腔鏡下胆嚢亜全摘出術	3
腹腔鏡下胆嚢摘出術	90
腹腔鏡下胆嚢摘出術、術中胆道造影	1
腹腔鏡下虫垂切除術	49
腹腔鏡下虫垂切除術、癒着剥離術、膿瘍形成なし	1
腹腔鏡下直腸切断術、S 状結腸人工肛門造設	1
腹腔鏡下低位前方切除　人工肛門造設術	1
腹腔鏡下低位前方切除、ストマ造設（回腸）	1
腹腔鏡下低位前方切除、リンパ節郭清	1
腹腔鏡下低位前方切除、腹腔鏡下胃部分切除、人工肛門造設	1
腹腔鏡下低位前方切除、膀胱部分切除術	1
腹腔鏡下低位前方切除術	2
腹腔鏡下低位前方切除術　人工肛門造設	1
腹腔鏡下播種生検	1

	腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術（K639-3）	1
	腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術（膿瘍形成あり） K639-3	1
	腹腔鏡下腹壁瘢痕ヘルニア修復術＋TAPP × 2	1
	腹腔鏡下補助下直腸高位前方切除、小腸部分切除、回腸人工肛門造設術	1
	腹腔鏡下盲腸部分切除術	1
	腹腔鏡下癒着剥離術	9
	腹腔鏡下癒着剥離術、開腹小腸結腸部分切除（吻合部）	1
	腹腔鏡下癒着剥離術、小腸部分切除、ヘルニア修復	1
	腹腔鏡下癒着剥離術＋小腸部分切除	1
	腹腔鏡下癒着剥離術・腸瘻造設術	1
	腹腔鏡下幽門側胃切除術	5
	腹腔鏡下幽門側胃切除術（PPG）、リンパ節郭清	1
	腹腔鏡下幽門側胃切除術、リンパ節郭清	1
	腹腔鏡下幽門側胃切除術、リンパ節郭清、胆嚢摘出術	1
	腹腔鏡下幽門側胃切除術＋胆嚢摘出術	1
	腹腔鏡視下小腸部分切除	1
	腹腔鏡胆嚢摘出術	1
	腹腔鏡補助下S状結腸切除術	2
	腹腔鏡補助下右側結腸切除	1
	腹腔鏡補助下高位前方切除　虫垂切除	1
	腹腔鏡補助下左側結腸切除	1
	腹腔内精査・腹腔鏡下横行結腸ストーマ造設術	1
	癒着剥離、挙上空腸切除、食道-小腸再建、十二指腸ー小腸側々吻合	1
	幽門側胃切除・B-Ⅱ再建、リンパ郭清	1
	幽門側胃切除術、胆嚢摘出術	1
	両側ヘルニア修復術（前方アプローチ）、腹腔鏡下小腸腸切除	1
	嵌頓解除	1
	肛門悪性腫瘍手術　切除	1
	腋窩皮下腫瘤摘出術（露出部以外） K-006-3	1
	一般消化外 集計	**425**
眼科	ECCE+IOL 挿入術（右）	1
	PEA+IOL 挿入術（右）	69
	PEA+IOL 挿入術（左）	58
	PEA+IOL 挿入術（左）＋CTR 挿入　K282-1 ロ	1
	PEA+IOL 挿入術＋CTR 挿入（右） K282-1 ロ	1
	アイリーア硝子体注射（右）	85
	アイリーア硝子体注射（左）	71
	トラベクレクトミー（右）	1
	トラベクレクトミー（左）	1

	バビースモ硝子体注射（右）	16
	バビースモ硝子体注射（左）	13
	ラニビズマブ BS 硝子体内注射（右）	7
	ラニビズマブ BS 硝子体内注射（左）	9
	ルセンティス硝子体内注射（右）	23
	ルセンティス硝子体内注射（左）	21
	右眼結膜嚢部分形成術	1
	右眼内反手術	1
	下眼瞼腫瘍切除術（左下耳側）	1
	下眼瞼内反症手術（右）	1
	外科的虹彩切除術（右）	1
	眼瞼腫瘤切除（右）	1
	水晶体再建術　右	86
	水晶体再建術　右　トーリック	1
	水晶体再建術　右　日帰り	1
	水晶体再建術　右 + CTR あり	1
	水晶体再建術　右 + アイリーア硝子体注射（右）	1
	水晶体再建術　左	86
	水晶体再建術（左）CTR 挿入あり	1
	水晶体再建術 + マイクロフックトラベクロトミー　右	1
	水晶体摘出術	1
	虹彩切除術（右）	1
	翼状片切除術（右）	1
	翼状片切除術（左）	1
	両眼アイリーア硝子体内注射	1
	良性眼瞼腫瘍切除　左　眼瞼膜腫瘍手術　K215-2　5,140 点	1
	濾過胞再建術（ニードリング）（右）　K268-7	1
	霰粒腫切除　右	1
	眼科 集計	**569**
呼吸器外科	デブリ + 再縫合	1
	デブリードマン、閉鎖術	1
	開胸下右肺下葉切除術 + リンパ節郭清	1
	開胸下右肺中葉切除術 + リンパ節郭清	1
	開胸下左肺上葉切除術 + リンパ節郭清	1
	開胸左肺上葉切除術 + リンパ節郭清	1
	胸腔鏡下右掻破術	1
	胸腔鏡下右肺ブラ切除術	6
	胸腔鏡下右肺下葉 S10 部分切除術	1
	胸腔鏡下右肺下葉切除術 + リンパ節郭清	1

	胸腔鏡下右肺下葉部分切除術	2
	胸腔鏡下右肺上葉部分切除術	2
	胸腔鏡下右肺中葉部分切除術	1
	胸腔鏡下左胸膜生検	1
	胸腔鏡下左肺ブラ切除術	8
	胸腔鏡下左肺ブラ切除術（切除ラインのカバーリング）	1
	胸腔鏡下前縦隔腫瘍切除術（右胸腔アプローチ）	1
	胸腔鏡下両側ブラ切除術	1
	左頚部リンパ節生検	1
	切開　デブリ	1
	呼吸器外科 集計	**34**
循環器内科	ジェネレータ交換術	14
	ペースメーカー植え込み術	9
	恒久的ペースメーカ植込み術	1
	左シャント作成手術	4
	心臓ペースメーカ植え込み術	2
	留置針抜去	1
	循環器内科 集計	**31**
心臓血管外	ペースメーカー交換術	1
	ペースメーカー植え込み術	1
	右小伏在静脈血管内焼灼術	1
	右小伏在静脈高位結紮術	2
	右小伏在静脈抜去術	1
	右小伏在静脈抜去術＋静脈瘤切除術	2
	右大伏在静脈下腿穿通枝結紮術	1
	右大伏在静脈血管内焼灼術	13
	右大伏在静脈血管内焼灼術＋静脈瘤切除術	9
	右大伏在静脈血管内焼灼術あるいは抜去術（下腿部）	1
	右大伏在静脈抜去術	3
	右大伏在静脈抜去術　静脈瘤切除術	2
	血管内焼灼術＋静脈瘤切除術	1
	硬化療法（右膝窩部）	1
	硬化療法（両膝窩部）	1
	高位結紮術	4
	左小伏在静脈血管内焼灼術	5
	左小伏在静脈高位結紮術	1
	左小伏在静脈抜去術	1
	左大伏在静脈血管内焼灼術	6

	左大伏在静脈血管内焼灼術 + 静脈瘤切除術	12
	左大伏在静脈高位結紮術	1
	左大伏在静脈除去術、下腿静脈瘤切除術	1
	左大伏在静脈抜去術	1
	左大伏在静脈抜去術 + 静脈瘤切除術	3
	大伏在静脈大腿部穿通枝結紮術	1
	大伏在静脈抜去術・静脈瘤切除術	1
	心臓血管外 集計	**77**
整形外科	（右小指）経皮的鋼線刺入術	1
	①ガングリオン摘出術 + ②腱鞘切開術（L 指）	1
	①観血的脱臼整復術（R 母指）+ ②観血的脱臼整復術（R 示指）	1
	①関節鏡下手根管開放術（R 手） ②尺骨神経移行術（R 肘）	1
	①骨切り（下腿）②関節鏡視下滑膜切除術（右膝）	1
	①骨内異物除去（L 手関節） ②軟部腫瘍摘出術（R 手部）	1
	①腱鞘切開術（右中指）+ ②ガングリオン摘出術（右手）	1
	BHA　右	28
	BHA　左	26
	BKP	1
	DIP 関節滑膜切除術（L 中指）	1
	EPL 腱縫合術	1
	K005-3 皮下腫瘍摘出術　露出部（L 頚部） 4cm 以上	1
	K030-1 軟部腫瘍摘出術（R 膝窩部）	1
	K063-1 関節脱臼観血的整復術	2
	K097　手掌異物摘出術（L 手掌部）	1
	Mann 変法　中足骨骨切術　骨移植術　観血的脱臼整復術	1
	Mann 変法（両足） 中足骨短縮骨切り術（両足）	1
	MED　右 L3/4	1
	MED　右 L5/S	1
	MED　左 L4/5	2
	MED　左 L4/S　内視鏡下椎間板ヘルニア摘出術	1
	MED　左 L5/S	1
	MPFL 再建術 / 関節鏡下滑膜切除術　左膝	1
	OLIF+PPS（L2/3　3/4	1
	ORIF	1
	ORIF　L 母趾関節内	1
	ORIF　右下腿	1
	ORIF　右股関節	11
	ORIF　右鎖骨	5
	ORIF　右手	4

ORIF　右手関節	5
ORIF　右上腕	3
ORIF　右足	1
ORIF　右足関節	3
ORIF　右足関節・内側靱帯修復	1
ORIF　右大腿	8
ORIF　右膝蓋骨	2
ORIF　右肘関節内	1
ORIF　右脛骨	3
ORIF　右脛骨　関節鏡下 ORIF（右膝）	1
ORIF　右腓骨	1
ORIF　右踵骨	1
ORIF　関節内　右手	1
ORIF　関節内　右膝	1
ORIF　関節内　左脛骨	1
ORIF　左下腿	1
ORIF　左環指	1
ORIF　左肩関節内	1
ORIF　左股関節	10
ORIF　左鎖骨	6
ORIF　左手	1
ORIF　左手関節	4
ORIF　左手関節　TFCC 縫合術	1
ORIF　左上腕	12
ORIF　左上腕　自家骨 + 人工骨骨移植術（腸骨）	1
ORIF　左足関節	1
ORIF　左大腿、自家骨移植（人工骨・腸骨）	1
ORIF　左大腿骨	5
ORIF　左大腿骨　骨内異物除去術（右大腿骨）	1
ORIF　左膝蓋骨	4
ORIF　左肘	2
ORIF　左肘関節内	1
ORIF　左橈骨	1
ORIF　左脛骨、経皮ピンニング（左腓骨）	1
ORIF　左踵骨	1
ORIF × 2	1
ORIF × 2　右上腕　右大腿	1
ORIF × 2　右上腕、右手関節	1
ORIF × 2　右足	1
ORIF × 2　右足間接	1

ORIF × 2　右足関節　関節鏡下遊離体摘出術	1
ORIF × 2　右大腿　左大腿	1
ORIF × 2　右膝（別皮切）	1
ORIF × 2　左下腿	1
ORIF × 2　左下腿　関節鏡下遊離体摘出術	1
ORIF × 2　左下腿 / 創傷処置	1
ORIF × 2　左下腿骨	2
ORIF × 2　左下腿脛骨、腓骨　関節鏡下遊離体摘出術	1
ORIF × 2　両股関節	1
ORIF × 2　両手関節	2
ORIF × 2（関節内）　ピンニング　右手	1
ORIF × 2、K066-2-2 関節鏡下関節滑膜切除術	1
THA　左	2
THA　再置換（右股関節）、ナビ使用	1
THA（右股関節）	2
THA（両股関節）+ 骨移植術（右股関節）	1
TKA　L 膝関節	4
TKA　L 膝関節　ナビ使用	1
TKA　L 膝関節（ナビ使用）	1
TKA　R 膝関節（ナビ使用）	1
TKA　右	2
TKA（R 膝）　ナビ使用	2
TKA（R 膝）ナビ加算あり	1
TKA（R 膝関節）/ ナビ加算	1
TKA（R 膝関節）ナビ使用	1
TLIF（L4/S）	1
UKA　右　ナビ使用	2
UKA　右　膝蓋骨術後抜釘	1
UKA　左	2
UKA　左　ナビ使用	1
UKA（左膝）	1
UKA（左膝関節内側）	1
アキレス腱縫合術	6
エコーガイド下　針生検術（右膝窩部）	1
ガングリオン摘出術	1
ガングリオン摘出術（L 手関節）	1
ガングリオン摘出術（R 手関節）	1
ステム周囲骨折 ORIF（右大腿骨）	1
デブリードマン（L 環指）	1
デブリードマン（左下腿）	1

デュプイトラン拘縮手術（L 手部）3 指	1
デュプイトラン拘縮手術（R 手部）	3
ピンニング　右肘	1
ピンニング　左手関節	1
ピンニング　左橈骨	1
異物摘出術（右足）	1
異物摘出術（左環指）K097	1
異物肉芽腫切除術（R 示指）	2
一時的創外固定設置術	1
右足関節 ORIF × 2　靱帯断裂縫合術　K074-3	1
右大腿骨遠位骨切り術・関節鏡視下滑膜切除術　右膝	1
右大腿骨骨接合術	1
右大腿切断	1
右中指 DIP 関節滑膜切除術・骨棘切除術　（R 中指）	1
右肘頭骨折観血的手術（関節内）	1
右母指骨切除術、背側デブリードマン	1
右橈骨遠位端変形矯正骨切術	1
遠位大腿骨骨切り術　鏡視下半月板切除術　右膝	1
遠位橈尺関節形成術　伸筋腱移行術	1
化膿性関節炎掻爬術	1
外傷性肘関節制動術	1
外反母趾矯正手術　骨切り術（第二 / 三 / 四趾） 関節固定術（第一足根中足骨）	1
滑膜切除術（L 示指）	1
滑膜切除術（L 中指）	2
滑膜切除術（R 環指）	1
滑膜切除術（R 小指 DIP 関節）	1
滑膜切除術（R 中指 DIP 関節）	1
寛骨臼観血的手術（右）	1
観血的関節授動術（L 母指）	1
観血的関節制動術（K077-2）・関節内骨折観血的手術（K073-1）　皮切 2 か所	1
観血的関節制動術（左肘）・関節内骨折観血的手術（左肘）（右膝）	1
観血的骨接合術（右上腕骨）	3
観血的骨接合術（右大腿骨）	1
観血的骨接合術（左大腿骨）	2
観血的骨折手術	1
観血的骨折手術　靱帯修復術（左足関節）	1
観血的骨折手術（R 手関節）	1
観血的骨折手術（左上腕）	1
観血的脱臼整復（L 足関節）　靭帯修復術	1

観血的脱臼整復固定術（L 母指）	1
観血的脱臼整復固定術（R 中指）	1
観血的脱臼整復術（L 母趾）	1
観血的脱臼整復術（R 母指）	1
観血的脱臼整復術（左足）＋第 4 中足骨　ORIF ＋第 3 中足骨靱帯修復術	1
観血的脱臼整復術・化膿性関節炎手術　2 皮切	1
関節滑膜切除術（L 中指）	1
関節滑膜切除術（R 環指）・ガングリオン摘出術	1
関節滑膜切除術（R 示指）・軟部腫瘍摘出術	1
関節滑膜切除術（R 手関節）	1
関節滑膜切除術（R 中指）	2
関節滑膜切除術（R 母指）	1
関節滑膜切除術・骨掻爬術（R 中指）	1
関節鏡下 ACL 再建術（L 膝）・関節鏡下左半月板部分切除	1
関節鏡下 ACL 再建術（R 膝）	1
関節鏡下 ACL 再建術、半月板縫合術（右膝）	1
関節鏡下化膿性左膝関節炎掻爬術・左下腿病巣掻爬	1
関節鏡下滑膜除去術　骨内異物除去術（右膝）	1
関節鏡下関節滑膜切除（右足関節）K066-2	1
関節鏡下関節滑膜切除術（L 足）	1
関節鏡下関節授動術　尺骨神経移行術　（R 肘）	1
関節鏡下関節内異物除去術（右膝）K-065-2-1	1
関節鏡下関節内骨折観血的手術　左膝（K073-2　1）	1
関節鏡下拘縮解離術（R 足関節）	1
関節鏡下拘縮解離術（左肩）	1
関節鏡下手根管開放術（L 手）	11
関節鏡下手根管開放術（R 手）	17
関節鏡下手根管開放術（R 手）、関節滑膜切除術（R 中指）	1
関節鏡下半月板切除術（R 膝）	1
関節鏡下遊離体摘出術（左足関節）	1
関節鏡下腱板修復術（R 肩）（大腿筋膜移植）	1
関節鏡下靱帯断裂形成手術（内側膝蓋大腿靱帯）	1
関節鏡視下 ACL 再建術　両膝 / 鏡視下半月板縫合術　左膝	1
関節鏡視下 PCL 再建術	1
関節鏡視下滑膜切除術　左膝	2
関節鏡視下骨接合術　骨折観血的手術（関節内）	1
関節鏡視下手根管開放術（L 手）	3
関節鏡視下手根管開放術（R 手）	1
関節鏡視下手根管開放術（R 手）	7
関節鏡視下授動術 + Open 尺骨神経移行術	1

関節鏡視下半月板切除術（R 膝）	1
関節鏡視下半月板縫合術（L 膝）	5
関節鏡視下腱板修復術（L 肩）	1
関節形成術（R 手）K059-1 骨移植術	1
関節形成術（R 膝）	1
関節固定術× 2 （R 中指・環指）	1
関節授動術（右環指 PIP 関節）	1
関節授動術（右小指）	1
関節脱臼観血的骨折整復術（右）	1
関節脱臼観血的整復術（右）	3
関節脱臼観血的整復術（左）× 2	1
関節内 ORIF　右環指基節骨	1
関節内 ORIF　左手関節	2
関節内 ORIF　左大腿	1
関節内 ORIF　左肘	2
関節内 ORIF　左肘関節 / 骨移植	1
関節内 ORIF × 2	1
関節内骨折観血整復固定手術 + 手関節制動術	1
関節内骨折観血的手術	1
関節内骨折観血的手術　骨移植術（腸骨・人工骨含む）　皮弁形成術	1
関節内骨折観血的手術（L 環指）、経皮的鋼線刺入術（R 母指）	1
関節内骨折観血的手術（L 示指）	1
関節内骨折観血的手術（L 手）	1
関節内骨折観血的手術（L 手関節）	11
関節内骨折観血的手術（L 小指）	1
関節内骨折観血的手術（L 小指 PIP）	1
関節内骨折観血的手術（L 中指）	1
関節内骨折観血的手術（L 肘）	2
関節内骨折観血的手術（L 母指）	1
関節内骨折観血的手術（L 踵骨）/　骨内異物除去（左膝）	1
関節内骨折観血的手術（Open 石黒法）（L 小指）	1
関節内骨折観血的手術（R 示指）	1
関節内骨折観血的手術（R 手関節）	9
関節内骨折観血的手術（R 手関節）・骨腫瘍切除術	1
関節内骨折観血的手術（R 小指）	1
関節内骨折観血的手術（R 中指）	1
関節内骨折観血的手術（R 肘）	1
関節内骨折観血的手術（R 母指）	1
関節内骨折観血的手術（R 踵骨）	1
関節内骨折観血的手術（右手関節）	3

関節内骨折観血的手術（右小指）K073-3、 創外固定術	1
関節内骨折観血的手術（右足関節）	1
関節内骨折観血的手術（右足関節）・骨折観血的手術（右腓骨）・骨内異物除去術（右脛腓骨）	1
関節内骨折観血的手術（右中指）	1
関節内骨折観血的手術（右肘）	1
関節内骨折観血的手術（右肘）× 2・腱縫合術	1
関節内骨折観血的手術（右橈骨）	3
関節内骨折観血的手術（左手関節）	4
関節内骨折観血的手術（左中指）	1
関節内骨折観血的手術（左母趾）	1
関節内骨折観血的手術（指）× 2	1
関節内骨折観血的手術、靱帯修復術	1
関節内骨折観血的手術 + 骨移植（腸骨 + 人工骨）	1
関節内骨折観血的手術・観血的脱臼整復固定術 創外固定設置術（R 環指）K-073-3,K-932	1
関節内骨折観血的手術・靱帯修復術（L 肘）	1
関節内骨折観血的手術× 2	1
関節内骨折術（右肘）	1
偽関節手術（L 大腿）+ 骨移植（左腸骨 + 人工骨）および骨内異物除去術	1
偽関節手術（R 手関節）+ 骨移植術（右腸骨）	1
偽関節手術 + 骨移植術 （L 前腕）	1
胸椎除圧固定（Th11-12 の 1 椎間）、椎弓切除（L1-5 の 4 椎間）	1
胸椎除圧固定術　Th7-9	1
鏡視下 ACL 再建術　右膝	1
鏡視下 ACL 再建術　左膝	1
鏡視下 ACL 再建術　半月板切除術（右膝）	1
鏡視下手根管開放術（L 手）	1
鏡視下手根管開放術（R 手）	2
鏡視下半月板縫合術　右膝	3
鏡視下半月板縫合術　左膝	1
筋膜切開術、筋内圧測定	1
躯幹軟部腫瘍摘出術（L 胸壁）	1
屈筋腱縫合術（左小指）	1
経皮的ピンニング　右小指	1
経皮的ピンニング　右中指	1
経皮的ピンニング　右肘	1
経皮的ピンニング　左鎖骨	1
経皮的ピンニング　左手関節	1
経皮的鋼製固定術（R 小指）	1

経皮的鋼線刺入固定術	2
経皮的鋼線刺入固定術　右鎖骨	1
経皮的鋼線刺入固定術　右肘	1
経皮的鋼線刺入固定術　右母指	1
経皮的鋼線刺入固定術　左中・環指	1
経皮的鋼線刺入固定術　左橈骨	1
経皮的鋼線刺入固定術（石黒法）右環指	4
経皮的鋼線刺入固定術（石黒法）右示指	1
経皮的鋼線刺入固定術（石黒法）右小指	1
経皮的鋼線刺入固定術（石黒法）左環指	3
経皮的鋼線刺入固定術（石黒法）左示指	1
経皮的鋼線刺入固定術（石黒法）左小指	1
経皮的鋼線刺入術	9
経皮的脊椎後方固定術	1
経皮的椎体固定術	1
頚椎後方固定術（C4-7）Splate 固定	1
頚椎前方固定術	5
頚椎椎弓形成術	8
血腫除去術（R 膝窩部）	1
後方除圧固定術（1 椎間）	1
高位脛骨骨切術　関節鏡下滑膜切除術（L 膝）	2
腰椎後側方固定　2 椎間（L1~L3）	1
腰椎後方椎体間固定術（L3/4）、腰椎後側方固定（L4/5、5/S）	1
腰椎椎間板ヘルニア摘出術	1
骨化摘出術（R 足）	1
骨腫瘍外骨腫切除術（L 下腿）	1
骨腫瘍切除（R 示指）	1
骨腫瘍切除（R 小指）	1
骨腫瘍切除手術 + 人工骨移植術（L 母指）	1
骨腫瘍切除術（L 小指）	1
骨腫瘍切除術（R 尺骨）	1
骨腫瘍切除術（R 第 2 趾）	1
骨腫瘍切除術 + 人工骨移植術（L 第 2 中手骨）	1
骨腫瘍摘出術（L 母指）	1
骨接合術（右上腕）	1
骨接合術（右大腿骨）	2
骨接合術（右大腿骨頚部骨折）	1
骨接合術（右大腿骨転子部）	3
骨接合術（右大腿骨頸部）	1
骨接合術（右転子下骨）	1

骨接合術（右転子部）	3
骨接合術（左頚部骨折）	1
骨接合術（左大腿骨）	5
骨接合術（左大腿骨頚部骨折）	3
骨接合術（左大腿骨転子下）	1
骨接合術（左大腿骨転子部）	7
骨折観血手術（左尺骨） 非観血的脱臼整復（左橈骨頭）	1
骨折観血的手術 × 2	1
骨折観血的手術 TFCC 靱帯修復術	1
骨折観血的手術 右鎖骨	1
骨折観血的手術 右足関節	1
骨折観血的手術 左示指基節骨	1
骨折観血的手術（L 鎖骨）	3
骨折観血的手術（L 手関節）	3
骨折観血的手術（L 手関節関節内）	1
骨折観血的手術（L 手三角骨）	1
骨折観血的手術（L 手舟状骨）	2
骨折観血的手術（L 小指）	3
骨折観血的手術（L 上腕）	2
骨折観血的手術（L 上腕骨）	1
骨折観血的手術（L 足）	1
骨折観血的手術（L 大腿骨）	19
骨折観血的手術（L 中指）	1
骨折観血的手術（L 膝）	1
骨折観血的手術（L 肘）	1
骨折観血的手術（L 肘）・靱帯修復術	1
骨折観血的手術（L 母指）	2
骨折観血的手術（L 橈骨）	8
骨折観血的手術（L 脛骨）	1
骨折観血的手術（L 脛骨） 非観血的整復術（L 腓骨）	1
骨折観血的手術（R 環指）	2
骨折観血的手術（R 股関節）	1
骨折観血的手術（R 鎖骨）	3
骨折観血的手術（R 示指）	1
骨折観血的手術（R 手関節）	2
骨折観血的手術（R 舟状骨）	1
骨折観血的手術（R 小指）	1
骨折観血的手術（R 上腕）	5
骨折観血的手術（R 前腕）	2
骨折観血的手術（R 前腕）、橈骨徒手整復術	1

骨折観血的手術（R 足）	3
骨折観血的手術（R 大腿骨）	10
骨折観血的手術（R 第 4 中手骨）	1
骨折観血的手術（R 第 5 中手骨）	1
骨折観血的手術（R 中指）	3
骨折観血的手術（R 肘）	1
骨折観血的手術（R 橈骨）	3
骨折観血的手術（R 脛骨）	1
骨折観血的手術（R 踵骨）	1
骨折観血的手術（右股関節）	3
骨折観血的手術（右鎖骨）	4
骨折観血的手術（右鎖骨）経皮的鋼線刺入術（左母指）	1
骨折観血的手術（右手）	5
骨折観血的手術（右手関節）	2
骨折観血的手術（右手関節）+ TFCC 手関節靭帯修復術・手関節制動術	1
骨折観血的手術（右手舟状骨）	1
骨折観血的手術（右小指）	2
骨折観血的手術（右小指中手骨）	1
骨折観血的手術（右上腕）	1
骨折観血的手術（右前腕）	2
骨折観血的手術（右足）	2
骨折観血的手術（右足中足骨）	1
骨折観血的手術（右大腿骨転子部）	1
骨折観血的手術（右第 4.5 中手骨）	2
骨折観血的手術（右第 4 中手骨）	1
骨折観血的手術（右膝）	2
骨折観血的手術（右膝蓋骨）	3
骨折観血的手術（右母指）	1
骨折観血的手術（右橈骨）	7
骨折観血的手術（右橈骨）・非観血的整復術（右尺骨）	1
骨折観血的手術（右脛骨）、靱帯修復	1
骨折観血的手術（下腿）、関節内骨折観血的手術（足）	1
骨折観血的手術（下腿）× 2（皮切別）+ 足関節鏡（滑膜切除術）	1
骨折観血的手術（関節内）	3
骨折観血的手術（関節内）（左肘頭）	1
骨折観血的手術（股関節）	1
骨折観血的手術（左）、関節鏡下滑膜切除術、靱帯縫合× 2	1
骨折観血的手術（左環指）	1
骨折観血的手術（左環指マレット）	1
骨折観血的手術（左股）	4

骨折観血的手術（左股関節）	3
骨折観血的手術（左鎖骨）	5
骨折観血的手術（左手）	1
骨折観血的手術（左小指）	1
骨折観血的手術（左小指中手骨）	1
骨折観血的手術（左上腕）/ 骨移植術	1
骨折観血的手術（左上腕）K-046-1　骨悪性腫瘍手術　K-046-1　2 皮切	1
骨折観血的手術（左上腕骨近位端）	1
骨折観血的手術（左足関節）	1
骨折観血的手術（左足関節）　関節鏡下滑膜切除術（足）　靱帯修復術	1
骨折観血的手術（左大腿骨転子下）	1
骨折観血的手術（左第 5 中手骨）観血的脱臼整復術	1
骨折観血的手術（左転子部）	4
骨折観血的手術（左膝）	2
骨折観血的手術（左膝蓋骨）	2
骨折観血的手術（左有鉤骨）	1
骨折観血的手術（左橈骨）	10
骨折観血的手術（左橈骨、尺骨）	1
骨折観血的手術（左橈骨遠位端）	1
骨折観血的手術（左橈骨遠位端骨折）	1
骨折観血的手術（左脛骨高原）	1
骨折観血的手術（上腕）	3
骨折観血的手術（前腕）× 2	1
骨折観血的手術（大腿）	2
骨折観血的手術（膝蓋骨）	1
骨折観血的手術（橈骨）	1
骨折観血的手術（腓骨）/ 関節鏡下 ORIF（脛骨）	1
骨折観血的手術 / 人工骨移植術	1
骨折観血的手術× 2	3
骨折観血的手術× 2（右第 4.5 足趾）	1
骨折観血的手術× 2（左前腕）	1
骨折観血的手術× 2（左橈尺骨遠位端）	1
骨折観血的手術・関節鏡下関節内異物除去術（足）	1
骨折観血的整復術　右中指	1
骨折観血的的手術（左橈尺骨）	1
骨折関節内観血的手術（左示指）	1
骨折内異物除去術 + 関節授動術・腱剥離術	1
骨掻爬術	1
骨内異物（挿入物）除去術（R 手部）	1
骨内異物（挿入物）除去術（R 膝）	1

骨内異物（挿入物）除去術（右手関節）	1
骨内異物（挿入物）除去術× 2（両大腿骨）	1
骨内異物除去術（L 下腿）膝関節鏡	1
骨内異物除去術（L 外果骨）	1
骨内異物除去術（L 鎖骨）	3
骨内異物除去術（L 示指）	1
骨内異物除去術（L 手関節）	10
骨内異物除去術（L 小指）	1
骨内異物除去術（L 小指）+ 関節授動術・腱剥離術	1
骨内異物除去術（L 足）	1
骨内異物除去術（L 足関節）	1
骨内異物除去術（L 第 3 中手骨）	1
骨内異物除去術（L 第 5 中手骨）	3
骨内異物除去術（L 膝）	3
骨内異物除去術（L 肘）	3
骨内異物除去術（L 橈骨）	1
骨内異物除去術（R 右足関節）	1
骨内異物除去術（R 外果骨）	1
骨内異物除去術（R 鎖骨）	3
骨内異物除去術（R 示指）	2
骨内異物除去術（R 示指）+ 関節授動術・腱剥離術（R 示指）	1
骨内異物除去術（R 尺骨）	2
骨内異物除去術（R 手）	5
骨内異物除去術（R 手関節）	6
骨内異物除去術（R 小指）	1
骨内異物除去術（R 小指）+ 腱剥離術（R 小指）	1
骨内異物除去術（R 前腕） K-wire1 本	1
骨内異物除去術（R 足）	1
骨内異物除去術（R 第 2 中足骨）	1
骨内異物除去術（R 第 3 中手骨）	1
骨内異物除去術（R 中指）	2
骨内異物除去術（R 中指）+ 関節授動術・腱剥離術（R 中指）	1
骨内異物除去術（R 中指）+ 腱剥離術（R 中指）	1
骨内異物除去術（R 膝）	1
骨内異物除去術（R 母指）	3
骨内異物除去術（R 橈骨）手根管開放術	1
骨内異物除去術（R 脛骨）	1
骨内異物除去術（R 脛骨）、ガングリオン摘出術（L 膝窩部）	1
骨内異物除去術（R 腓骨）	1
骨内異物除去術（右烏口突起）	1

骨内異物除去術（右鎖骨）	1
骨内異物除去術（右指）	1
骨内異物除去術（右示指）	1
骨内異物除去術（右尺骨）　関節鏡視下関節授動術	1
骨内異物除去術（右側脛骨）	1
骨内異物除去術（右足）	1
骨内異物除去術（右足関節）× 2	1
骨内異物除去術（右中指）	1
骨内異物除去術（右膝蓋骨）	1
骨内異物除去術（右橈骨）	1
骨内異物除去術（右腓骨）	1
骨内異物除去術（左鎖骨）	2
骨内異物除去術（左手関節）	3
骨内異物除去術（左手関節）+ 瘢痕拘縮切除術	1
骨内異物除去術（左足）	1
骨内異物除去術（左母趾）	1
骨内異物除去術（左橈骨）	1
骨内異物除去術（場合によって伸筋腱再建）（L 中指）	1
骨内異物除去術、洗浄　、骨折観血的手術	1
骨内異物除去術、皮弁形成術	1
骨内異物除去術 + 関節授動術（R 肘）	1
骨内異物除去術× 2	3
骨内異物除去術× 2（R 肘・R 手関節）	1
骨内異物除去術× 2（両橈骨）	1
骨内異物除去術× 2（左下腿）	1
骨内異物除去術× 2（左手関節）（左膝）	1
骨内異物除去術× 2、骨切術（L 下腿骨）	1
骨部分切除術（L 示指）	1
骨部分切除術（右肘）	1
左尺骨短縮骨切り術	1
左手関節制動術	1
左膝 : 関節内 ORIF、左足関節：ORIF	1
左橈骨関節内 ORIF	1
左脛骨 ORIF、左腓骨ピンニング	1
指伸筋腱脱臼観血的整復術（R 中指）	2
示指 MP 関節授動術・骨内異物除去術 + 中指骨内異物除去 + 環指腱剥離術 K-035	1
尺骨神経移行術（L 肘）	5
尺骨神経移行術（R 肘）	5
手関節・遠位橈尺関節滑膜切除術（左手関節）	

+ 腱鞘滑膜切除術（左手指）※別皮切	1
手関節形成術 + 小指伸筋腱修復術（L 手関節）	1
手関節固定術（K078-2）骨移植術（自家骨）（K-059-1）	
・腱鞘切開術（左中指）	1
手関節制動術	3
手掌部異物除去術（L）	1
腫瘍摘出術（L 踵骨）	1
舟状骨 ORIF、左橈骨関節内 ORIF、手関節制動術	1
伸筋腱移行術（R 母指）	1
伸筋腱再建術（L 環・小指）+ 手関節形成術（L 手関節）2 皮切	1
伸筋腱再建術（腱移行術）（L 母指）	1
伸筋腱再建術（腱移行術）（R 母指）	1
伸筋腱脱臼観血的整復術（L 中指）	1
伸筋腱脱臼観血的整復術（R 中指）	1
伸筋腱縫合術	2
神経腫切除術（L 肩甲部）	1
神経腫切除術（L 手）	1
神経腫切除術（R 下腿）	2
神経腫切除術・軟部腫瘍摘出術（R 腋窩）	1
神経腫摘出術（L 手掌）	1
神経剥離術（R 小指）	1
神経縫合術（R 母指）	1
人工関節置換術（L 足関節）	1
人工肩関節置換術（左）	1
人工股関節再置換術（左）	1
人工股関節全置換術（L 股関節）	1
人工股関節全置換術（R 股関節）	1
人工股関節全置換術（R 股関節） 骨移植術 骨内異物除去（骨盤）	1
人工股関節全置換術（ナビ加算）（L 股関節）+ 骨移植術（人工骨含む）	1
人工股関節全置換術（ナビ加算）（右股関節）	1
人工骨頭挿入術	7
人工骨頭置換術	21
人工骨頭置換術（L）、骨盤創外固定（K-046-3）	1
人工膝関節再置換術（L 膝）	2
人工膝関節抜去術（L 膝）	1
靭帯再建術（左足関節） 観血的脱臼整復術	1
靭帯修復術（R 母指 MP 関節）	1
髄内釘抜去、右 THA、骨移植術	1
脊椎後側方固定術（3 椎間）	1
脊椎後方固定術	1

脊椎後方固定術　Th12~S（L3、4 除く）	1
脊椎後方固定術（C4-6）	1
脊椎後方固定術（L4/5）ナビ使用	1
脊椎後方固定術（T11-L2）/ 骨移植術	1
脊椎後方固定術（T9-L3）	1
脊椎後方固定術（Th10-L4）	1
脊椎後方固定術（Th12-S1）（ナビ使用）	1
脊椎後方固定術（Th5-10）	1
脊椎後方固定術（Th9-L2）　6 椎間	1
脊椎後方固定術（骨内異物除去術）	1
脊椎後方椎体間固定術	1
脊椎後方椎体間固定術　L5/S	1
脊椎後方椎体間固定術（1 椎間）、後側方固定術（6 椎間）	1
脊椎後方椎体間固定術（L1/2　1 椎間）	1
脊椎後方椎体間固定術（L3/4）、後側方固定（L4/5）（1 椎間）、ナビ加算	1
脊椎後方椎体間固定術（L4/5 5/S）	1
脊椎後方椎体間固定術（L4/5　TLIF）	1
脊椎後方椎体間固定術（L5/S）	1
脊椎後方椎体間固定術（L5/S）、骨移植術	1
脊椎後方椎体間固定術（L5/STLIF+OLIF3 椎間 + L2-S 後方固定）	1
脊椎後方椎体間固定術（TLIF　L4/5　1 椎間）	1
脊椎前方（3 椎間）後側方固定（4 椎間）術	1
脊椎前方固定術（2 椎間）後方椎体間固定（1 椎間）自家腸骨移植	1
脊椎前方固定術（4 椎間）	1
脊椎前方後方固定術	1
脊椎前方後方固定術　同種骨移植（非生体その他）	1
脊椎前方後方固定術　同種骨移植（非生体その他）3 椎間	1
脊椎前方後方固定術（L2-5）	1
脊椎前方後方固定術 OLIF + PPS（3 椎間）同種骨移植非生体その他	1
脊椎側弯症手術	1
切開ドレナージ術	1
切開生検術（左膝窩部）	1
切開排膿	1
前方椎体間固定術（2 椎間）脊椎後方椎体間固定術（1 椎間）（L3-S）	1
組織試験採取・切採法（皮膚）（仙骨部）D417-1	1
組織試験採取切採法（L 下腿）	1
創外固定抜去　骨盤	1
創傷処置　創部部洗浄　デブリードマン（右足）	1
創傷処理　K 000［2］	1
創傷処理（筋に達する　5~10cm 未満大腿）	2

掻爬術	1
足部異物除去術	1
足部切断（右足）	1
第 2 趾切断	1
第 9 胸椎 ~ 第 2 腰椎後方固定術、ORIF（骨盤）	1
断端形成術（骨形成あり）	1
長母指屈筋腱修復術　（L 母指）	1
長母指伸筋腱移行術　（L 母指）	2
椎弓形成術	1
椎弓形成術　5 椎弓	1
椎弓形成術（C3-7）	1
椎弓切除術	1
椎弓切除術　2 椎弓	1
椎弓切除術　4 椎弓	1
椎弓切除術　L4/5	1
椎弓切除術（1 椎弓）、脊椎後側方再固定術（4 椎間）	1
椎弓切除術（2 椎間）	1
椎弓切除術（3 椎弓）	1
椎弓切除術（L2-S ）5 椎弓	1
椎弓切除術（L3/4）　TLIF（左 L4/5）　骨移植術	1
椎弓切除術（L3/4/5）+ TILF（L4/5）+ 椎弓骨移植	1
椎弓切除術（左 L4/5）　創傷処理（左膝）	1
椎体間固定術　1 椎間（ナビゲーション）	1
爪下腫瘍摘出術（L 示指）	1
徒手整復	1
内外側靱帯損傷修復術	1
内視鏡下椎間板摘出術	1
軟部腫瘍切除術（L 足底）	1
軟部腫瘍摘出術（L 環指）	2
軟部腫瘍摘出術（L 示指）	3
軟部腫瘍摘出術（L 手掌）	3
軟部腫瘍摘出術（L 小指）	1
軟部腫瘍摘出術（L 第 4 趾）	1
軟部腫瘍摘出術（L 中指）	1
軟部腫瘍摘出術（R 環指）	1
軟部腫瘍摘出術（R 示指）	2
軟部腫瘍摘出術（R 手掌）	4
軟部腫瘍摘出術（R 小指）	2
軟部腫瘍摘出術（R 足）	1
軟部腫瘍摘出術（R 足）神経剥離術	1

軟部腫瘍摘出術（R 足背）（病理診断あり）	1
軟部腫瘍摘出術（R 中指）	2
軟部腫瘍摘出術（R 母指）	1
軟部腫瘍摘出術（右膝窩部）	1
軟部腫瘍摘出術（躯幹）	1
軟部腫瘍摘出術（前頚部）	1
軟部腫瘍摘出術（第 2 趾）	1
抜釘（右鎖骨）	2
抜釘（右手）	1
抜釘（左鎖骨）	2
抜釘、関節鏡	1
抜釘× 2　右足関節	1
抜釘・関節鏡　右膝	1
抜釘術　右肘	1
抜釘術（右橈骨遠位端）	1
抜釘術（左鎖骨）	1
抜釘術（左上腕骨外顆骨折）	1
抜釘術（左肘頭骨折）	1
抜釘術（左橈骨、左尺骨）	1
抜釘術（左橈骨遠位端骨折）	1
抜釘術後（左足関節外果）	1
皮下腫瘍摘出術　2cm 未満	1
皮下腫瘍摘出術（L 上腕）	1
皮下腫瘍摘出術（L 膝）	1
皮下腫瘍摘出術（後頚部）	1
皮下腫瘍摘出術（膝関節以下）（4cm 以上）（露出部）	1
皮下腫瘍摘出術（露出部以外）	1
皮弁形成術　K015-1（右手関節）	1
肘関節制動術（左）	1
肘関節制動術 + 靱帯再建術（R 肘）	1
病巣掻爬術	6
変形治癒骨折矯正手術	4
母指 CM 関節形成術（L 母指）LRSA	3
母指 CM 関節形成術（R 母指）LRSA	4
母指屈筋腱修復術（腱移行）	1
有鉤骨骨切除術（L 有鉤骨）	1
橈骨短縮骨切り術（左橈骨）	1
瘢痕拘縮形成術 + 屈筋腱剥離術	1
腱移植術	1
腱滑膜切除　K035-2	1

	腱滑膜切除術（L 母趾）	1
	腱鞘滑膜切除術（L 手掌部）	1
	腱鞘滑膜切除術（R 手背）	1
	腱鞘切開術（L 環指）	3
	腱鞘切開術（L 手関節）	1
	腱鞘切開術（L 中指）	7
	腱鞘切開術（L 母指）	5
	腱鞘切開術（R 環指）	8
	腱鞘切開術（R 示指）	3
	腱鞘切開術（R 手関節）	3
	腱鞘切開術（R 小指）	1
	腱鞘切開術（R 中・環指）	1
	腱鞘切開術（R 中指）	5
	腱鞘切開術（R 母指）	6
	腱鞘切開術（R 母趾）	1
	腱鞘切開術（右環指）	1
	腱鞘切開術（右手）	1
	腱鞘切開術（左示指）	1
	腱鞘切開術（左中指）	1
	腱鞘切開術× 2	1
	腱鞘切開術× 2（R 環指示指）	1
	腱剥離術	1
	腱縫合術（L アキレス腱）	2
	腱縫合術（R アキレス腱）	3
	腱縫合術（R 中指）	1
	腱縫合術（R 母指）	1
	腱縫合術（右長母趾）	1
	腱縫合術（左中指）× 2	1
	腱縫合術・神経縫合術（L 示指）	1
	靱帯再建術（R 母指）	1
	靱帯修復術（L 手関節）	1
	靱帯断裂形成手術（左膝）	1
	整形外科 集計	**1,213**
泌尿器科	TUC	2
	TUR-BT	69
	TUR-BT　腹腔鏡下小腸・小腸バイパス	1
	TUR-BT、右尿管ステント留置	1
	TUR-BT + 経尿道的膀胱結石砕石術	1
	TUR-P	9

	右高位精巣摘除術	3
	右腎瘻造設	3
	右精索水腫根治術	1
	右内シャント造設術	1
	経尿道的膀胱腫瘍切除術	2
	左陰嚢水腫根治術	1
	左腎尿管全摘除術　腹腔鏡補助下　（左腎位）	1
	左腎瘻造設	2
	左前腕内シャント再作成	1
	左透析シャント作成手術	1
	左内シャント造設術	8
	左腹腔鏡下腎摘除術（左腎位）	1
	腹腔鏡下左腎尿管全摘術（左腎位）	1
	腹腔鏡補助下左腎尿管全摘除術	1
	両側腎瘻造設	1
	泌尿器科 集計	**111**
婦人科	K719-3 腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除、K888-2 子宮付属器腫瘍摘出術（両側）腹腔鏡によるもの	1
	K872-2　腹腔鏡下子宮筋腫摘出術	1
	コンジローマ蒸散術	1
	バルトリンセン嚢胞開窓術（造袋術）K848	1
	外陰部尖圭コンジローマ焼灼術	2
	経腟的ドレナージ	1
	経腟的骨盤膿瘍ドレナージ	1
	子宮鏡下ポリープ切除術	1
	子宮鏡下筋腫切除術	1
	子宮鏡下子宮内異物除去	1
	子宮鏡下内膜ポリープ切除術	1
	子宮鏡下内膜ポリープ切除術（細径）	6
	子宮鏡下内膜ポリープ切除術（細径）生食使用	6
	子宮鏡下内膜ポリープ切除術（細径）灌流液生食使用	2
	子宮鏡下内膜ポリープ切除術（従来径）	6
	子宮鏡下内膜ポリープ切除術（従来径）・腟壁焼灼術	1
	子宮頚部・外陰部・膣壁コンジローマ焼灼術	1
	子宮頚部異形成上皮焼灼術＋子宮膣部コンジローマ焼灼術	1
	子宮頚部円錐切除術	2
	子宮頚部生検、子宮頚管掻爬、子宮内膜掻爬	1
	子宮内膜症病巣除去術＋癒着剥離術	1
	子宮内膜全面掻爬術	1

子宮付属器悪性腫瘍手術	1
子宮付属器悪性腫瘍手術（開腹）	1
子宮頸部円錐切除術、子宮内膜掻爬術	1
腹腔鏡下右付属器切除術	1
腹腔鏡下筋腫核出術	3
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術	1
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術＋癒着剥離術	1
腹腔鏡下子宮全摘術＋右付属器切除術＋左卵管切除術（左卵巣のみ温存）	1
腹腔鏡下子宮全摘術＋左付属器切除術＋右卵管切除術（右卵巣は温存）	1
腹腔鏡下子宮全摘術＋両側付属器切除術	2
腹腔鏡下子宮全摘術＋両側卵管切除術	2
腹腔鏡下子宮全摘術＋両側卵管切除術　*両側卵巣は温存	1
腹腔鏡下子宮全摘術＋両側卵管切除術（卵巣は温存）＋腹腔鏡下癒着剥離術	1
腹腔鏡下子宮全摘術＋両側卵管切除術（両側卵巣は温存）	1
腹腔鏡下子宮全摘術＋両側卵管切除術＋癒着剥離術	1
腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術　子宮付属器癒着剥離術	1
腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術（卵巣嚢胞切除）右卵管切除術、癒着剥離、卵管疎通性検査	1
腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術＋癒着剥離術	2
腹腔鏡下子宮付属器切除	1
腹腔鏡下単純子宮全摘術（TLH）＋両側卵管切除術	1
腹腔鏡下単純子宮全摘術＋両側付属器切除術	1
腹腔鏡下膿瘍ドレナージ術＋虫垂切除＋小腸切除	1
腹腔鏡下卵巣腫瘍切除術	3
腹腔鏡下卵巣腫瘍切除術、通色素検査	1
腹腔鏡下両側付属器切除術	7
腹腔鏡下両側付属器切除術、子宮内膜症病巣除去術、癒着剥離術	1
腹腔鏡下両側付属器切除術＋癒着剥離術	2
腹腔鏡下両側卵管全摘除術	1
腹腔鏡下両側卵巣腫瘍切除術	1
腹腔鏡下両側卵巣切除術	1
腹式右付属器切除術、癒着剥離	1
腹式子宮筋腫切除術	1
腹式単純子宮全摘術＋右側付属器切除術＋大網切除術＋癒着剥離術	1
腹式単純子宮全摘術＋両側付属器切除術	1
腹式単純子宮全摘術＋両側卵管切除術	2
腹式単純子宮全摘術＋両側卵管切除術　*両側卵巣は温存	1
腟断端焼灼術	1

婦人科 集計　92

麻酔科	経皮的気管切開術	1
	脱臼整復術	1
	麻酔科 集計	**2**

総計 **2,554**

(2)科別麻酔手技別件数

麻酔法	一般 消化外	眼科	呼吸器 外科	循環器 内科	心臓 血管外	整形 外科	泌尿 器科	婦人科	麻酔科	総計
全身麻酔(吸入)	284		20			783	41	38		1,166
全身麻酔(TIVA)	6					72		34	1	113
全身麻酔(吸入)+硬・脊、伝麻	124		11			116	7	9		267
全身麻酔(TIVA)+硬・脊、伝麻						5		2		7
脊髄くも膜下麻酔						1	46	3		50
その他	11	569	3	31	77	236	17	6	1	951
総　計	425	569	34	31	77	1,213	111	92	2	2,554

23. 内視鏡センター 内視鏡的検査及び処置・手術件数（月別・手技別）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
上部内視鏡	経口	140	116	122	113	128	107	129	119	138	97	112	121	1,442
	経鼻	104	100	114	92	102	102	114	108	104	92	106	112	1,250
	小腸	1	0	2	1	1	0	1	0	3	0	0	2	11
	生検	85	71	72	71	60	70	77	75	70	58	52	63	824
	ピロリテック	16	16	15	14	13	7	9	15	16	13	10	13	157
	EMR	1	2	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0	7
	ESD	3	5	1	1	2	2	1	2	1	4	2	1	25
	EUS	6	6	6	7	8	4	3	4	6	2	6	6	64
	FNA	0	1	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0	5
	EIS	0	0	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	5
	EVL	0	0	2	0	0	1	2	0	0	3	1	0	9
	PEG（造設）	1	1	2	2	1	0	1	2	0	1	1	0	12
	PEG（交換）	3	3	4	0	2	2	5	4	2	3	2	3	33
	止血術	11	6	3	9	5	10	8	11	9	6	3	5	86
	異物除去	1	0	0	1	2	2	1	0	1	0	1	3	12
	拡張術	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	ステント	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	4
	イレウス管	7	2	2	1	4	8	6	10	7	3	2	1	53
	緊急（時間外）	4	0	1	0	3	2	5	1	1	2	2	4	25
下部内視鏡	EUS	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	4
	CF	162	140	166	127	155	145	162	154	123	109	135	149	1,727
	生検	54	44	33	39	51	38	40	51	29	23	29	37	468
	EMR	62	38	64	41	56	61	58	46	49	41	56	48	620
	ESD	1	38	2	0	0	1	0	1	2	0	1	0	46
	止血術	0	1	3	1	1	2	11	7	2	2	1	3	34
	ステント留置	2	0	0	1	1	0	0	0	1	3	0	1	9
	異物除去	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	拡張術	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	4
	イレウス管	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	4
	緊急（時間外）	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
ERCP他	ERCP	12	25	24	12	7	20	13	10	20	11	7	14	175
	EST	5	5	8	3	3	6	6	4	5	2	2	3	52
	結石除去	3	4	8	5	3	11	2	6	7	1	3	4	57
	ステント挿入	11	18	17	9	4	12	6	4	17	9	3	11	121
	ENBD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生検	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
PTCD他	PTCD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	PTGBD	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
	肝生検	0	1	1	5	5	1	1	1	2	1	1	2	21
	PEIT	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ステント	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	瘻孔造影	16	3	6	2	2	8	7	7	3	8	5	1	68
	拡張術	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	ポート植込術	1	9	2	3	1	1	4	3	2	0	1	4	31
	カプセル内視鏡	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3
	PICC	2	3	0	1	3	4	10	4	3	3	6	4	43
気管支鏡	ブロンコ	8	4	3	5	3	4	4	1	2	0	1	4	39
	生検	5	4	1	4	3	2	4	1	2	0	1	4	31
	EUS	3	3	2	1	1	2	2	0	0	0	0	3	17

24. カテーテル治療センター 月別検査・治療件数

カテーテル検査件数													
2022 ～ 23 年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
循環器系	CAG	19	13	8	10	9	13	13	17	10	6	18	12	148
	(FFR)	3	0	2	0	0	3	0	4	5	0	5	4	26
	(OCT)	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	4
	(NIRS+IVUS)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	RHC	1	0	1	2	0	0	1	0	3	1	0	2	11
	PCI	10	12	6	6	8	9	12	6	8	9	9	9	104
	下肢AG	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	4
	EVT	4	7	0	1	0	0	2	1	1	1	0	1	18
	IVUS	3	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	9
	シャントPTA	2	0	0	3	0	0	1	1	2	1	1	0	11
	IVCフィルター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	EPS/ABL	2	4	2	2	0	2	5	2	4	1	2	3	29
	一時ペーシング	4	1	1	2	0	1	0	0	2	2	1	1	15
	IABP	1	1	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	7
	PCPS	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	other	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5
	緊急件数	3	4	3	4	4	6	7	1	2	5	6	6	51
	(em-CAG)	1	4	3	4	4	6	7	1	2	4	6	5	47
	(内、PCI)	2	2	3	2	3	3	6	1	2	3	3	3	33

25. 薬剤科 （1）処方箋枚数・剤数及び薬剤管理指導件数

2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均	年間合計
薬剤管理指導件数（合計）	1,409	1,375	1,443	1,278	1,262	1,299	1,408	1,374	1,233	1,030	1,050	644	1,234	14,805
薬剤管理指導料1件数（ハイリスク）	458	478	461	401	430	460	488	504	411	341	307	152	408	4,891
薬剤管理指導料2件数（通常）	634	571	639	608	547	538	592	566	491	452	433	179	521	6,250
退院時薬剤情報管理指導料件数	285	294	315	250	254	278	314	285	322	226	290	309	285	3,422
麻薬管理指導件数	32	32	28	19	31	23	14	19	9	11	20	4	20	242
外来薬剤指導件数	311	350	286	304	260	328	308	320	263	246	232	233	287	3,441
院外処方箋発行枚数	5,405	4,998	5,398	5,031	5,293	5,184	5,294	4,970	5,553	4,809	4,836	5,884	5,221	62,655
院外処方箋発行剤数	14,559	13,426	13,796	13,298	13,646	13,422	13,572	12,820	14,510	12,423	12,551	15,146	13,597	163,169
院外処方箋発行率	95.9%	94.3%	95.4%	92.8%	90.2%	94.1%	95.1%	94.5%	94.6%	92.7%	95.4%	96.6%	94.3%	94.30%
入院処方箋枚数	3,802	3,749	3,565	3,561	3,505	3,705	3,734	4,107	4,193	3,288	3,721	4,196	3,761	45,126
入院処方箋剤数	6,602	6,753	6,260	6,397	6,200	6,230	6,358	7,138	7,176	5,644	6,441	6,939	6,512	78,138
時間外等院内処方枚数	231	303	263	393	578	326	274	289	319	378	235	208	316	3,797
時間外等院内処方剤数	347	447	355	592	775	448	370	378	416	489	322	303	437	5,242
外来注射処方箋枚数	525	466	575	458	418	424	1,029	692	359	319	326	357	496	5,948
外来注射処方箋剤数	1,121	1,099	1,184	1,104	1,046	1,128	1,880	1,405	1,111	1,028	1,027	1,257	1,199	14,390
入院注射処方箋枚数	5,531	5,203	5,246	5,236	5,505	5,717	6,036	5,813	5,490	4,978	5,403	5,899	5,505	66,057
入院注射処方箋剤数	11,716	12,415	11,493	11,460	12,243	12,976	13,687	13,718	12,186	11,404	12,829	13,492	12,468	149,619
後発医薬品指数　80%以上	92.9%	93.1%	93.2%	90.8%	92.9%	92.5%	91.4%	92.6%	94.2%	94.6%	93.5%	92.9%	92.9%	92.9%
後発医薬品カットオフ値　50%以上	57.0%	58.3%	55.9%	50.5%	52.9%	59.6%	60.3%	58.0%	59.9%	62.5%	59.6%	62.9%	58.1%	58.1%
TDM件数	6	3	8	13	12	7	9	11	10	8	7	3	8	97
入院化学療法注射箋枚数	12	4	12	8	20	17	13	19	20	16	18	28	187	187
外来化学療法注射箋枚数	82	67	76	73	69	75	75	58	63	61	63	80	842	842
外来腫瘍化学療法診療料1	103	84	114	108	93	107	96	83	82	93	81	124	97	1,168
無菌製剤処理件数1（イ）	92	71	88	85	88	92	88	70	83	77	81	109	85	1,024
無菌製剤処理件数1（ロ）	3	4	33	31	6	19	6	5	2	2	2	3	10	116
無菌製剤処理件数2	229	293	213	252	256	295	421	294	235	227	196	289	267	3,200
病棟薬剤業務実施加算2	0	82	63	96	97	155	108	114	170	125	161	127	108	1,298
特定薬剤治療管理料1	9	11	17	20	14	16	9	13	13	17	10	15	14	164
特定薬剤治療管理料2	2	3	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	1	13
連携充実加算	52	54	51	47	45	45	43	40	39	39	40	43	45	538

(2)採用・削除医薬品集計

2022年度	新規採用医薬品数				小計	院外専用採用医薬品数			小計	合計	削除医薬品数				計
	内服剤	外用剤	注射剤	その他		内服剤	外用剤	その他			内服剤	外用剤	注射剤	その他	
2022年 4月	0	0	0	0	0	4	1	1	6	6	0	0	0	0	0
2022年 5月	0	0	0	0	0	4	1	1	6	6	0	0	0	0	0
2022年 6月	0	0	0	0	0	1	2	1	4	4	2	0	0	0	2
2022年 7月	1	0	2	0	3	5	1	0	6	9	1	0	0	0	1
2022年 8月	2	0	3	0	5	0	1	0	1	6	1	0	0	0	1
2022年 9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
2022年10月	2	0	0	0	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	2
2022年11月	1	0	0	0	1	3	0	0	3	4	2	0	0	0	2
2022年12月	1	0	1	0	2	2	3	0	5	7	2	0	0	0	2
2023年 1月	1	0	1	0	2	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1
2023年 2月	2	0	1	0	3	0	0	0	0	3	1	0	0	0	1
2023年 3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	10	0	8	0	18	19	9	3	31	49	13	0	0	0	13

(3)持参薬件数

2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均	年間合計件数
持参薬鑑別件数	330	346	336	293	273	333	327	322	320	278	361	368	324	3,887
持参薬鑑別種類	2,028	2,175	2,093	1,886	1,473	2,008	2,096	2,037	2,069	1,826	2,631	2,693	2,085	25,015
持参薬処理(再調剤)件数	275	271	280	243	216	271	272	254	259	183	200	219	245	2,943
持参薬処理(再調剤)種類	1,543	1,523	1,621	1,321	1,097	1,456	1,606	1,322	1,471	993	1,224	1,224	1,367	16,401

(4)学会発表・学術研修会参加実績

年月日	学会・研修会・勉強会名	主催・内容
2022年 4月10日	2022年度 フィジカルアセスメント講座 ＜入門コース＞【対面受講･オンライン受講】	
2022年 5月12日～ 5月14日	第65回日本糖尿病学会年次学術集会	知の輝きと技の高みへ -人の集いがつくる明日の糖尿病学-
2022年 5月29日	2022年度 第2回フィジカルアセスメント講座 ＜実践コース＞	
2022年 5月31日～ 6月1日	第37回日本臨床栄養代謝学会学術集会	「栄養」ニューノーマル　and　MIRAI
2022年 6月11日	令和4年度日本病院薬剤師会医薬品安全管理責任者等講習会(基礎編)	
2022年 7月23日～ 7月24日	第9回日本糖尿病協会年次学術集会	糖尿病医療に求めるニューノーマル
2022年 8月20日～ 8月21日	日本病院薬剤師会関東ブロック第52回学術大会	挑戦　-今、変化の時-
2022年 9月17日～ 9月18日	第10回日本くすりと糖尿病学会学術集会	語り合おう充実した患者支援　医療リノベーションが目指すもの
2022年11月 3日～11月 5日	第70回日本化学療法学会西日本支部総会	感染症新時代　-教訓を糧に新たな道を拓く-
2022年11月11日	令和4年度日本病院薬剤師会医薬品安全管理責任者等講習会	
2023年 2月 4日～ 2月 5日	近畿薬剤師合同学術大会	薬剤が拓く未来　～つなぐ伝統、つむぐ革新、織りなす絆～
2023年 2月17日～ 2月18日	第57回糖尿病学の進歩	
2023年 3月 4日～ 3月 5日	日本臨床腫瘍薬学会学術大会	The Path to the Future　～がん患者に寄り添い支える地域医療連携のミライ～

(5)実務実習受入れ実績

大学名	人数	実習期間	
大阪医科薬科大学	1名	前半 2022年 5月23日～ 6月26日	Ⅱ期
大阪医科薬科大学	1名	後半 2022年 6月27日～ 8月 7日	Ⅱ期
大阪医科薬科大学	1名	前半 2022年 8月22日～ 9月25日	Ⅲ期
大阪医科薬科大学	1名	後半 2022年 9月26日～11月 6日	Ⅲ期
京都薬科大学	1名	前半 2022年11月21日～12月25日	Ⅳ期
大阪医科薬科大学	1名	後半 2022年12月26日～2023年 2月12日	Ⅳ期

26. 放射線科

(1)年間活動報告

学術研修会・参加実績・科内勉強会

年	月日	学術研修会･参加実績
2022	4/20	放射線技術学会
	5/28	関西SOMATOM研究会
	6/25	心臓画像研究会
	6/10	イオプロミド記念講演
	6/17	MRI循環器撮影研究会
	7/9	全国X線撮影技術研究会
	7/20	日本脳神経研究会
	7/21	ラジサポ研究会
	7/22	みやぎCT研究会
	8/24	肝臓領域ダイナミックCT研究会
	10/30	Mgnetom研究会
	11/8	和歌山MRサロン　web研究会
	11/26	関西SOMATOM研究会
	11/15	臨床画像研究会
	12/20	RSNA　FLASHセミナー
2023	1/19	ラジサポ　研究会
	1/31	大阪放射線技師会CT研究会
	2/18	日本心臓CT技術研究会
	2/25	関西CT技術シンポジウム
	3/15	心臓画像技術研究会
	3/18	STAT画像研究会

年	月日	科内勉強会
2022	4月	胸部症例勉強会
	5月	頭部症例勉強会
	6月	腹部部症例勉強会
	7月	腹部部症例勉強会
	8月	整形症例勉強会
	9月	頭部症例勉強会
	10月	腹部部症例勉強会
	11月	整形症例勉強会
	12月	胸部症例勉強会
2023	1月	頭部症例勉強会
	2月	腹部部症例勉強会
	3月	STAT画像勉強概要

年	月日	科内緊急時訓練
2022	6月	CT室急変対応訓練
	12月	MRI小児鎮静シュミレーション
2023	3月	MRI室急変対応訓練

(2)月別 検査件数

一般撮影、マンモグラフィ検査件数

年月		総撮影件数	撮影人数	入院人数	外来人数	病室撮影	手術室撮影	MMG	骨塩定量	院内健診
2022	4月	3,368	2,086	648	1,438	171	39	38	32	506
	5月	3,444	2,109	708	1,401	157	37	50	31	3
	6月	3,287	2,055	611	1,444	123	40	52	34	0
	7月	3,115	1,966	554	1,412	175	28	57	26	0
	8月	3,086	1,935	486	1,449	150	32	44	27	0
	9月	3,240	2,021	559	1,462	235	41	65	31	0
	10月	3,528	2,161	672	1,489	200	35	63	33	414
	11月	3,338	2,064	672	1,392	197	43	71	50	2
	12月	3,385	2,132	529	1,603	189	28	59	59	0
2023	1月	3,271	1,982	497	1,485	141	34	59	49	0
	2月	3,165	2,050	510	1,540	197	31	42	51	0
	3月	3,372	2,116	571	1,545	190	32	42	53	3
合計		39,599	24,677	7,017	17,660	2,125	420	642	476	928

CT検査件数

年月		頭･頚		胸		胸－腹		腹		CTC		四肢・股		脊椎	乳腺		冠動脈		入院患者	紹介	単純	造影	総件数		1日平均
		P	E	P	E	P	E	P	E	P	E	P	E	P	P	E	P	E							
2022	4月	123	7	181	4	405	79	155	18	2	0	129	2	33	0	3	0	33	330	121	1,028	146	1,174	4月	47
	5月	129	5	147	3	399	70	172	17	1	0	131	6	32	0	3	0	35	308	108	1,011	139	1,150	5月	50
	6月	141	4	178	3	421	64	172	31	2	0	126	1	25	0	3	0	41	339	160	1,065	147	1,212	6月	47
	7月	108	6	133	1	374	59	133	20	3	0	113	4	29	0	2	0	36	306	106	893	128	1,021	7月	41
	8月	109	6	136	2	380	67	155	33	4	0	126	3	27	0	2	1	36	324	90	938	149	1,087	8月	42
	9月	132	12	151	3	408	64	137	22	1	0	146	4	30	0	4	0	33	330	120	1,005	142	1,147	9月	48
	10月	149	7	170	3	420	54	180	31	5	0	112	0	31	0	1	1	32	320	152	1,068	128	1,196	10月	48
	11月	163	4	149	4	405	62	163	31	6	0	155	7	26	0	3	3	35	346	149	1,070	146	1,216	11月	51
	12月	138	6	161	2	398	66	133	37	3	0	109	2	20	0	2	0	30	309	130	962	145	1,107	12月	44
2023	1月	134	7	160	6	413	65	118	23	2	0	132	3	40	0	1	0	25	288	138	999	130	1,129	1月	49
	2月	126	6	163	0	400	64	140	25	1	0	132	3	28	0	3	0	36	294	157	990	137	1,127	2月	51
	3月	158	9	175	3	451	61	138	38	3	0	143	2	41	0	1	0	25	333	158	1,109	139	1,248	3月	50
総件数		1,610	79	1,904	34	4,874	775	1,796	326	33	0	1,554	37	362	0	28	5	397	3,827	1,589	12,138	1,676	13,814	合計	47

MRI検査件数

年月		頭部･脳頚	頚部	乳腺	心臓	胸部	腹部	骨盤	脊椎	四肢	下肢血管	総件数	紹介	単純	造影	入院		1日平均
2022	4月	158	7	18	1	1	73	38	100	77	0	473	232	438	35	28	4月	18.9
	5月	153	4	14	0	3	59	30	106	69	1	439	194	409	30	36	5月	19.1
	6月	159	4	14	0	4	83	22	111	92	3	492	236	460	32	38	6月	18.9
	7月	131	4	16	2	2	69	34	95	80	3	436	178	406	30	30	7月	17.4
	8月	143	1	10	1	0	68	30	105	72	3	433	195	410	23	32	8月	16.7
	9月	162	0	10	0	2	67	26	104	64	1	436	175	415	21	34	9月	18.2
	10月	149	1	12	0	4	80	26	103	74	0	449	225	423	26	32	10月	18.0
	11月	174	6	16	1	3	61	32	90	80	4	467	214	434	33	37	11月	19.5
	12月	167	3	11	1	2	68	35	90	93	2	472	209	449	23	20	12月	18.9
2023	1月	151	4	15	1	4	52	17	80	70	2	396	200	365	31	15	1月	17.2
	2月	155	5	19	1	1	58	30	71	77	2	419	194	385	34	30	2月	19.0
	3月	162	4	19	0	0	81	42	105	89	3	505	241	474	31	31	3月	19.4
総件数		1,864	43	174	8	26	819	362	1,160	937	24	5,417	2,493	5,068	349	363	年間	18.4

透視撮影件数

年月		ERCP	イレウス管	PTCD・PTGBD	ポート・PICC	瘻孔	胃透視	注腸	肝生検	内科その他	ブロンコ	HSG	外科透視	整復	整形その他	泌尿器科系	耳鼻科	小児	合計
2022	4月	12	19	0	5	7	4	3	0	0	9	0	15	9	0	21	0	0	104
	5月	25	4	0	6	6	7	1	1	0	4	0	16	9	0	16	0	0	95
	6月	24	3	0	3	14	8	7	1	0	5	0	12	11	3	21	0	0	112
	7月	12	1	0	6	9	8	1	5	0	5	0	2	15	1	18	0	0	83
	8月	7	5	1	4	10	4	3	5	0	3	0	5	11	2	15	0	0	75
	9月	20	13	0	4	4	8	4	1	0	4	0	3	10	0	11	0	0	82
	10月	13	13	0	15	2	5	2	1	5	4	0	9	10	4	23	0	0	106
	11月	10	18	0	7	1	5	3	1	8	1	0	7	12	1	15	0	0	89
	12月	20	14	1	5	0	10	4	1	9	2	0	12	9	0	14	0	0	101
2023	1月	11	5	1	3	3	4	5	0	10	1	0	3	15	0	28	0	0	89
	2月	7	4	0	7	1	5	2	1	10	1	0	4	5	0	20	0	0	67
	3月	15	4	1	8	1	8	1	2	15	4	0	7	12	0	13	0	0	91
合計		176	103	4	73	58	76	36	19	57	43	0	95	128	11	215	0	0	1,094

カテーテル検査件数

	2022									2023			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
CAG	19	13	8	10	9	13	13	17	10	6	18	12	148
(FFR)	3	0	2	0	0	3	0	4	5	0	5	4	26
(OCT)	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	4
(NIRS+IVUS)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
RHC	1	0	1	2	0	0	1	0	3	1	0	2	11
PCI	10	12	6	6	8	9	12	6	8	9	9	9	104
下肢AG	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	4
EVT	4	7	0	1	0	0	2	1	1	1	0	1	18
IVUS	3	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	9
シャントPTA	2	0	0	3	0	0	1	1	2	1	1	0	11
IVCフィルター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
EPS/ABL	2	4	2	2	0	2	5	2	4	1	2	3	29
一時ペーシング	4	1	1	2	0	1	0	0	2	2	1	1	15
IABP	1	1	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	7
PCPS	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
other	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5
緊急件数	3	4	3	4	4	6	7	1	2	5	6	6	51
(em-CAG)	1	4	3	4	4	6	7	1	2	4	6	5	47
(内、PCI)	2	2	3	2	3	3	6	1	2	3	3	3	33

CT MRI 検査年度別　件数と紹介率推移

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
CT総件数	13,510	13,700	14,334	14,194	13,374	13,582	14,132	15,286	13,793	14,511	13,814
CT紹介	1,319	1,317	1,365	1,376	1,295	1,355	1,426	1,425	1,273	1,401	1,589
紹介率	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	12%
				MRI3T導入							
MR総件数	4,712	4,860	4,564	5,489	5,448	5,595	5,786	5,773	5,399	5,476	5,417
MR紹介	1,491	1,313	1,237	1,740	1,810	2,106	2,251	2,313	2,212	2,399	2,493
紹介率	32%	27%	27%	32%	33%	38%	39%	40%	41%	44%	46%

※ 2022 年度は CT・MRI ともに紹介件数・紹介率が過去最高となった

27. 臨床検査科　（1）年間活動報告

1）学術集会、研究会、勉強会等　参加実績

開催日		研修会名	テーマ、主な内容	主催団体
2022年	4月 1日~ 5月 1日	臨床微生物検査のレビューコース	第1-2回　基礎から最新情報&菌トレのアップデート	日本ベクトン・ディッキンソン社
	4月14日	第126回日本眼科学会総会	創造の原点	日本眼科学会
	4月28日	微生物部門定期講習会	微生物部門定期講習会　いまさら聞けない微生物検査	大阪府臨床検査技師会
	5月 6日~ 11月13日	オンデマンド配信 Alinity hq Case Report ワンポイントアドバイス	第1-3,9-12回　血液像	abbott
	5月14日	一般検査部門　基礎講習会	非上皮細胞類（血球類）	大阪府臨床検査技師会
	5月14日~ 7月20日	心電図判読講座	心電図判読講座5回シリーズ	大阪府臨床検査技師会
	5月16日	第4回オーソwebセミナー	「ABO血液型」	オーソ
	5月21日~22日	第71回日本医学検査学会in大阪	躍動！次代へ繋ぐ臨床検査	日本医学検査学会
	5月25日	一般検査部門　基礎講習会	上皮細胞類	大阪府臨床検査技師会
	6月 4日	The Echo Live 2022	心エコー図・大激変!!!	The Echo Live
	6月12日	みなとみらいフォーラム2022	第1-3回　Part1「赤血球形態の鑑別」Part2「スライド100連発」	栄研
	6月13日	webセミナー	第5回「RhD血液型」	オーソ
	6月20日	肺がん遺伝子検査実践講座	呼吸器内視鏡検体でのRoseの有用性から	ノバルティスファーマ
	6月22日	一般検査部門　基礎講習会	円柱類・塩類結晶類	大阪府臨床検査技師会
	6月23日	webセミナー	尿沈渣検査の自動化における尿中有形成分分析装置Atellica UAS800の可能性	シーメンス
	6月23日	微生物検査部門　定期講習会	第1回:塗抹検査と培養同定検査の基礎を学ぶ	大阪府臨床検査技師会
	6月24日	webセミナー	第3回　院内感染症の原因細菌「黄色ブドウ球菌」の最近の話題	CIDER、ナレッジキャピタル
	7月 1日	webセミナー	循環器バイオマーカーの日常診療への活用　第1-3回	LSIメディエンス
	7月20日	webセミナー	知っておきたい血栓止血検査　基礎～トピックス	SYSMEX
	7月23日	学術講演会	新型コロナウィルス感染症	大阪市立総合医療センター
	7月24日	SEKISUI塾	データの品質・精度管理のための基礎講座　①生化学測定の基礎 ②精度管理の実際	積水メディカル
	9月 4日	webセミナー	COVID-19時代におけるプロカルシトニン測定の有用性	abbott
	9月11日	オーソwebセミナー	第8回「カラム凝集法」	オーソ
	10月10日	MONTHLY学術WEBセミナー	腫瘍マーカーのピットフォール	abbott
	10月17日	緊急検査部門　定期講習会	迅速報告、緊急輸血	大阪府臨床検査技師会
	10月22日	日本視能矯正学会	ベストプラクティスを目指して	日本視能訓練士協会

2022年	11月11日	webセミナー	「ゼロから始める凝固波形解析」「凝固検査の基礎」「凝固検査の標準化」	Werfen
	11月12日	神戸免疫セミナー	免疫血清検査における臨床対応の経験について	SYSMEX
	11月13日	核酸増幅検査(PCR等)実技研修会	LAMP法　ID-NOW	大阪府臨床検査技師会
	11月22日	webセミナー	新規採用予定の抗菌薬セフトロザン/タゾバクタム(商品名:ザバクサ)について	MSD株式会社
	11月27日	シスメックス　ユリナリシスセミナー	シスメックス　ユリナリシスセミナー2022Vol.2	SYSMEX
	12月 8日	webセミナー	グラム染色の実践総論:現代に求められるグラム染色のスキルと運用	株式会社GramEye
	12月15日	webセミナー	ここだけは押さえておきたい肺がんマルチ検査のポイント	ノバルティスファーマ
2023年	1月14日	第23回令和4年度臨床検査業務委員会報告会	アフターコロナを見据えた検査室運営、タスク・シフト/シェアへの取組み	全国病院経営管理学会
	1月26日	三島圏域がん研究会	T細胞リンパ腫の診断と治療	三島医療圏がん診療ネットワーク協議会
	2月 5日	日本心臓病学会 教育セミナー	第61回ファンダメンタルコース	日本心臓病学会
	2月10日	webセミナー	心エコー検査の正しい進め方と計測のコツ(アドバンス編)	アスリード株式会社
	2月12日	認知症対応能力向上研修	認知症への対応、院内連携	大阪府
	2月16日	第35回高槻市医師会勤務医会総会・講演会	コロナ禍の3年をふりかえる	高槻市医師会
	3月 2日	講演会	医療関係者対象　がん治療と仕事の両立支援	大阪医科薬科大学病院

2)学術集会、研究会、勉強会等発表、講演実績

開催日	上段:学会、研修会名(開催場所)、中段:演題名、下段:○発表者、共同演者
2022年度	発表なし

3)臨床検査臨地実習受け入れ実績

開催日	要請団体	視察内容	人　数
2022年度	なし		

4)他施設視察、研修実績

開催日		視察先	視察内容	主催団体
2022年	10月 8日	日本医療検査科学会	導入検討機器確認	日本医療検査科学会

5)科内勉強会実績(外部招聘)

開催日		テーマ、内容	主催団体、講演者
2022年	10月27日	Liat機器説明	ロシュ
	11月16日	尿検査機器説明会	SYSMEX
	11月25日	血液凝固検査機器の説明	SYSMEX
	12月14日	尿検査機器の説明	シーメンス
	12月15日	尿検査機器の説明	栄研

6）科内勉強会実績（当院臨床検査技師）

開催日		テーマ、内容	担当検査技師
2022年	4月	TSH　ハーモナイゼーション	在間 由香
	5月	胆道閉塞	坂本 良子
	6月	ガス壊疽	石井 裕季子
	7月	溶血の影響	齊藤 潤
	8月	敗血症	大貫 さほ
	9月	乳びの影響	室 智之
	10月	大動脈解離	下村 悠姫
	11月	皮膚筋炎	坂本 律子
	12月	尿路結石	徳島 和清
2023年	1月	薬剤耐性菌	小野原 直樹
	2月	好酸球増多症	石原 美桜里
	3月	ICLS	林 昭宏

7）新規採用、及び更新機器

設置日		機器名称	規格･形式	メーカー
2023年	2月	多項目自動血球測定装置	XR-1000	SYSMEX

8）新規実施検査項目

開始日		項目名称	規格･形式	メーカー
2022年	9月	HIV迅速検査	ダイナスクリーンHIVcombo	abbott
	11月	インフルエンザ抗原とコロナ抗原	クイックナビ-Flu+COVID19Ag	デンカ

9）精度管理･情報管理

①外部精度管理

施行月		主催団体	内容・項目	評点
外部団体による臨床検査精度管理調査				
2022年	6月	日本臨床検査技師会	臨床検査項目全般	(A+B)99.1%
	9月	日本医師会	臨床検査項目全般	96.8点
	11月	大阪府医師会	臨床検査項目全般	94.7点
試薬･機器メーカーによる精度管理調査				
2022年	6月	極東製薬工業社	梅毒TPLA･RPR	
	6月	ミナリス	脂質、腎、糖尿病関連項目	
	6月	関東化学社	酵素系項目	
	9月	SYSMEX社	止血	
	10月	シノテスト	UIBC	
	10月	シーメンスヘルスケア･ダイアグノスティクス社	血液ガス項目	
	11月	日本臨床検査標準協議会	ID NOW	
	12月	栄研化学社	LAMP法	
2023年	3月	ニットーボー社	CRP、PreALB	

試薬メーカーによる精度管理データ統計分析		
年12回	シスメックス社（QAP）	血液検査、生化学検査項目
年12回	シーメンス社（シーメンスQC）	血液ガス項目
年12回	シスメックス社（CA-NETTⅡ）	CBC・止血機能検査項目

②内部精度管理

施行日	対象	内容・項目
毎日	各種検査機器	標準物質を用いた各種検査機器の精度管理

③情報管理

施行日	対象	内容・項目
毎　月	院内感染情報	臨床検査部門サーベランス
毎　月	院内感染情報	耐性菌検出状況
毎　月	院内感染情報	結核菌検出状況
毎　月	血液製剤使用統計情報	RBC、FFP、PC、自己血等使用数、廃棄数

（2）月別 検体検査件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
総検査件数（注1）	2022	106,780	91,593	94,847	91,835	93,785	95,431	99,298	93,493	94,884	87,927	89,766	97,092	1,136,731
	2021	98,826	106,987	99,609	100,214	99,887	103,886	102,432	100,146	101,017	100,453	88,582	96,708	1,198,747
外来検査件数	2022	67,028	63,916	66,891	63,251	64,454	66,453	64,914	64,079	63,751	60,044	60,163	68,141	773,085
	2021	66,149	64,720	68,964	66,729	67,415	68,970	65,210	68,070	68,889	66,588	58,547	66,892	797,143
入院検査件数	2022	26,768	25,452	25,594	26,217	26,690	26,511	26,760	26,771	28,482	25,105	26,903	26,713	317,966
	2021	31,336	29,394	28,350	30,967	29,764	32,338	29,602	29,427	29,159	31,408	27,670	28,025	357,440
ドック、健診	2022	12,983	2,225	2,362	2,367	2,641	2,467	7,624	2,643	2,651	2,778	2,700	2,238	45,679
	2021	1,341	12,873	2,295	2,518	2,708	2,578	7,620	2,649	2,969	2,457	2,365	1,791	44,164
院内検査件数	2022	92,213	87,880	90,831	88,049	89,868	91,587	91,152	89,733	91,180	84,257	86,014	93,526	1,076,290
	2021	95,497	92,831	95,241	96,334	95,873	99,694	94,205	95,921	96,852	96,211	85,167	93,080	1,136,906
委託検査件数	2022	14,567	3,713	4,016	3,786	3,917	3,844	8,146	3,760	3,704	3,670	3,752	3,566	60,441
	2021	3,329	14,156	4,368	3,880	4,014	4,192	8,227	4,225	4,165	4,242	3,415	3,628	61,841
検査依頼件数（注2）	2022	5,847	5,188	5,283	5,599	5,715	5,387	5,727	5,280	5,580	5,098	4,953	5,344	65,001
	2021	5,614	5,884	5,453	5,541	5,587	5,743	5,839	5,448	5,524	5,885	5,014	5,342	66,874
至急検査件数（注2）	2022	3,001	2,777	2,976	2,983	2,944	3,000	2,960	2,855	3,138	2,844	2,816	3,009	35,303
	2021	3,031	2,969	3,001	3,052	3,063	3,139	2,973	3,046	3,113	3,124	2,885	2,937	36,333
委託検査率（%）	2022	13.6	4.1	4.2	4.1	4.2	4.0	8.2	4.0	3.9	4.2	4.2	3.7	5.3
	2021	3.4	13.2	4.4	3.9	4.0	4.0	8.0	4.2	4.1	4.2	3.9	3.8	5.2
至急検査率（%）	2022	51.3	53.5	56.3	53.3	51.5	55.7	51.7	54.1	56.2	55.8	56.9	56.3	54.3
	2021	54.0	50.5	55.0	55.1	54.8	54.7	50.9	55.9	56.4	53.1	57.5	55.0	54.3

（注1）　総検査件数:生理機能、微生物、細胞診、病理、輸血をのぞく
4-6月・10月の職員健診を委託件数に含む
至急件数に救急外来の一部を含まない

（注2）　2021年1月臨床検査システム更新
検査依頼および至急検査件数は依頼人数に変更

（3）月別 その他検査件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
血液製剤依頼件数（注2）	2022	64	56	55	60	53	87	60	61	55	58	70	79	758
	2021	61	63	57	57	64	65	89	79	64	61	60	57	777
自己血件数（注2）	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	2021	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
微生物検査件数	2022	1,072	988	996	1,202	970	1,046	1,197	1,084	906	871	890	1,130	12,352
	2021	1,329	1,234	1,580	1,465	1,429	1,367	1,314	1,301	1,213	1,153	1,077	1,059	15,521
生理機能検査件数	2022	2,022	1,734	1,705	1,558	1,598	1,704	2,121	1,643	1,727	1,573	1,723	1,874	20,982
	2021	1,767	1,872	1,818	1,802	1,869	1,759	2,060	2,021	1,969	1,731	1,611	1,794	22,073
病理検査件数	2022	275	261	257	245	254	233	252	254	224	215	211	235	2,916
	2021	258	249	268	245	244	253	307	300	325	266	239	249	3,203
迅速病理検査件数	2022	5	8	5	4	5	3	3	5	3	8	6	9	64
	2021	9	8	4	9	7	8	4	6	11	8	8	4	86
迅速細胞診件数	2022	7	9	3	3	4	0	3	5	3	9	4	7	57
	2021	11	8	6	7	6	6	4	6	9	7	7	6	83
婦人科細胞診件数	2022	63	103	82	85	100	82	106	103	92	90	73	80	1,059
	2021	74	66	77	88	108	97	110	116	109	65	83	65	1,058
その他細胞診件数	2022	47	51	52	38	18	30	37	32	35	39	28	34	441
	2021	43	29	43	40	38	31	37	38	50	51	54	38	492

（注2）　輸血、自己血：1依頼書1件

（4）月別 生理機能検査件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
心電図	2022	1,250	983	953	890	897	945	1,301	906	971	876	951	1,014	11,937
	2021	1,002	1,253	1,054	1,062	1,071	1,001	1,243	1,114	1,083	1,016	919	1,019	12,837
歩行負荷心電図	2022	9	9	17	19	10	19	24	9	12	7	11	12	158
	2021	31	15	19	20	30	13	10	15	23	23	14	18	231
ホルター心電図	2022	39	27	35	22	24	31	42	20	24	29	28	33	354
	2021	29	24	36	27	29	17	39	43	31	33	24	46	378
24時間血圧測定	2022	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
	2021	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
心臓エコー	2022	262	253	273	230	241	263	248	247	242	215	246	272	2,992
	2021	280	240	255	263	250	238	257	295	289	282	239	259	3,147
経食道エコー	2022	3	1	3	0	0	1	3	3	2	0	7	2	25
	2021	2	0	2	2	2	2	1	1	4	2	2	1	21
ストレスエコー	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2021	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
トレッドミル	2022	4	2	7	4	3	2	4	2	1	5	8	1	43
	2021	4	0	3	6	6	6	4	2	5	3	2	4	45
脳波	2022	2	3	5	1	1	4	3	2	4	4	1	2	32
	2021	1	1	2	2	3	1	4	1	3	4	1	1	24
肺機能検査	2022	5	8	8	4	4	5	10	6	4	10	15	11	90
	2021	7	1	6	6	6	4	9	6	4	2	4	8	63
気道可逆試験	2022	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	0	5
	2021	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
心臓･下肢造影 など	2022	35	30	16	20	10	23	26	25	27	19	26	23	280
	2021	41	36	40	37	39	45	31	43	41	36	34	36	459
ABI（血圧脈波）	2022	49	49	46	41	58	47	57	50	54	40	41	52	584
	2021	50	31	58	39	54	52	51	65	51	38	36	45	570
SRPP	2022	6	7	2	3	3	1	4	1	3	1	1	2	34
	2021	2	4	4	3	7	5	2	8	7	4	2	3	51
頚動脈エコー	2022	33	21	25	22	21	31	36	37	25	28	21	11	311
	2021	30	14	38	27	26	21	52	38	27	18	21	22	334
腹部エコー	2022	76	92	97	83	98	89	102	80	90	83	97	121	1,108
	2021	74	72	81	90	100	102	109	105	111	9	77	91	1,021
甲状腺エコー	2022	12	9	4	9	9	5	9	16	11	11	10	12	117
	2021	11	3	12	11	12	8	13	15	10	16	12	9	132
下肢静脈エコー	2022	56	53	46	50	44	52	56	46	46	42	48	54	593
	2021	22	17	23	27	28	43	33	41	46	33	31	35	379
術前下肢静脈エコー	2022	70	68	62	63	66	71	66	75	67	67	71	78	824
	2021	67	59	56	51	51	71	61	78	69	86	68	67	784
その他エコー	2022	5	4	4	12	0	3	2	3	2	2	0	3	40
	2021	6	9	13	11	12	9	13	7	9	5	6	3	103
純音聴力測定	2022	83	91	83	70	95	90	108	92	116	113	110	139	1,190
	2021	80	74	87	90	113	97	106	109	117	93	98	102	1,166
チンパノメトリー	2022	11	7	9	6	3	7	6	7	17	9	14	15	111
	2021	12	2	8	13	16	8	8	11	14	10	3	4	109
耳小骨筋反射測定	2022	5	5	6	4	3	3	3	5	5	4	5	6	54
	2021	2	4	10	4	6	1	6	9	11	6	6	5	70
電気味覚検査	2022	0	2	0	0	1	2	1	0	0	3	3	1	13
	2021	2	4	10	4	6	1	6	9	11	6	6	5	70

語音聴力測定	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
耳鳴検査	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自記オージオ	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
睡眠時無呼吸試験	2022	1	4	1	4	2	2	5	3	0	2	2	1	27
	2021	4	2	2	2	0	5	2	2	4	3	1	3	30
終夜睡眠ポリグラフィー	2022	2	1	1	0	1	1	1	2	1	2	1	3	16
	2021	3	3	3	2	2	3	0	5	0	4	1	4	30
CPX心肺運動負荷試験	2022	4	5	2	1	4	6	4	4	2	0	5	3	40
	2021	7	6	6	6	4	6	4	5	6	2	7	6	65

(5)眼科機器別検査件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
視力検査	2022	436	454	516	437	381	451	450	426	436	381	409	487	5,264
	2021	421	425	518	458	409	514	447	481	513	422	396	504	5,508
眼圧検査	2022	452	463	528	445	388	461	454	428	431	380	413	491	5,334
	2021	435	446	526	463	424	527	455	492	528	444	397	518	5,655
Goldmann視野計	2022	33	27	31	24	29	25	27	29	27	27	31	38	348
	2021	24	26	25	35	35	22	27	46	30	28	26	37	361
Humphrey視野計	2022	24	34	29	23	25	31	25	23	28	22	14	26	304
	2021	18	17	24	29	27	32	23	20	23	26	16	21	276
眼位(HESS)	2022	9	6	10	4	12	5	7	5	9	12	12	12	103
	2021	13	19	13	12	7	7	6	9	7	7	16	7	123
中心CFF	2022	8	6	9	6	5	6	2	3	6	4	7	6	68
	2021	5	5	4	8	11	6	13	18	9	9	4	7	99
スペキュラーマイクロスコープ	2022	21	24	16	20	21	19	20	19	9	15	23	25	232
	2021	23	15	15	18	17	22	19	22	16	18	13	13	211
アムスラーチャート	2022	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	4
	2021	0	1	3	0	1	1	4	2	1	0	1	0	14
眼軸長測定(IOLマスター・Aモード)	2022	17	19	16	15	19	18	19	17	9	14	15	21	199
	2021	18	14	14	14	14	20	17	20	13	14	11	10	179
Bモード	2022	4	3	10	0	2	1	0	1	1	0	0	5	27
	2021	1	6	4	4	2	2	2	3	4	3	1	6	38
光干渉断層計	2022	203	196	218	191	159	214	194	186	200	191	150	242	2,344
	2021	168	173	224	214	176	235	195	191	203	197	166	222	2,364
眼底カメラ	2022	83	86	88	73	56	78	100	93	101	88	73	117	1,036
	2021	82	79	93	87	80	90	73	79	96	72	75	85	991
蛍光眼底造影(FAG･ICG)	2022	9	15	9	7	2	5	10	1	8	5	3	5	79
	2021	5	5	9	5	9	7	4	5	6	8	5	11	79
自発蛍光撮影	2022	2	1	1	0	0	0	0	0	2	1	1	0	8
	2021	2	0	0	0	1	0	0	2	0	6	1	1	13
光干渉断層血管撮影	2022						2	6	1	2	3	1	5	20
	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(6)臨床検査科設置主要機器一覧

設置場所	機器名称	メーカー	規格・形式	購入日	設置数
1階 中央採血室					
中央採血室	電子カルテ端末	亀田医療情報株式会社	KAI-V3	2021/1/9	1
		富士フィルムメディカル株式会社	yahgee		
	検体検査システム端末	C.N.A	Caresphere LWS、QM		
	採血管準備装置	小林クリエイト	i･press with	2016/11/28	
	尿カップラベラー		CL-300		
	全自動血液ガス分析装置	SIEMENS	RapidPoint 500e	2021/1/9	
心電図室	電子カルテ端末	亀田医療情報株式会社	KAI-V3		
		富士フィルムメディカル株式会社	yahgee		
	自動解析心電図計	フクダ電子	Cardiomax8 ECP-8800	2018/8/1	
	心電図ファイリングサーバー端末		EFS-8800	2017/2/28	
	電子式スパイロメーター		spiro sift SP370		
尿検査室	検体検査システム端末	C.N.A	Caresphere LWS	2021/1/9	2
	光学式顕微鏡	OLYMPUS	CX41	2009/8/1	1
	全自動尿統合分析装置	Sysmex	UX-2000	2013/5/7	
	遠心分離器	KUBOTA	2420	2013/10/30	2
1階 眼科検査室					
眼科検査室	オートレフトポグラファー	TOMEY	RT-7000	2008/5/1	1
	ノンコンタクトトノメーター		FT-1000	2012/9/1	
	字づまり視力検査器		CV-5000	2006/5/1	2
	スペキュラーマイクロスコープ		EM-4000	2018/8/1	1
	レンズメーター		TL-7000	2020/3/1	
	近代式中心フリッカー値測定器	ヤガミ		2006/5/1	
	超音波画像診断装置	TOMEY	UD-8000	2013/12/1	
	眼軸長･角膜厚測定装置		AL-4000	2013/12/15	
	IOLマスター	ZEISS	500	2015/8/1	
	ハンフリーフィールドアナライザー		HFAⅢ　840	2017/1/15	
	ゴールドマン視野計	イナミ		2006/5/1	
	HESS	ジャパンフォーカス	ヘススクリーンMKⅡ	2016/5/15	
	OCT	NIDEK	RS-3000	2011/10/1	
	眼底カメラ	TOPCON	TRC-50DX	2014/9/15	
	アイケア	エムイーテクニカ	ic200	2020/3/1	
2階 臨床検査室					
検体検査部門					
検体受付	電子カルテ端末	亀田医療情報株式会社	KAI-V3	2021/1/9	1
		富士フィルムメディカル株式会社	yahgee		
	検体検査システム端末	C.N.A	Caresphere LWS、QM		2
	試薬物品オンライン発注システム端末	アルフレッサ	Reagent navigatoR	2018/9/15	1
	遠心分離器	KUBOTA	4000	2007/12/1	2
			2420	2018/10/1	1
				2013/10/30	
	保冷庫(記録計付)	SANYO	MEDICOOL シリーズ		6
	ディープフリーザー		MDF-192AT	2006/5/1	1
血液･輸血	検体検査システム端末	C.N.A	Caresphere LWS、QM	2021/1/9	2
	多項目自動血球測定装置	Sysmex	XR-1000	2023/3/1	1
	全自動血液凝固測定装置		CS-2100i	2010/8/1	

設置場所	機器名称	メーカー	規格・形式	購入日	設置数
血液・輸血	光学式顕微鏡	Nikon	ECLIPSE Ci	2013/6/1	1
		OLYMPUS	BX43	2019/1/22	
	恒温槽	THERMONICS	A3D	2015/5/23	
	血球計数機	OMRON	Ladic-10		
			Ladic-11		
	ビルアナライザー	中村医科	A-700i	1993/9/1	
	ヘマトクリット用遠心分離器	KUBOTA	KH-120		
	血液製剤管理システム	Ortho-Clinical Diagnostics	BTD E2	2015/9/1	
	全自動血液型分析装置		Vision		
	判定用卓上遠心分離器	KUBOTA	KA-2000		
	全自動赤沈計	常光	Smart Rate20	2021/7/28	
	血沈計用ミキサー		ROTAMIX Electa		
	同種血血液製剤用保冷庫（記録計付）	panasonic	MBR-506T4-PJ	2012/9/1	
	自己血血液製剤保冷庫（記録計付）		MBR-107T4-PJ		
	血液製剤用冷凍庫（記録計付）	SANYO	MDF-135	1995/2/1	
生化学・免疫	検体検査システム端末	C.N.A	Caresphere LWS、QM	2021/1/9	3
	生化学自動分析装置	日本電子	JCA-BM9130	2013/9/30	1
	純水装置	MERCK	ElixGulfstream70C	2013/9/13	
	生化学自動分析装置	SIEMENS	DimensionXpandplus	2014/10/1	
	血中アンモニア測定装置	アークレイ	ポケットケムBA PA-4140	2011/1/6	
	全自動免疫化学発光測定装置	Roche	cobas e 601	2014/10/1	
細菌検査部門					
細菌検査室	電子カルテ端末	亀田医療情報株式会社	KAI-V3	2021/1/9	1
		富士フィルムメディカル株式会社	yahgee		
	検体検査システム端末	C.N.A	Caresphere LWS、QM		
	微生物総合管理システム端末	SIEMENS	SMILE	2013/9/15	2
	光学式顕微鏡	OLYMPUS	BX53	2017/2/15	1
	細菌自動分析装置	BECKMAN COULTER	WA DxM1040	2019/4/16	
	全自動血液培養装置	BIOMERIEUX JAPAN	BACT/ALERT 3D	2015/9/15	
	全自動遺伝子解析装置	BECKMAN COULTER	GeneXpertシステムGX-Ⅱ	2019/3/25	
	新型コロナウイルス遺伝子検査機器	Abbott	ID NOW	2021/2/10	
	リアルタイム濁度測定装置	栄研	Loopamp	2020/9/25	
	新型コロナウイルス遺伝子検査機器	Roche	Liat	2022/9/26	
	安全キャビネット	オリエンタル技研	LAD-1000xB3	2006/5/1	
	インキュベータ（冷却機能付）	SANYO	MIR-153		2
	卓上フラン器	栄研器材	393	1982/5/1	1
	保冷庫	フクシマガリレイ	FMS-174GS	2022/10/1	
		SANYO	MPR-513	2006/5/1	
	オートクレーブ		MLS-3020	2005/12/1	
生理機能検査部門					
検査受付	電子カルテ端末	亀田医療情報株式会社	KAI-V3	2021/1/9	1
		富士フィルムメディカル株式会社	yahgee		
	ホルター解析装置	フクダ電子	SCM-850S	2017/2/28	
	デジタルホルター記録器		FM-180	2006/5/1	
			FM-1300	2019/3/16	3
				2019/12/25	2

設置場所	機器名称	メーカー	規格・形式	購入日	設置数
検査受付	デジタルホルター記録器(血圧計付)	フクダ電子	FM-800	2006/5/1	1
			FM-970	2020/12/9	2
	簡易型睡眠評価装置		LS-140	2018/4/15	1
心電図室	電子カルテ端末	亀田医療情報株式会社	KAI-V3	2021/1/9	
		富士フィルムメディカル株式会社	yahgee		
	自動解析心電図計	フクダ電子	Cardiomax8 ECP-8800	2019/12/25	
	心電図ファイリングサーバー		EFS-8800	2017/2/28	1
	電子式スパイロメーター		spiro sift SP370		
	ABI測定装置	コーリン	form PWV/ABI	2016/5/1	
	ABIデータファイリングシステム		form@net		
	皮膚灌流圧測定装置	NEXIS	Nahri　MV monitor	2019/2/16	
トレッドミル検査室	電子カルテ端末	亀田医療情報株式会社	KAI-V3	2021/1/9	1
		富士フィルムメディカル株式会社	yahgee		
	解析心電図計	フクダ電子	Cardiomax8 ECP-8800	2019/3/25	
	トレッドミルベルト		MAT-2700	2013/6/1	
	全自動血圧脈波計		tangoM2	2019/2/15	
	除細動装置(AED)	フィリップス	HEART START		
心エコー室	電子カルテ端末	亀田医療情報株式会社	KAI-V3	2021/1/9	1
		富士フィルムメディカル株式会社	yahgee		
	超音波画像解析装置	GE	Echo PAC PC	2017/9/15	
	超音波診断装置(循環器)		vivid E95		
			vivid S60		
			vivid S60	2021/3/16	
			vivid S70		
			vivid S5	2011/11/1	
	携帯型超音波診断装置(汎用)		Vscan Extend	2021/3/16	
腹部エコー室	電子カルテ端末	亀田医療情報株式会社	KAI-V3	2021/1/9	1
		富士フィルムメディカル株式会社	yahgee		
	超音波診断装置(腹部・体表臓器)	GE	Logiq S8	2016/10/1	
			Logiq P6	2009/7/1	
脳波検査室	電子カルテ端末	亀田医療情報株式会社	KAI-V3	2021/1/9	1
		富士フィルムメディカル株式会社	yahgee		
	脳波計	日本光電	EEG-1200	2018/3/20	
	終夜睡眠ポリグラフシステム	PHILIPS・RESPIRONICS合同会社	Alice 6 LDE	2018/5/15	
聴力検査室	電子カルテ端末	亀田医療情報株式会社	KAI-V3	2021/1/9	1
		富士フィルムメディカル株式会社	yahgee		
	オージオメータ	RION	AA-M1A	2018/6/15	
	インピーダンスオージオメータ		RS-22	2006/5/1	
	電気味覚測定装置		TR06		
2階 病理検査室					
病理検査部門					
病理検査室	電子カルテ端末	亀田医療情報株式会社	KAI-V3	2021/1/9	1
		富士フィルムメディカル株式会社	yahgee		
	光学式顕微鏡	OLYMPUS	BX-511	2006/5/1	
	迅速凍結切片作成装置	サクラファインテックジャパン	Polar-D	2021/7/19	
	検体保冷庫フリーザー付	SANYO	MPR-214F	2008/11/1	

設置場所	機器名称	メーカー	規格・形式	購入日	設置数
病理検査室	顕微鏡用4Kデジタルカメラ	オリンパス	DP28	2021/7/1	1
	自動遠心器	KUBOTA	2410	2008/11/1	
2階 リハビリテーション室					
生理機能検査部門					
リハビリテーション室	運動負荷心電図測定装置	日本光電	STS-2100	2017/10/1	1
	運動負荷血圧監視装置	エス・エム・アイ・ジャパン	tangoM2		
	エルゴメータ	日本光電	STB-3400		
	呼気ガス分析装置	ミナト医科学	エアロモニタAE310s		
検査室外					
救急外来 ICU	自動解析心電図計	フクダ電子	Cardiomax7 ECP-8700	2021/2/1	1
	全自動血液ガス分析装置	SIEMENS	RapidPoint 500e	2021/1/9	
7F	自動解析心電図計	フクダ電子	Cardiomax7 ECP-8700		
3F			CardioStar FCP-7431		
	全自動血液ガス分析装置	SIEMENS	RapidPoint 500e	2021/5/24	
4F	自動解析心電図計	フクダ電子	CardioStar FX-7432		
5F					
6F					
透析			CardioStar FX-7412		
剖検室	乾熱滅菌器	SANYO	MOV-212S	1995/2/1	

(7)治験対象者検査件数

治験名称	開始時期	被験者数	採　血		心電図		肺機能		心臓エコー	
			回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数
FRG-8813-①	2005.08	8								
MK-0431	2005.12	3								
CPC-12759	2006.04	4								
NN2000-Mix70	2006.06	5								
KAD-1229	2006.08	6								
TAK-457	2007.01	9	9	81						
FRG-8813-②	2007.08	14								
Z-206-①	2007.10	6								
Z-206-②	2007.10	3								
CL-1008	2007.12	4	11	44	2	8				
SMP-862	2008.01	7	8	56	3	21				
SYR-332-①	2008.02	10								
VAA489	2008.05	33	4	132						
T	2008.07	12	2	24						

治験名称	開始時期	被験者数	採　血		心電図		肺機能		心臓エコー	
			回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数
CS-8958	2008.09	1	3	3						
SYR-332-②	2008.11	7								
DSP-8153-①	2009.01	20								
D961H	2009.01	13								
AG-1749-①	2009.01	22								
LY2148568	2009.06	3								
AG-1749-②	2009.06	11								
MP-513	2009.10	10	35	350						
TA-4708	2009.12	2							7	14
R	2010.01	21								
Z338	2010.01	23								
TCV-116.AD-4833	2010.01	9	6	54	3	27				
DSP-8153-②	2010.02	30	7	210	4	120				
E3810	2010.04	8	7	56						
TAK-085	2010.06	17	16	272	5	85				
AVE0010-①	2010.07	3	14	42	3	9				
QVA149	2010.08	3	2	6	5	15	74	222		
MK-954E	2011.01	33	9	297	4	132				
ASP1941	2011.01	8	7	56	5	40				
NVA237	2011.02	8	6	48						
NVA237A	2011.02	6	6	36	14	84	61	366		
AVE0010-②	2011.02	5								
MP513	2011.03	8	17	136	6	48				
KT6-981	2011.03	7	6	42	3	21				
ASP1941	2011.03	3	10	30	5	15				
FYX-051	2011.04	21	6	126	2	42				
AJG501	2011.05	5								
A	2011.06	10								
ACZ885M	2011.06	5	13	65	4	20				
E3810-①	2011.07	24	15	360						
AZD6140	2011.08	10	9	90	2	20				
V232	2011.11	77	2	154						
TAK-438/CCT-101	2011.11	11	7	77	2	22				
TAK-438/CCT-102	2011.11	1	7	7	2	2				
TAK-536	2011.12	20	4	80	2	40				
E3810-②	2011.12	15	14	210						
TAK-438/CCT-401	2012.01	6	4	24	4	24				
SYR-322	2012.02	2	17	34	3	6				
S-2367	2012.03	9	10	90	5	45				
KRP-AB1102	2012.04	4	2	8	7	28	8	32		
KRP-AB1102F	2012.07	2	7	14	7	14	32	64		
K-877	2012.12	2	11	22	7	14				
MK-0859	2013.01	14	11	154	1	14				
BIBR277TCT	2013.07	14	2	28	2	28				
SK-1202	2013.08	16	3	48	3	48				
TAK-536	2014.11	4	8	32	5	20				
DS5565	2015.02	5	11	55	2	10				
S-237648	2015.05	12	11	132	7	84				
Imeglimin	2015.12	15	12	180	11	165				
BFスパイロマックス	2016.01	10	2	20	2	20	4	40		

治験名称	開始時期	被験者数	採　血		心電図		肺機能		心臓エコー	
			回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数
MK-0653H	2016.09	11	6	66	1	11				
ルビプロストンカプセル	2016.10	10	2	20		0				
FYU-981-011＊	2017.04	17	6	102	2	34			1	17
nemolizumab	2017.08	10	22	220	10	100				
Empagliflozin	2017.10	3	24	72	2	6				
Imeglimin	2017.12	3	12	36	4	12				
Empagliflozin	2019.05	2	24	48	2	4				
合　計		775	469	4,549	163	1,458	179	724	8	31

※合計：採血回数、心電図の回数が判明している治験のみを合計しています。　※途中脱落者の一部を含みます。
＊腹部エコーあり
＊今年度は新規治験はありませんでした。

28. 臨床工学科

(1)業務

2022 年度（2022 年 4 月～ 2023 年 3 月）における臨床工学科の主な業務内容を示す。

臨床工学科では医療機器を介する連携業務を軸とし、カテーテル治療センター・内視鏡センターでは介助業務などを行い、各々専門性を持ち業務を行った。

- 血液浄化センター 関連業務
- 病棟・ICU 関連業務
- 人工呼吸器及び麻酔器 関連業務
- 輸液ポンプ、シリンジポンプなど ME 機器管理（貸出 / 返却、日常 / 定期 / 保守点検）関連業務
- カテーテル治療センター 関連業務
- ペースメーカ（植込術・外来）関連業務
- 内視鏡センター 関連業務
- その他 ME 管理機器（保守 / 定期 / 日常）点検、修理等の機器管理業務

(2)医療機器 安全管理体制

2022 年度 臨床工学科における管理医療機器は総数 687 台となっている。内訳は、輸液ポンプ 87 台（内 Drip Eye20 台、内 PCA 用ポンプ 1 台）、シリンジポンプ 53 台（内 PCA 用ポンプ 3 台）、除細動器 12 台、人工呼吸器 13 台（内、ServoS 5 台、Servoi 1 台、V60 3 台、Airvo2 3 台、ParaPAC 1 台、なお NIP-V および ASV はレンタル機のため含めず）、補助循環装置 4 台（ECMO2 台、IABP2 台）、血液浄化関連装置 11 台（透析用監視装置 8 台、供給装置 1 台、溶解装置 1 台、透析用水作成装置 1 台）、麻酔器 5 台、生体情報モニター（セントラルモニター 10 台、ベッドサイドモニター 110 台、送信機 77 台）、手動式血圧計 113 台、パルスオキシメーター 126 台となった。

当院における特定保守管理医療機器のうち保守点検が必要とされる機器は、①補助循環装置（ECMO・IABP） ②人工呼吸器 ③血液浄化装置 ④除細動装置（AED を除く）であり、保守点検計画を策定し実施した。その他の機器の保守点検として、⑤輸液ポンプ ⑥シリンジポンプ ⑦麻酔器 ⑧モニター（関連機器を含む） ⑨その他の保守点検計画を策定し実施した。

2022 年度における各機器の定期点検・保守点検回数を下記表 1. ～ 2. に示す。表 1. 表 2. に機種毎の定期点検・保守点検数、表 3. に臨床工学科へ依頼された修理依頼数およびメーカー修理依頼数を記した。

表 1. 特定保守管理医療機器の（定期/保守）点検数

2022～23年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①補助循環装置(ECMO.IABP)	15/0	6/0	12/0	12/2	16/0	12/0	8/0	12/0	8/0	12/0	8/0	4/0	125/2
②人工呼吸器	13/1	13/1	5/0	9/9	13/0	18/0	16/1	12/2	13/0	10/0	14/0	15/1	151/15
③血液浄化装置	25/0	26/0	26/1	26/0	27/10	26/1	26/0	26/0	27/1	26/10	24/0	27/1	337/24
④除細動器	0/0	0/7	0/1	0/0	0/2	0/0	0/0	0/5	0/7	0/0	0/0	0/0	0/22

※血液浄化装置 : RO装置の日常、定期点検を含む

表2. その他医療機器の（定期/保守）点検数

2022～23年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
⑤輸液ポンプ	102/0	106/8	116/8	111/2	120/3	155/16	163/6	98/2	142/2	124/4	141/0	136/1	1514/52
⑥シリンジポンプ	102/2	132/9	90/7	106/2	121/2	140/8	147/7	126/3	104/1	104/1	124/5	144/0	1440/48
ドリップアイ	113/0	91/1	95/6	101/0	93/2	107/2	104/2	79/0	91/1	70/1	80/1	120/0	1144/16
⑦麻酔器	25/0	20/0	15/0	25/0	14/5	20/0	25/0	20/0	25/0	20/0	18/0	20/0	247/5

表3. 年間修理依頼数およびメーカー修理依頼数

2022～23年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
補助循環装置（ECMO･IABP）	院内ME修理数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	メーカー修理数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人工呼吸器	院内ME修理数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	メーカー修理数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血液浄化装置（関連機器含む）	院内ME修理数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	メーカー修理数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
除細動器	院内ME修理数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	メーカー修理数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
輸液ポンプ	院内ME修理数	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	2	6
	メーカー修理数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シリンジポンプ	院内ME修理数	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3
	メーカー修理数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
麻酔器	院内ME修理数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	メーカー修理数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
モニター（関連機器含む）	院内ME修理数	3	0	2	0	5	6	4	4	4	1	2	3	34
	メーカー修理数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
その他（SpO2/血圧計など）	院内ME修理数	3	1	3	3	9	5	7	3	1	2	1	6	44
	メーカー修理数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

（3）血液浄化室業務

2022 年度における血液浄化療法件数を下記表 4. に記す。2022 年 5 月より事前に準備を行ってきたオンライン HDF を開始。コロナ渦では 2022 年 11 月～ 2023 年 1 月に PCR 陽性者および濃厚接触者の透析を計 5 名 -13 回の時間的隔離（2 クール目や 3 クール目）を行い、透析を実施した。その他、持続的腎代替療法（CRRT）など特殊血液浄化療法実施時は主治医および血液浄化センター山口部長と連携をとり実施した。

表4. 2022年度における血液浄化療法数

2022～23年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来透析回数	147	143	148	165	136	130	130	130	130	121	116	102	1598
入院透析回数	97	61	91	101	55	41	49	21	68	61	102	56	803
透析導入患者数	3	1	2	0	0	2	0	0	3	3	3	1	18
持続的腎代替療法/(CRRT)実施件数	2	1	0	8	3	8	2	0	2	16	12	0	54
潰瘍性大腸炎に対する自己免疫吸着療法回数(G-CAP)実施件数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
腹水濃縮潅流法(CART)実施件数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2

(4)人工呼吸器業務

人工呼吸器業務において、使用中日常点検、開始前の始業点検（定期点検含む）を実施した。点検業務を実施することで、使用中の故障は無く安全に使用できた。また、非侵襲的陽圧換気（NPPV・ASV・V60 ベンチレータ）も人工呼吸器として日常・定期・保守点検業務を行った。2022 年度における人工呼吸器関連の使用台数を下記表 5. 記す。

表5. 2022年度における人工呼吸器使用数

2022～23年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ServoS	13	8	2	22	32	18	15	3	1	3	9	2	128
Servo i	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
V60	17	10	3	7	6	62	17	31	38	21	30	33	275
ネーザルハイフロー(Airvo2)	18	13	19	1	8	5	0	18	17	28	38	29	194
NIP_V	7	0	5	0	0	14	9	19	16	25	30	21	146
ASV	0	0	0	0	0	0	0	0	6	8	1	2	17

(5)カテーテル治療センター業務

カテーテル治療センターにおける関連業務を中心に補助循環装置の操作、管理を行った。2022 年度内に 2 名が自立し待機可能者 4 名となった。日勤 2 名、夜間待機 2 名で運用した。下記、表 6. に ME 関連機器の使用件数を記す。

表6. 2022年度におけるカテーテル治療センターME関連機器の使用件数

2022～23年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一時ペーシング	4	1	1	2	0	1	0	0	2	2	1	1	15
IABP	1	1	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	7
ECMO	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

(6)ペースメーカ業務

2022 年度のペースメーカ外来では、プログラマー操作を主業務に、ペースメーカ植え込み術、および交換術を実施。また、ペースメーカ植込み患者の MRI 実施前後の準備及び設定変更、実施中の管理など行った。

表7. 2022年度におけるペースメーカ関連件数

2022～23年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ペースメーカ外来患者	37	27	38	32	24	33	29	19	40	25	21	41	366
新規植込	3	2	0	1	2	1	1	2	2	1	3	0	18
ジェネレータ本体交換	3	3	3	1	0	1	0	2	0	1	0	1	15

（※緊急及び臨時で行ったペースメーカチェックは含まず）

(7)研修・学会活動 等

① 医療機器新規および更新等による勉強会

- オンライン HDF 勉強会　講師：ニプロ（株）担当者（2022/5/21 対象：透析スタッフ）
- 認知症勉強会 講師：染田認定看護師（2022/6/22 対象：透析スタッフ）
- future net ベッドサイドコンソール事前説明会 講師：日機装（株）担当者（2022/8/24、2022/8/31 対象：透析スタッフ）
- 透析患者のオルケディア 講師：協和キリン（株）担当者（2023/2/22、2023/3/1 対象：透析スタッフ）
- CMD 検査導入に関する説明会 Abbott（株）担当者（2023/3/24 対象：カテ室スタッフ）

② **（院内）医療機器安全管理研修**

- 除細動器取り扱い研修（e- ラーニング　2022/3/15-4/15 対象：救急救命士）
- 輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い研修（e- ラーニング　2022/4/15-5/14　対象：救急救命士）
- 輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い研修（2022/7/4　対象：看護部新入職員）

③ **院外学会 / 院外研修**

- 令和 4 年度 医療機器安全基礎研修会（2022/9/7 研修修了　首藤 隆太）
- 令和 4 年度　人工呼吸器 SERVO シリーズ プリベンティブメンテナンス講習会（2022/11/17　研修終了　三浦 和哉）
- 令和 4 年度　医療安全推進指導者講習会　医療機器の安全管理対策（2023/1/21　研修終了　西村 岳洋）

④ **認定士取得**

- なし

29. リハビリテーション科

スタッフ

医師 1 名、理学療法士：9 名、作業療法士 4 名（非常勤 1 名）

（1）施設基準 等

運動器リハビリテーション料　（Ⅰ）
呼吸器　：　（Ⅰ）
心大血管疾患　：　（Ⅰ）
脳血管疾患　：　（Ⅱ）
廃用症候群　：　（Ⅱ）
がん患者　：
HCU 早期離床リハビリテーション加算

（2）認定資格

1）理学療法

一般社団法人　日本理学療法士協会認定　認定理学療法士（循環器）
一般社団法人　日本理学療法士協会認定　認定理学療法士（地域）
日本循環器学会　心不全療養指導士
3 学会合同呼吸療法士
がんリハビリテーション研修終了
心臓リハビリテーション指導士（日本心臓リハ学会）
介護支援専門員
第一種衛生管理者
大阪糖尿病療法指導士
福祉用具プランナー
福祉用具専門相談員（厚生大臣指定研修終了）
福祉住環境コーディネーター　2 級
地域包括ケア推進リーダー（日本理学療法士協会認定）
介護予防推進リーダー（日本理学療法士協会認定）
視覚障碍者リハビリテーション基準研修終了（日本ライトハウス）
理学・作業療法士養成教員講習課程修了（厚生省）
臨床実習指導者講習修了

2）作業療法

一般社団法人　日本作業療法士協会認定　認定作業療法士
一般社団法人　日本作業療法士協会認定　専門作業療法士（手）
一般社団法人　日本ハンドセラピイ学会認定　認定ハンドセラピスト
SW-test　講習会終了
AMPS 認定評価者
福祉住環境コーディネーター　2 級
理学・作業療法士養成教員講習課程修了（厚生省）
臨床実習指導者講習修了

(3)学術集会・研究会・勉強会等 参加実績

■参加実績

開催日		学会・研修会	テーマ	開催場所
2022年	4月17日	第34回日本ハンドセラピィ学会学術集会	学術集会	オンデマンド
	5月7日	第6回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会　北海道支部学術集会	学術集会	オンライン
	5月22日	大阪府理学療法士会	研修会	オンライン
	5月24日	U40心不全ネットワーク心不全道場	学術集会	オンライン
	5月26日	第26回三島圏域癌研究会	学術集会	オンライン
	6月11日～7月31日	第51回　日本呼吸療法医学会セミナー	学術集会	オンライン
	6月17日	長野県南信地区ハンドセラピィ学会	学術集会	オンライン
	7月24日	日本循環器理学療法学会　第3回サテライトカンファレンス	学術大会	オンライン
	8月8日～28日	日本ハンドセラピィ学会主催　第1回基礎研修会	学術集会　入門セミナー	オンデマンド
	8月20日～21日	日本理学療法士協会　臨床実習指導者講習会プログラム	講習会	大阪
	8月23日	U40心不全ネットワーク心不全道場	学術集会	オンライン
	9月3日～4日	第6回日本循環器理学療法学術大会	学術大会	オンライン
	9月22日	第27回三島圏域癌研究会	学術集会	オンライン
	9月27日	U40心不全ネットワーク心不全道場	学術集会	オンライン
	10月5日	日本ハンドセラピィ学会主催　認定作業療法士養成カリキュラム	応用実践研修　腱損傷・拘縮	オンライン
	10月7日	長野県南信地区ハンドセラピィ学会	学術集会	オンライン
	10月25日	U40心不全ネットワーク心不全道場	学術集会	オンライン
	10月29日～30日	臨床実習指導者研修会	講習会	大阪
	11月14日～28日	日本ハンドセラピィ学会主催　基礎研修会	学術集会　手の評価	オンデマンド
	11月19日	北摂手外科談話会	学術集会	オンライン
	11月20～12月4日	日本ハンドセラピィ学会主催　第2回基礎研修会	講習会　機能解剖・触診セミナー	オンデマンド
	11月24日	わかあゆ呼吸ケア勉強会	学術集会	オンライン
	12月3日～4日	第9回　日本地域理学療法学術大会	学術集会	オンライン
	12月4日	第5回日本循環器理学療法学会　サテライトカンファレンス	学術集会	オンライン
	12月11日	日本ハンドセラピィ学会主催　第2回基礎研修会　実技	講習会　実技	オンライン
	12月11日	日本理学療法士協会	学術集会　腎不全患者に対する運動療法	オンライン
	12月26日	大阪北支部新人症例発表会	学術集会	オンライン
	12月27日	U40心不全ネットワーク心不全道場	学術集会	大阪
2023年	1月10日	日本作業療法士協会主催（認定作業療法士制度）	選択研修　身体障碍	オンライン
	1月14日	第3回京阪手外科セミナー	学術集会	大阪
	1月15日	日本ハンドセラピィ学会主催	講習会　SW-test	オンライン
	1月19日	日本循環器理学療法学会　第6回サテライトカンファレンス症例検討会	学術集会	オンライン
	1月20日	なにわハンドセラピィ研究会	学術集会	オンライン
	1月21日	第5回難波ハンドセンター手の外科セミナー	学術集会	大阪
	1月26日	第28回三島圏域癌研究会	学術集会	オンライン
	1月28日	第9回中部日本ハンドセラピィ研究会学術集会	学術集会	オンライン

開催日		学会・研修会	テーマ	開催場所
2023年	1月28日	日本地域理学療法学会	学術集会	オンライン
	2月5日	日本産業理学療法学会	学術大会	オンライン
	2月5日	第62回近畿理学療法学術大会	学術大会	オンライン
	2月9日	第12回東海臨床CPX研究会	学術集会	オンライン
	2月10日	長野県南信地区ハンドセラピィ学会	学術集会	オンライン
	2月12日	日本循環器コ・メディカルセミナー	学術集会	オンライン
	2月25日	北摂総合病院　多職種連携の会	研修会	大阪
	3月1日	新潟医療福祉大学OT学科同窓勉強会	学術集会	オンライン
	3月2日～4日	第50回日本集中治療医学学術大会	学術大会	オンライン
	3月2日	大阪府作業療法士協会主催	手外科症例検討会	オンライン
	3月4日	日本物理療法研究会　第6回SIGカンファレンス	学術集会	オンライン
	3月7日	第10回大阪府理学療法士会　協会指定管理者初級研修	学術集会	オンライン
	3月10日～12日	日本循環器学会学術集会	学術集会	福岡
	3月24日	第2回なにわハンドセラピィ研究会	学術集会	オンライン
	3月26日	コンバッテク主催　MEリカバリーワークショップ	研修会	大阪

開催日		発表、講演	テーマ	開催場所
2022年	4月16日～17日	第33回日本ハンドセラピィ学会学術集会	小指運動時における小指球筋と手関節屈筋の筋活動タイミングに関する筋電図学的検討	オンデマンド
	6月11日～12日	第28回日本心臓リハビリテーション学会	中小病院での心リハ実施における運動課題とその克服	沖縄
	6月11日～12日	第28回日本心臓リハビリテーション学会	高齢フレイル心疾患患者の集団リハにおける有効性の検証	沖縄
	7月7日～8日	第72回日本病院学会	高齢者心疾患患者の有効的な心臓リハビリテーション実施に向けた取り組み	島根
	9月17日～18日	日本作業療法士協会	骨折、炎症性疾患	オンライン
	10月7日	長野県南信地区ハンドセラピィ学会	拘縮に対するハンドセラピィ	オンライン
	11月1日	日本作業療法士協会	評価セミナー	オンライン
	11月2日	第2回長野県南信地区ハンドセラピィ協会	関節原性筋力低下	オンライン
	11月7日	第21回大阪病院学会	当院における心臓リハビリテーションの取り組みについて	大阪
	11月11日～12日	日本クリニカルパス学会学術集会	整形上司肩甲帯パスにおけるバリアンス分析とリハビリ実施状況の調査	岐阜
2023年	2月26日	高槻理学療法士会主催　大阪北支部新人症例発表会	左大腿骨頚部骨折受傷後に認めた低栄養に対し、多職種連携でアプローチした症例	大阪
	3月24日	第2回なにわハンドセラピィ研究会	Anatomy and Kinesiology of the wrist	オンライン
	3月24日	第2回なにわハンドセラピィ研究会	小指屈筋腱断裂の症例検討	オンライン
	3月29日	富田すこやかテラス　健康教室	フレイルに対するリハビリテーション	大阪

＜院外活動＞
大阪理学療法士協会　大阪北支部新人症例発表会実行委員
一般社団法人 高槻市理学療法士会　副会長(学術局理事)

(4)実習生受け入れ実績

実習期間	養成校名	学年/人数
2022年 6月 6日～2022年 7月29日	仏教大学　作業療法学科	4年/1名
2022年 6月13日～2022年 8月 6日	藍野大学　理学療法学科	4年/1名
2022年 7月25日～2022年 9月22日	京都医健専門学校　作業療法学科	4年/1名
2022年 8月29日～2022年 9月 2日	履正社医療スポーツ専門学校　理学療法学科	2年/1名
2022年 9月 5日～2022年 9月24日	関西医科大学　作業療法学科	2年/1名
2022年 9月 5日～2022年 9月 9日	大和大学　理学療法学科	2年/1名
2022年11月 7日～2022年12月 3日	藍野大学　理学療法学科	3年/1名
2023年 2月 6日～2023年 2月24日	大阪行岡医療大学　理学療法学科	3年/1名
2023年 2月27日～2023年 3月 4日	大阪川崎リハビリテーション大学　理学療法学科	1年/1名

■リハビリテーション科　カンファレンス・ミーティング

毎日　リハビリテーション科全スタッフ　モーニングミーティング

毎週火曜日　リハビリテーション科内　カンファレンス（リハ医、PT、OT）

4F　毎週水・土曜日（退院支援カンファ）

5F　毎週火曜日（退院支援カンファ）木曜日（外科カンファ）金曜日（緩和カンファ）

6F　毎週水曜日（退院支援カンファ）

7F　毎週火曜日（循環器カンファ）

HCU　毎日（早期離床、早期リハビリテーションカンファ）

(5)月別・理学療法実績

2022年度			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運動器															
入院	Ⅰ	単位	1,297	1,307	1,615	1,450	1,188	1,416	1,367	1,371	1,354	1,328	1,353	1,422	16,468
外来	Ⅰ	単位	1,059	1,147	1,245	1,177	1,232	1,203	1,269	1,444	1,329	1,147	1,373	1,519	15,144
単位数			1,059	1,147	1,245	1,177	1,232	1,203	1,269	1,444	1,329	1,147	1,373	1,519	31,612
呼吸器															
入院	Ⅰ	単位	167	175	111	94	100	105	147	201	119	311	281	287	2,098
外来	Ⅰ	単位	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
単位数			167	175	111	94	100	105	147	201	119	311	281	287	2,098
脳血管															
入院	Ⅱ	単位	50	16	37	37	0	0	17	37	59	18	52	55	378
外来	Ⅱ	単位	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
単位数			50	16	37	37	0	0	17	37	59	18	52	55	378
早期リハ															
件数			2,330	2,176	2,141	2,274	1,534	2,204	2,281	2,225	2,100	1,850	2,185	2,165	25,465
初期加算															
件数			1,510	1,224	1,370	1,313	949	1,351	1,404	1,417	1,320	968	1,478	1,356	15,660
摂食機能療法															
件数			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外来リハビリテーション診療料															
1	件数		1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
2	件数		266	301	281	299	294	287	262	288	241	247	269	315	3,350
単位数			267	301	281	299	294	287	262	288	242	247	269	315	3,352
がんリハ															
入院	単位		190	199	331	155	215	201	186	115	82	106	110	115	2,005
外来	単位		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
単位数			190	199	331	155	215	201	186	115	82	106	110	115	2,005
廃用症候群リハ															
入院	Ⅱ	単位	793	607	641	744	534	581	856	554	530	531	489	555	7,415
外来	Ⅱ	単位	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
単位数			793	607	641	744	534	581	856	554	530	531	489	555	7,415
心リハ															
入院	Ⅰ	単位	194	183	146	140	109	131	102	77	93	129	117	108	1,529
外来	Ⅰ	単位	506	461	326	452	354	384	375	451	351	244	350	329	4,583
単位数			700	644	472	592	463	515	477	528	444	373	467	437	6,112

リハビリテーション総合計画　3,474件
退院時リハビリテーション指導　848件
精密知覚機能検査　278件
装具作成　648件
早期離床・リハビリテーション加算　458件（2022.6～2023.3）

30. 地域医療連携室（1）市町村別 登録医届出数

高槻市	220
茨木市	185
摂津市	17
その他の市町村	61
合計	483

（令和5年3月末）

（2）登録医新規届出数

2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新　規	4	4	0	1	0	2	2	0	0	1	2	0	16
閉　院	1	0	1	0	1	2	3	0	0	1	0	0	9
届出総数	479	483	482	483	482	482	481	481	481	481	483	483	

（3）紹介患者総数

2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
紹介患者総数	1,291	1,227	1,291	1,122	1,152	1,139	1,245	1,202	1,174	1,103	1,173	1,310	14,429
再掲）うち入院紹介患者数	391	36	352	308	346	348	348	350	317	298	354	334	3,782
再掲）うち外来紹介患者数	580	570	565	537	519	540	574	529	528	509	514	636	6,601
再掲）うち検査紹介患者数	421	401	479	382	399	380	449	452	439	400	424	473	5,099

注）紹介患者総数は、外来・入院・検査の重複カウントを避け主目的に1件としてカウントしていること。
注）ここでの紹介患者数は、初再診に係らず紹介状を持参する等の患者数であること。

（4）登録医紹介患者数

2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録医紹介患者総数	1,072	989	1,051	902	925	941	1,022	1,012	946	867	916	1,062	11,705
再掲）うち入院紹介患者数	331	301	291	249	274	291	285	288	255	236	267	265	3,333
再掲）うち外来紹介患者数	412	395	393	374	347	379	402	381	343	329	340	442	4,537
再掲）うち検査紹介患者数	406	368	450	358	386	371	431	436	419	382	402	449	4,858
入院紹介登録医実数	139	140	122	121	130	124	135	121	116	116	116	120	1,500
外来紹介登録医実数	137	134	132	121	115	133	144	129	118	121	117	139	1,540
検査紹介登録医実数	75	66	81	76	68	79	78	78	72	68	79	81	823

注）登録医紹介患者総数及び紹介登録医実数は、外来・入院・検査の重複カウントを避け主目的に1件としてカウントしていること。
注）ここでの紹介患者数は、初再診に係らず紹介状を持参する等の患者数であること。

（5）登録医回診数

2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回診延べ回数	4	3	0	5	2	4	8	6	0	2	6	8	48
被回診患者実数	3	3	0	4	2	4	7	6	0	2	4	8	43
回診登録医実数	3	2	0	2	2	3	4	4	0	1	2	3	26

（6）介護・福祉施設・その他医療機関からの紹介患者数

2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護福祉施設その他医療機関からの紹介患者数	219	238	240	220	227	198	223	190	228	236	257	248	2,724
再掲）うち入院紹介患者数	60	60	61	59	72	57	63	54	62	62	87	69	766
再掲）うち外来紹介患者数	168	175	172	163	172	161	172	148	185	180	174	194	2,064
再掲）うち検査紹介患者数	15	33	29	24	13	9	18	16	20	18	22	24	241

注）紹介患者総数は、外来・入院・検査の重複カウントを避け主目的に1件としてカウントしていること。
注）ここでの紹介患者数は、初再診に係らず紹介状を持参する等の患者数であること。

（7）逆紹介数

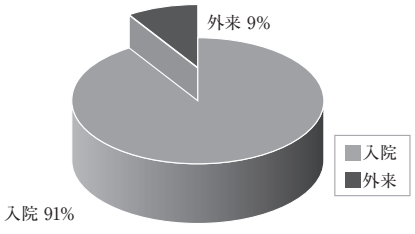
2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
逆紹介患者数	443	459	465	452	438	447	505	460	521	421	510	541	5,662

注）逆紹介患者数は、診療情報提供料に基づく件数であること。

（8）MSW業務実績

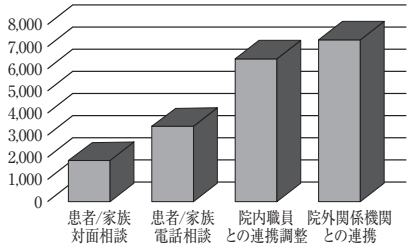
入外別・相談患者数

2022年度	実績	%
入　院	999	91%
外　来	99	9%
合　計	1,098	100%



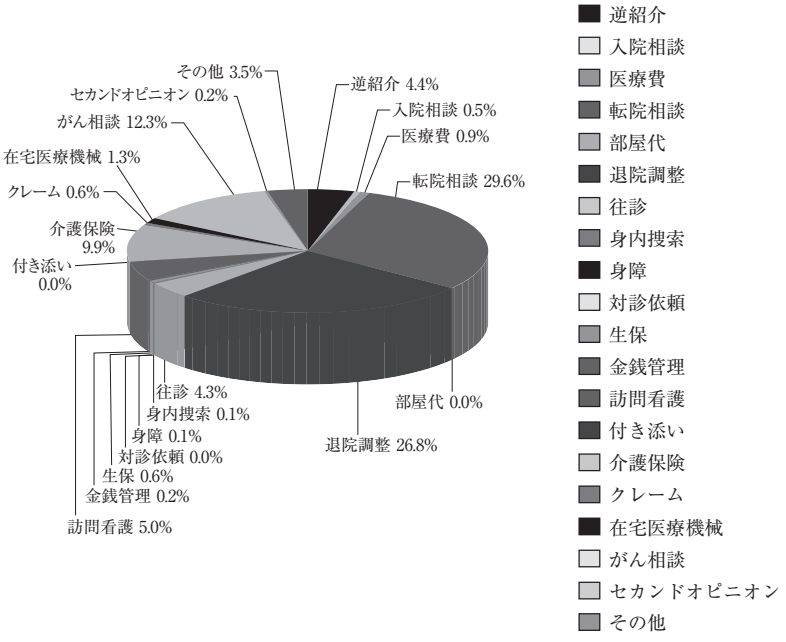
援助形態別・のべ相談件数

患者/家族 対面相談	1,866	9.9%
患者/家族 電話相談	3,393	18.0%
院内職員との連携調整	6,431	34.0%
院外関係機関との連携	7,202	38.1%
合　計	18,892	100.0%



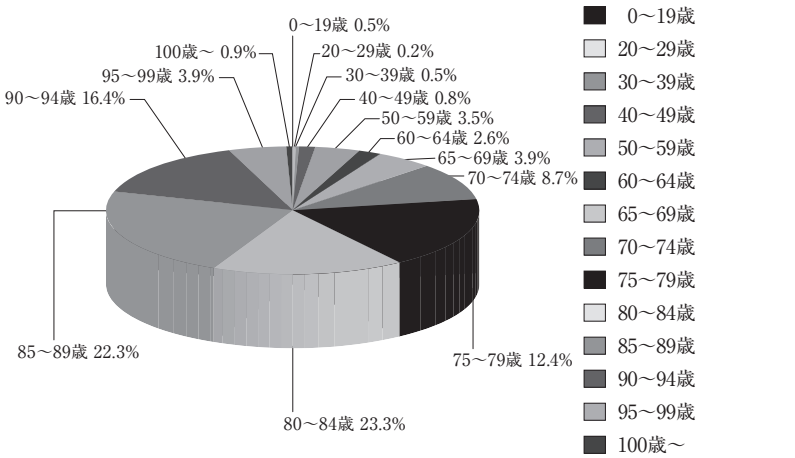
相談内容別・のべ相談件数

相談内容	件数	%
逆紹介	84	4.4%
入院相談	9	0.5%
医療費	18	0.9%
転院相談	567	29.6%
部屋代	0	0.0%
退院調整	514	26.8%
往診	82	4.3%
身内捜索	1	0.1%
身障	1	0.1%
対診依頼	0	0.0%
生保	11	0.6%
金銭管理	4	0.2%
訪問看護	95	5.0%
付き添い	0	0.00%
介護保険	189	9.9%
クレーム	11	0.6%
在宅医療機械	25	1.3%
がん相談	236	12.3%
セカンドオピニオン	3	0.2%
その他	67	3.5%
合　計	1,917	100.0%



年齢別・相談患者数

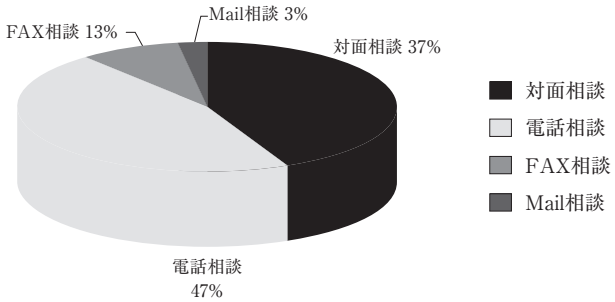
年齢別	患者件数	%
0〜19歳	6	0.5%
20〜29歳	2	0.2%
30〜39歳	5	0.5%
40〜49歳	9	0.8%
50〜59歳	38	3.5%
60〜64歳	29	2.6%
65〜69歳	43	3.9%
70〜74歳	96	8.7%
75〜79歳	136	12.4%
80〜84歳	256	23.3%
85〜89歳	245	22.3%
90〜94歳	180	16.4%
95〜99歳	43	3.9%
100歳〜	10	0.9%
合　計	1,098	100.0%



がん相談件数

がん相談患者数合計：177 人

相談方法	件数	%
対面相談	296	37%
電話相談	376	47%
FAX相談	106	13%
Mail相談	24	3%
合　計	802	100%



(9)登録医向け情報誌「Link」発刊実績

Vol.266　2022.4-6
- ● 2022 年度新体制のご案内
  ～ 多職種による病院経営参画に向けて ～
- ●新入職員のご紹介
  医師・地域医療連携室

Vol.267　2022.6-7
- ●小児科のご紹介
  一般診療から専門外来まで、幅広く対応します
  部長　八上 隆行　専門外来：小児アレルギー
  医員　水谷 翠　専門外来：神経発達症、心身症
- ●木野 昌也 理事長　令和 4 年度「憲法記念日知事表彰」受賞
- ●登録医会議・懇親会開催のご案内

Vol.268　2022.10-11
- ●「The Best Doctors in Japan 2022-2023」
  理事長　木野 昌也
  副院長　植田 直樹
  副院長　森井 功
  病院長補佐　佐野村 誠
  循環器科部長　永松 航
- ●第 25 回 登録医会議　開催報告

Vol.269　2022.12
- ●整形外科 池田 邦明
  膝関節におけるトータルケアを目指します
  変形性膝関節症、スポーツ外傷

Vol.270　2023.1
- ● 2023 年度 北摂総合病院行動指針
  “Very Best Hospital を目指して” 道経一体経営
  新年のご挨拶
  理事長
  病院長
  病院長補佐 兼 看護部長
  病院長補佐 兼 事務局長
  地域医療連携室
  訪問看護ステーション
  ケアプランセンター
- ●新入職医師のご紹介

Vol.271　2023.3
- ●消化器内科 碕山 直邦
  消化器救急疾患から専門診療まで幅広く対応
- ●医師退職のお知らせ
- ●新たな認定看護師が誕生しました
- ●検査紹介・入院紹介時の際、送迎車をご利用ください

（10）登録医会議（COVID19の感染状況鑑み懇親会は中止）

＊令和 4 年 9 月 24 日（土）17 時より、大阪新阪急ホテル　2 階　花の間にて第 25 回登録医会議を開催。
＊当日参加者は、登録医 46 名、職員 40 名の合計 86 名。
＊会議講演内容
「北摂総合病院小児科の紹介～これからの小児科診療～」
……小児科部長　八上 隆行

「ひざの痛みに対する保存加療から手術加療について」
……整形外科　池田 邦明

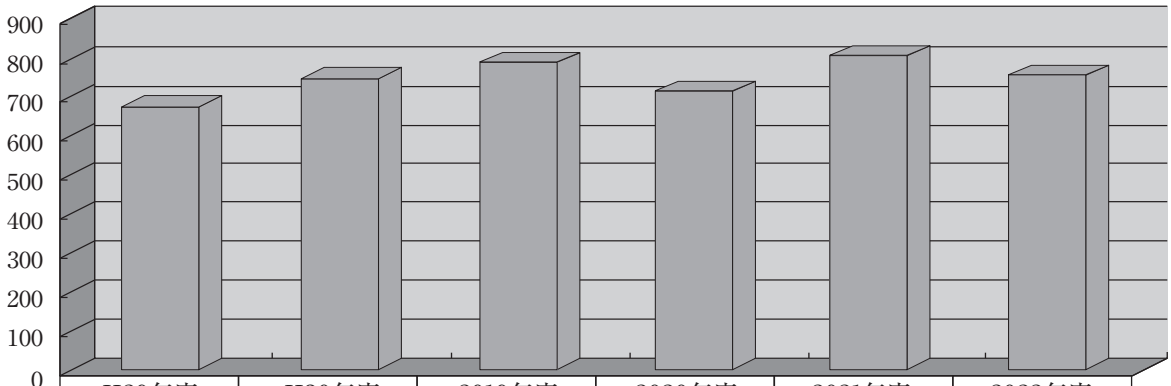
「冠動脈診療のご案内」
……循環器科部長　永松　航

31. 健康事業室（1）ドック種別・月別 受検者数

月別	日帰り人間ドック		脳ドック		肺癌ドック		乳癌ドック	PET健診		企業健診		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	女性	男性	女性	男性	女性	
4月	15	9	6	4	4	2	4			0	0	44
5月	25	5	8	4	6	3	5			0	0	56
6月	24	13	9	2	2	1	1			0	0	52
7月	23	11	2	0	0	0	3			9	9	57
8月	36	5	4	4	0	0	3			2	4	58
9月	31	10	8	6	1	0	8			1	0	65
10月	27	22	7	5	4	1	9			0	1	76
11月	24	16	9	4	3	1	4			0	0	61
12月	30	17	9	3	3	1	7			0	0	70
1月	26	21	8	3	5	2	11			0	0	76
2月	28	16	7	2	2	0	9			0	0	64
3月	34	22	5	4	1	2	10			0	0	78
小計	323	167	82	41	31	13	74			12	14	757
合計	490		123		44		74	0		26		

※脳ドック・肺癌ドック・乳癌ドック・PET健診は人間ドックとのセットも含む　※ドック経由の特定健診数は省く

ドック・企業健診受検者数（過去6年間の実績）



	H29年度	H30年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
受検者数	685	728	796	719	807	757

（2）人間ドック結果要精密検査数

総合判定要精密検査数	C		D		E		F		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
身体測定（身長・体重・BMI）	194	65	0	0	1	0	0	0	260
血圧	55	17	20	3	4	1	0	0	100
呼吸機能（肺機能検査・胸部X線）	77	37	9	4	1	0	0	0	128
聴力	26	5	62	10	0	0	0	0	103
循環器系検査（安静時心電図）	65	23	8	3	2	0	1	0	102
眼科（視力・眼底・眼圧）	21	14	51	18	0	0	39	19	162
腹部超音波検査	280	136	23	11	1	0	1	0	452
胃部検査（胃部X線・胃部内視鏡）	277	141	13	5	11	4	0	0	451
前立腺検査（PSA）	0		3		0		0		3
婦人科検査（子宮頚部細胞診・超音波）		5		11		1		0	17
大腸検査（便潜血）	0	0	9	8	0	0	0	0	17
血液検査	207	113	121	45	2	0	1	0	489
尿検査	32	46	15	15	0	0	11	2	121

判定基準　C：経過観察　日常生活に注意を要し、経過の観察が必要。医師の指導を。　E：要治療
D：再検・精検　異常を認め、再検査・精密検査が必要。必ず受診を。　F：治療中

(3)ドック種別 個人負担別受検者数

	日帰り人間ドック	脳ドック	肺癌ドック	乳癌ドック	PET検診	企業健診
全額自己負担	131	75	28	20		26
一部自己負担	252	42	12	39		0
自己負担なし	107	6	4	15		0
合　計	490	123	44	74		26

32. 栄養科

①月別食種別件数及び入外別栄養指導実績

月	食数（加算+非加算）	非加算	加算	栄養指導			
				入院	外来	集団実施	計
4	12,909	7,268	5,641	288	20	16	324
5	13,411	7,567	5,844	287	12	16	315
6	12,304	7,173	5,131	268	15	22	305
7	13,779	7,995	5,784	216	17	9	242
8	12,229	7,398	4,831	211	15	3	229
9	12,630	8,111	4,519	264	21	13	298
10	13,236	8,214	5,022	300	13	0	313
11	13,218	8,333	4,885	276	15	0	291
12	12,682	6,774	5,908	235	21	0	256
1	11,506	6,308	5,198	225	14	0	239
2	12,921	6,144	6,777	299	14	0	313
3	13,091	6,941	6,150	296	16	0	312
合計	153,916	88,226	65,690	3,165	193	79	3,437

②栄養士介入件数

月	件数
4	94
5	77
6	83
7	85
8	97
9	99
10	105
11	77
12	91
1	85
2	103
3	89
合計	1,085

③NST加算件数

月	件数
4	38
5	37
6	39
7	50
8	39
9	41
10	55
11	50
12	45
1	37
2	40
3	52
合計	523

④栄養サマリー作成数

月	件数
4	68
5	55
6	65
7	39
8	49
9	53
10	61
11	76
12	54
1	47
2	47
3	63
合計	677

⑤栄養情報提供加算数

月	件数
4	22
5	21
6	12
7	11
8	7
9	12
10	13
11	25
12	13
1	14
2	14
3	27
合計	191

⑥早期栄養介入加算件数

月	件数
4	
5	
6	
7	10
8	5
9	15
10	6
11	6
12	6
1	5
2	11
3	10
合計	74

33. 医療秘書係

診断書・証明書等代行記載実績

2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
発生数	402	357	396	461	422	363	430	413	395	357	403	412	4,811
代行数	401	357	396	461	419	363	429	413	394	357	403	410	4,803
代行率	99.8%	100.0%	100.0%	100.0%	99.3%	100.0%	99.8%	100.0%	99.7%	100.0%	100.0%	99.5%	99.8%

退院時サマリー代行記載実績

2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
発生数	462	439	458	422	394	416	438	418	468	330	427	461	5,133
代行数	402	383	396	381	364	394	406	373	448	313	395	425	4,680
代行率	87.0%	87.2%	86.5%	90.3%	92.4%	94.7%	92.7%	89.2%	95.7%	94.8%	92.5%	92.2%	91.3%

ORION救急情報登録実績（総件数:3,679件）

2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急搬入数	301	333	295	283	284	296	320	323	316	313	310	305	3,679

消化管病理診断 所見確認漏れ支援

画像診断　緊急確認所見報告実績（2022年5月から2023年3月）

全所見数	緊急所見数	緊急所見率
14,376	242	1.68%

消化管病理診断　positive/suspicious　所見報告実績

全所見数	pos. or sus.数	悪性所見率
1,915	287	15.0%

NCD登録実績（2022年1月~2022年12月）
（心臓血管外科手術2022年1月~12月）

対　象	登録数
外科手術	426
呼吸器外科手術	32
泌尿器科手術	80
J-PCI症例	112
J-EVT/SHD症例	39
心臓血管外科手術(PMI)	13
心臓血管外科手術(下肢静脈)	71
合　計	773

院内がん登録実績

（2022年診断症例）
登録件数
507

胃がん登録実績

（2022年診断症例）
登録件数
25

34. 訪問看護ステーション（1）利用状況

2022年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実訪問者数	135	135	145	143	145	134	137	125	119	123	125	124	1,590
訪問件数	568	518	627	620	119	525	579	510	493	477	443	507	5,986
介護保険利用者数	113	119	125	122	119	112	113	110	107	108	107	107	1,362
介護訪問回数	458	442	514	523	463	434	456	441	433	410	374	413	5,361
医療保険利用者数	22	16	20	21	26	22	24	15	12	15	18	17	228
医療訪問回数	110	76	113	97	102	91	132	69	60	67	69	94	1,080
新規件数	7	13	16	8	10	3	15	1	6	4	7	6	96
終了件数	10	13	5	10	15	9	17	10	4	6	6	3	108
入院等中断者	11	4	10	7	6	9	6	7	2	4	2	7	75
在宅死	4	2	1	2	3	1	4	4	1	3	0	0	25
病院死（末期以外も含む）	6	1	1	5	2	4	2	1	2	0	0	0	24
死後の処置件数	2	1	1	0	0	1	3	4	0	2	0	0	14

（2）実習受け入れ状況

学校名	実習期間
梅花女子大学看護学部	2022年 4月19日 ～ 27日　2名
	2022年 5月10日 ～ 19日　2名
	2022年 6月 7日 ～ 16日　2名
	2022年 6月21日 ～ 30日　2名
大手前国際看護学部 （在宅看護学実習）	2022年 6月 6日 ～ 10日　2名
	2022年 7月 4日 ～ 8日　2名
	2022年 7月19日 ～ 22日　2名
大阪医科薬科大学看護学部 （在宅看護学実習）	2022年 9月20日 ～ 30日　2名
	2022年11月 1日 ～ 11日　2名
	2022年12月 6日 ～ 16日　2名
	2022年 2月 7日 ～ 17日　2名

（3）地域活動

○大阪府訪問看護ステーション協会 三島ブロック副ブロック長　上戸照美

○健康教室　2022/6/17　富田地区公民館 「熱中症について」 上戸照美

2022/10/25　寿栄川添コミュニティーセンター 「かくれ脱水について」 上戸照美

35. ケアプランセンター（1）居宅介護支援・委託業務実績

	2022年									2023年			計（延）
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ケアプラン作成数	307	302	314	306	308	305	287	279	274	273	266	272	3,493
新規相談件数	31	39	30	23	21	36	22	34	28	22	30	34	350
（内訳）院内（病棟など）	28	30	26	17	18	31	17	29	25	21	25	27	294
地域包括支援センター	1	2	0	0	0	0	2	3	1	0	1	2	12
直接相談	1	5	4	4	2	3	3	2	1	1	4	2	32
登録医・他医療機関・施設	1	2	0	2	1	2	0	0	1	0	0	3	12
お断り（外部）	0	0	4	1	5	7	3	5	2	4	0	3	34

（2）地域活動（出前健康教室開催）

対象エリア―高槻市（柳川・寿栄川添・富田・女瀬川・津之江・芝生地区）
茨木市（三島・西河原・白川・庄栄・茨木東地区）

月	主催団体	講座内容	参加人数
5月	寿栄川添福祉委員	足の浮腫み・スキンケア	37 名
6月	富田地区福祉委員	熱中症対策	32 名
7月	寿栄川添福祉委員	熱中症対策	62 名
11月	寿栄川添福祉委員	認知症	63 名
11月	富田地区福祉委員	認知症	24 名
11月	茨木白川地区福祉委員	福祉用具	21 名
1月	寿栄川添福祉委員	減塩食のススメ	68 名
2月	富田地区福祉委員	お薬の飲み方について	25 名
3月	寿栄川添福祉委員	介護保険･福祉用具	52名
3月	当院主催	骨粗鬆症･リハビリ体操	50名

地域活動（健康だより配布）
配布枚数― 430 枚 / 月

月	テーマ･内容
4月	お口の健康
5月	自律神経の話（合併号）
6月	自律神経の話（合併号）
7月	ビタミンDの効果
8月	足の水虫について
9月	骨粗鬆症予防
10月	高齢者が秋に気を付けるべきポイント

11月	変形性膝関節症：自宅でできる運動療法
12月	骨折･転倒
1月	認知症予防
2月	がんの予防と早期発見
3月	花粉症対策って??

(3)他実績

○高槻市介護保険事業者協議会　理事（坂本）　居宅介護支援部会　部会長（坂本）
　防災対策部会　幹事（田村）
○認知症サポーター養成講座講師（吉田・樋尻）
○茨木市高齢者サービス事業所連絡会　相談支援部会　副部会長（坂本）
○三島圏域リハビリテーション連絡会　ケアマネジャー連絡会　役員（坂本）
○高槻・島本嚥下栄養研究会　世話人（坂本）
○富田・富田南・三箇牧地域包括支援センター　地域ケア会議参加（全員）

36. 各種委員会活動 (1)医療安全対策室／医療安全管理委員会

室　長 兼 医療安全管理委員会委員長　:竹内 徹（医療安全管理担当診療部部長）
副室長 兼 医療安全管理委員会委員　:松江 さつき（専従医療安全担当看護師看護師長）
:濱畑 耕造（放射線科係長）
医薬品安全管理責任者　:岩村 恭子（薬剤科係長）
医療機器安全管理責任者　:西村 岳洋（臨床工学科科長）
リスクマネジャー　:各所属に配置

1. 定例会議、及び委員会

医療安全管理委員会、及び医療安全対策室会議を毎月 1 回開催した。

2. 医療安全対策室の活動内容

院内各所から提出される「インシデント、アクシデントレポート」の原因分析、及び再発防止に関する検討を行い、防止策を立案し、医療安全管理委員会へ報告、提案
発生事例に応じて各関係職員と事例の検討会を実施
事故内容に対して、安全対策実施内容の決定と実施状況の評価
死亡事例報告書のチェック実施
画像診断報告書確認の実施
医局会において、事例検討実施
院内採用医療器具に対する安全管理面の評価
随時各部署のカンファレンスに参加
安全対策に関する周知の必要に応じて、経営幹部会や診療部医長会、医局会での伝達
全職員に対する安全管理必修研修会の実施（年 2 回）

3. 医療安全管理委員会の活動内容

医療安全対策会議より報告、提案された医療安全管理対策の評価、承認及び実行
状況に応じた事例検討会の開催

4. 医療安全対策地域連携ラウンドの実施

1-1 連携合同カンファレンス実施
2023 年 1 月・2 月　社会医療法人　愛仁会　高槻病院と相互評価を実施
1-2 連携合同カンファレンス実施
2023 年 4 月　　医療法人　庸愛会　富田町病院の評価を実施

5. 具体的決定事項

5 月　・臨床検査科と合同で、大型連休中の採血データに関する注意喚起
7 月　・医療安全ニュース「そのダブルチェック、大丈夫？」
2 人双方向型のダブルチェックを実施するよう再周知。
9 月　・医療安全ニュース「世界患者安全の日」

三島医療圏医療安全ネットワークと共催し、取り組みを実施。ポリファーマシーのポスター掲示やリーフレットの配布、職員のテーマカラーのオレンジ色マスクの着用

10 月　・医療安全ニュース「病棟薬品管理についてお知らせ」
病棟全ての予約カートがシャッター施錠付きに変更

11 月　・インシデントをもとに内視鏡で使用される、鎮痛・鎮静薬の組成量の見直し

12 月　・医療安全ニュース「もう一度、院内ルールの再確認」
「口頭指示メモの運用方法」「薬剤科からの注意喚起用紙」について再周知
・臨床検査科と合同で、大型連休中の採血データに関する注意喚起

3 月　・転倒危険回避器具の選定、導入

6. 院内安全管理研修会

①各部門、各職種対象

“ 新採用者オリエンテーション　医療安全管理について ”（新入職員・中途採用対象）
（講師：中島 典子　前医療安全対策室副室長）
2022 年 4 月 1 日

“ 看護新入職オリエンテーション　医療安全について ”
【医療安全概論】【薬剤管理】【弾性ストッキング装着管理】（看護部新採用者対象）
（講師：中島 典子　前医療安全対策室副室長）
2022 年 4 月 5 日

“ 看護補助研修　看護補助者の役割と責任について　日常に潜むリスクの理解 ”（看護補助対象）
（講師：松江 さつき　医療安全対策室副室長）
2022 年 10 月 7 日・17 日

“ 新採用者フォローアップ研修　ノンテクニカルスキルについて ”（新入職員対象）
（講師：松江 さつき　医療安全対策室副室長）
2022 年 10 月 12 日・27 日

“ 中途採用者オリエンテーション　医療安全について ”（全職種中途採用対象）
（講師：松江 さつき　医療安全対策室副室長）
2022 年 12 月 1 日

②全職員対象

○医療従事者必修研修　年 2 回

・「医療安全情報（報告書管理体制加算・世界患者安全の日）」
（講師：松江 さつき　医療安全対策室副室長）
2022 年 9 月・e- ラーニング

・「発生した院内事例から対策を学ぶ」
（講師：松江 さつき　医療安全対策室副室長）
2023 年 2 月・e- ラーニング

③ Web 配信視聴研修

・医療安全研修会 「世界患者安全の日－薬害の防止や軽減－」

（三島医療圏医療安全ネットワーク共催）
ZOOM　ウェビナー形式

7. 学会・講演会等参加、他院外医療安全活動実績

◎全日本病院協会　第 1 回　医療事故調査制度事例検討研修会

2022 年 8 月 6 日
松江 さつき　医療安全対策室副室長

◎全日本病院協会　第 1 回　院内医療事故調査の指針　事故発生時の適切な対応研修会

2022 年 9 月 24 日
松江 さつき　医療安全対策室副室長

◎日本医療機能評価機構　認定病院患者安全推進協議会　第 1 回　薬剤安全セミナー

2022 年 10 月 15 日
松江 さつき　医療安全対策室副室長

◎日本医療安全調査機構　中小規模の医療機関における医療事故調査の実際と今後に向けて

2022 年 12 月 12 日
松江 さつき　医療安全対策室副室長

◎医療の質・安全学会　第 17 回　医療の質・安全学会学術集会

2022 年 11 月 26・27 日
松江 さつき　医療安全対策室副室長

◎大阪府医師会　医療安全推進指導者講習会

2022 年 12 月 10 日、2023 年 1 月 21 日
松江 さつき　医療安全対策室副室長

◎日本医療機能評価機構　第 3 回　医療事故調査・支援センター主催研修

2023 年 2 月 28 日
松江 さつき　医療安全対策室副室長

◎日本医療機能評価機構　認定病院患者安全推進協議会　患者安全推進全体フォーラム

2023 年 3 月 4 日
松江 さつき　医療安全対策室副室長

◎大阪府看護協会　医療安全管理者フォローアップ研修

2023 年 3 月 28 日
松江 さつき　医療安全対策室副室長

◎大阪府医師会　医療安全推進指導者講習会

2023 年 1 月 21 日
西村 岳洋　臨床工学科科長

◎医療機器安全基礎講習会

2022 年 9 月 7 日
首藤 隆太　臨床工学技士

◎医薬品安全管理責任者等講習会（基礎編）

2022 年 6 月 11 日

岩村 恭子　医薬品安全管理責任者

◎医薬品安全管理責任者等講習会（一般編）

2023 年 1 月 21 日

岩村 恭子　医薬品安全管理責任者

◎府北支部医療安全交流会　ZOOM 開催

2022 年 6 月 15 日、9 月 21 日、12 月 19 日、2023 年 3 月 15 日

松江 さつき　医療安全対策室副室長

◎三島圏域医療安全ネットワーク会議　ZOOM 開催

2022 年 6 月 3 日、8 月 5 日、8 月 29 日、2023 年 3 月 13 日

竹内 徹　医療安全対策室室長

松江 さつき　医療安全対策室副室長

8. 医療事故統計（2022 年度）

2022 年 4 月～ 2023 年 3 月報告件数

インシデント：1,045 件　アクシデント：10 件　合併症報告：19 件　　計：1,074 件

	投薬 点滴	転倒 転落	治療 関係	ライン トラブル	検査 関係	手術 関係	医療 機器	事務 関係	その他	合併症 報告	合 計
インシデント	311	192	133	151	73	33	37	17	98	0	1,045
アクシデント	1	5	4	0	0	0	0	0	0	0	10
合併症報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	19
合 計	312	197	137	151	73	33	37	17	98	19	1,074

(2)クリニカルパス委員会

1998年にクリニカルパス委員会を立ち上げ、24年が経過した。2022年度は、既存クリニカルパスの見直しを行うと共に、新規パスの作成･修正の効率化をはかった。第36回クリニカルパス大会を開催し、「クリニカルパスについて／委員会の活動」や「整形外科上肢手術後の入院中のリハビリテーション」について発表した。今後も新規パス作成、現行のパス改訂のスピードアップを図りながら、新たに院内の様々な職種による、エビデンスや最新の知識を取り入れた多職種連携パスの作成を目指していきたい。

委 員 長　福井 浩一（整形外科 リハビリテーション部長）
副委員長　山中 清香（レディースフロア病棟　看護係長）
事 務 局　黒岩 正司（医療情報課 課長）
　　井貫 由美子（地域医療連携室 主任）
メンバー　各部署に配置

＊定例委員会

毎月第3火曜日　14：30 ～ 15：30

＊グループ活動内容

- バリアンス分析：　バリアンス発生事例を集計し、内容を分析。必要に応じパス見直しを検討。
- 監査：　マニュアルに沿って入力、運用できているかを定期的にチェックし、報告を行う。
- マニュアル改訂：　パスに関する院内マニュアルを定期的に見直し、適宜改訂。
- パス大会・パス学会推進：院内パス大会や日本クリニカルパス学術集会への演題発表の推進・支援を行う。
- 委員教育：　パス委員会内部でパスへの知識や理解を深め、院内への普及やチーム医療の推進を図る。
- 教育ツール作成：　委員教育、委員の知識向上に有効なツールの開発、運用
- 現行パス見直し：　現行パス等の見直し、改訂を行う。

＊クリニカルパス大会

◆第36回 クリニカルパス大会

2023年3月29日（水）17：00 ～ 18：00　3階多目的ホール

●クリニカルパスについて／クリニカルパス運営委員会の活動

看護部　レディースフロア　山中 清香

●整形外科上肢手術後の入院中のリハビリテーション

診療技術部　リハビリテーション科　遠近 太郎

表1. 電子パスシステム　適用パス一覧（2022）

診療科名	クリニカルパス名称	集計
【一般・消化器外科】	OV CV ポート（中心静脈リザーバー留置術）パス	4
	OV ソケイヘルニア根治術パス（2 泊 3 日）	66
	OV ソケイヘルニア根治術パス（3 泊 4 日）	24
	OV 虫垂炎パス	49
	OV 腹腔鏡下胆嚢摘出術パス	87
	システクパス	1
	新型コロナウイルス感染症パス _ 改訂版	2
	大腸切除 ERAS パス	90
	卵巣、卵管、子宮婦人科 OP（開腹）	1
	肛門疾患パス	7
一般・消化器外科　集計		331
【眼科】	OV 白内障 1 泊 2 日パス	113
	OV 白内障日帰り（短期滞在手術）パス	205
眼科　集計		318
【呼吸器外科】	気胸パス	14
	新型コロナウイルス感染症パス _ 改訂版	4
	肺切除術パス	13
	OV 整形上肢・肩甲帯パス	1
呼吸器外科　集計		32
【呼吸器内科】	BFS 6 階	41
	OV PSG（睡眠時無呼吸検査）パス	14
	新型コロナウイルス感染症パス _ 改訂版	17
	大腸切除 ERAS パス	1
	肺切除術パス	1
呼吸器内科　集計		74
【循環器内科】	BFS 6 階	1
	OV 下肢血管形成術パス	18
	OV 心臓カテーテル（CAG 上肢）パス	40
	OV 心臓カテーテル（PCI 上肢）パス	48
	OV 心臓カテーテル（緊急 PCI 上肢）パス	5
	OV 整形上肢・肩甲帯パス	1
	OV 腹腔鏡下胆嚢摘出術パス	1
	アブレーションパス	28
	ジェネレーター交換術パス（当日入院）	15
	新型コロナウイルス感染症パス _ 改訂版	86
	大腸切除 ERAS パス	1
循環器内科　集計		244

診療科名	クリニカルパス名称	集計
【小児科】	OV 小児腸管感染症（体重 10kg）パス	3
	OV 小児腸管感染症（体重 15kg）パス	1
	OV 小児腸管感染症（体重 20kg）パス	2
	OV 小児腸管感染症（体重 8kg）パス	1
	OV 小児肺炎気管支炎（体重 08kg 散剤）パス	1
	OV 小児肺炎気管支炎（体重 08kg 水薬）パス	5
	OV 小児肺炎気管支炎（体重 10kg 水薬）パス	5
	OV 小児肺炎気管支炎（体重 15kg 散剤）パス	1
	OV 小児肺炎気管支炎（体重 15kg 水薬）パス	3
小児科　集計		22
【消化器内科】	BFS 6 階	1
	OV CV ポート（中心静脈リザーバー留置術）パス	20
	OV ソケイヘルニア根治術パス（2 泊 3 日）	1
	OV ポリペクパス（成人用・1 泊 2 日）	242
	OV ポリペクパス（成人用・2 泊 3 日）	8
	OV 下肢血管形成術パス	1
	OV 整形下肢手術パス	1
	OV 大腿骨近位部骨折 骨接合パス	1
	OV 腹腔鏡下胆嚢摘出術パス	2
	新型コロナウイルス感染症パス _ 改訂版	96
	大腸切除 ERAS パス	7
消化器内科　集計		380
【心臓血管外科】	下肢静脈瘤血管内焼灼術パス	12
	下肢静脈瘤血管内焼灼術パス（当日入院）	38
	下肢静脈瘤手術パス（日帰り）	11
心臓血管外科　集計		61
【整形外科】	（当日OP）整形下肢手術パス	21
	（当日 OP）整形上肢・肩甲帯パス	96
	OV（当日 OP）整形手根管パス	41
	OV（当日 OP・小児用）整形上肢・肩甲帯パス	17
	OV（当日小児）整形下肢パス	4
	OV 小児・整形下肢パス	11
	OV 小児・整形上肢・肩甲帯パス	15
	OV 整形下肢手術パス	168
	OV 整形上肢・肩甲帯パス	298
	OV 大腿骨近位部骨折 骨接合パス	109
	OV 大腿骨頸部骨折 BHA・THA パス	90
	胸腰椎移行部固定術パス	9

診療科名	クリニカルパス名称	集計
【整形外科】	胸椎固定術パス	11
	腰椎固定術パス	30
	腰部脊柱管狭窄症手術（固定なし）パス	24
	新型コロナウイルス感染症パス _ 改訂版	10
	人工膝関節置換術パス	27
整形外科　集計		981
【総合内科】	OV CV ポート（中心静脈リザーバー留置術）パス	1
	新型コロナウイルス感染症パス _ 改訂版	28
総合内科　集計		29
【糖尿病・内分泌内科】	OV（当日 OP）整形手根管パス	1
	OV 整形上肢・肩甲帯パス	1
	OV 大腿骨近位部骨折 骨接合パス	1
	OV 腹腔鏡下胆嚢摘出術パス	1
	新型コロナウイルス感染症パス _ 改訂版	9
糖尿病･内分泌内科　集計		13
【泌尿器科】	（訂正版）TUR-Bt パス	79
	新型コロナウイルス感染症パス _ 改訂版	3
泌尿器科　集計		82
【婦人科】	OV CV ポート（中心静脈リザーバー留置術）パス	1
	TLH LAVH LM パス（5 泊 6 日）	19
	システクパス	22
	卵巣、卵管、子宮婦人科 OP（開腹）	9
	腟式手術パス（2 泊 3 日）	34
婦人科　集計		85
総　計		2,652

(3)院内学会運営委員会

第14回目の「北摂総合病院　院内学会」は、2023年1月22日（日）に開催された。今回も昨年同様に新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から院内開催となり、密を避ける為にメイン会場とサテライト会場（3箇所）を設けてZoomを用いたハイブリッド開催となった。参加職員数127名、発表数26演題となり、各部署から医療の質の向上を目指して1年間取り組んできた改善活動や研究成果の発表が全職員を挙げて行われた。開催は参加者による積極的な質疑応答がなされた。

1. 委員会メンバー

○運営委員メンバー

委員長　　植田 直樹

事務局　　早川 小織、大森 尚樹、上松 健司、黒岩 正司

2. 定例会

運営委員会　第1月曜日　16：00から17：00

3.　第14回　北摂総合病院　院内学会

最優秀賞：臨床検査科

優秀賞　：訪問看護ステーション

入賞①　：栄養科

入賞②　：循環器センター

入賞③　：救急推進担当

入賞④　：クリニカルパス運営委員会

発表順番・テーマー覧表

発表順	部署名	テーマ
1	RRT	院内急変を減少させるために　～多職種で取り組む急変予防～
2	資材器財課	入院セット導入効果
3	ケアプランセンター	認知症高齢者の在宅支援継続に向けての取り組み
4	循環器センター	病棟看護師の職場ストレスの実態調査　～働きやすい職場環境を目指して～
5	放射線科	CTにおける心筋評価、ECV検査の最適化に向けて
6	救急推進担当	院内救急救命士による搬送事例報告 ～呼吸器を使用した患者を安全に、転院搬送を実施した1事例～
7	訪問看護ステーション	訪問看護師によるACPの啓発への取り組み
8	クリニカルパス運営委員会	上肢肩甲帯パスにおけるバリアンス分析とリハビリ実施状況の調査
9	外来フロア	「質の高い内視鏡スタッフ教育を目指して」　～新たな教育ツールの活用～
10	薬剤科	入院患者の持参薬状況とポリファーマシーに対する取り組み

11	地域医療連携室	MSWの介入事例から見る当院のがん相談支援と課題
12	ICU救急フロア	ICUに入室した非挿管患者における標準化した口腔内評価と 口腔ケアプロトコール介入による口腔内環境の実態調査
13	栄養調理科	安心･安全な食事提供に向けて
14	中央手術センター	手術部位誤認防止に向けた手術部位マーキングの導入と実施状況の報告
15	リハビリテーション科	当院における手術施行がん患者のリハビリテーション
16	栄養委員会	2013年から当院で開始した術前経口摂取における安全性の評価
17	栄養科	セレクト食の評価とがん及び食欲不振患者のより良い栄養管理に向けて
18	臨床検査科	肝炎ウイルス検査陽性患者全員へ適切な対応を
19	臨床工学科	血液浄化センターで更新された日機装社製多用途透析用監視装置（DCS-200Si）の 機能紹介と今後の活用について
20	虐待防止チーム	虐待防止における医療機関の役割
21	消化器センター	夜勤前残業の変革
22	レディースフロア	コロナ禍での看取り
23	呼吸器センター	看護師の業務とストレスの関係　～業務改善からストレスの軽減を図る～
24	整形小児フロア	整形外科病棟での退院支援の取り組み ―効果的な退院支援を継続するためのシステム化―
25	病院サービス課	オンライン資格確認導入～マイナンバーカードによる保険証確認～
26	診療部 整形外科	整形外科手術後に嘔気･嘔吐で発症しアンダートリアージになった小脳梗塞の小経験 ―オーバートリアージのススメ―

（4）感染防止対策室・院内感染対策委員会

・感染防止対策室（ICT/AST 兼）

室長　貴島 源一（医師 ICD）
副室長　馬場 恵美（専従看護師）
副室長　笹井 文子（専従看護師）
室員　大貫 さほ（臨床検査技師）
小野原 直樹（臨床検査技師）
高田 奈央（薬剤師）

・ICT メンバー

越智 薫（医師）
小野原 直樹（臨床検査技師）
杣友 幹彩（薬剤師）
大坂 佳史（薬剤師）
松永 博子（看護補助）

・ICM メンバー

各部署に 1 名配置

当院は、1994 年に院内感染対策委員会、2011 年に ICT（Infection Control Team）、2014 年度に ICM（Infection control Manager）委員会を組織し、2018 年度からは、抗菌薬適正使用支援を目的とした AST（Antimicrobial Stewardship Team）を配置し、院内感染対策推進のため組織的に取り組んでいる。

2022 年度は、感染対策向上加算 1 を取得し、2020 年から対応している新型コロナウイルス（COVID-19）感染症対策と並行して行ってきた感染対策巡回や直接観察、および外来や地域を含めた AST 活動を継続し、感染対策実践の評価を行うことを目標とする。

2022 年の主な活動内容

1. 院内感染対策委員会（毎月 1 回：計 12 回実施）
   毎月：耐性菌発生状況、COVID-19 発生状況と対策、病院の方針等について周知・決定
2. 院内感染発生時のコンサルテーション・指導
3. 院内感染防止マニュアルの適宜改訂、実施内容の指導・監督（特に COVID-19 対策）
4. 抗菌薬適正使用ガイドライン改訂
5. 各種サーベイランスの実施
   手術部位感染（SSI：JANIS）、中心ライン関連血流感染（CLABSI）、薬剤耐性菌
   手指消毒回数、個人防護具使用量、インフルエンザ・感染性胃腸炎（流行期）
   針刺し損傷・皮膚粘膜曝露、抗菌薬使用量、血液培養 2 セット率
   2022.3 ～カテーテル関連尿路感染ターゲットサーベイランス開始
6. 耐性菌情報の発行（週報作成、毎週グループウェア更新）とアンチバイオグラム作成
7. 各種ラウンドおよび巡回
   AST ラウンド計 52 回（毎週火曜：抗菌薬適正使用・耐性菌・無菌材料からの培養陽性例など）
   ICT 環境ラウンド（毎週火曜―ICT 院内巡回）
   ICM ラウンド（毎月 1 回各部署：手指衛生手順と 5 つのタイミング唱和、PPE の着脱手順）
8. 薬事審議会での抗菌薬新規採用・削除
   新規採用薬：タゾバクタム・セフトロザン（TAZ/CTLZ ザバクサ）2022.12 ～
   削除薬：セフォタキシム（CTX セフォタックス）2022.4 ～
9. 患者・家族・地域住民および医療従事者等の感染対策指導、対応
10. 病院職員への教育（e- ラーニング含む）

ICT/AST 必修研修　9/15-10/14「新型コロナ対策を振り返ろう＆薬剤耐性菌対策について考えよう」（544/554 名受講　受講率 98.2%）
2/1-2/28「標準予防策と抗菌薬適正使用」（528/538 名受講　受講率 98.1%）

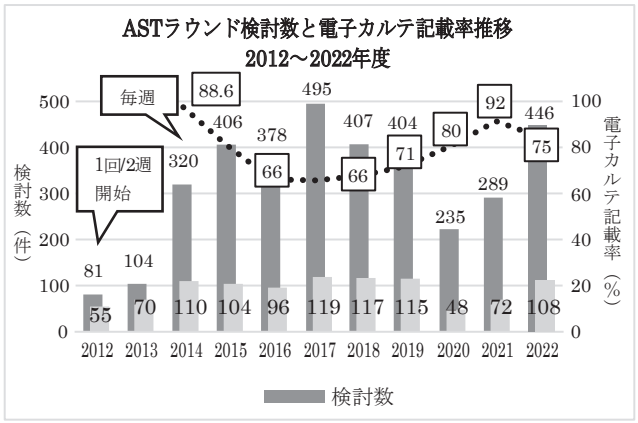
11. ICT ★ NEWS の発行（7 回）
Vol.36「正しい手指衛生でみんなを守ろう！！」
Vol.37「針刺し事故報告が増えています！」
Vol.38「新型コロナウイルス感染症」
Vol.39「廃棄物 - 正しく処理して安全に廃棄する -」
Vol.40「問診重要！いつでも・誰でも！」
Vol.41「インフルエンザ注意報」
Vol.42「ユニバーサルマスキング」

12. 感染防止対策加算に係る連携病院とのカンファレンスの主催
1-1 連携相互ラウンド：みどりヶ丘病院（2022/1/13）
1-2.3 連携カンファレンス：三島南病院・富田町病院（6/9,10/25,12/1,2/16 計 4 回実施）
北摂四医師会感染対策ネットワーク看護部世話人会出席（2022/3/27）

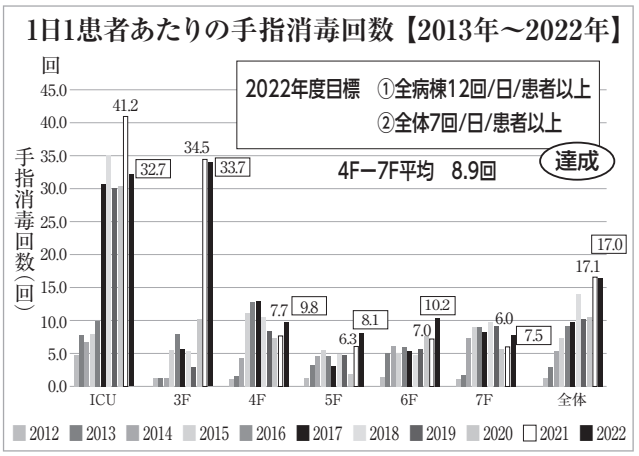
13. 学会・研究会・講習会参加
2022/ 1/28- 1/30　第 33 回臨床微生物学会総会・学術集会参加　大貫さほ
2022/11/ 3-11/ 5　第 70 回日本化学療法学会西日本支部総会参加　杣友幹彩
2022/ 5/25,12/24　第 46 回 47 回 SCANIC 学術研究会参加　小野原直樹
2023/ 1/12　道場山本の「ちょっと！これっ教えて」　小野原直樹

14. 新型コロナウイルス感染症対策
2022/ 4/30　帰国者接触者外来の終了（高槻市保健所指示）
8/ 5　患者の 4 回目ワクチン接種開始
8/18　6F 呼吸器センターに院内発生患者病床（6）と濃厚接触者病床（2）を確保
8/24　職員の 4 回目ワクチン接種開始
9/ 1　cobas Liat 導入（コロナ、インフル同時検査キット）
2023/ 3/ 6　職員の濃厚接触者健康観察期間と出勤開始日の見なおし（短縮）
3/ 9　陽性入院患者の隔離基準や濃厚接触者健康観察期間の見なおし（短縮）
3/27　面会禁止から一部制限付き面会へ緩和

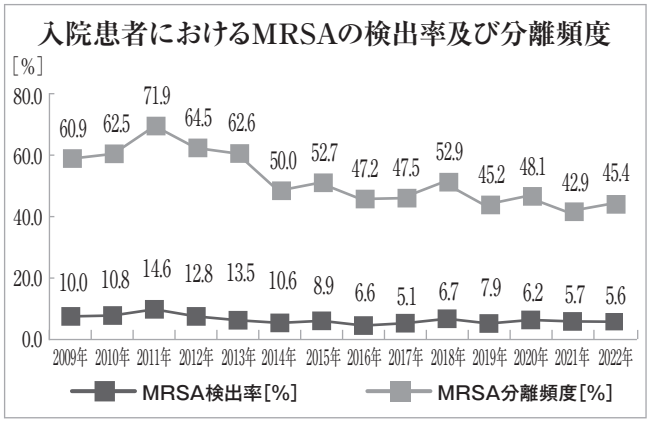
1.AST ラウンド実績（ICT 巡回同日開催）



2.1 日 1 患者当たりの手指消毒回数推移

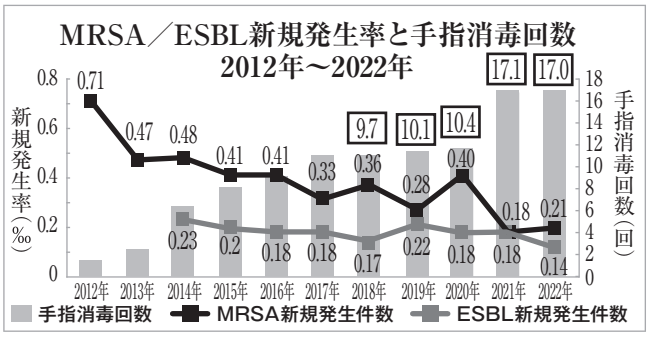


3. 入院感患者における MRSA 検出率及び分離頻度



MRSA 検出率[%] =MRSA 検出患者数 / 検体提出患者数
MRSA 分離頻度[%] =MRSA 検出患者数 / S.aureus 検出患者数

4. 入院患者における MRSA/ESBL 産生菌新規発生率と手指消毒回数の比較

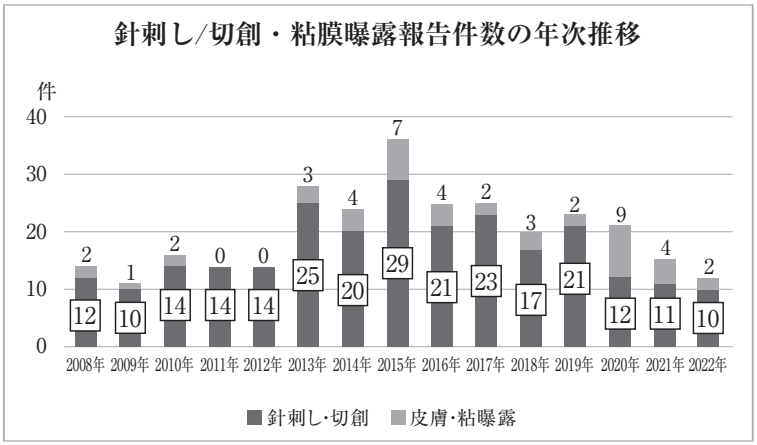


MRSA新規発生率[‰]=(MRSA新規検出件数/のべ入院患者数)/1000

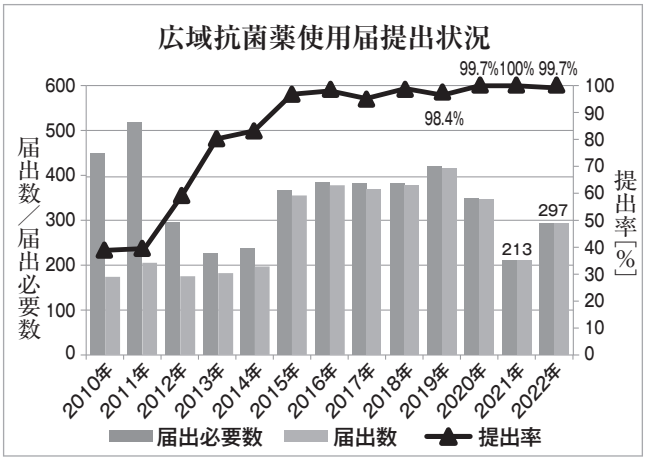
【1～4.評価】手指消毒回数はコロナ禍の影響で大幅に増加した。それ以外の一般病棟においてもクラスターなどの関連で増加し目標を達成した。急性期病院であることを考慮するとまだまだ少なく、改善の余地はあるが、耐性菌のアウトブレイクには至っていない。AST ラウンドは件数が回復してきた。

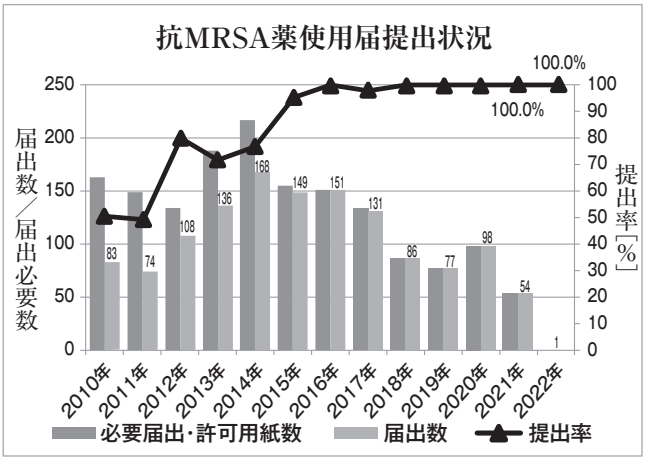
5. 針刺し損傷・皮膚粘膜曝露件数推移

【評価】コロナ禍でアイシールドを装着する機会が増え、粘膜曝露事例は激減した。針刺しも少なく、近年は患者が関与する咬傷が増加している傾向にある。

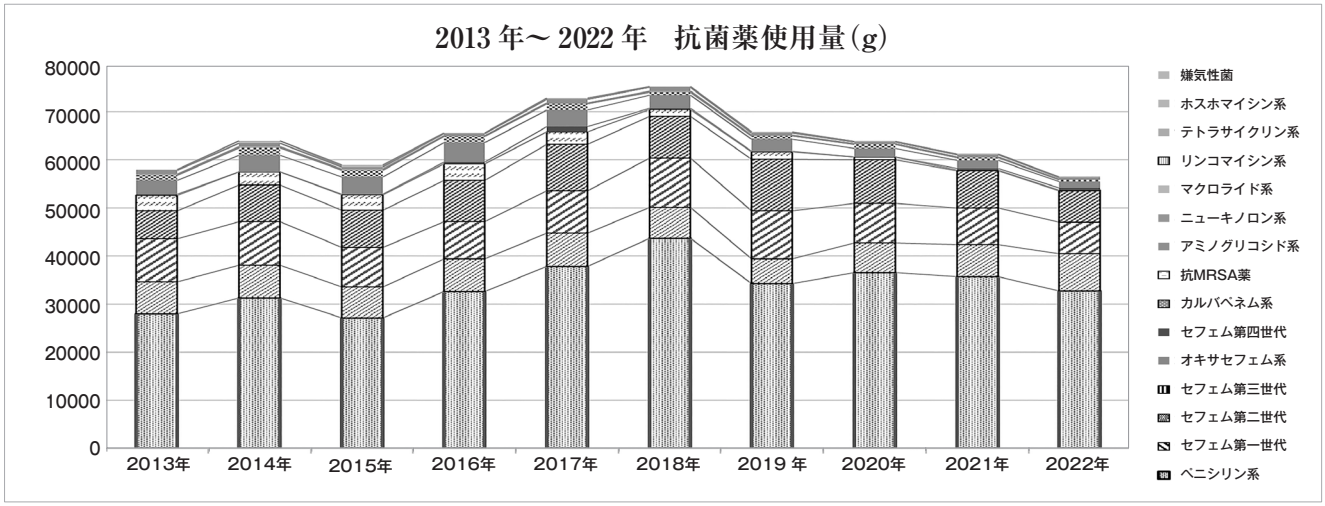


6 － 1. 広域抗菌薬・抗 MRSA 薬使用許可申請届提出状況



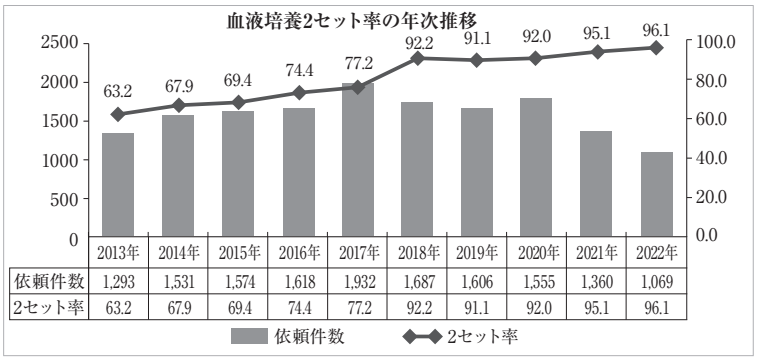


6 － 2. 抗菌薬の系統別使用量の推移



【6. 評価】届出率は広域抗菌薬も抗 MRSA 薬ともに 100%付近を維持している。抗菌薬使用量からは各抗菌薬の使用割合に大きな変動は認めず、届出抗菌薬特やカルバペネム系の大幅な増加などは認めなかった。

7. 当院における血液培養 2 セット率推移（入外含む）



	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
依頼件数	1,293	1,531	1,574	1,618	1,932	1,687	1,606	1,555	1,360	1,069
2セット率	63.2	67.9	69.4	74.4	77.2	92.2	91.1	92.0	95.1	96.1

【7. 評価】血液培養依頼件数が減少傾向であるが、採血困難事例でも時間差で採取するなど工夫して 9 割以上は 2 セット採取を実施している。引き続き 2023 年以降も継続して 100% を目指す。

8. 臨床分離菌　薬剤感受性一覧（2022 年）

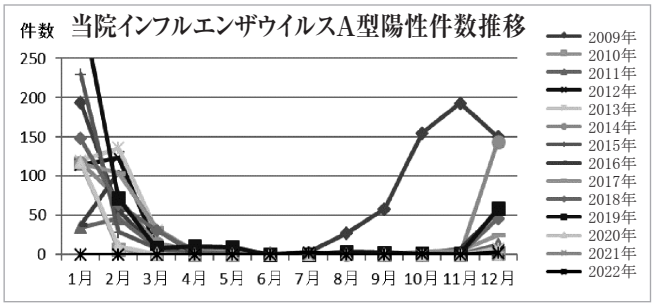
			グラム陽性球菌							グラム陰性桿菌																	
		対象菌株数	78	102	5	64	18	55	20	25	325	74	134	14	43	4	18	32	0	10	58	11	12	104	12	8	30	39
系統	略号	一般名	*S.aureus*（*MSSA*）	*S.aureus*（*MRSA*）	*A* 群溶連菌（*S.pyogenes* 含む）	*S.agalactiae*	*S.pneumoniae*	*E.faecalis*	*E.fecium*	*H.influenzae*（BLNAR 含む）※1	*E.coli*（*ESBL* 以外）※2	*E.coli ESBL*	*K.pneumoniae*（*ESBL* 以外）※2	*K.pneumoniae ESBL*	*K.oxytoca*（*ESBL* 以外）※2	*Salmonella sp.*	*S.marescens*	*P.mirabilis*（*ESBL* 以外）	*P.mirabilis ESBL*	*P.vulgaris*	*E.cloacae complex*	*C.freundii*	*M.morganii*	*P.aeruginosa*	*A.cineto.baumannii*	*Steno.maltophilia*	*C.jejunii*（参考値）	*Bac.fragilis Gp.*
ペニシリン	PCG	ベンジルペニシリン	54		対象菌株数少数のため評価せず	100	100	100	5							対象菌株数少数のため評価せず			対象菌株数少数のため評価せず									
	ABPC	アンピシリン	54					100	5	80	70							88											
	PIPC	ピペラシリン									76		62		38		63	83		60▲	83	70	78▲	97	92▲			
βラクタマーゼ阻害薬	SBT/ABPC	スルバクタム / アンピシリン	100								77		88		82			100		80▲			0▼					95
	CVA/AMPC	クラブラン酸 / アモキシシリン																										
	SBT/CPZ	スルバクタム / セフォペラゾン									99		97		94		88▼	100		100	86	90▼	100	96	100			
	TAZ/PIPC	タゾバクタム / ピペラシリン									100		98		94		63	100		100	86	100	100	98▲				
セファロスポリン	CEZ	セファゾリン	100								90		96		63			91										
	CTX	セフォタキシム									98		99		98		100	100		90▲	79	64▼	100					
	CAZ	セフタジジム									98		99		98		61	100		100	85	73▼	92	97	100	57		
	CTRX	セフトリアキソン				100				100	99		99		97		69▲	100		20	70	70▼	100					
	CFPM	セフェピム									100		99		97		100	100		100	89▼	90▼	100	95▲	100			
セファマイシン	CMZ	セフメタゾール									99	100	99	100	100			100		100			100					46
モノバクタム	AZT	アズトレオナム									99		100		97		63	100		80▲	75	60▼	78	94				
カルバペネム	IPM	イミペネム	100								100	100	100	100	100						98	100▲	0▼	81				97
	MEPM	メロペネム									100	100	99	100	100		100	100		100	100	100	100	85	100			90
アミノグリコシド	GM	ゲンタマイシン	70▼	58							96	86	100	92	100		88	96		100	98	100▲	78	88	100			
	AMK	アミカシン									100	100	100	100	100		94	100		100	100	100	100	98	100			
マクロライド	EM	エリスロマイシン	77	11		63		24	11▼																			
	CAM	クラリスロマイシン					13▼			44																		
リンコマイシン	CLDM	クリンダマイシン	80	21		67																						28
テトラサイクリン	MINO	ミノサイクリン	97	84				25	70▼																100	100		97
フルオロキノロン	LVFX	レボフロキサシン	83	10		54	94	89	5	96	72	12	100	57▼	100		78▼	88		100	100	91	92	93	100	100	43▼	
サルファ剤	ST	スルファメトキサゾール / トリメトプリム	100	100							90	56▼	99	42	100		88	74▼		100	98	80▼	78		100	100		
その他	FOM	ホスホマイシン									86	83	33	31	29		19▼	65▼		80▲	26▲	80▲	0				40▼	
グリコペプチド	VCM	バンコマイシン	100	100		100		100	100																			
	TEIC	テイコプラニン	100	100				100	100																			
その他	LZD	リネゾリド	100	100				98	100																			

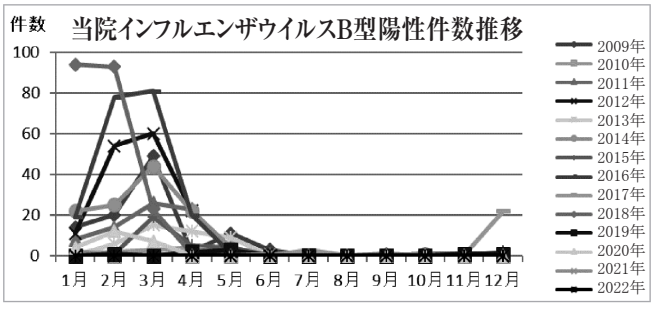
感受性率 ■：80%以上　　■：79%以下　　▲▼前年比（10%以上の差）/ 結果によらず耐性

※1　BLNAR の場合に耐性

※2　CPE、K1 β ラクタマーゼ疑い K.oxytoca 含む

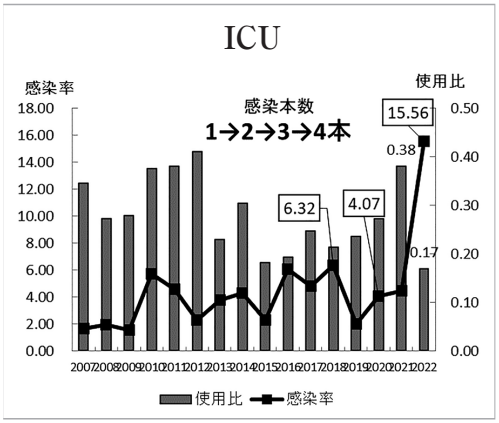
9. 当院におけるインフルエンザ検査状況（入外含む）

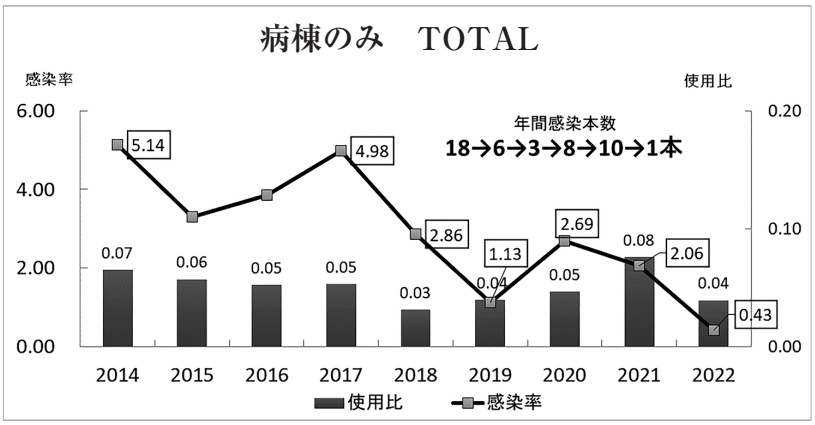


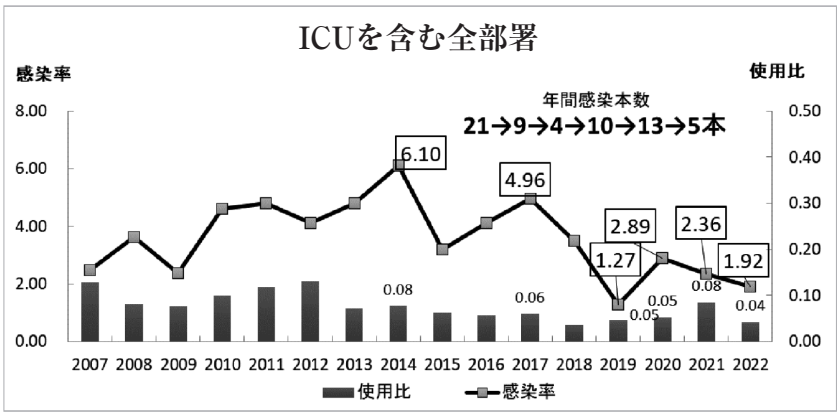


【9. 評価】2022 年度も COVID-19 流行に伴う感染対策の結果、入院も外来も今年度はインフルエンザの発生数は少なく、職員や入院患者はじめアウトブレイクもなく経過した。

10. 当院における中心ライン関連感染サーベイランス状況（CLABSI）

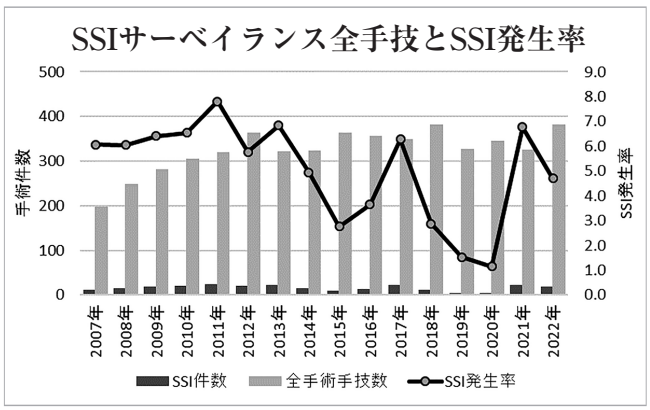




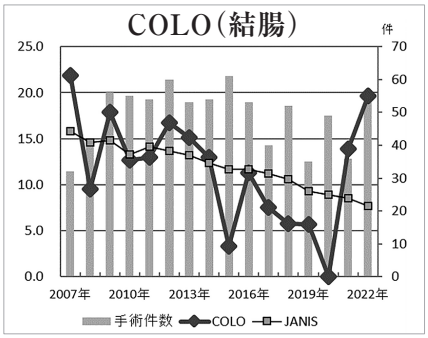


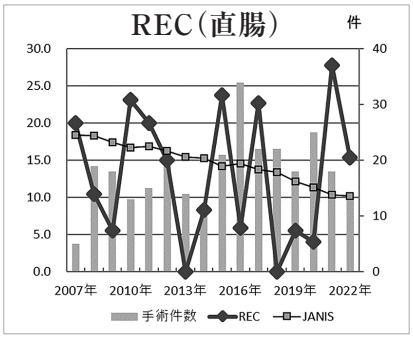
【10. 評価】中心ラインの使用比は減少傾向で、ICU では感染本数が増加し、病棟では減少した。全体としては閉鎖式輸液ルートを導入後から感染率は低下傾向であるが、引き続きサーベイランスと清潔な輸液管理を確認、指導し徹底する必要がある。

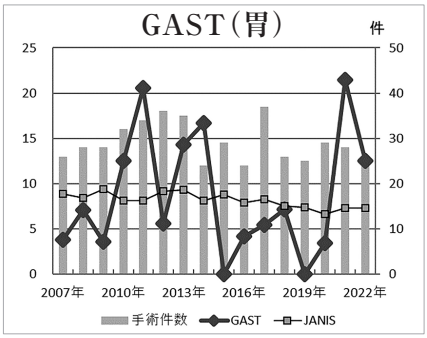
11. 当院における手術部位サーベイランス状況（SSI）

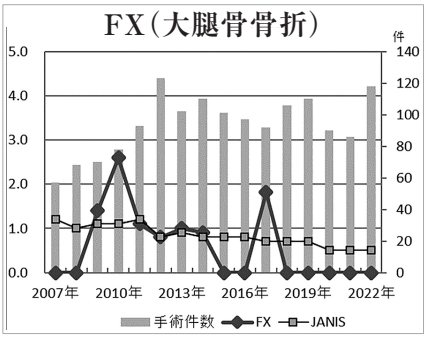


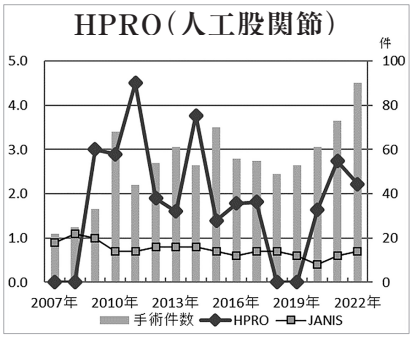
【11. 評価】順調に SSI は低下していたが、2021 年に消化器外科系および人工股関節手術での感染判定が増加し、これまでも約 5 年ごとに増加を繰り返している。2023 年度はさらなる低下と判定者によるブレをなくし、正確な判定のための記録の徹底を中心に活動する。

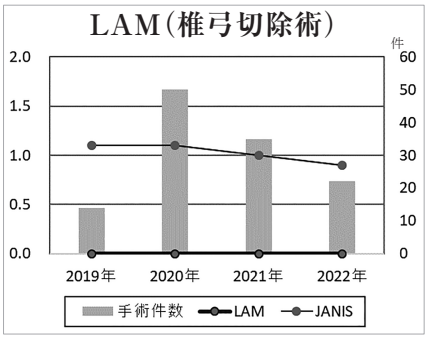


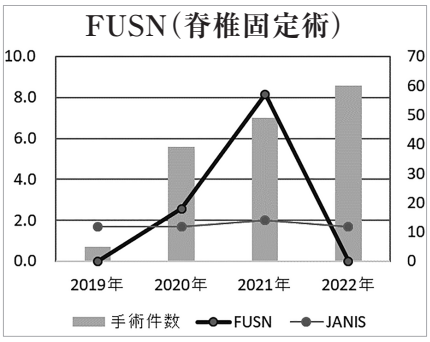




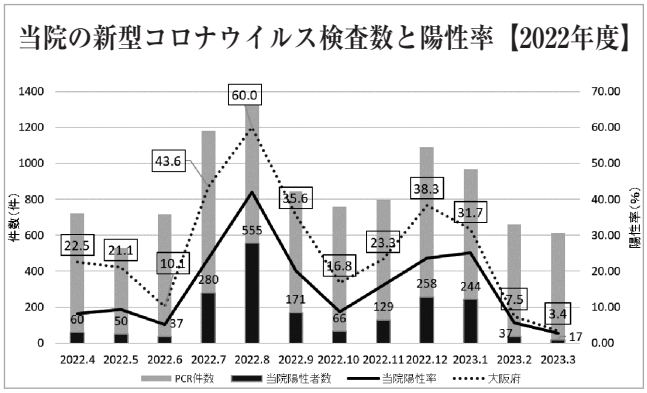


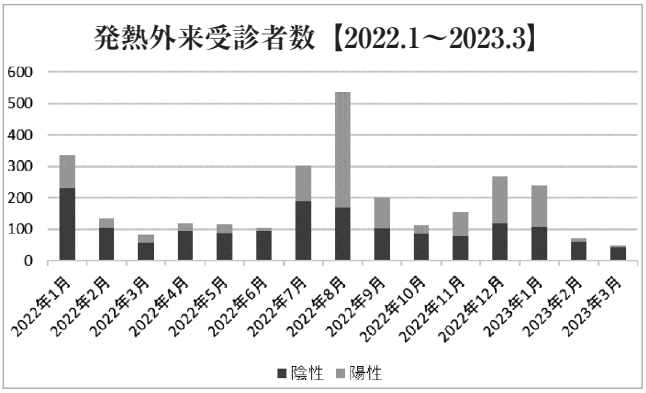


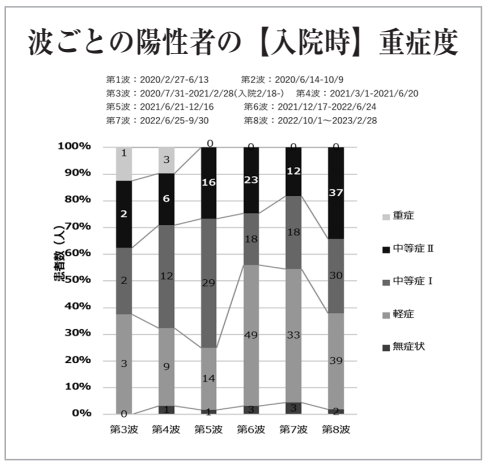


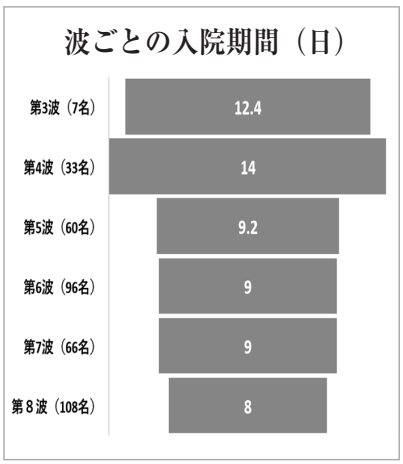


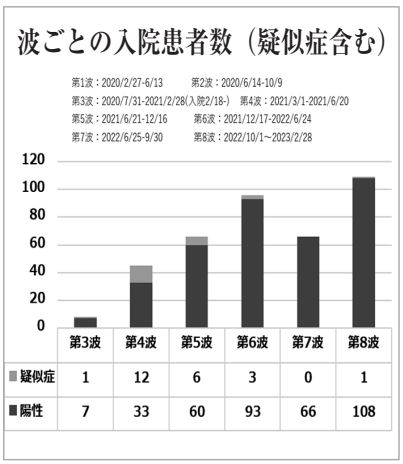
12. 当院における COVID-19 検査実施状況と関連データ











	第3波	第4波	第5波	第6波	第7波	第8波
疑似症	1	12	6	3	0	1
陽性	7	33	60	93	66	108

【12.評価】コロナ対応も３年目を迎え、検査体制や院内ルールなどが整備され充実した。病棟でのクラスターを経験したことで、職員が院内感染対策の重要性をさらに認識し実践できるようにもなった。

2023 年度は、感染症法上で５類移行がなされ、今までの対策と一般疾病としての対策との狭間で混乱も生じると推察されるが、院内感染を防ぎつつ、職員と患者の安全を第一に考え対応していく。

(5)薬事審議会

開催日：2022年4月18日　第226回
審議内容：① 6種類の新規医薬品採用申請の検討・院外限定・削除薬剤検討
② 緊急採用薬18種類依頼申請報告
③ 欠品・供給制限薬剤報告
④ 採用薬の供給不安定による薬剤変更2種類のお知らせ
⑤ 経過措置終了薬剤報告

開催日：2022年5月16日　第227回
審議内容：① 新規医薬品採用・削除薬剤検討なし
② 緊急採用薬19種類依頼申請報告
③ 欠品により1種類メーカー変更
④ サリンヘス輸液6% 500mL　製造販売中止の報告
⑤ 供給制限薬剤1種類報告
⑥ 期限切れ薬剤の報告

開催日：2022年6月20日　第228回
審議内容：① 7種類の新規医薬品採用申請の検討・院外限定・削除薬検討
② 緊急採用薬23種類依頼申請報告
③ 供給制限薬剤2種類報告
④ 期限切れ薬剤の報告

開催日：2023年7月25日　第229回
審議内容：① 9種類の新規医薬品採用申請の検討・院外限定・削除薬剤検討
② 緊急採用薬24種類依頼申請報告
③ 欠品により後発品→先発品への切り替え報告
④ エリスパン錠0.25㎎　製造販売中止により削除
⑤ 製造販売中止により4種類メーカー変更
⑥ 供給制限薬剤1種類報告
⑦ 期限切れ薬剤の報告

開催日：2022年8月15日　第230回
審議内容：① 6種類の新規医薬品採用申請の検討・院外限定・削除薬剤検討
② 緊急採用薬6種類依頼申請報告
③ 欠品により1種類メーカー変更
④ エンシュアリキッド「コーヒー味」出荷終了　販売中止のお知らせ
⑤ 製造販売中止による3種類メーカー変更
⑥ 供給制限薬剤6種類報告
⑦ 期限切れ薬剤の報告

開催日：2022 年 9 月 26 日　第 231 回
審議内容：① 新規医薬品採用・削除薬剤検討なし
② 緊急採用薬 21 種類依頼申請報告
③ 製造販売中止による 1 種類メーカー変更
④ ラゲブリオカプセル 200mg　国支給から薬価収載へ変更
⑤ 供給制限薬剤 7 種類報告
⑥ 期限切れ薬剤の報告

開催日：2022 年 10 月 17 日　第 232 回
審議内容：① 2 種類の新規医薬品採用申請の検討・院外限定・削除薬剤検討
② 緊急採用薬 11 種類依頼申請報告
③ キサンボン S 注射液 40㎎　製造販売中止により後発医薬品へ変更報告
④ 供給制限薬剤 3 種類報告
⑤ 先発品→後発品への切り替え報告
⑥ 期限切れ間近薬品リスト報告
⑦ 期限切れ薬剤の報告

開催日：2022 年 11 月 21 日　第 233 回
審議内容：① 4 種類の新規医薬品採用申請の検討・院外限定・削除薬剤検討
② 緊急採用薬 11 種類依頼申請報告
③ トリメブチンマレイン酸錠 100㎎　欠品により先発医薬品へ変更報告
④ 製造販売中止による 2 種類メーカー変更
⑤ 供給制限薬剤 11 種類報告
⑥ 期限切れ薬剤の報告

開催日：2022 年 12 月 26 日　第 234 回
審議内容：① 7 種類の新規医薬品採用申請の検討・院外限定・削除薬剤検討
② 緊急採用薬 10 種類依頼申請報告
③ 供給制限薬剤 10 種類報告
④ 期限切れ薬剤の報告

開催日：2023 年 1 月 16 日　第 235 回
審議内容：① 2 種類の新規医薬品採用申請の検討・院外限定・削除薬剤検討
② 緊急採用薬 4 種類依頼申請報告
③ 供給制限薬剤 6 種類報告
④ 期限切れ薬剤の報告

開催日：2023 年 2 月 20 日　第 236 回
審議内容：① 3 種類の新規医薬品採用申請の検討・院外限定・削除薬剤検討
② 緊急採用薬 15 種類依頼申請報告
③ エンシュアリキッド「バニラ味」出荷終了　販売中止のお知らせ
④ 供給制限薬剤 2 種類報告
⑤ 期限切れ薬剤の報告

開催日：2023 年 3 月 20 日　第 237 回
審議内容：① 1 種類の新規医薬品採用申請の検討・院外限定・削除薬剤検討
② 緊急採用薬 2 種類依頼申請報告
③ ネリプロクト軟膏・坐剤　製造販売中止のお知らせ
④ 供給制限薬剤 5 種類報告
⑤ ウログラフィン注 60%　効能又は効果一部削除のお知らせ
⑥ アモキサンカプセル 25㎎　自主回収のお知らせ
⑦ 期限切れ薬剤の報告

(6)救急委員会

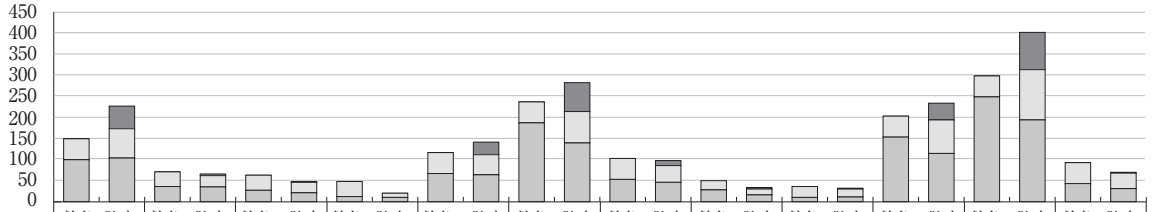
毎月第2金曜日　開催　午後4時00分～4時30分

【定期活動内容】

※救急搬送数、搬入数の報告、お断り件数・お断り理由の確認

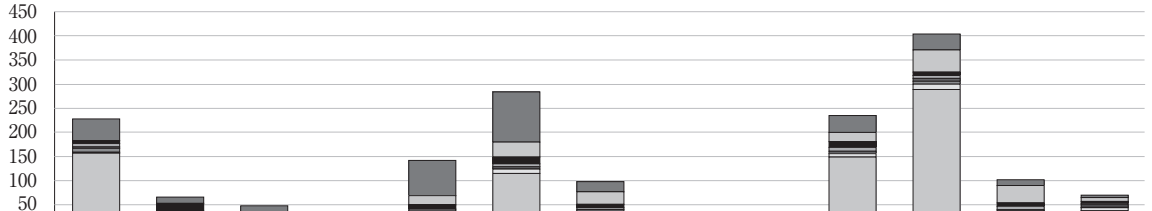
※ ER、ICU、手術室、各病棟、薬剤科、放射線科、検査科等で起こったコードブルー事例報告及び検討・振り返り

救急隊別救急搬入お断り件数



	2022.4		2022.5		2022.6		2022.7		2022.8		2022.9		2022.10		2022.11		2022.12		2023.1		2023.2		2023.3	
	救急隊	院内	救急隊	院内	救急隊	院内	救急隊	院内	救急隊	院内	救急隊	院内	救急隊	院内	救急隊	院内	救急隊	院内	救急隊	院内	救急隊	院内	救急隊	院内
■その他	0	54	0	4	0	2	0	0	0	30	0	69	0	12	0	1	0	2	0	40	0	89	0	2
□茨　木	50	70	35	27	36	25	36	10	50	48	50	75	50	40	22	14	26	19	50	80	50	120	50	37
□高　槻	100	104	36	35	27	21	12	10	67	64	188	140	53	46	28	16	10	11	154	115	250	195	43	31

お断り件数内訳



	2022.3	2022.4	2022.5	2022.6	2022.7	2022.8	2022.9	2022.10	2022.11	2022.12	2023.1	2023.2	2023.3
■その他	45	13	22	1	73	104	21	2	6	35	33	12	5
□ER満床				3	19	31	26	6	8	19	46	36	8
■専門医	6	16	10	4	9	14	7	3	5	12	7	7	4
■かかりつけ	7	2	6	4	4	6	4	2	3	8	6	7	3
■精神・アル中	3	7	1	2	5	5	8	5	5	5	6	3	5
■手術・処置中等	8	0	6	4	3	0	2	7	1	0	6	2	1
□脳外適応	2	10	3	2	4	9	5	5	2	7	11	7	6
□病棟満床	157	18	0	0	25	115	25	1	2	149	289	28	38

【評価】

今年度も新型コロナウイルスによる影響で、第7波である2022年8月、第8波である2022年12月～2023年1月に救急車のお断りが著増した。

※コードブルー事例は15件の報告がなされ、それぞれの事例に対し検討をした。

【定期活動以外の検討事項】

児童虐待チームによる事例共有

(7)褥瘡対策委員会

メンバー（2022 年度）

委 員 長：芳川 た江子（医師）
副委員長：門戸 典子（ＷＯＣナース）
委　　員：看　護　師　担当師長…… 中道
外来…… 守谷
７Ｆ…… 藤原（松村・岸本）
６Ｆ…… 西岡（羽渕・納富）
５Ｆ…… 袖長（下園）
４Ｆ…… 高井（寺田・門）
３Ｆ…… 佐藤
ER/ICU …… 大塚（中谷）
手術室…… 福島（今井）
看護補助…… 大西
栄　養　科 …… 岡本・村上
薬　剤　科 …… 洪・森
リ ハ ビ リ …… 良田・遠近
地　　域 …… 高谷
情 報 企 画 …… 中尾・大田

〈2022 年度の活動〉

(1) 褥瘡回診

毎週１回、各病棟を回り、褥瘡患者さんのチェックやマットの使用状況のチェックなどを行っています。又、毎月第２・４水曜日の 15 時から褥瘡対策チームで回診を行っています。

今年１年間で、当院入院患者さんの中で褥瘡のできている人は 121 名おられ、そのうち持ち込みは 102 名、院内発生は 12 名おられました。昨年度と比べて、持ち込みの褥瘡は増えていますが、院内発生は減少しています。

医療関連機器圧迫創傷（MDRPU）は、７名でした。

医療関連機器とは、弾性ストッキング・NPPV・V60 マスク・胃管カテーテル・イレウス管などがあります。

褥瘡対策委員会の最大の目標は、院内発生数を限りなく０に近づけることです。

(2) 褥瘡対策委員会

毎月第１水曜日 15 時から、3F 多目的ホールで開催しています。各病棟の褥瘡患者さんの症例を電子カルテを通して、スクリーンに映し出して、皆で検討しています。今年度もコロナ禍で、院外・院内とも、研修会の開催が例年に比べて少なくなってしまいました。

(3) 今年度開催した院内勉強会（15 時から、褥瘡対策委員会内で）

① ５月 18 日（水）「皮膚の機能と褥瘡発生のメカニズム～新たな褥瘡発生要因！～」

②12 月 7 日（水）「褥瘡に関する栄養・薬剤」
③ 2 月 1 日（水）「フットケア」

(4) 今年度開催した院内勉強会
① 7 月 6 日（水）「DESIGN-2020」
②10 月 5 日（水）「スキンケア、スキンテア、おむつの当て方」
③11 月 2 日（水）「体圧分散・ポジショニング」
④ 2 月 1 日（水）「褥瘡ケアの実際」

(5) 今年度参加した褥瘡に関するセミナー・学会
① 8 月 27 日（土） 28（日）日本褥瘡学会学術集会（パシフィコ横浜）
② 9 月 20 日（火）～ 10 月 4 日（火）CAPE ポジショニングオンラインセミナー
③11 月 2 日（水） コンバテックジャパン褥瘡予防 WEB セミナー
④11 月 12 日（土） 創傷予防・スキンテア対策の最新ケアと地域連携における実践
⑤ 1 月 25 日（水） 褥瘡対策 WEB セミナー
⑥ 3 月 5 日（日） 日本褥瘡学会近畿地方会（奈良県文化会館　国際ホール）

(6) 今後の課題
褥瘡の患者さんというのは、本来いないのが理想的なのですが、全身状態、栄養状態にも左右され、又、他院や在宅などからの持ち込みも多く、なかなかケアが大変なことが多いです。
又、2014 年 8 月より全ての入院患者さんに褥瘡対策に関する診療計画書をあげて、褥瘡予防に努めていることが評価されたのか、病院機能評価では S 判定をいただけました。今後も、全ての入院患者さんの褥瘡予防に努め、院内発生数を限りなくゼロに近づけたいと思います。

(8)労働安全衛生委員会

1.目　的

本委員会は、労働安全衛生法に基づき、労働災害防止を労使一体となって、職員の災害防止、安全を守り、快適な職場環境の形成を促進。また、疾病予防および健康増進に関する事項を審議調査し必要な措置を行うための健康診断や、心の健康診断「ストレスチェック」を実施。また、外部業者㈱セーフティーネットの「こころとカラダの健康相談窓口」を開設し、心身ともに安全と健康で働きやすい職場環境整備することを目的に設置されています。

2.委員会メンバー構成

＜委員長＞　1名　　＜副委員長＞　1名　　＜産業医＞　1名
＜委　員＞　看護師　3名・他技師等　10名　　＜事務局＞　人事・総務課より3名

3.2022年度における委員会の主な取り組み

※定期健康診断・ストレスチェックと予防接種

4月	7月	8月		10月	11月		12月	2月
定期健康診断（全職員）	新型コロナワクチン接種	新型コロナワクチン接種	麻疹･風疹ワクチン接種	定期健康診断（特定業務従事者）	ストレスチェック（全職員）	インフルエンザワクチン接種	新型コロナワクチン接種	麻疹･風疹･ムンプス･水痘ワクチン接種

7月：新型コロナワクチン接種は65歳以上・基礎疾患・BMI30以上の職員限定

※メンタルヘルス研修・セルフケア研修

	日　程	対象者
ストレスマネジメント研修	2022年8月1日13:00～14:30（多目的ホールにて外部講師による講義）	2020～2022年の昇進者10名

※「こころとカラダの健康相談窓口」による電話相談

外部業者㈱セーフティーネットと契約。フリーダイヤル24時間365日、職員家族も利用可能。職場・仕事・健康以外に家庭問題なども相談ができる。年度内の利用件数は6回

※HBワクチン接種

	対象者	接種月	接種月	接種月
第1回	2021年1～3月入職者	6月	7月	12月
第2回	4～8月入職者　4月健診で抗体陰性者	9月	10月	3月
第3回	9～12月入職者	12月	1月	6月
第4回	12月～2月入職者	3月	4月	9月

第2回～「ビームゲン」が入手困難のため「ヘプタバックス」に薬品変更

※毎月の職場巡回

職員の働きやすい職場環境を維持する為に、産業医、衛生管理者が職場の巡回を実施

4月	栄養科・栄養調理科	10月	循環器センター
5月	祝日と重なるため、次月実施	11月	リハビリテーション科
6月	整形小児フロア	12月	ICU・救急フロア
7月	消化器センター	1月	年末年始休みと重なるため次月実施
8月	新型コロナ感染症 感染拡大防止のため中止	2月	事務センター
9月	呼吸器センター	3月	ビジネスオフィス

4. 委員会における主な審議内容（月１回 開催）

- ストレスチェック回答形式を紙→ WEB に変更し、分析結果充実を図る
- 職員健診（協会けんぽに結果の情報 提供有)、ワクチン接種の業務改善と健診システム導入を検討
- 長時間労働による労働者の健康障害防止について状況把握（医師の院外勤務時間を含む）
- 年次有給休暇の取得率を共有、把握
- ハラスメントのフローを整理し再確認、ポスター、グループ W 掲示で啓発活動を進める
- 食堂内設置の意見箱を定期的に確認し、問題点を共有し改善

(9)臨床検査管理運営委員会

Ⅰ　定例委員会

毎月第3水曜日　16：30 ～

目　　的：臨床検査の精度及び効率の向上並びに標準化を図る

委員会構成メンバー：

- 諏訪 道博…… 臨床検査科部長（委員長）
- 米村 里美…… 臨床検査科係長
- 斉藤 潤…… 臨床検査科係長
- 中島 典子…… 3F レディースフロア看護師長
- 馬場 恵美…… 感染防止対策室副室長 兼看護師長
- 中道 和歌子…… 外来フロア看護師長
- 橋本 シオリ…… 病院サービス課職員　（2023年6月末時点）

Ⅱ　主な議題と検討内容

◎精度管理、機器、試薬等の検討

- 血液一般測定機器の更新し、3/1より本稼働。
  基本的なデータはこれまでと大きな違いはないが、幼若血小板や赤芽球のデータ返却を新規に開始した。
- 病理システム（I&I社のマイパソ）の導入を決定。
  システムの調整や移行を実施中。
- インフルエンザも同時に測定できるロシュ社の核酸増幅法による検査機器「Liat」を導入。リアルタイムPCR法の為、高精度であり、検査時間も20分で短時間での検査が可能である。CT値は基本返却しない。

◎業務改善、効率化、運用

- 尿の未検査分を日中の担当者、居残り者共に見落とした事例があった為、未検査の確認手順の確認と、申し送り体制を強化した。
- 5/16より臨床検査科の勤務体制を4週6休から4週8休に変更。それに伴い勤務終了時間を16：45から17：10へ変更した。
- コロナの影響で便培養を一部外注していたが、院内実施に戻した。
- 溶血や凝固など検査に不適格な検体が病棟から提出された場合、取り直しを依頼してきたが、患者の中には取り直しが難しい方がいることや、その検査は後日で可能な場合もある。そこも踏まえた上で不適格な検体への対応を病棟に連絡する必要があることを検査科内で確認した。
- 胸水や腹水の依頼時に細胞診や細菌の依頼書が提出されない場合がある。検査科では依頼書の提出漏れが無いか確認を行った上、検査を実施するよう指導しているが、確認漏れにより細胞診の検査実施漏れが発生した。細胞診は検体放置により細胞が劣化すると検査できなくなる為、早期の確認が必要である。
  対策として夕方に細胞診依頼書が到着されているかの確認を開始した。
- 電子カルテに依頼項目が設定されていない場合、検査室に連絡し、依頼項目を他の採血依頼のコメントか経過記録に記載することで依頼することができる。

医師が病棟オーダ患者の採血へのコメントで依頼していたが、医師から検査室への連絡がなく、検体受け付け時にコメントに気付けなかった為、検査が実施されていないという事象が発生した。対策として、受付時のコメントの確認強化と、電子カルテに掲載できていない検査項目をできるだけ早めに掲載することとした。

- 患者が家庭で使用したインスリン等の針を受け取って廃棄しているが、血糖測定機器を同じ袋に入れたものを廃棄依頼をしてきた例がある。受け取った際に袋の中を確認し、針のみであるかを口頭で確認した後感染缶に廃棄することとした。
- 細胞検査士雇用後、尿・婦人科の細胞診について院内検査を実施している。今回呼吸器から出る細胞診検体について早期の結果返却依頼があった為、院内での検査を開始した。
- これまで電子カルテの検査データには高値のHと低値のLの表示のみが表示されており、パニックであることがわかりにくい仕様となっていた。
  7/1より、パニック値にはPマークがつくように仕様を変更した。
- 免疫自動分析装置で測定しているFT3、HCV、AFP試薬のビオチン対応改良試薬への変更を実施。
- 医師が至急ではない依頼を立てていても、診察がある場合病院サービス科が診察患者全員を至急に変更していた。
  至急変更するとルール上パニック値は連絡されないことや、不要な至急依頼があることで診察がむしろ遅れる可能性もあることについて医師から指摘があった為、当委員会で検討し、依頼の至急変更は医師に確認が必要であることを病院サービス科内で周知することとした。
- 婦人科の細胞診スライドの運搬は、固定用スプレーでの固定後にケースに入れて行われていた。しかし、スプレーの量やその後の乾燥状況により細胞の固定不足が生じているとの病理植田初江医師からの指摘あり。
  95%エタノールに漬けた状態で運送が行える容器を準備し、固定条件の改善を図った。

◎その他

- 今年度の検査学科実習生は学校からの要請なく受け入れ無し。
  来年度も受け入れは行う方針で計画する。

(10)輸血管理委員会

Ⅰ　定例委員会

第3月曜日　16：00 ～ 16：30

2023年度より　第1火曜日 16：00 ～ 16：30

Ⅱ　活動内容

1. 血液製剤の適正使用および安全な輸血業務が行えることを目的に活動し検討を行った。

- 血液製剤の取り扱いについて
- 血液製剤払い出し、保管管理方法について
- 血液製剤と交差適合試験成績書の確認の徹底について
- 輸血中止時の連絡の徹底
- 血液製剤依頼箋の誤記に関する啓蒙
- 血液製剤、血液分画製剤の年間使用量、廃棄数、廃棄率の報告検討
- C/T比の報告
- 血液センターより輸血情報の提供
- アルブミン製剤、グロブリン製剤の適正使用
- 輸血・血液製剤査定減点率の検討
- 輸血諸経費削減について
- 輸血前後の感染症検査実施
- 輸血後情報に基づく遡及調査について
- 輸血指示確認の徹底について
- 同意書確認の徹底について
- 輸血施行時のバイタルチェックの徹底と確認
- 血漿交換について
- 輸血療法の実施に関する指針、血液製剤使用指針改定について
- 危機的出血への対応ガイドライン、フローチャートについて
- 外来輸血運用方法、グループウエア施設予約利用について
- 自己血院内保管管理について
- HLA抗体保持患者へのABO異型HLA適合血小板の輸血について
- 輸血手順、ベッドサイドでの血液製剤照合の徹底
- T＆Sの推進と血液製剤院内在庫の実施について
- 輸血の効果判定について
- 緊急輸血の実施手順について
- 手術申込書輸血関連項目の改訂について
- 頻回輸血患者の定期的輸血後感染症検査実施
- 自己血貯血時の迷走神経反射について
- 宗教的理由による輸血拒否患者に対する基本方針について

2. 輸血副作用報告

- 赤血球液（RBC）による副作用報告 1 件。血圧低下と嘔気あり。
- 濃厚血小板（PC）による副作用報告 1 件。膨隆疹と掻痒感あり。

3. 血液センター遡及調査

- 本年度 1 件。2020 年 8 月献血で HEV-RNA 陽性であった供血者が 6 月に献血されており、HEV-RNA 陰性であった。その際 PC10 単位が当院に供給され輸血施行。受血者は原疾患にて死亡されていた。

4. 本年度検討および報告事項

- 輸血マニュアル「輸血療法マニュアル及び輸血副作用対策指針」「血液製剤保管管理マニュアル」「血液製剤使用指針」「血漿分画製剤一覧」「危機的出血フローチャート」改訂。
- 2021 年度版「緊急輸血について」「外来輸血のながれ」「血液製剤の発注について」を配布した。
- 輸血同意書の取得について。
- 交差適合試験成績書に添付する副作用対策チャート作成。
- 血液製剤廃棄率減少への取り組み、一般消化器外科との検討。
- 外来輸血後の患者向け案内の作成、2023 年度より使用開始。
- 異型適合輸血の実施、O 型 Rho（−）患者に対し AB 型 Rho（−）血小板を輸血した。
- 異型適合血の準備、緊急手術に際して O 型 Rho（−）患者に対し O 型 Rho（+）RBC を準備するも使用しなかった。
- 休日夜間の緊急輸血手順の再確認。
- 血液製剤払い出し時の製剤確認手順の再確認。
- 自己血採血時の採取用チューブのシーリング方法について再確認。シーリング写真を載せて看護部自己血貯血手順書を改訂した。
- アルブミンとフルセミド投与に関する注意点について。
- 外来受診時に翌日の血液製剤依頼箋入力あるも同意書取得なし。経過記録にその旨記載いただき製剤の事前準備をした事例報告。

5. 血液センター輸血情報

- 血液製剤等に係る遡及調査ガイドラインの一部改正あり、HEV 抗体が追加された
- 輸血用血液製剤との関連性が高いと考えられた感染症症例 2021 年
- 赤十字血液センターに報告された非溶血性輸血副作用 2021 年
- 血小板製剤の輸血による細菌感染が疑われた事例について
- （照射）赤血球液 -LR の有効期間変更のお知らせ、（照射）赤血球液 -LR の注意事項等情報改訂のお知らせ

6. 輸血管理委員会勉強会

- 2 月「血漿分画製剤について」参加者は診療部 40 名、看護部 220 名、診療技術部 80 名、事務局 52 名。

Ⅲ　輸血統計

血液製剤使用状況（単位数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
RBC 使用単位数	2022	190	144	155	163	144	255	154	188	130	172	194	230	2,119
	2021	138	136	142	144	132	158	178	212	167	158	119	156	1,840
RBC 廃棄単位数	2022	8	16	10	4	14	4	2	4	14	10	4	8	98
	2021	30	8	12	16	10	4	8	4	4	14	4	6	120
RBC 廃棄率（%）	2022	4.0	10.0	6.1	2.4	8.9	1.5	1.3	2.1	9.7	5.5	2.0	3.4	4.4
	2021	17.9	5.6	7.8	10.0	7.0	2.5	4.3	1.9	2.3	8.1	3.3	3.7	6.1
FFP 使用単位数	2022	4	0	0	4	0	20	6	6	0	2	10	8	60
	2021	3	4	4	10	6	16	20	4	6	0	0	0	73
PC 使用単位数	2022	40	10	30	50	40	20	30	40	30	40	0	20	350
	2021	20	50	25	25	80	10	130	0	0	0	15	30	385
自己血 貯血パック数	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
	2021	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	4
自己血 廃棄パック数	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2021	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

*自己血の廃棄は貯血した翌月の場合あり

血液分画製剤使用状況（本数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
アブラキサン点滴静注	2022	21	16	14	10	14	22	34	16	12	18	30	26	233
	2021	10	14	16	10	8	8	4	0	0	8	20	14	112
献血アルブミン25%　50ml	2022	70	54	57	28	28	52	31	19	42	44	82	54	561
	2021	63	74	52	76	67	90	45	42	85	35	47	54	730
献血グロベニン-I　5g	2022	10	3	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	19
	2021	0	1	0	0	0	0	10	0	6	0	0	0	17
ヴェノグロブリンIH　5g/100mL	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヴェノグロブリンIH　5g/50mL	2022	0	0	6	1	3	3	3	0	3	6	4	1	30
	2021	3	3	0	0	0	3	0	0	4	0	0	0	13
タコシール（ハーフ、レギュラー）	2022	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
	2021	2	1	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	7
ノイアート　1500単位	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ハプトグロビン　2000単位	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フィブリノゲンHT　1g	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フィブロガミンP	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
献血アルブミネート4.4%　静注250ml	2022	2	0	0	0	1	9	8	1	0	0	2	1	24
	2021	0	5	3	5	1	4	4	2	9	2	0	6	41
乾燥HBグロブリン　200単位	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
抗D人免疫グロブリン	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
破傷風グロブリン　250単位	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベリプラストPコンビセット　組織接着用	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベリプラストPコンビセット　5ml	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベリプラストPコンビセット　3ml	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フロシール　5ml	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フロシール　10ml	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
注射用ヘブスブリンIH　1000単位	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アコアラン静注用　600	2022	45	0	0	3	0	6	6	0	9	9	9	0	87
	2021	0	4	0	12	8	0	34	6	0	0	0	0	64
献血ノンスロン　1500注射用	2022	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5	10
	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘムライブラ皮下注　90mg/0.6ml	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘムライブラ皮下注　105mg/0.7ml	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2021	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボルヒール組織接着用　3mL4瓶	2022	2	2	2	0	2	0	0	2	0	1	0	3	14
	2021	1	1	1	2	1	0	1	2	0	0	1	2	12

輸血後検査実施状況（件数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
輸血後検査実施件数	2022	13	7	12	15	18	6	11	7	19	14	7	14	143
	2021	9	15	10	10	11	16	10	10	19	9	16	14	149
	2020	10	17	29	21	14	17	15	18	11	11	6	13	182
	2019	13	24	17	21	13	19	13	20	13	27	21	22	223
	2018	11	17	8	19	12	16	22	12	17	29	15	19	197
	2017	15	22	24	12	19	21	15	14	18	11	19	21	211
	2016	12	19	19	13	20	13	16	15	16	10	14	21	188
	2015	3	0	1	2	3	2	10	12	18	19	14	12	96
	2014	4	1	2	1	0	3	2	3	1	1	2	2	22
	2013	0	1	1	1	4	1	2	3	3	2	5	1	24
	2012	1	0	1	2	2	6	4	0	2	2	1	3	24
	2011	3	0	2	1	1	1	6	2	0	3	1	3	23

（11）治験審査委員会

審査委員会委員

委 員 長：芳川 た江子

外部委員：髙野 正子

院内委員：碕山 直邦、田尻 愛子、榎南 祥太、齊藤 潤、坂部 博志、三嶋 信二、村田 麻美、平田 浩紀

現在、実施中の治験はないため治験審査委員会の開催はなし。

(12)職員教育研修委員会

令和４年度活動実績

１.目　的

職員教育研修委員会は、全職員共通の理解・認識を要するテーマについて企画・運営する。

具体的には、階層別研修（新入職員研修、中途採用研修、昇進者研修　等）や、医療施設職員として必要とされる内容（感染・医療安全・倫理・接遇等）に鑑み、企画・実施します。また各部門別・委員会別研修については、支援・調整等を図り、職員教育並びに人財育成の更なる向上を促進してまいります。

２.委員会メンバー（委員名は令和４年度のもの）

①委 員 長　植田副院長

②副委員長　田尻病院長補佐、坂部病院長補佐

③委　　員　西村副部長、野口師長、三嶋課長、奥田室長、古澤主任

④事 務 局　誉田課長、村田係長、上松

３.委員会の開催

毎月１回（原則、第１金曜日 16：00 ～ 16：30）特別会議室

４.今年度の実績

①研修の実施

研修科目		実施日	講　師	対象者	受講人数	内　容
基礎教育Ⅰ	①信条学習会	全2回で年2回	理事長（DVD+講話）	新入職者	46名	• 当院の信条及び経営理念の理解･浸透
	②新規採用職員オリエンテーション	4月1日	理事長 病院長 委員会講師 等	新入職者	65名	• 当院の概要と展望､医療安全管理･感染対策など基本的事項の周知（※集合研修+eラーニング）
	③中途採用職員オリエンテーション	12月1日			14名	
基礎研修Ⅱ	フォローアップ研修	集合研修	委員会及び対策室	4月新入職員	42名	• 基礎知識の再確認 • 同期グループによるディスカッション
役職者研修	新昇進者研修	8月1日	理事長 病院長 他	新昇進者（主任対象）	4名	• 管理者としてのあり方､マネジメント能力の向上
倫理研修	臨床現場における倫理的関わり	上期:eラーニング 下期:集合研修	上期:看護師長 下期:藍野大学学長	全職員	上期:402名 下期:289名	上期:「医療倫理について」 下期:「真のチーム医療を目指して」

②必修研修の受講実績管理

研修科目		実施日(集合研修)	講　師	対象者	受講人数	内　容
医療安全& 感染対策合同研修	上期	eラーニング	各対策室	554名	544名	• 医療安全…「医療安全情報」 • 感染…「新型コロナ対策を振り返ろう&薬剤耐性菌対策について考えよう」 • 受講率98.2%
	下期	eラーニング	各対策室	538名	528名	• 医療安全…「発生した院内事例から対策を学ぶ」 • 感染…「標準予防策と抗菌薬適性使用」 • 受講率98.1%
情報セキュリティ研修		eラーニング	情報 企画室	524名	451名	•「個人情報基本・改正個人情報保護法・サイバーセキュリティについて」 • 受講率84.9%
放射線従事者研修		eラーニング	放射線科	128名	128名	•「放射線の基礎研修」 • 放射線線量計(ルミネスバッジ)着用者対象 • 受講率100%
ハラスメント研修		eラーニング	人事課	514名	487名	•「職場におけるハラスメントについて」 • 受講率94.7%
医療安全ガス		eラーニング	医療ガス 安全管理 委員会	452名	429名	•「当院の医療安全ガスについて」 • 受講率94.9%

※対象者・受講者とも、期間中の休職者(産休・育休者等)・退職者除く

（13）病床・ICU運営管理委員会

本委員会は平成19年4月より毎月第1火曜日の診療部医長会での開催を基本とし、病院全体の社会資源である病床の有効的利用の観点から、病床状況の報告・問題点の検討・調整を行う場としている。

議　長：小林病院長
委　員：診療部医長会出席者
事務局：病院サービス課入退院係

主な検討内容

開催日：2022年4月5日（火）第248回
- 2022年3月診療分病床管理状況報告
- 科別入院・退院・在院・入院経路前年比較
- HCU管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2022年5月10日（火）第249回
- 2022年4月分診療分病床管理状況報告
- 月別新入院患者数前年同月比較・在院延べ患者数・平均在院日数・病床利用率前年比較
- 新入院科別計画対実績前年比較
- 日別入退院・在院患者数推移
- HCU管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2022年6月7日（火）第250回
- 2022年5月病床管理状況報告
- 月別新入院患者数前年同月比較・在院延べ患者数・平均在院日数・病床利用率前年比較
- 新入院科別計画対実績前年比較
- DPC診断群分類別延べ患者前年比較
- 日別入退院・在院患者数推移
- HCU管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2022年7月5日（火）第251回
- 2022年6月病床管理状況報告
- 月別新入院患者数前年同月比較・在院延べ患者数・平均在院日数・病床利用率前年比較
- 新入院科別計画対実績前年比較
- 疾患別救急搬送応需数前年比較
- 日別入退院・在院患者数推移
- HCU管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2022年8月2日（火）第252回
- 2022年7月病床管理状況報告
- 月別新入院患者数前年同月比較・在院延べ患者数・平均在院日数・病床利用率前年比較
- 新入院科別計画対実績前年比較
- 日別入退院・在院患者数推移
- 予約入院オーダー時の入院期間入力のお願い

• HCU 管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2022 年 9 月 6 日（火）第 253 回

• 2022 年 8 月病床管理状況報告
• 月別新入院患者数前年同月比較・2022 年 4 月からの入院経路別前年同月比較
• 在院延べ患者数・平均在院日数・病床利用率前年比較
• 2022 年 4 月からの入院経路別前年同月比較
• 新入院科別計画対実績前年比較
• 上位 20 疾患別救急車応需数前年同月比較
• 日別入退院・在院患者数推移
• 予約入院・退院曜日別割合
• パス患者日・月曜日の予約入院へ検討
• HCU 管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2022 年 10 月 4 日（火）第 254 回

• 2022 年 9 月病床管理状況報告
• 月別新入院患者数前年同月比較・2022 年 4 月からの入院経路別前年同月比較
• 在院延べ患者数・平均在院日数・病床利用率前年比較
• 2022 年 4 月からの入院経路別前年同月比較
• 新入院科別計画対実績前年比較
• 上位 20 疾患別救急車応需数前年同月・前月比較
• 日別入退院・在院患者数推移
• 予約入院・退院曜日別割合
• HCU 管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2022 年 11 月 8 日（火）第 255 回

• 2022 年 10 月病床管理状況報告
• 月別新入院患者数前年同月比較・2022 年 4 月からの入院経路別前年同月比較
• 在院延べ患者数・平均在院日数・病床利用率前年比較
• 2022 年 4 月からの入院経路別前年同月比較
• 新入院科別計画対実績前年比較
• 上位 20 疾患別救急車応需数前年同月・前月比較
• 日別入退院・在院患者数推移
• 予約入院・退院曜日別割合
• HCU 管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2022 年 12 月 6 日（火）第 256 回

• 2022 年 11 月病床管理状況報告
• 月別新入院患者数前年同月比較・2022 年 4 月からの入院経路別前年同月比較
• 在院延べ患者数・平均在院日数・病床利用率前年比較
• 2022 年 4 月からの入院経路別前年同月比較
• 新入院科別計画対実績前年比較

• 日別入退院・在院患者数推移
• 予約入院・退院曜日別割合
• HCU 管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2023 年 1 月 10 日（火）第 257 回

• 2022 年 12 月病床管理状況報告
• 月別新入院患者数前年同月比較・在院延べ患者数・平均在院日数・病床利用率前年比較
• 新入院科別計画対実績前年比較
• 日別入退院・在院患者数推移
• 6F 病棟をコロナ病床とした使用状況と 7F 病棟の濃厚接触者病床の報告
• HCU 管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2023 年 2 月 7 日（火）第 258 回

• 2023 年 1 月病床管理状況報告
• 月別新入院患者数前年同月比較・在院延べ患者数前年比較
• 新入院科別計画対実績前年比較
• 日別入退院・在院患者数推移
• HCU 管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

開催日：2023 年 3 月 7 日（火）第 259 回

• 2023 年 2 月病床状況報告
• 月別新入院患者数前年同月比較・2022 年 4 月からの入院経路別前年同月比較
• 在院延べ患者数・平均在院日数・病床利用率前年比較
• 2022 年 4 月からの入院経路別前年同月比較
• 新入院科別計画対実績前年比較
• 日別入退院・在院患者数推移
• 曜日別入退院比・曜日別入院経路別入退院数
• HCU 管理状況報告（在院数と加算対象者数・入院経路・利用率・加算率・加算算定額）

■ 2022 年度 曜日別新入院・退院・在院

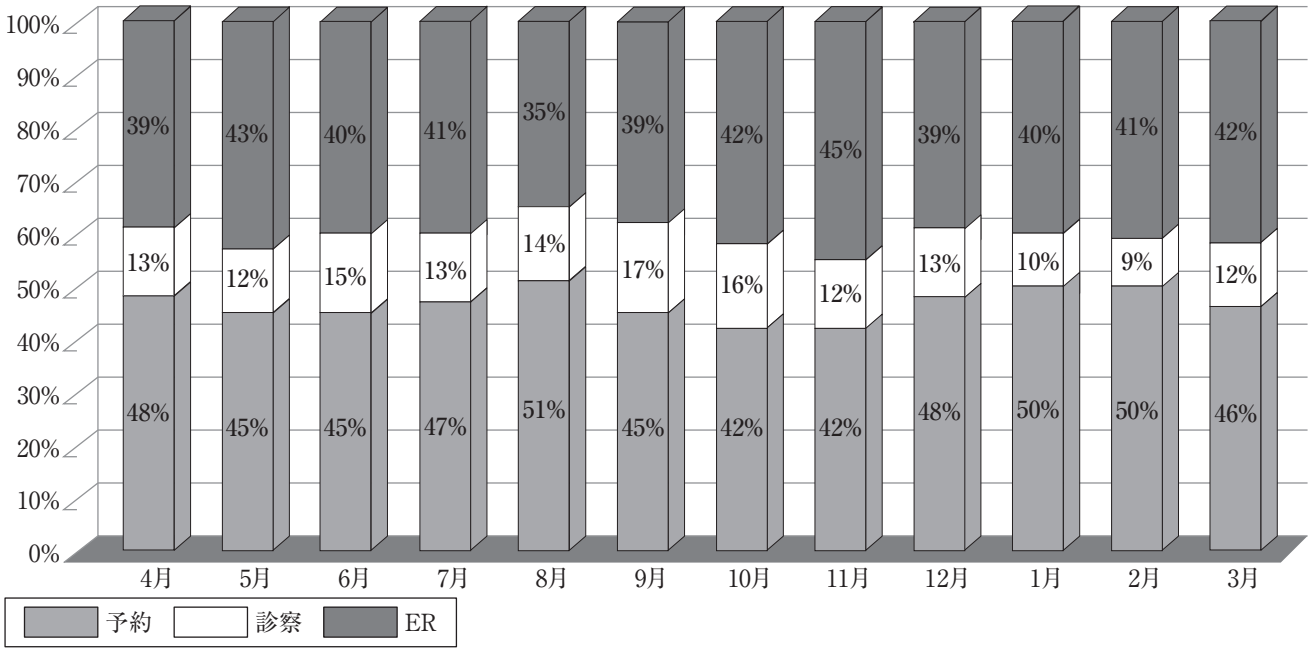
	日	月	火	水	木	金	土	総 計
入　院	352	908	1,042	817	808	722	505	5,154
退　院	278	604	825	862	837	792	971	5,169
在院延べ数	8,387	8,691	8,908	8,863	8,834	8,930	8,313	60,926
曜　日	52	52	52	52	52	53	52	365

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
予 約	218	204	206	180	215	199	183	181	193	198	217	201
診 察	58	57	68	49	58	74	72	53	52	41	39	54
ＥＲ	177	197	182	157	147	172	182	192	157	158	181	182
合 計	453	458	456	386	420	445	437	426	402	397	437	437

■ 2022 年度 月別入院経路別構成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
予 約	48%	45%	45%	47%	51%	45%	42%	42%	48%	50%	50%	46%
診 察	13%	12%	15%	13%	14%	17%	16%	12%	13%	10%	9%	12%
ＥＲ	39%	43%	40%	41%	35%	39%	42%	45%	39%	40%	41%	42%

A：予約……予約入院
B：診察……外来診察後即日入院
C：ＥＲ……ＥＲ診察後即日入院
※診察・ＥＲ・予約のそれぞれに紹介を含む



(14)地域医療支援病院運営委員会

当院は2008年11月21日付けで大阪府より地域医療支援病院に承認され、承認後はかかりつけ医師・かかりつけ歯科医師・かかりつけ薬局等からの要請に適切に対応し、地域医療の確保に必要な支援等を行うことが求められる。また、規定に挙げた8項（下記参照）の目的達成のため、業務の遂行状況を審議し、当院管理者へ意見を述べ地域医療支援病院として適切な運営を行うことを目的として設置された。

(1) 施設・設備の共同利用の実施
(2) 救急医療の提供
(3) 地域の医療従事者に対する研修の実施
(4) 諸記録の管理
(5) 諸記録の閲覧
(6) 紹介患者に対する医療提供
(7) 患者に対する相談体制
(8) その他

活動内容

2022年度は3月に書面会議を実施。

令和4年度　第46回北摂総合病院　地域医療支援病院運営委員会（書面会議）

議題1	令和2～3年度　地域医療支援病院紹介率・逆紹介実績報告
議題2	令和2～3年度　紹介患者数実績報告
議題3	令和2～3年度　地域研修実績
議題4	令和2～3年度　救急応需状況報告
議題5	他病院への救急転送目的の救急車の利用について
議題6	当院におけるコロナ感染対策活動についての報告

（15）がん治療・化学療法委員会、緩和ケア委員会及びレジメン管理委員会

本委員会は、がん治療及び化学療法に関する事項を専門的に評価・検討し、レジメンの審査等を含め、当院における集学的ながん治療の促進・質向上を図ると共に、医療の質向上を目的に設置された。

開催日

□毎月第 4 金曜日　16：30 ～

委員名簿

□佐野村（委員長）・京林・増井（副委員長）・西谷・山下・臼山・池田・北平・菅・後藤・三好・宗・榎南・松谷・野口・毛利・岡本・山﨑・大西・草留・金澤（事務局）

活動・検討内容等

□緩和ケア回診の報告
□外来がん化学療法について
□がん診療推進室より
□大阪府がん診療拠点病院の更新要件・当院主催の PEACE 研修会・キャンサーボード・合同がんサロン・がん市民公開講演・在宅医療 WEB カンファレンス・がん治療と仕事・日本がんチーム医療研究会・北摂血液連携セミナー
□レジメン管理委員会
□大阪医科薬科大学 PEACE 研修見学について
□大阪府がん診療拠点病院に向けて
□当院主催の三島圏域がん研究会
　がん教育とがん研修の取り組み・血液がん・市民公開セミナー・がんサロン
□がん登録の報告
□抗がん剤治療における心機能評価
□がん検診の報告
□がん相談支援センターについて
□北摂がんフォーラムについて
□ PEACE 研修会の振り返り

■第 26 回 三島圏域がん研究会

開　催　日：2022 年 5 月 26 日（木）
方　　法：WEB 配信（ZOOM ウェビナー）
対　　象：医療従事者（医師、薬剤師、看護師、栄養士など）
当番世話人：大阪医科薬科大学病院 がん医療総合センター副センター長 後藤 昌弘 先生
　　開会挨拶（18：30 ～ 18：35）
　　大阪医科薬科大学病院 がん医療総合センター副センター長 後藤 昌弘 先生
　　Session 1 基調講演（18：35 ～ 19：05）
座　　長：高槻赤十字病院 緩和ケア科 部長 橋本 典夫 先生

「胃がん術後の食事療法」
大阪医科薬科大学病院 栄養部栄養課 式見 良博 先生
「安全な化学療法実施に向けたマネジメントについて」
北摂総合病院 薬剤科 榎南 祥太 先生
Session 2 特別講演（19：05 ～ 20：05）
座　　長：大阪医科薬科大学病院 がん医療総合センター副センター長 後藤 昌弘 先生
「胃癌 1st line 治療最前線 ～オプジーボ＋化学療法の実際～」
市立豊中病院 医務局長兼外科主任部長 今村 博司 先生
閉会挨拶　愛仁会高槻病院 副院長 船田 泰弘 先生

■第 27 回 三島圏域がん研究会
開　催　日：2022 年 9 月 22 日（木）18：30 ～ 20：10
方　　法：ZOOM ウェビナー
対　　象：医療従事者（医師、看護師、薬剤師、MSW、理学療法士など）
当番世話人：愛仁会高槻病院 副院長 船田 泰弘 先生

開会挨拶（18：30 ～ 18：35）愛仁会高槻病院 副院長 船田 泰弘 先生

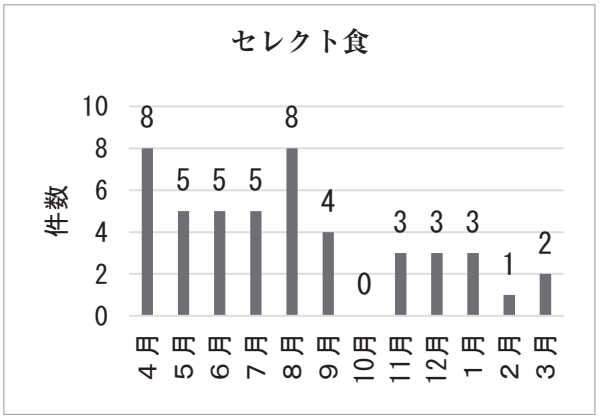
Session 1 一般演題（18：35 ～ 19：05）［テーマ：支持療法］
座　　長：北摂総合病院 病院長補佐 / 消化器内科 主任部長 佐野村 誠 先生
「高槻病院でのがんサロンの取り組み」
愛仁会高槻病院 看護部 がん看護専門看護師 塚 久美子 先生
「アテゾリズマブ維持療法中に発症した間質性肺炎の 1 例」
大阪医科薬科大学病院 薬剤部 東 春奈 先生
Session 2 特別講演（19：05 ～ 20：05）［テーマ：制吐療法］
座長：愛仁会高槻病院 副院長 船田 泰弘 先生
「制吐療法 UP TO DATE ～患者さんとチーム医療の視点から考える～」
松山赤十字病院 薬剤部 部長 村上 通康 先生
閉会挨拶（20：05 ～ 20：10）高槻赤十字病院 緩和ケア科 部長 橋本 典夫 先生

■第 28 回 三島圏域がん研究会
開　催　日：2023 年 1 月 26 日（木）18：30 ～ 20：10
方　　法：ZOOM ウェビナー
対　　象：医療従事者（医師、看護師、薬剤師、MSW、理学療法士など）
当番世話人：北摂総合病院 病院長補佐 / がん診療推進室長 / 消化器内科主任部長 佐野村 誠 先生
開会挨拶（18：30 ～ 18：35）
北摂総合病院 病院長補佐 / がん診療推進室長 / 消化器内科主任部長 佐野村 誠 先生
Session 1 一般演題（18：35 ～ 19：05）

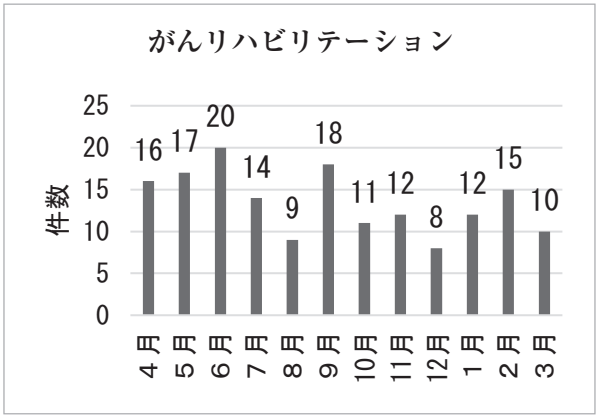
座　　長：大阪医科大学附属病院 がん医療総合センター 副センター長 後藤 昌弘 先生
「がん研修・がん教育への取り組み」
演　　者：北摂総合病院 がん診療推進室副室長 がん性疼痛看護認定看護師 京林 裕美 先生
第一東和会病院 副院長 / 内視鏡外科センター長 佐藤 功 先生
高槻病院 副院長 / 呼吸器内科 / がん相談支援センター 船田 泰弘 先生
高槻赤十字病院 緩和サポートチーム / がん相談支援センターがん看護専門看護師 西川 亜紀子 先生
Session 2 特別講演（19：05 ～ 20：05）
座　　長：北摂総合病院 病院長補佐 / がん診療推進室長 / 消化器内科主任部長 佐野村 誠 先生
「T 細胞リンパ腫の診断と治療」
演　　者：京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学 教授 髙折 晃史 先生
閉会挨拶（20：05 ～ 20：10）　高槻赤十字病院 緩和ケア科 部長 橋本 典夫 先生

■がん治療と仕事の両立支援講演会
開　催　日：2023 年 3 月 2 日（木）17：30 ～ 19：00
開 催 挨 拶：大阪医科薬科大学病院 がん相談支援センター センター長 岩本 充彦 医師
17：35 ～「がん患者の治療と仕事の両立支援における看護師の役割」
大阪医科薬科大学病院 がん相談支援センター 上田 育子 がん看護専門看護師
17：50 ～「がん患者の治療と仕事の両立支援における当院の取組」
大阪医科薬科大学病院 がん相談支援センター 出口 尚徳 医療ソーシャルワーカー
18：10 ～「復職支援の実際」
伊藤貴志社会保険労務士事務所 伊藤 貴志 社会保険労務士
閉会の挨拶　18：55 ～
北摂総合病院 消化器内科医長 兼 化学療法センター長 西谷 仁 医師

【セレクト食】



【がんリハビリテーション】

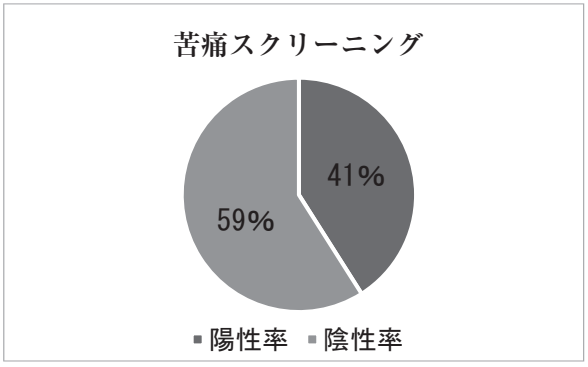


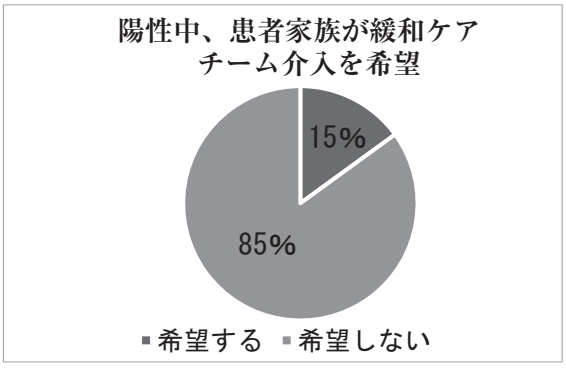
【連携充実加算】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
件数	52	45	51	47	45	45	43	40	39	39	40	43

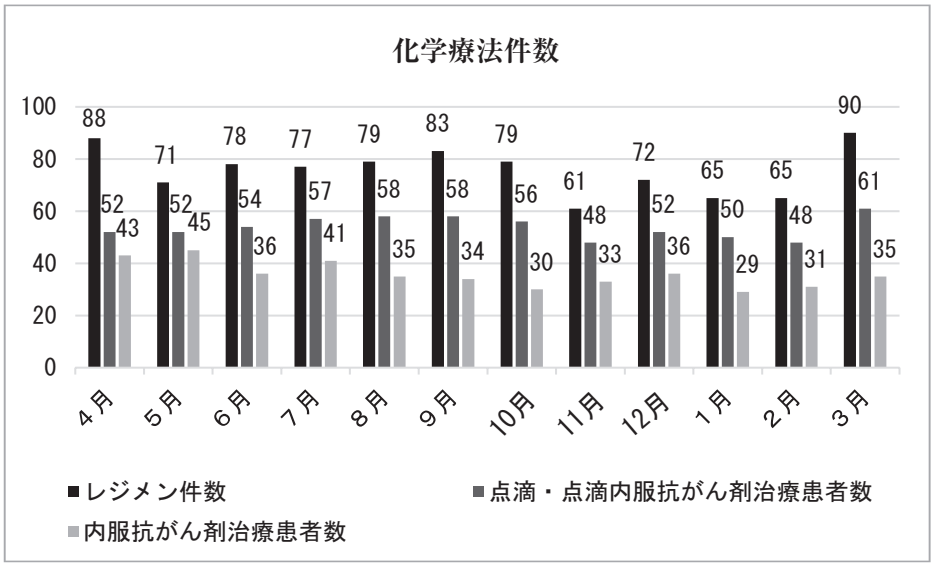
【緩和ケアチーム新規介入】：95 名

【苦痛スクリーニング】：700 件　入院：540 件、外来：160 件





【化学療法】化学療法レジメン件数



のべ人数

- レジメン件数：908 人
- 点滴・内服併用：646 人
- 内服単剤治療：428 人

(16)診療録管理(監査)委員会

1. 委員会メンバー

委 員 長：諏訪 道博
副委員長：奥村 友子
事 務 局：黒岩 正司
委　　員：柏原 真須美、尾川 広華、金谷 悠里

2. 定期開催日時

毎月第1木曜　15:30～

3. 活動内容

□診療記録内容の適切性
□入院診療記録量的監査
□入院診療記録質的監査
□診療・看護記録記載の負担軽減・効率化

4. 活動実績

医療情報課が主になり全退院患者に対して診療録量的監査業務（入院診療計画書、病名、手術記録、退院サマリ、追認、退院サマリ）を行った。また当委員会にて、主に医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・リハビリテーションの記録に対して診療録質的監査を実施した。コンプライアンスの徹底を図るため、不備のある診療録は該当職種に修正依頼を行い、開示に耐えうる診療録を目指した。

第139回（令和4年4月7日）　：退院サマリ、詳細不明コード発生率・診療録開示状況について
第140回（令和4年6月2日）　：詳細不明コード発生率、診療録開示状況について、カルテ監査について
第141回（令和4年7月7日）　：詳細不明コード発生率、診療録開示状況について、カルテ監査について
第142回（令和4年8月4日）　：詳細不明コード発生率、診療録開示状況について、カルテ監査について
第143回（令和4年9月1日）　：詳細不明コード発生率、診療録開示状況について、カルテ監査について
第144回（令和4年10月6日）：詳細不明コード発生率、診療録開示状況について、カルテ監査について
第145回（令和4年11月10日）：詳細不明コード発生率、診療録開示状況について、カルテ監査について
第146回（令和4年12月1日）：詳細不明コード発生率、診療録開示状況について、カルテ監査について
第147回（令和5年1月5日）　：詳細不明コード発生率、診療録開示状況について、カルテ監査について、退院サマリの追認について

第 148 回（令和 5 年 2 月 2 日）　：詳細不明コード発生率、診療録開示状況について、カルテ監査について

第 149 回（令和 5 年 3 月 2 日）　：詳細不明コード発生率、診療録開示状況について、カルテ監査について

(17)診療報酬適正化委員会

当院が提供する医療・看護をはじめ、病院サービスのほぼ全ての対価は厚生労働省が定める診療報酬制度に則り請求されている。従って、診療報酬請求の適正化に努めることは、提供する病院サービスの適切な対価を確保することであり、同時にコンプライアンスの徹底を図ることでもある。加えて、2008年4月のDPC対象病院への移行後は、DPCコーディングの適切性を院内で精査・監査することも求められている。これらの背景を踏まえ、2008年度より委員会を設置、診療報酬減点・過誤・返戻の評価・検討、およびDPCコーディングの精査・監査を継続的・組織的に行い、当院における診療報酬請求の適切性を確保・維持する目的で活動を行っている。

【委員会の構成】

委 員 長　　医師
委　　員　　看護師
　　事務局職員

委員会での主な検討事項

- 当月・過誤減点および返戻状況の報告、対策の立案・実行
- DPC制度の正しい理解と周知方法の検討
- 適切なコーディング、DPC請求のための事例検討
- 当委員会で報告した内容を診療部長会へフィードバック

■第58回　診療報酬適正化委員会

日　時：令和4年4月8日（金）15:00～15:30
議題1：2022年度 診療報酬改定により、入力が必要となった項目について

■第59回　診療報酬適正化委員会

日　時：令和4年5月13日（金）15:00～15:30
議題1：2022年度 診療報酬改定により、入力が必要となった項目について

■第60回　診療報酬適正化委員会

日　時：令和4年6月10日（金）15:00～15:30
議題1：適切なコーディングに関する検討（心不全・心房細動）
議題2：適切なコーディングに関する検討（抹消動脈疾患・大腿動脈狭窄）

■第61回　診療報酬適正化委員会

日　時：令和4年7月8日（金）15:00～15:30
議題1：適切なコーディングに関する検討（骨盤内悪性腫瘍）
議題2：適切なコーディングに関する検討（菌血症、腎盂腎炎）
議題3：適切なコーディングに関する検討（虚血性腸炎K559）

■第 62 回　診療報酬適正化委員会

日　時：令和 4 年 8 月 12 日（金）15:00 ～ 15:30

議題 1 ：適切なコーディングに関する検討（化膿性股関節炎・敗血症）

議題 2 ：適切なコーディングに関する検討（呼吸性アシドーシス・心不全）

議題 3 ：適切なコーディングに関する検討（糖尿病足潰瘍）

■第 63 回　診療報酬適正化委員会

日　時：令和 4 年 9 月 9 日（金）15:00 ～ 15:30

議題 1 ：適切なコーディングに関する検討（鼠径ヘルニア嵌頓・DIC）

議題 2 ：適切なコーディングに関する検討（小指基節骨骨折・伸筋腱癒着・関節拘縮）

議題 3 ：適切なコーディングに関する検討（脱水症・電解質異常）

■第 64 回　診療報酬適正化委員会

日　時：令和 4 年 10 月 21 日（金）15:00 ～ 15:30

議題 1 ：適切なコーディングに関する検討（再生不良性貧血・敗血症）

議題 2 ：適切なコーディングに関する検討（乳癌再発・癌性胸水）

議題 3 ：適切なコーディングに関する検討（発作性心房細動・不安定狭心症）

■第 65 回　診療報酬適正化委員会

日　時：令和 4 年 12 月 9 日（金）15:00 ～ 15:30

議題 1 ：適切なコーディングに関する検討（大腿骨転子部骨折・ERCP 後膵炎）

議題 2 ：適切なコーディングに関する検討（胆管炎・慢性リンパ性白血病）

議題 3 ：適切なコーディングに関する検討（胸水貯留）

議題 4 ：適切なコーディングに関する検討（胆のう結石症・術後胆汁瘻）

■第 66 回　診療報酬適正化委員会

日　時：令和 5 年 1 月 13 日（金）15:00 ～ 15:30

議題 1 ：適切なコーディングに関する検討（脱水症・誤嚥性肺炎・COVID-19）

議題 2 ：適切なコーディングに関する検討（サブイレウス・COVID-19）

議題 3 ：適切なコーディングに関する検討（IgA 血管炎・低アルブミン血症）

議題 4 ：適切なコーディングに関する検討（虫垂炎性腹膜炎・腹腔内膿瘍）

■第 67 回　診療報酬適正化委員会

日　時：令和 5 年 2 月 10 日（金）15:00 ～ 15:30

議題 1 ：適切なコーディングに関する検討（壊疽性胆嚢炎・誤嚥性肺炎）

議題 2 ：適切なコーディングに関する検討（腹膜腫瘍・腹膜播種）

議題 3 ：適切なコーディングに関する検討（敗血症・DIC・急性呼吸窮迫症候群）

議題 4 ：適切なコーディングに関する検討（2 型糖尿病性高血糖高浸透圧症候群・誤嚥性肺炎）

■第 68 回　診療報酬適正化委員会

日　時：令和 5 年 3 月 10 日（金）15:00 ～ 15:30

議題 1 ：適切なコーディングに関する検討（癒着性イレウス・敗血症・DIC）

議題 2 ：適切なコーディングに関する検討（DIC・大腿骨骨折・心不全・脳梗塞）

議題 3 ：適切なコーディングに関する検討（インフルエンザ肺炎・細菌性肺炎）

議題 4 ：適切なコーディングに関する検討（血便・出血性吻合部潰瘍・リンパ腫）

(18)栄養委員会

〈目的〉

本委員会は、入院治療の一旦を担う病院食について、特に栄養管理など治療の観点から、その適切性について検討し、治療効果及び患者様の満足度向上を図る。またNST活動を通じて低栄養患者を抽出し栄養管理を症例個々や各疾患治療に応じて適切に実施しQOL向上に努める。

〈メンバー〉

委員長	糖尿病・内分泌内科	竹内
副委員長	一般・消化器外科	川﨑
	栄養科全員	(岡本、山崎、狩野、山本、村上、小林)
	ICU病棟	森、下垣内
	3病棟	佐藤
	4病棟	高井、寺田、門
	5病棟	芦田、齋藤
	6病棟	岡村、木原
	7病棟	仲村、藤原
	リハビリ	小栗山、冨田
	薬剤師	森、葭中、大坂
	臨床検査技師	阪本
	医療ソーシャルワーカー	井町
	医事	上山
	調理師	馬場、高岡

〈定例委員会〉

第2月曜日	15：00～(多目的ホール)
NSTカンファレンス・回診	毎週金曜日　15：00～

〈開催日〉

●第1回　令和4年4月11日

1. 3月嗜好調査集計報告
2. 令和4年度栄養委員会概要
3. NST回診実績
4. 退院時栄養サマリー作成実績
5. 令和4年度年間計画
6. 栄養委員会ファイル変更(採用栄養剤・組織表・院内約束食事箋)

●第2回　令和4年5月9日

1. 4月嗜好調査集計報告
2. NST回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績

4. 新規採用栄養剤（ネクサス ST）
5. ブリストルスケールについて
6. 今後の栄養委員会について
7. 今後のミニ勉強会について
8. 学生受け入れ（大阪樟蔭女子大学）

●第 3 回　令和 4 年 6 月 13 日
1. 5 月嗜好調査集計報告
2. NST 回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績
4. ミニ勉強会スケジュール
5. 早期栄養介入管理加算 6/7 より開始
6. 機能評価について（嚥下評価）

●第 4 回　令和 4 年 7 月 11 日
1. 6 月嗜好調査集計報告
2. NST 回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績
4. 新規栄養剤（ネクサス ST）使用状況
5. 早期栄養介入管理加算開始後
6. ミニ勉強会（栄養関連診療報酬について）
7. 機能評価について
8. 栄養委員会主催勉強会について

●第 5 回　令和 4 年 8 月 8 日
1. 7 月嗜好調査集計報告
2. NST 回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績
4. 給食管理システム変更予定（選択食中止予定）
5. 院内学会（ERAS）
6. 診療科担当変更
7. 実習生受け入れ（甲南女子大学 8 月 8 日～）

※ 9 月中止

●第 6 回　令和 4 年 10 月 17 日
1. 8・9 月嗜好調査集計報告
2. NST 回診実績

3. 退院時栄養サマリー作成実績
4. 給食管理システム変更予定（選択食中止予定・夏、冬献立統一）
5. 院内学会（ERAS）
6. ミニ勉強会（3F・医事：診療報酬）

●第 7 回　令和 4 年 11 月 14 日

1. 10 月嗜好調査集計報告
2. NST 回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績
4. 新規採用栄養剤（リハたいむ・クリーミール）検討
5. 新食器（黒椀）について
6. ミニ勉強会（外来：手術前の栄養について　検査：貧血とビタミン 12）
7. インボディジャパン説明会

●第 8 回　令和 4 年 12 月 12 日

1. 11 月嗜好調査集計報告
2. NST 回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績
4. 新規採用栄養剤（リハたいむ・クリーミール）採用
5. 新食器（黒椀）について
6. 年末年始の給食について
7. BCP 対応について
8. ミニ勉強会（薬剤：輸液について）

●第 9 回　令和 5 年 1 月 16 日

1. 12 月嗜好調査集計報告
2. NST 回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績
4. 早期栄養介入加算実績
5. 年末年始の給食について
6. 栄養剤：アバンド廃止
7. BCP 対応について
8. ミニ勉強会（NSW：退院支援）

●第 10 回　令和 5 年 2 月 13 日

1. 1 月嗜好調査集計報告
2. NST 回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績

4. 早期栄養介入加算実績
5. BCP 対応について
6. ミニ勉強会（ICU：急性期の栄養管理　4F）

●第 11 回　　令和 5 年 3 月 13 日

1. 2 月嗜好調査集計報告
2. NST 回診実績
3. 退院時栄養サマリー作成実績
4. 早期栄養介入加算実績
5. BCP 対応について
6. 給食管理ソフト変更について
7. 来年度の栄養委員会について

〈学会・講演会など〉

●2022 年5 月31 日（火）ハイブリッド開催
第37 回日本臨床栄養代謝学会学術集会
「術前経口摂取の安全性評価」口演

演者：岡本 大尚

●2022 年7 月8 日（金）オンデマンド配信
第72 回日本病院学会
「地域支援に向けた取り組みと高槻市における栄養管理の実態調査」口演

演者：山本 修平

●2023 年1 月24 日（水）
出前教室 :寿栄川添地区
「減塩食のすすめ～アンチエイジングからの視点から～」

演者：山崎 純子

●2023 年2 月4 日（土）ZOOM ライブ配信
第11 回北摂栄養セミナー
「心疾患患者に対して、入院時から退院後まで途切れない栄養管理を目指して」口演

演者：狩野 慎太郎

●2023 年3 月11 日（土）オンライン開催
第13 回に南大阪・紀北NST 研究会
「打ち合わせのない症例検討会」パネリスト

演者：狩野 慎太郎

・講義

●2023 年1 月～2023 年3 月　計7 講義

高槻市医師会看護学校　准看護学科

講師：岡本 大尚

・取材

●2023 年8 月号　2023 年2 月号

株式会社　ファンデリー

「管理栄養士として」

岡本 大尚

(19)診療材料委員会

〈目的〉

診療材料の標準化・共有を図る

〈開催日〉

毎月 第3水曜日　16：30～（特別会議室）

〈2022年度　診療材料委員会メンバー構成〉

【診療部】	救急診療科	森井副院長（委員長）
	整形外科	劉病院長補佐（副委員長）
【看護部】		西村看護副部長
	外来フロア	中道看護師長
	中央手術センター	古川看護師長
【診療技術部】	臨床工学科	西村科長
	放射線科	上山主任
	臨床検査科	在間検査技士
【事務局】	病院サービス課	古鉄主任
	資材器財課	宇治係長
	資材器財課	吉本事務局員
	資材器財課	古賀事務局員

〈随時〉

新規・サンプル・緊急採用診療材料申請者

●第128回診療材料委員会　令和4年4月20日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	臨床工学科	西村科長	ファインフラックス FIX-Eecoシリーズ（血液透析濾過器）
2	小児科	八上部長	グロウジュクター―L（成長ホルモン剤皮下注）
3	小児科	八上部長	MSPA記録用紙（発達障害記録評価尺度）
4	臨床工学科	西村科長	オンラインHDF用補液回路（血液濾過透折）
5	レディースフロア	今園看護師長	婦人科検診用ディスポ　スカート（検診用スカート）
6	臨床検査科	大貫主任	XVマルチディスク（薬剤感受性検査）
7	臨床検査科	大貫主任	アルソニックR　hMPV（免疫クロマト法）

●第129回診療材料委員会　令和4年5月18日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	中央手術センター	古川看護師長	洗浄評価インジケーターTOSI（滅菌評価）
2	栄養科	岡本係長	ネクサスST（消化栄養剤）

●第 130 回診療材料委員会　令和 4 年 6 月 15 日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	カテーテル治療センター	西村科長	BeeAT 電極カテーテル（電極カテーテル）
2	カテーテル治療センター	西村科長	ブルーダイアモンド（インフレーションデバイス）
3	臨床検査科	斎藤係長	ダイナスクリーン　HIVcombo（HIV検査試薬）

●第 131 回診療材料委員会　令和 4 年 7 月 20 日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	内視鏡センター	碕山医長	エクストラクタープロ　XL（経内視鏡バルーンカテーテル）
2	内視鏡センター	碕山医長	BONA-SHIM　STENT（経内視鏡的胆管用ステント）
3	糖尿病内分泌内科	竹内病院長補佐	マイクロファインプロ　32G（ペン型注入器用注射針）
4	中央手術センター	古川師長	フォームPRO　10cm×10cm（皮膚保護パッド）
5	感染防止対策室	笹井看護師長	ウエルフォーム　80ml（手指消毒）
6	感染防止対策室	笹井看護師長	ウエルパス0.2%（手指消毒）
7	感染防止対策室	笹井看護師長	サニサーラ手指消毒剤アクアライト　60ml（手指消毒）
8	感染防止対策室	笹井看護師長	サニサーラフォームS　80ml　泡ポンプ付（手指消毒）
9	臨床検査科	斎藤係長	ラボステインS（尿沈渣染色用ステルンハイマー染色液）
10	臨床検査科	斎藤係長	チュルク氏液（白血球数算定用染色液）
11	臨床検査科	斎藤係長	2.5%グルタールアルデヒド（タンパク質架橋剤）
12	臨床検査科	斎藤係長	OV　Wach　Solution（RNA精製プロトコル用試薬）
13	臨床検査科	斎藤係長	クロモアガーSTEC/SS　V分培地（選択分離培地）
14	臨床検査科	斎藤係長	EDTA-2Na　入採血管　7ml（血算用採血管内抗凝固剤）

●第 132 回診療材料委員会　令和 4 年 8 月 17 日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	医療安全対策室	松江副室長	サージカルマスク（MEDHMK2394）オレンジ

●第 133 回診療材料委員会　令和 4 年 9 月 21 日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	ICU･救急フロア	柏原看護係長	オキシマイザーカニューラ　ペンダント型(P-224)(リザーバー式酸素供給カニューレ)
2	臨床検査科	米村係長	チェックhMPV（ヒトメタニューモウイルスキット）

●第 134 回診療材料委員会　令和 4 年 10 月 19 日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	カテーテル治療センター	西村科長	Ultimaster　Nagomi（薬剤投与ステント）
2	乳腺外来	資材器財課	吸引式組織生検用針キット Celero（乳房バイオプシー装置）
3	臨床検査科	大貫主任	フロックス スワブ（鼻咽頭スワブ）
4	臨床検査科	大貫主任	Xpert　C.difficile（毒素検出キット）
5	臨床検査科	室主任	FER-ラテックスRX生研（測定試薬）
6	資材器財課	資材器財課	ザルコニン0.025%綿球20（消毒剤）

●第 135 回診療材料委員会　令和 4 年 11 月 16 日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	カテーテル治療センター	西村科長	腹水濃縮器　AHF-UF（内臓機能代用機）
2	中央手術センター	長尾看護係長	チッププロテクター（手術器具保護カバー）
3	臨床検査科	小野原検査士	クイックナビ-Flu+COVID19Ag（同時迅速診断キッド）
4	栄養科	岡本係長	リハタイムゼリー（栄養補助食品）
5	栄養科	岡本係長	エンジョイ クリミール（栄養補助食品）

●第 136 回診療材料委員会　令和 4 年 12 月 21 日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	薬剤科	榎南科長	ラコールNF配合腸用半固形剤アダプター（経腸栄養注入用器具）
2	臨床検査科	大貫主任	アルソニックhMPV（抗原検出用試薬）

●第 137 回診療材料委員会　令和 5 年 1 月 18 日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	臨床工学科	西村科長	LINQ　Ⅱ（埋込型心電計）
2	内視鏡	市川看護係長	プレカットナイフ（ロングタイプ）

●第 138 回診療材料委員会　令和 5 年 2 月 18 日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	臨床工学科	西村科長	PCIガイディングカテーテル（PCIガイディングカテーテル）
2	臨床工学科	西村科長	グットテック　ガイドワイヤー（血管造影用ガイドワイヤー）
3	臨床検査科	大貫主任	トリプトソイブロス　1ml×50本（ブイヨン培地）

●第 139 回診療材料委員会　令和 5 年 3 月 15 日（水）

	申請部署	申請者	診療材料名
1	臨床工学科	西村科長	キュアフローACF-A10（持続緩徐式血液濾過器）
2	臨床検査科	大貫主任	クイックナビ　3（検査試薬）
3	薬剤科	資材･三笑堂	薬剤調整用シリンジフィルター　HP1002（注射筒用フィルター）

【報告事項】
○新規診療材料　　計50点
○試用申請材料　　計21点
○資材器財課提案材料　計 4点

今後も診療材料委員会では、下記項目を考慮し、検討と承認を行います。
・医療の質を下げることなく、コンプライアンスを遵守した材料の採用
・コスト削減（削減の提案を強化）、業務改善（治療・検査時短等）
・物価高騰もあり、資材器財課6件／年のコスト削減案を提出する。
・採用診療材料の1増1減

(20)病院情報管理運営委員会

1．目　　的

病院情報システムを含む全ての情報の管理・運営、及び診療記録の適正な保管管理と活用促進を目的とする。

2．委員会メンバー

委 員 長　黒岩 正司（医療情報課 課長）
副委員長　山口 茂
委　　員　結城 雅子（放射線科 部長）
小西 ゆかり（救急推進担当 看護師長）
松江 さつき（医療安全対策室 看護師長）
米村 里美（臨床検査科 係長）
齊籐 潤（臨床検査科 係長）
西村 岳洋（臨床工学科 科長）
萩原 崇晴（放射線科 科長）
濱畑 耕造（放射線科 係長）
岡本 大尚（栄養科　係長）
榎南 祥太（薬剤科 科長）
大森 尚樹（リハビリテーション科 係長）
久保田 絵里奈（病院サービス課 医療秘書係）
事務局　　溝手 亨（医療情報課員）

3．定例会議

毎月第3月曜日　15：00 ～ 15：30

4．主な活動実績

- 病院情報システム運用における課題検討と改善（システム改修・機能追加）
- 病院情報システム不具合事例の対策検討・改善
- 病院情報システム定期メンテナンス
- サイバー攻撃への注意喚起
- 院内便利ツール “BenriWEB” の機能追加
- 全館停電点検による病院情報システム関連動作検証
- 診療報酬改定対応

(21)勤務医及び看護職員負担軽減・処遇改善委員会

本委員会は、勤務医及び看護職員負担軽減・処遇改善に関する事項を評価・検討し、多職種から役割分担を推進し勤務医及び看護職員の負担軽減を図ると共に業務を明確にさせることを目的に設置された。

開催日

毎月第4月曜日　16：00 ～ 16：30（不定期）

委員メンバー

委員長： 小林 一朗

委　員： 植田 直樹、永松 航、竹内 徹
坂部 博志、田尻 愛子、誉田 亨
榎南 祥太、萩原 崇晴、冨田 賢次
齊藤 潤、奥田 利典、三嶋 信二

事務局：金澤 史子

開催日：令和4年12月17日（土曜日）14：00 ～ 14：30

□勤務医の負担軽減及び処遇の改善に係る計画

- 医師事務作業補助体制加算
- 地域医療体制確保加算
- 夜間看護体制加算

□勤務医の勤務状況の把握等について

- 2022年度 上期の医師・看護師の残業時間、有給消化等
- 2022年度 医師労働時間短縮計画

1. 労働時間数
2. 労働時間短縮に向けた取り組み

□看護部

開催日：令和5年3月25日（土曜日）14：00 ～ 14：30

□勤務医・看護職員の勤務状況について

- 2022年度（2/15現在）医師・看護師の残業時間、有給消化等

□ 2023年度 勤務医・看護職員の負担軽減及び処遇の改善に係る計画

- 医師事務作業補助体制加算
- 急性期看護補助体制加算他

37. 学会実績報告　各種学会・論文・講演会等実績

詳細は各部門を参照

日本病院学会

■第 72 回 日本病院学会　2022 年 7 月 7 日・8 日
島根県松江市　島根県民会館／サンラポーむらくも／興雲閣

演題 / 発表者

コロナ禍での病床運用・算定業務について　島村 玲菜（病院サービス課）

病院救急救命士クリニカルラダープログラムの構築と運用　藤井 紳伍（救急推進担当）

高齢心疾患患者の有効的な心臓リハビリテーション実施に向けた取り組み
古澤 隆雄（リハビリテーション科）

新型コロナウイルス感染症患者受け入れに対する病棟の取り組み　山中 清香（看護部）

地域支援に向けた取り組みと高槻市における栄養管理の実態調査　山本 修平（栄養科）

38. 病院見学等受入実績

○2022年度　北摂総合病院病院見学受入等実績

年月日		病院名	所在地	見学目的等	見学人数
1	2023年2月19日	済生会千里病院	大阪府	緩和ケア研修会	4名

39. 国際医学医療研修受入実績

今年度、受け入れなし。

40. 信条学習会

期	開催期間	開催数	参加人数				
				看護部	業務部	総務部	診療部
第1期 ～40期	1994年10月～2014年 3月	各期 全5回	1,103	691	266	130	16
				看護部	診療技術部	事務局	診療部
41期	2014年 5月～2014年 9月	全5回	24	11	7	6	－
42期	2014年11月～2015年 3月	全5回	18	12	1	5	－
43期	2015年 5月～2015年 9月	全5回	27	14	6	7	－
44期	2015年11月～2016年 3月	全5回	24	14	3	7	－
45期	2016年 5月～2016年 9月	全5回	36	21	7	8	－
46期	2016年 8月～2016年12月	全5回	19	14	2	3	－
47期	2016年12月～2017年 4月	全5回	18	14	1	3	－
48期	2017年 5月～2017年 9月	全5回	24	12	8	4	－
49期	2017年10月～2018年 2月	全5回	24	19	2	3	－
50期	2018年 5月～2018年 9月	全5回	36	20	4	12	－
51期	2018年10月～2019年 2月	全5回	23	16	1	6	－
52期	2019年 5月～2019年 9月	全5回	30	18	4	8	－
53期	2019年10月～2020年 2月	全5回	15	12	2	1	－
54期	2020年 7月～2020年 9月	全2回	27	15	5	7	－
55期	2020年 8月～2020年 9月	全2回	29	18	5	6	－
56期	2021年 8月～2021年 9月	全2回	18	11	4	3	－
57期	2021年 8月～2021年 9月	全2回	18	12	3	3	－
58期	2022年 7月～2022年 8月	全2回	11	8	3	0	－
59期	2022年 8月～2022年10月	全2回	35	20	7	8	－
			1,559	972	571		16

※信条学習会は、仙養会の信条（幸せを築きます）実現のため、モラロジーの学問を通じて品性の完成・幸福への基盤づくりを行っています。

仙養会 信条

一、私達は医療奉公、医術の向上に努めます　【私達の大きな使命です】
一、私達は誠意と親切、責任を完うします　【日々の目標です】
一、私達は任務を通し、幸せを築きます　【私達の念願です】

41. 病院機関誌「ほくせつ」

発行年月	VOL.	掲載記事内容	
2022年 8月	129	表紙・裏表紙	表紙「理事長・病院長 イラスト」 裏表紙「編集後記」
		新スタッフ紹介	北摂総合病院の新入職の先生をご紹介します！ 消化器内科 医長　碕山 直邦 医師 整形外科　池田 邦明 医師 循環器科　津田 浩佑 医師
		家庭で出来る運動のすすめ	①足趾の筋力を鍛えましょう ②つま先とかかとのトレーニング
		教えて！やさい先生～	夏バテとは？ ネバネバぶっかけそば　レシピ
		登録医紹介	◇みやざきちびっこ診療所　院長　宮崎 敬士 ◇ささき内科・内視鏡クリニック　院長　佐々木 有一
2023年 1月	130	表紙・裏表紙	表紙「高槻市市長・理事長・病院長　写真」 裏表紙「編集後記」古墳フェスはにコット　ボランティア参加
		新春トップインタビュー	行政×医療　連携の強化で高槻市をさらに住みよいまちに 高槻市長　濱田 剛史 理事長　木野 昌也 病院長　小林 一朗
		教えて!やさい先生～	酒粕で温活 粕汁　レシピ
		登録医紹介	◇なごみ整形外科リウマチクリニック　院長　中谷 宏幸

※「ほくせつ」は、1971 年 10 月に第 1 号を発行。以来病院の機関紙として医療関係や地域住民の方々を対象に、北摂総合病院のニュースや情報・活動状況等を発表し、“ 患者様の満足と安心 ” の一助の役割を果たすために発行しています。

42. 奉仕活動

（1）献血奉仕活動

年　月	会　場	時　間	受付人数	採血人数
2022年4月	松坂屋高槻店	コロナ禍により中止	—	—
5月	北摂総合病院（団体献血）		—	—
5月	松坂屋高槻店		—	—
6月	松坂屋高槻店		—	—
7月	松坂屋高槻店		—	—
8月	松坂屋高槻店		—	—
9月	松坂屋高槻店		—	—
10月	松坂屋高槻店		—	—
11月	北摂総合病院（団体献血）		—	—
11月	松坂屋高槻店		—	—
12月	松坂屋高槻店		—	—
2023年1月	松坂屋高槻店		—	—
2月	松坂屋高槻店		—	—
3月	松坂屋高槻店		—	—
計			0	0

年　度	奉仕参加回数	団体献血
1985年度〜2011年度	294	51
2012年度	12	2
2013年度	12	2
2014年度	12	2
2015年度	12	2
2016年度	12	2
2017年度	12	2
2018年度	12	2
2019年度	9	2
2020年度	0	0
2021年度	0	0
2022年度	0	0
計	387	67

※奉仕参加：開設 20 周年の記念行事として 1985 年 8 月 16 日より参加。各会場で献血の呼びかけをしています。
※団体献血：当院が会場となり、職員及び地域の方々が献血しています。
※ 2020 年度以降は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しております

（2）「小さな親切」運動

①使用済み切手

年　月	送付枚数
2022年 4月	—
5月	—
6月	1,497
7月	—
8月	—
9月	1,193
10月	—
11月	—
12月	1,408
2023年 1月	—
2月	—
3月	1,709
計	5,807

年　度	送付枚数
1995年〜2013年	293,075
2014年	7,170
2015年	9,830
2016年	10,681
2017年	8,570
2018年	6,988
2019年	3,960
2020年	5,850
2021年	5,850
2022年	5,142
計　2月	357,116

②プリペイドカード

年　月	送付枚数
2022年 4月	—
5月	—
6月	0
7月	—
8月	—
9月	0
10月	—
11月	—
12月	0
2023年 1月	—
2月	—
3月	0
計	0

年　度	送付枚数
2000年〜2013年	10,232
2014年	265
2015年	193
2016年	164
2017年	73
2018年	196
2019年	67
2020年	26
2021年	26
2022年	15
計	11,257

※使用済み切手：1996年1月より毎月「小さな親切」運動大阪本部からJOCSに届けられ、東南アジアの人々の健康を守るための事業資金として役立てられ、2015年4月からは公益社団法人「小さな親切」運動本部（東京）から、ジョイセフ及び日本キリスト教海外医療協力会に寄贈され役立てられています。
※プリペイドカード：2000年7月より毎月東京の日本国際ボランティアセンターへ送付し、カンボジアの農村開発・技術学校運営などの支援活動資金として、又、2007年2月からは、「誕生日ありがとう運動」本部へ送付し、知力ハンディキャップの問題の社会啓発資金として役立てられました。2015年4月より公益社団法人「小さな親切」運動本部（東京）から緑の地球防衛基金へ、2016年10月からは日本国際ボランティアセンターへ寄贈され役立てられています。

43. 院内コンサート

入院中の患者様とそのご家族、外来の患者様、又地域の皆様を対象に音楽を通して、心和む癒しと安らぎのひとときを過ごしていただくことを目的に、病院１Ｆ待合ロビーを開放し病院新築移転の年、平成 18 年 11 月よりスタート。

毎回、職員を含め 100 人前後の方々が参加され、楽しみなイベントとなっています。

※令和２年より、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しています。

開催実績

回	日　時	テーマ	内　容	場　所
1	平成 18 年 11 月 19 日（日） PM 2：00 ～ 3：00	心に癒しと安らぎを ～弦楽四重奏を通して～	弦楽四重奏	1F待合ロビー
2	平成 19 年 3 月 21 日（祝） PM 3：00 ～ 4：00	室内音楽をあなたに……	弦楽四重奏 + フルート	1F待合ロビー
3	平成 19 年 11 月 18 日（日） PM 1：30 ～ 2：30	午後のひとときを 弦楽四重奏とともに	弦楽四重奏	1F待合ロビー
4	平成 20 年 4 月 20 日（日） PM 1：30 ～ 2：30	マリンバとともに	マリンバアンサンブル	1F待合ロビー
5	平成 20 年 11 月 30 日（日） PM 1：30 ～ 2：30	弦楽四重奏と共に ～心の安らぎをあなたに～	弦楽四重奏	1F待合ロビー
6	平成 21 年 4 月 26 日（日） PM 1：30 ～ 2：30	春	フルート三重奏	1F待合ロビー
7	平成 22 年 9 月 12 日（日） PM 2：00 ～ 3：00	和楽器が奏でる癒しの音色	お琴・尺八の合奏及び独奏	1F待合ロビー
8	平成 23 年 4 月 24 日（日） PM 1：30 ～ 2：30	沖縄民謡で楽しみましょう	沖縄唄三線 & ギター	1F待合ロビー
9	平成 23 年 10 月 23 日（日） PM 1：30 ～ 2：30	秋色の調べ	ヘルマンハープ演奏 （ドイツ生まれの弦楽器）	1F待合ロビー
10	平成 24 年 5 月 27 日（日） PM 2：00 ～ 2：50	中国琵琶とのふれあい	中国琵琶 独奏	1F待合ロビー
11	平成 24 年 11 月 4 日（日） PM 1：30 ～ 2：20	バイオリンとビオラのミニコンサート	バイオリン・ビオラ デュオ	1F待合ロビー
12	平成 25 年 5 月 12 日（日） PM 1：30 ～ 2：20	笑いと健康	落語・漫才・健康体操 （理学療法士兼社会人落語家）	1F待合ロビー
13	平成 25 年 11 月 24 日（日） PM 1：30 ～ 2：20	憩いと癒しのひと時を	バイオリン・オカリナ サロンコンサート	1F待合ロビー
14	平成 26 年 4 月 20 日（日） PM 1：30 ～ 2：30	癒しと安らぎのひとときを	ジャズコンサート （楽々クラブ）	1F待合ロビー
15	平成 26 年 11 月 30 日（日） PM 1：30 ～ 2：20	「しの笛」の奏でる 懐かしく心に染る音色	しの笛演奏 （大阪しの笛協会）	1F待合ロビー
16	平成 28 年 3 月 27 日（日） PM 1：30 ～ 2：10	楽しいオカリナ演奏 みんなで歌おう！	オカリナコンサート （SA茨木オカリナサークル“風”）	1F待合ロビー

回	日　時	テーマ	内　容	場　所
17	平成 28 年 11 月 6 日（日） PM 1：30 ～ 2：10	癒しと安らぎのひとときを！	マンドリンコンサート （千里マンドリンアンサンブル）	1F待合ロビー
18	令和 1 年 11 月 3 日（日） PM 1：30 ～ 2：10	オカリナコンサート	オカリナコンサート （かざぐるま）	1F待合ロビー
19	令和 2 年度	コロナ禍により中止		
20	令和 3 年度	コロナ禍により中止		
21	令和 4 年度	コロナ禍により中止		

44. ホームページ閲覧件数

URL　https://www.hokusetsu-hp.jp/index.html

1999 年　開設
2006 年　8 月　メインページリニューアル
2007 年　4 月　メインページリニューアル
2008 年　4 月　研修医専用サイト開設
2008 年 10 月　看護部専用サイト開設
2009 年　3 月　看護部専用サイトリニューアル
2010 年　2 月　看護部専用サイトリニューアル
2012 年　4 月　メインページリニューアル
2012 年　4 月　研修医専用サイトリニューアル
2012 年 12 月　研修医・看護部公式 Facebook 開設
2014 年　5 月　産科公式 Facebook 開設
2019 年　2 月　メインページ・看護部サイトリニューアル
（ナビゲーションメニュー、情報バリアフリー対応、マルチデバイス対応）
2023 年　3 月　外来化学療法センターサイト開設

当院ホームページ閲覧件数
2022 年度　123,938 PV（前年より、3,489 増）

【北摂総合病院ポータルサイト】

【北摂総合病院　部門紹介サイト】

【北摂総合病院　外来化学療法センター】

外来化学療法センター

当院では、外来通院しながら安全にがん薬物療法を受けていただける「外来化学療法センター」を開設しています。
センター内には8台のリクライニングチェア・4台のベッド・テレビを配置し、安全・安楽に抗がん剤治療を受けていただける環境を用意しています。いつもと変わらない日常生活を送りながら、治療を継続していただけるように医師・看護師・薬剤師などの専門職種がご支援します。

外来化学療法とは

がん薬物療法とは、注射や内服薬などの殺細胞性抗がん薬・分子標的治療薬・免疫チェックポイント阻害薬などの投薬によって体内のがん細胞の増殖を抑えたり、がん細胞を破壊したりする治療法です。
従来は入院して抗がん剤治療を行うことが一般的でしたが、現在は新しい抗がん剤の開発や副作用対策の薬剤開発、投与方法の工夫により外来でも安心してがん薬物療法が受けられるようになりました。
現在当院では、食道・胃・大腸・膵臓・胆道・肝臓の消化器がんを中心に薬物療法を行っています。血液がんの薬物療法は京都大学血液腫瘍内科の協力のもと、非常勤の血液内科専門の先生方と診療を行っています。また大阪医科薬科大学病院呼吸器内科・呼吸器外科との連携により肺がんの薬物療法も実施しています。婦人科がん、原発不明がんなどの稀少がんの薬物療法も外来化学療法センターで実施しています。

チームでサポート

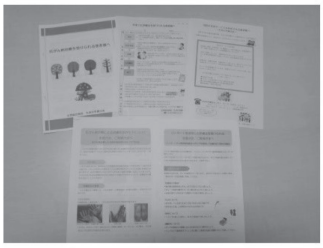
外来化学療法センターでは、患者さまご家族さまが安心して治療に取り組めるようチームでご支援します。

医師

当院は規模で言えば大病院ではありません。その特性を活かしてみなさんと近い距離で向き合うことができると考えています。とはいえ医療レベルが大病院に劣っていては意味がありません。適切な治療を家庭的な雰囲気でできればと考えております。科学的根拠とみなさんの希望、我々の経験から最適と思われる治療を相談していきます。

看護師（がん化学療法看護認定看護師）

各診療科医師・薬剤師と連携し、点滴管理だけではなく副作用や日常生活等で心配なこと・困っていることについて対応します。患者さまご家族さまが納得して治療を受けられるように各種パンフレットを用いた丁寧な説明を行い、日常生活と治療を両立できるよう支援いたします。



【北摂総合病院　看護部サイト】

理事長挨拶

このたびは、北摂総合病院のホームページを訪問していただきありがとうございます。
当院は1965年（昭和40年）に許可病床数80床の医療法人仙養会北摂病院としてこの地に誕生しました。芳川仙作院長、木野猛理事長の傑出したリーダーシップのもと順調に発展を続け、1981年には許可病床数217床の総合病院へと成長しました。
1983年に２代目芳川浩男院長、そして1986年（昭和61年）に私が病院長に就任しました。2000年に病院の名称を北摂総合病院へと変更いたしました。

医療は目覚ましい勢いで進歩しております。
その急速に進歩する医療の成果を日常の診療に取り入れるために卒後教育は欠かせません。
当院は病院設立時以来、医療専門職の育成と卒後教育に努力してまいりました。
高槻市医師会看護学校での看護師の育成、医療チームの重要な役割を担っている薬剤科をはじめとする診療技術部各科、そして医療事務やケースワーカーなど事務局職員の養成等、毎年多数の実習生を受けいれています。
さらに2003年には厚生労働省より臨床研修病院の指定を受け、これまでに多数の臨床研修医を養成してまいりました。

病院長挨拶

この2年あまり、北摂総合病院は「新型コロナウイルス感染症患者への対応と一般急性期医療の両立」を方針に掲げ、地域医療における急性期病院として幾度もの感染拡大の波を乗り越えてきました。これまで、職員全体の積極的な感染対策への取り組みで、幸いにもクラスターを発生させることなく、一般診療への影響も最小限に抑えて地域への医療提供を続けております。

2022年度がスタートしてしばらく経過しましたが、今、私たちはいわゆる"コロナ慢性期"の中にいます。これまでのように日常を抑制するだけではなく、感染リスクを抑えて、コロナを受容しながら少しずつ通常の社会活動を営んでいく「次のステージ」へと移行しつつあるように思います。当然のことながら、まだ安心はできませんが、いかなる困難にも柔軟に対応できる体制を整え、心ひとつにして、北摂総合病院に期待される急性期医療を実践していくことが病院としての役割と責任である考えております。

2022年度の病院の行動指針は、Very Best Hospitalを目指して、「熱意・誠意・創意」としております。コロナ感染対策をはじめとして、診療部、看護部、診療技術部、事務局、さらには訪問看護ステーションやケアプランセンター等、法人のすべての部署に属する多職種の職員が「熱意・誠意・創意」を持って病院業務に不可欠なチームプレーを堅持し、当院の役割と責任を果たしていきます。

引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年7月
病院長　小林一朗

編集・発行
2023 年 9 月

社会医療法人 仙養会 北摂総合病院

〒569-8585　高槻市北柳川町 6-24
TEL 072-696-2121
FAX 072-690-3061

編　　集：黒岩 正司（医療情報課　課長）
発行責任者：坂部 博志（事務局長）